

三重県人口減少実態調査・要因分析業務

人口の自然増減及び社会増減に関するデータ収集結果資料

令和4(2022)年 11 月

三菱UFJリサーチ & コンサルティング

《 目 次 》

I. 業務の目的・内容等	1
1. 業務の目的.....	1
2. 本資料の位置付け.....	1
(1) 自然動態（出生）に関するデータ.....	1
(2) 社会動態（転出入）に関するデータ	1
3. 地域区分	1
II. 自然増減（出生）に関するデータの収集・整理	3
1. 子ども・思春期の生活に関連する指標.....	3
2. 若者・結婚に関連する指標.....	7
3. 妊娠・出産に関連する指標.....	11
4. 子育てに関連する指標	18
5. 働き方に関連する指標	23
6. 環境の整備等に関連する指標	24
III. 社会増減に関するデータの収集・整理	28
1. 三重県の人口移動状況	28
(1) 年齢5歳階級別.....	28
(2) 移動地域別	42
2. 県内5地域別の人口移動状況（地域比較）	56
(1) 転入.....	56
(2) 転出.....	57
(3) 転入超過.....	58
3. 県内5地域別の人口移動状況（年齢階級・移動地域別集計）	59
(1) 北勢地域.....	59
(2) 中勢地域.....	87
(3) 南勢地域.....	115
(4) 伊賀地域.....	143
(5) 東紀州地域.....	171

I. 業務の目的・内容等

1. 業務の目的

本業務は、三重県における人口減少の実態を明らかにするため、自然動態（出生）および社会動態（転出入）に関するデータを収集・整理したうえで、その要因を分析することを目的に実施するものである。

2. 本資料の位置付け

この資料は、上記目的を達成するための第一段階の作業として、以下に示すデータの収集・整理した結果をとりまとめたものである。

(1) 自然動態(出生)に関するデータ

「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に掲げられた「重点目標」と「モニタリング指標」の三重県の値について、可能な範囲で10年程度のデータを収集・整理した。また、三重県の特徴を把握するため、比較対象とする全国の値についても、合わせて収集・整理を行った。

(2) 社会動態(転出入)に関するデータ

総務省「住民基本台帳人口移動報告」（2012年～2021年）のデータを利用して、県全体、県内5地域、県内市町の社会動態について、データの整理・分析を行った。総務省のデータは1月～12月の間の移動者数を集計した暦年値であるため、この資料に掲載している図表についても暦年、年度の表記を省略した図表の値は全て暦年値となっている。

なお、総務省「住民基本台帳人口移動報告」のデータは、2017年までは日本人のみを対象として集計されて、2018年以降は日本人と外国人を合わせた全体（総数）と日本人のみの2種類の集計が行われている。このため、本業務では、県全体、県内5地域の社会動態については、2012～2021年の日本人の社会動態について分析を行い、2018～2021年の日本人と外国人を合わせた全体（総数）の社会動態を参考値として掲載することとした。

3. 地域区分

本業務における県内5地域、県外地域ブロックは、以下のとおりとした。

【県内5地域】

北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
中勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
南勢地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
伊賀地域	名張市、伊賀市
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

【県外地域ブロック】

北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北関東	茨城県、栃木県、群馬県
東京圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県 愛知県
関西	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

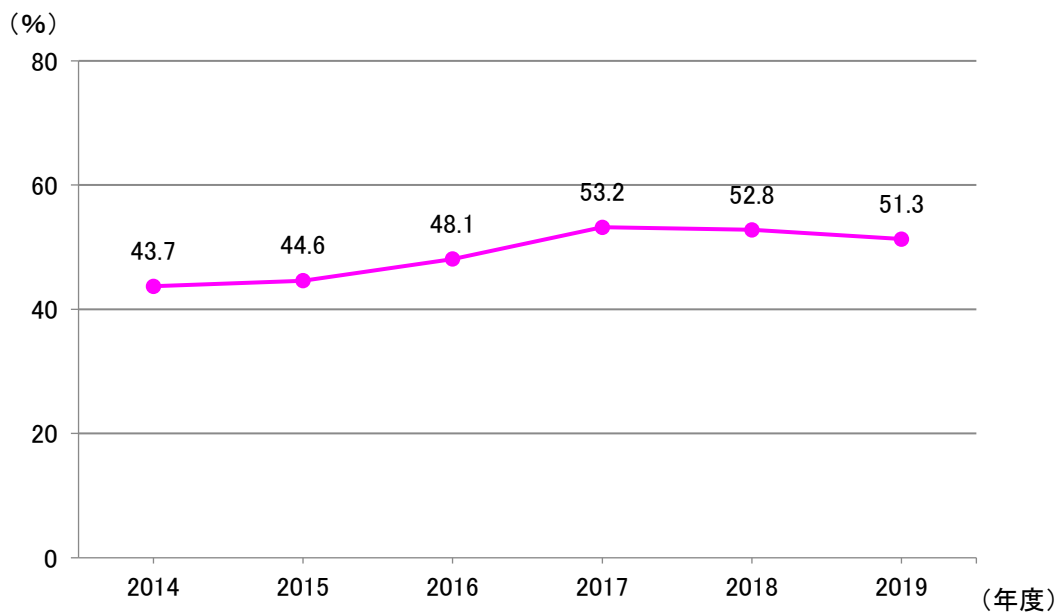
II. 自然増減（出生）に関するデータの収集・整理

1. 子ども・思春期の生活に関連する指標

（幸福感）

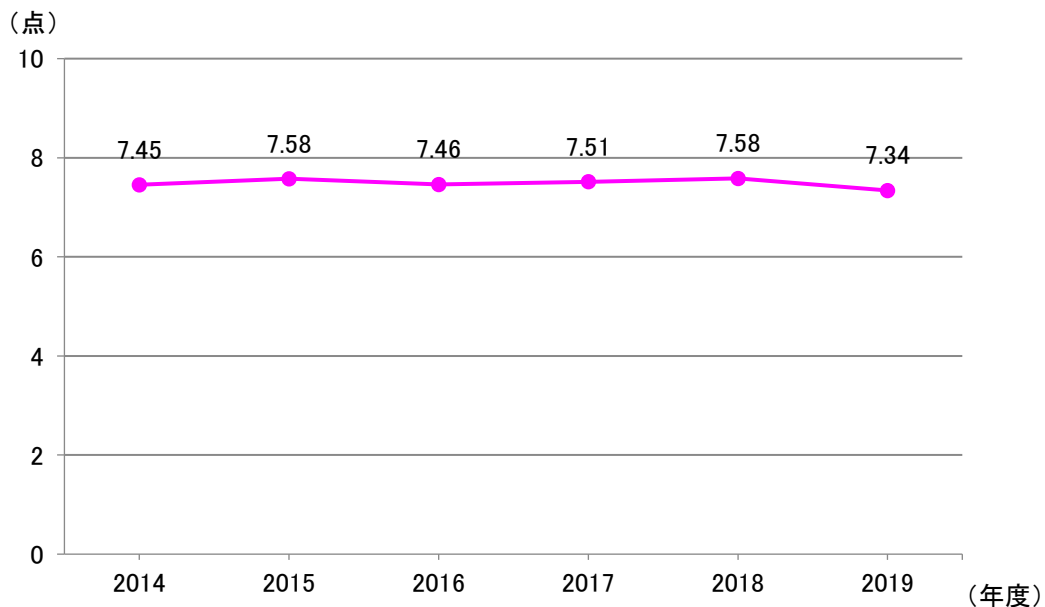
三重県実施調査（キッズモニター調査）結果をみると、周りの大人から「大切にされている」と感じる子どもの割合、子どもの幸福実感はいずれも横ばいで推移している。

図表 II-1 ふだん生活しているなかで、周りの大人から「大切にされている」と感じる子どもの割合



(資料) 三重県「キッズモニター調査」

図表 II-2 幸福感(子どもの幸福実感)

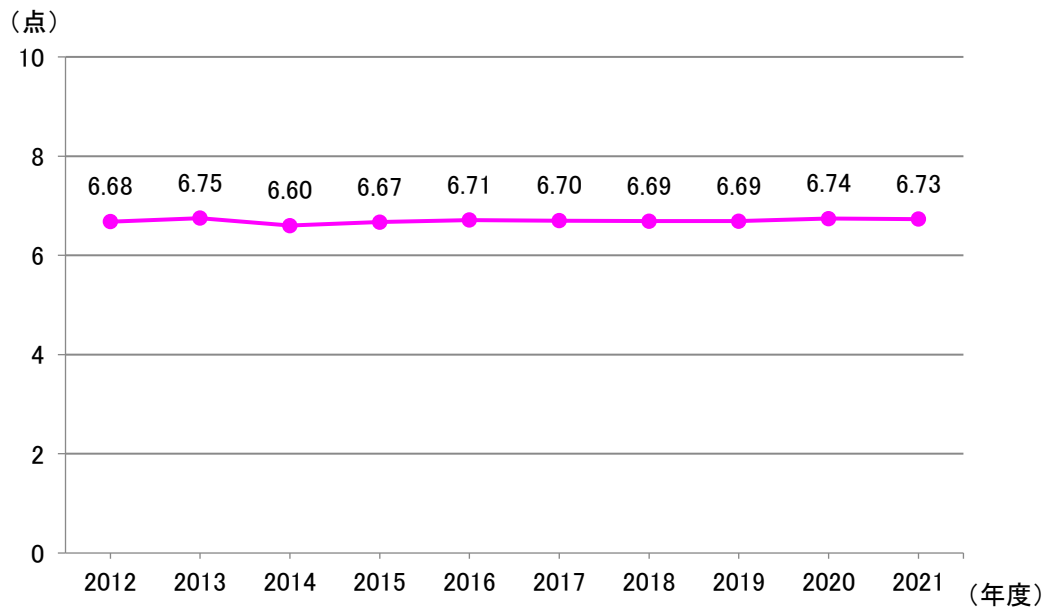


(資料) 三重県「キッズモニター調査」、小学生・中学生・高校生

(注) 10点満点評価の平均値推移。

18歳以上を対象とした幸福実感についても横ばいで推移している。また、同調査において、幸福感を判断する際に「家族関係」を重視すると回答した県民の割合は、7割付近を横ばいで推移している。

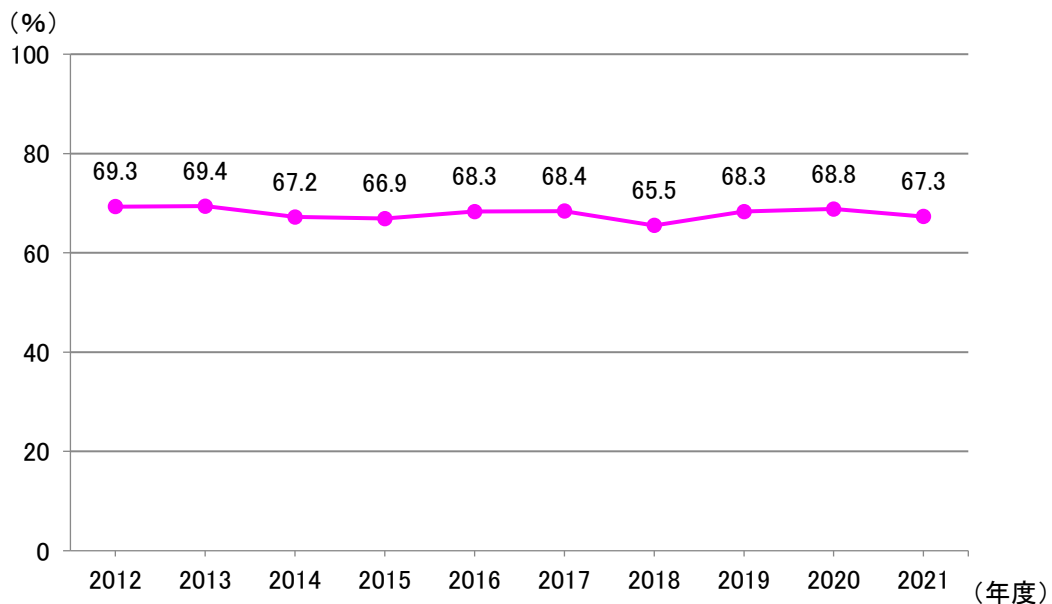
図表 II-3 幸福感(県民の幸福実感)



(資料)三重県「みえ県民意識調査」、18歳以上

(注)10点満点評価の平均値推移。

図表 II-4 幸福感を判断する際に重視した事項で「家族関係」を選択する県民の割合

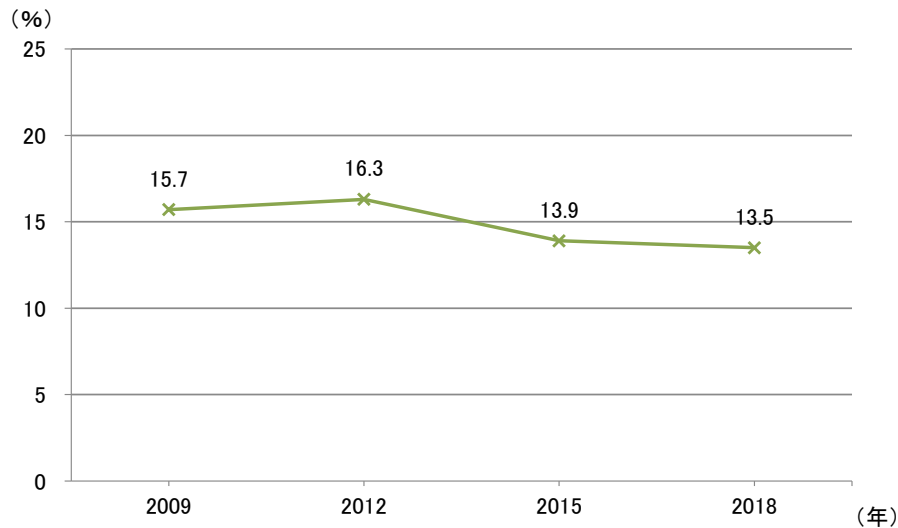


(資料)三重県「みえ県民意識調査」、18歳以上

(子どもの貧困対策)

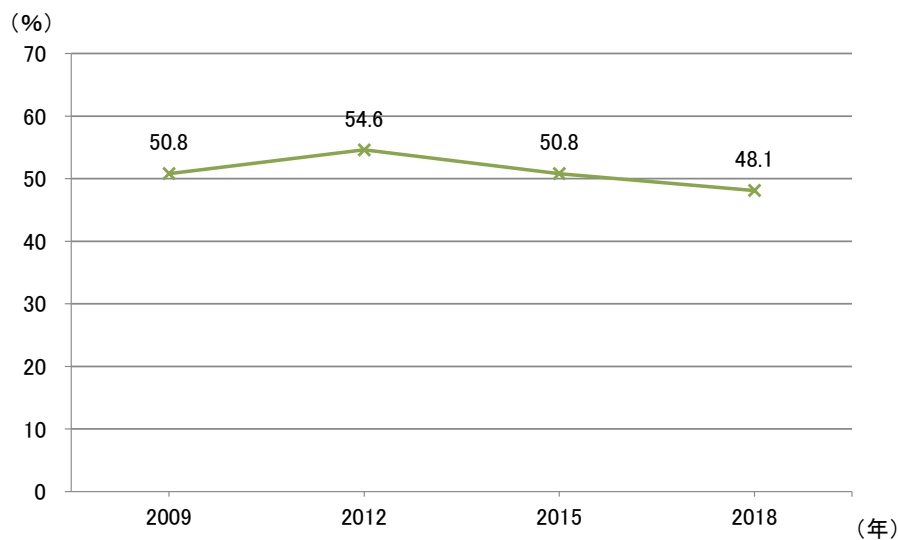
所得の中央値の半分を下回る世帯で暮らす 18 歳未満の子どもの割合を示す「子どもの貧困率」(全国値)は低下傾向にあるが、子どもがいる現役世帯のうち大人が一人の世帯(親の年齢が 15~64 歳)の貧困率は 48%と依然として高い水準にある。三重県では、2021 年時点で 11 の市町が子どもの貧困対策計画を策定し、子どもの貧困の削減に向けた取組を推進している。

図表 II-5 子どもの貧困率(国のみ)



(資料) 厚生労働省「国民生活基礎調査」

図表 II-6 子どもがいる現役世帯のうち大人が一人の貧困率(国のみ)



(資料) 厚生労働省「国民生活基礎調査」

■子どもの貧困対策に関連する指標

	2019 (年度)	2020 (年度)	2021 (年度)
子どもの貧困対策計画を策定している市町数	8	9	11

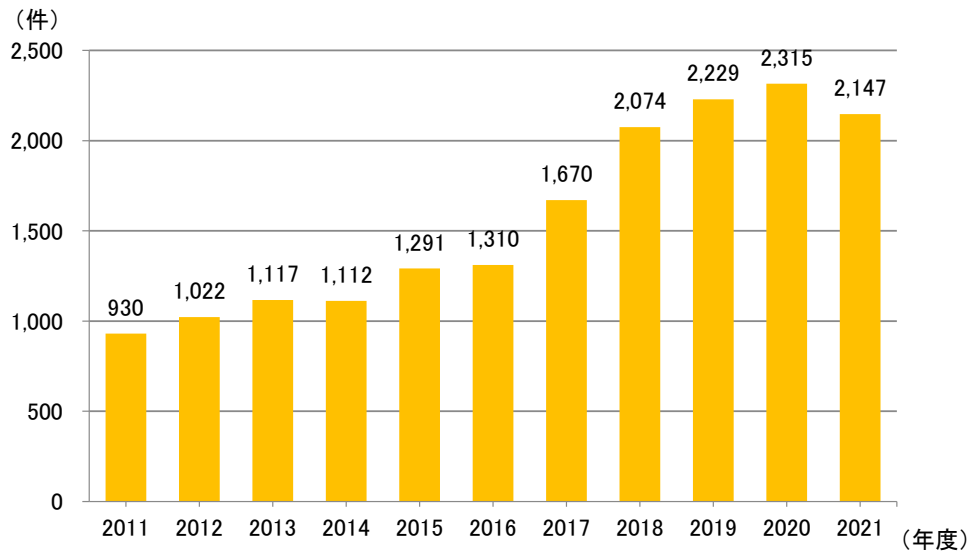
(資料) 三重県「みえ子どもスマイルレポート」

(児童虐待の防止・社会的養育の推進)

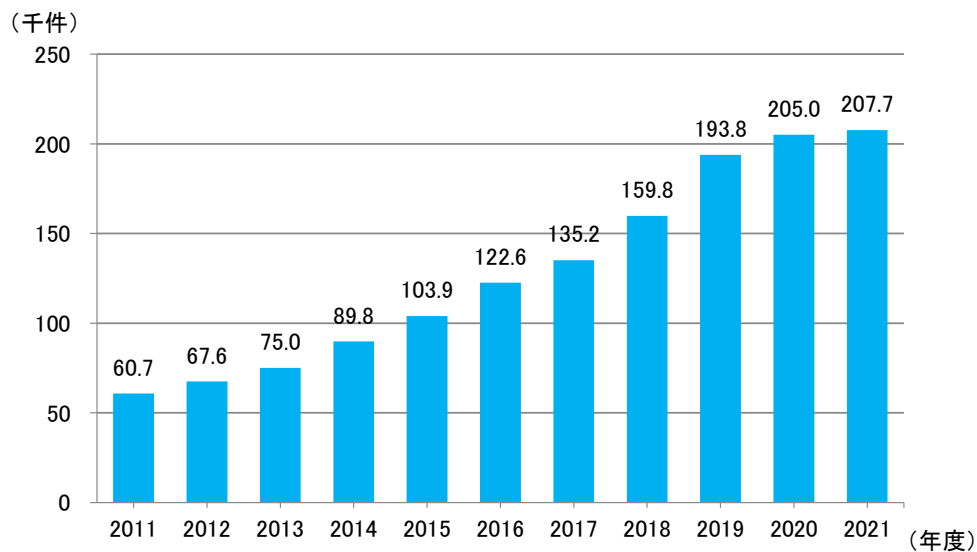
児童虐待相談対応件数は、三重県、全国ともに増加傾向にある。また、三重県内の 27 の市町（2021 年度時点）が児童虐待早期対応に向けた取組を推進している。

図表 II-7 児童虐待相談対応件数

【三重県】



【全国】



■児童虐待の防止・社会的養育の推進に関連する指標

	2019 (年度)	2020 (年度)	2021 (年度)
児童虐待の早期対応力強化に取り組む市町数	14	26	27
児童養護施設・乳児院の多機能化等の事業数(累計)	8	12	13
要保護児童数	526		489
里親等委託率			31.10%

(資料) 三重県「みえ子どもスマイルレポート」

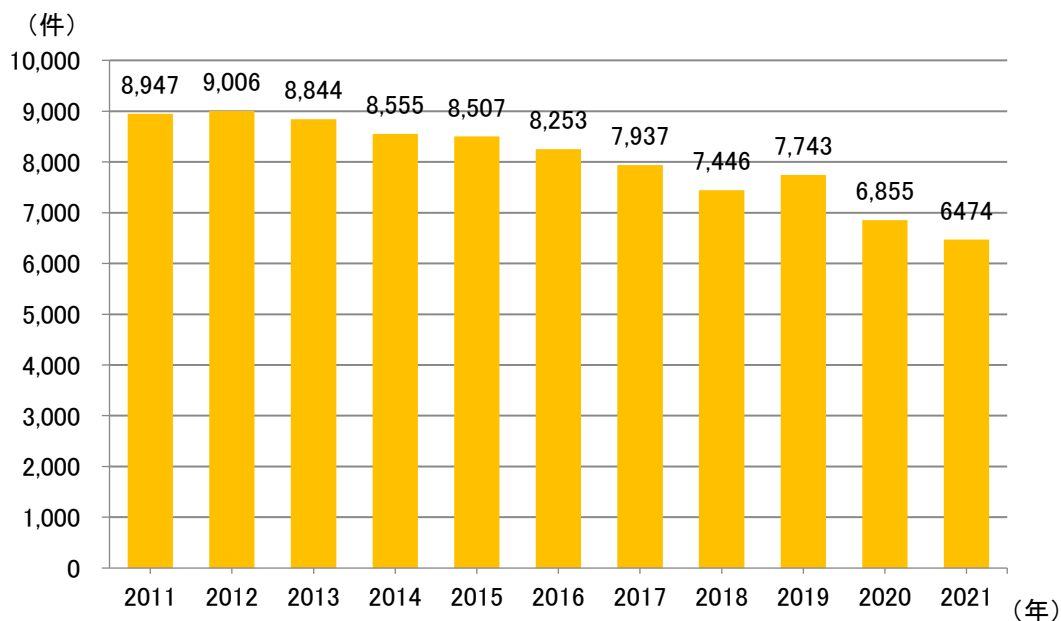
2. 若者・結婚に関連する指標

婚姻件数は、三重県、全国ともに減少傾向にあり、平均初婚年齢も上昇を続けている。

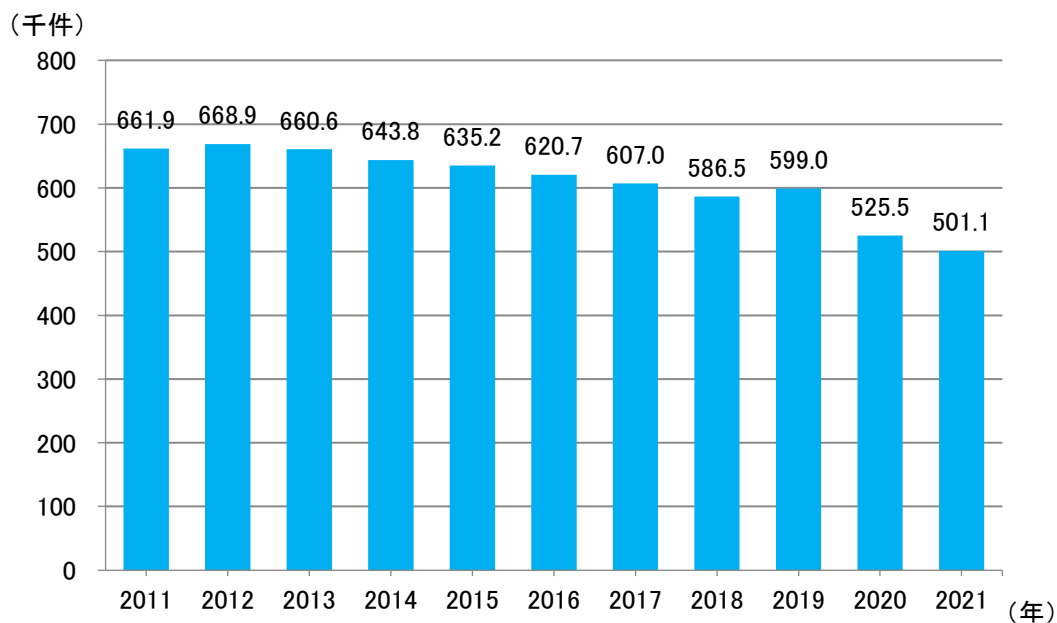
また、50歳時未婚割合は、男女ともに全国値を上回る状況で推移し、全国と同様に、増加傾向にある。一方で、三重県実施の調査（みえ県民意識調査）結果をみても、将来的に結婚を希望する県民の割合は、概ね横ばいで推移している。

図表 II-8 婚姻件数

【三重県】

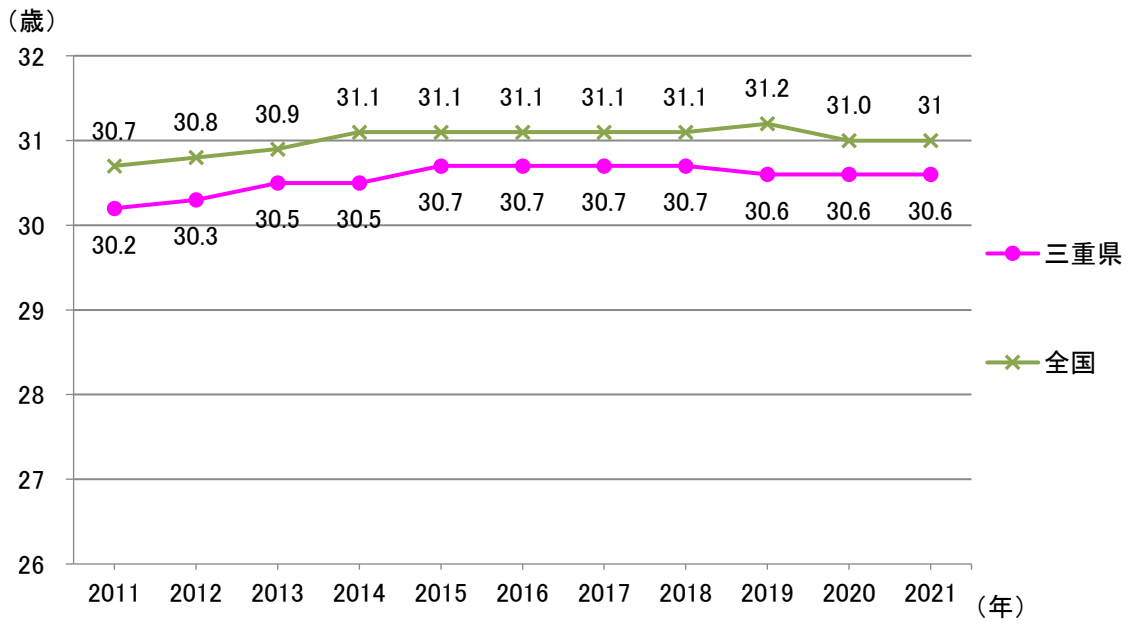


【全国】



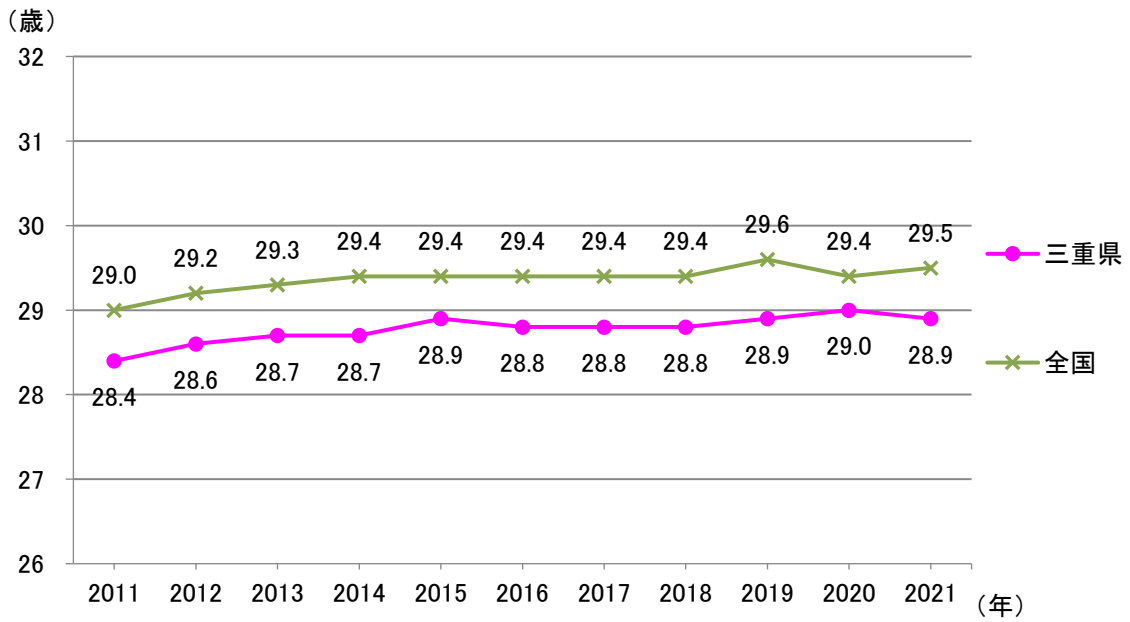
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-9 平均初婚年齢(男性)



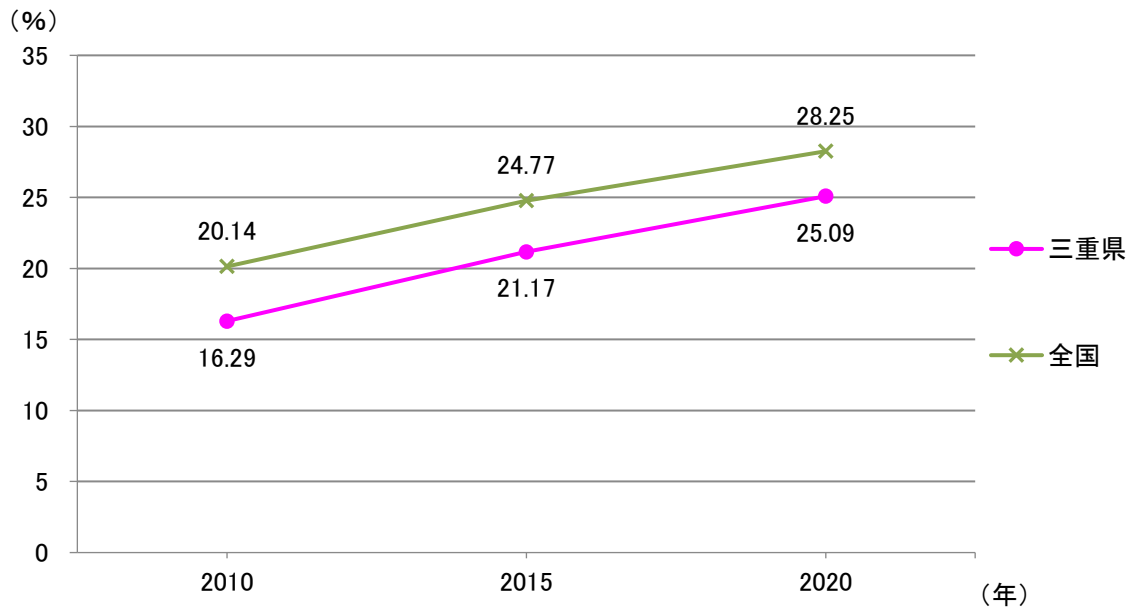
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-10 平均初婚年齢(女性)



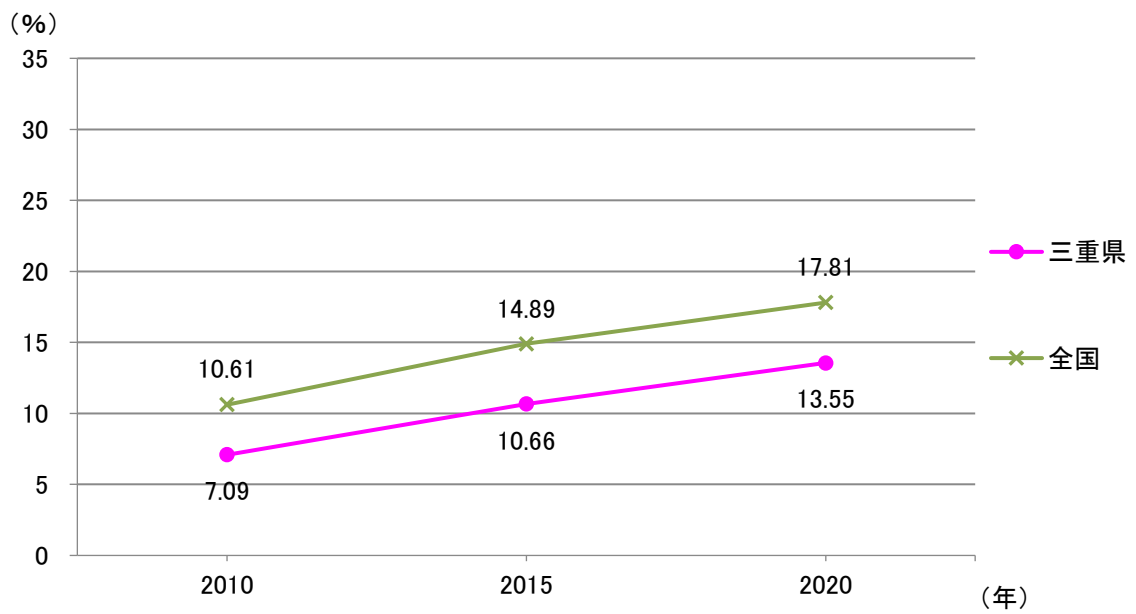
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-11 50 歳時未婚割合(男性)



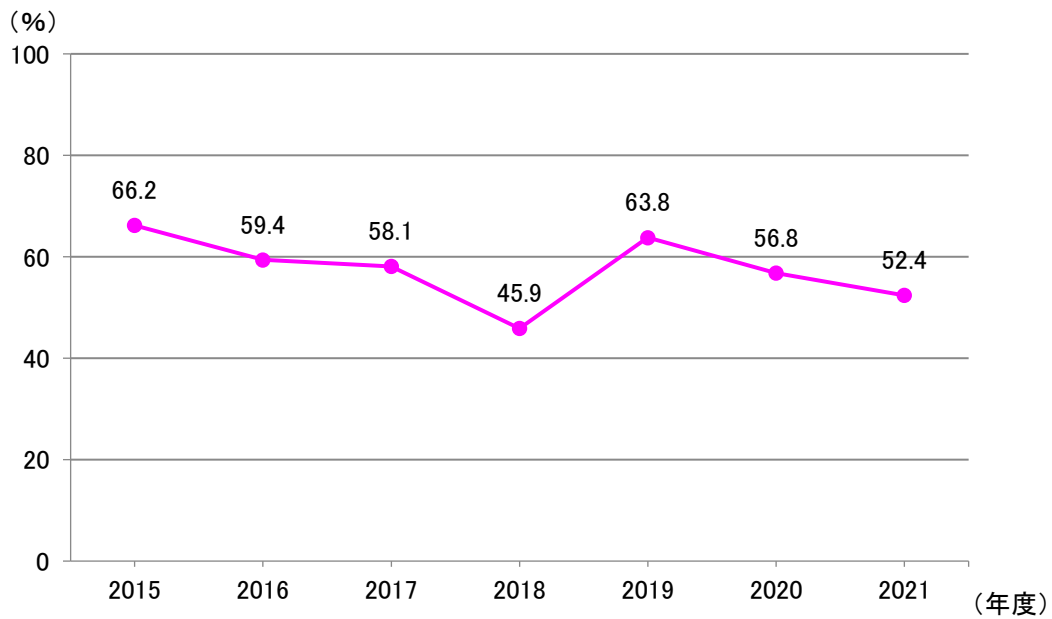
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-12 50 歳時未婚割合(女性)



(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-13 「いずれ結婚するつもり」と考える県民の割合



(資料) 三重県「みえ県民意識調査」

■若年者等の雇用対策に関連する指標

	2019 (年度)	2020 (年度)	2021 (年度)
県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合	41.8%	43.5%	44.0%

(資料) 三重県「みえ子どもスマイルレポート」

3. 妊娠・出産に関連する指標

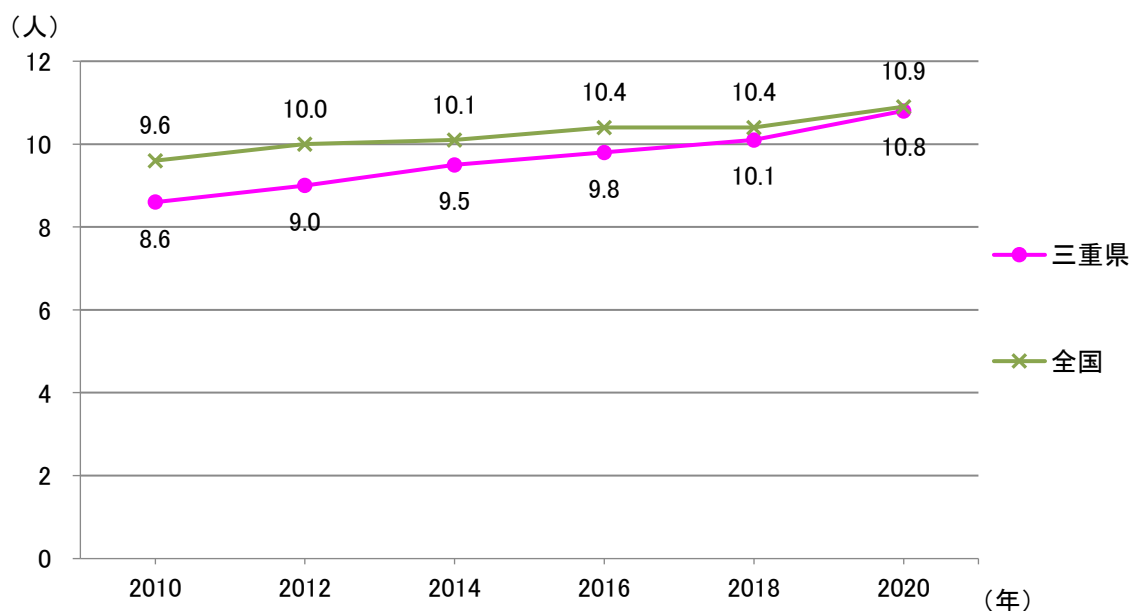
三重県における人口 10 万人あたりの産婦人科医師数は、全国値を下回る状況で推移しているが、その差は徐々に縮小し、2020 年には概ね同水準となっている。

三重県内の助産師数についても、全国と同等に増加傾向にあり、2010 年から 2020 年にかけて、170 名ほど増加している。

また、母子保健において重要な指標である周産期死亡率（妊娠満 22 週以後の死産と生後 1 週未満の早期新生児死亡）は、全国と同様に減少傾向にあり、2018 年以降は全国値を下回っている。

しかし、晩婚化、未婚化の影響により、出生数については、全国と同様に減少が続いている。

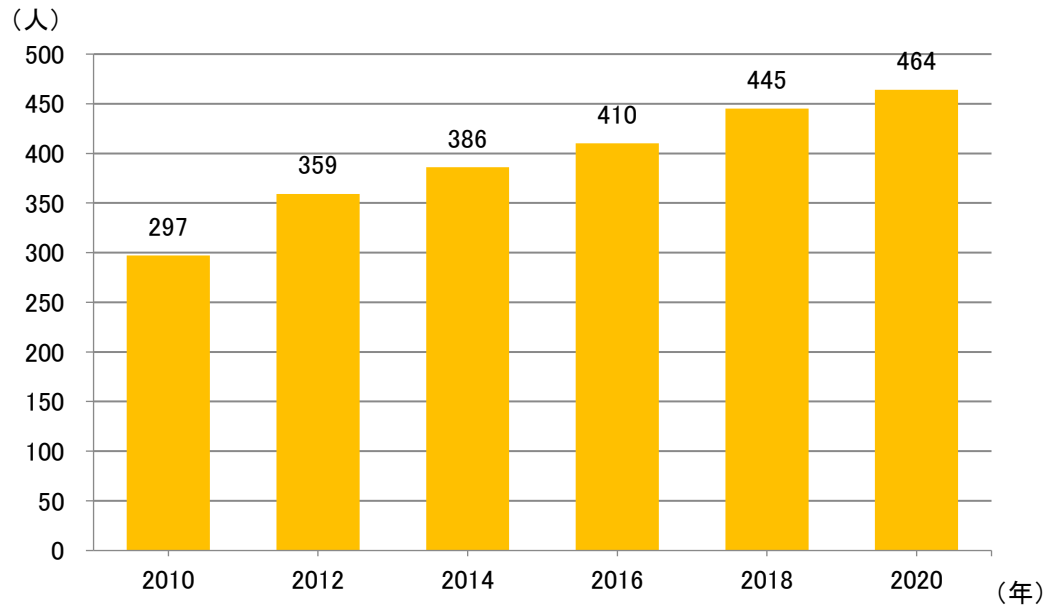
図表 II-14 人口 10 万人あたりの産婦人科医師数



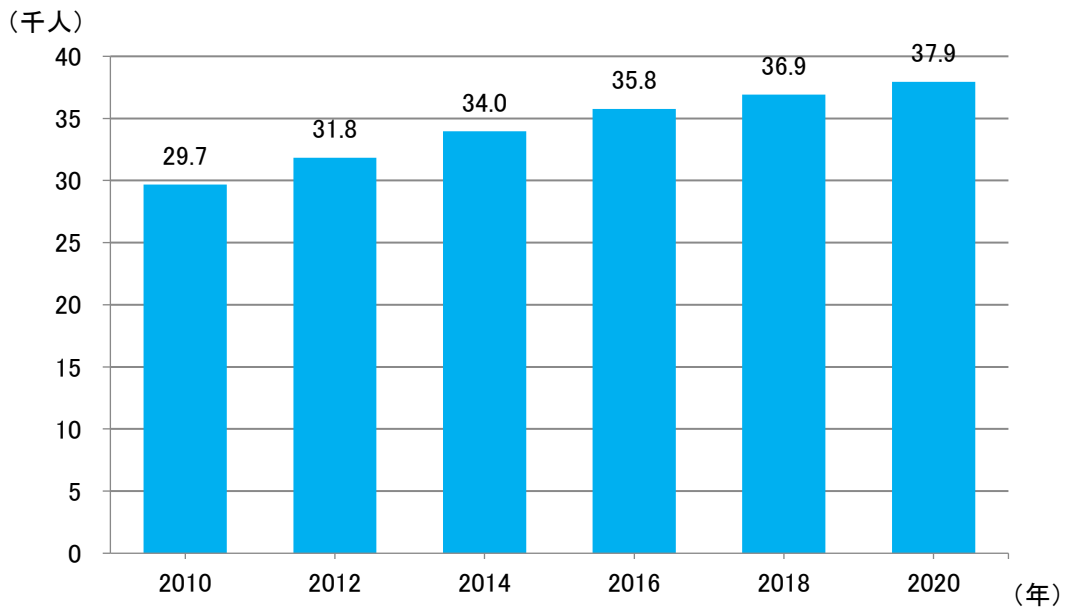
(資料)厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

図表 II-15 就業助産師数

【三重県】

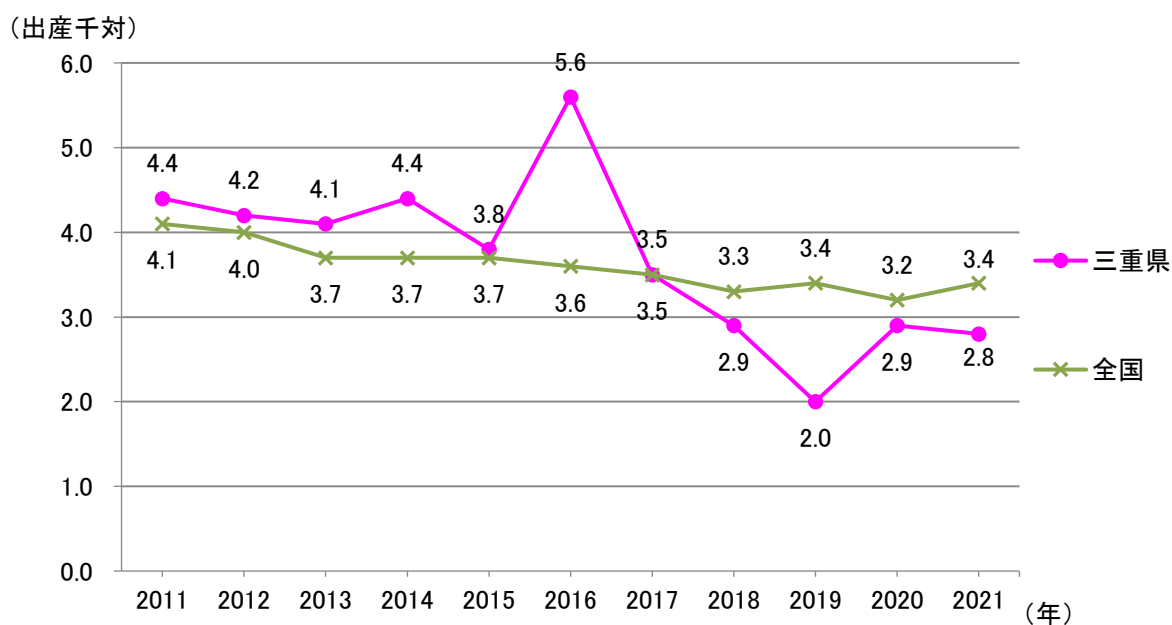


【全国】



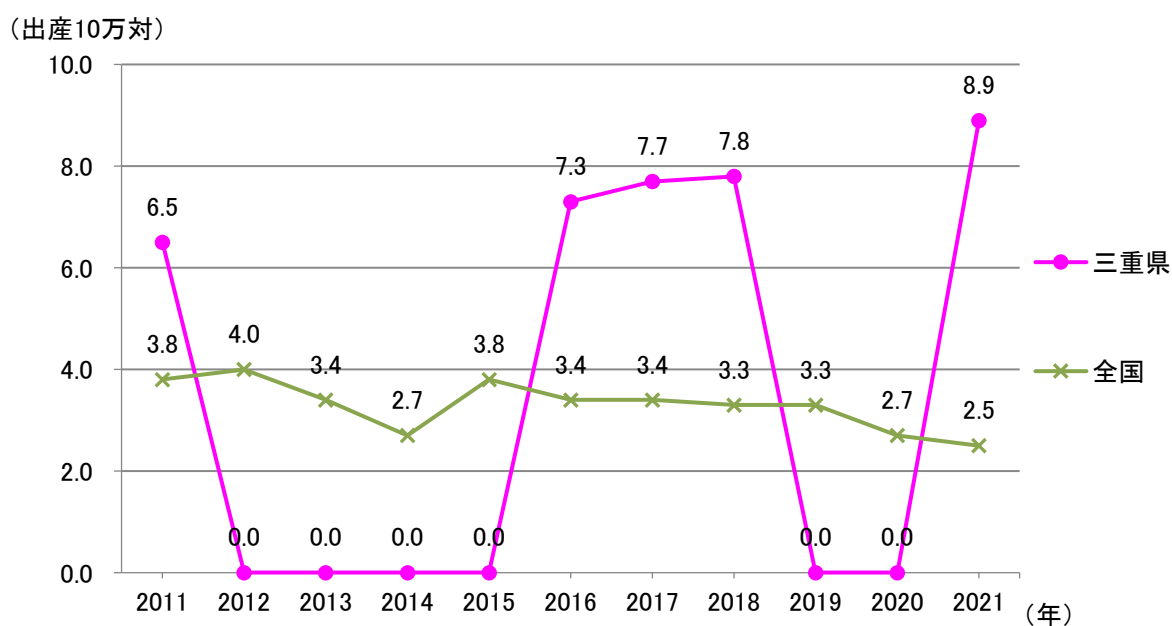
(資料) 厚生労働省「衛生行政報告例」

図表 II-16 周産期死亡率



(資料) 厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-17 妊産婦死亡率



(資料) 厚生労働省「人口動態統計」

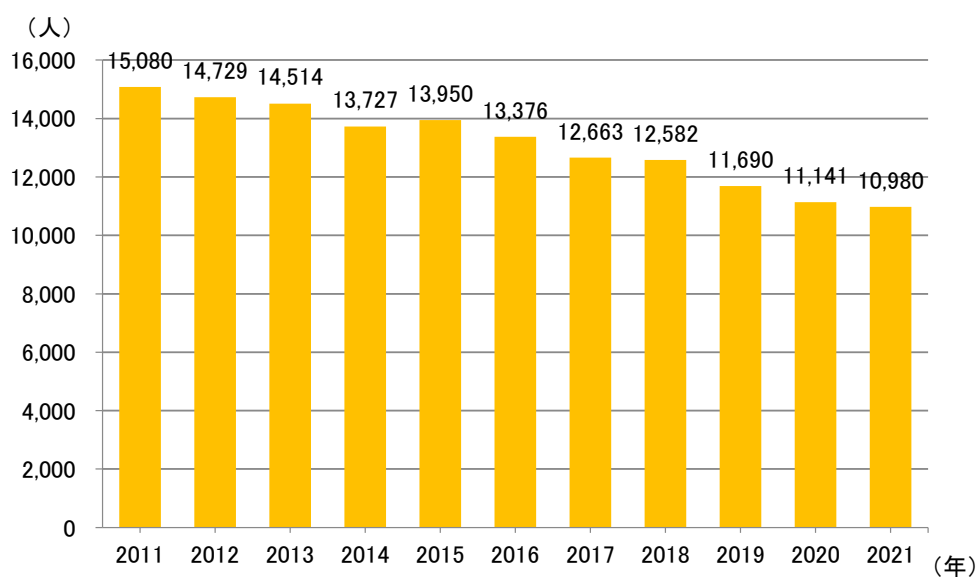
■妊娠・出産に関連する指標

	2019 (年度)	2020 (年度)	2021 (年度)
県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数	17	20	22
不妊治療に職場の理解があると感じている人の割合	48.6%	49.8%	51.4%
「不妊専門相談センター」への相談件数	138	197	291
母子保健コーディネーター養成数(累計)	169	194	227
産婦健診・産後ケアを実施している市町数	19	24	27

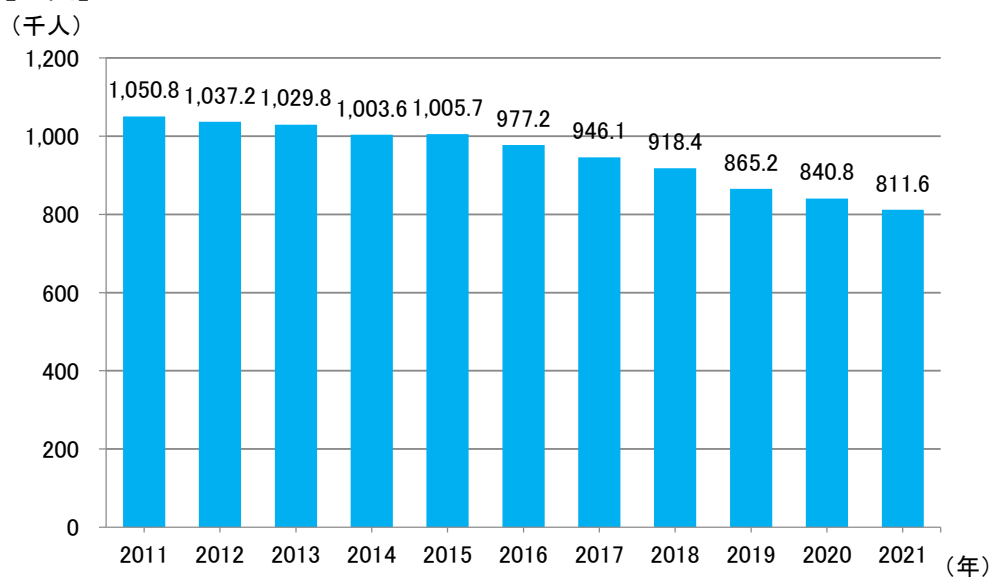
(資料) 三重県「みえ子どもスマイルレポート」

図表 II-18 出生数(総数)

【三重県】



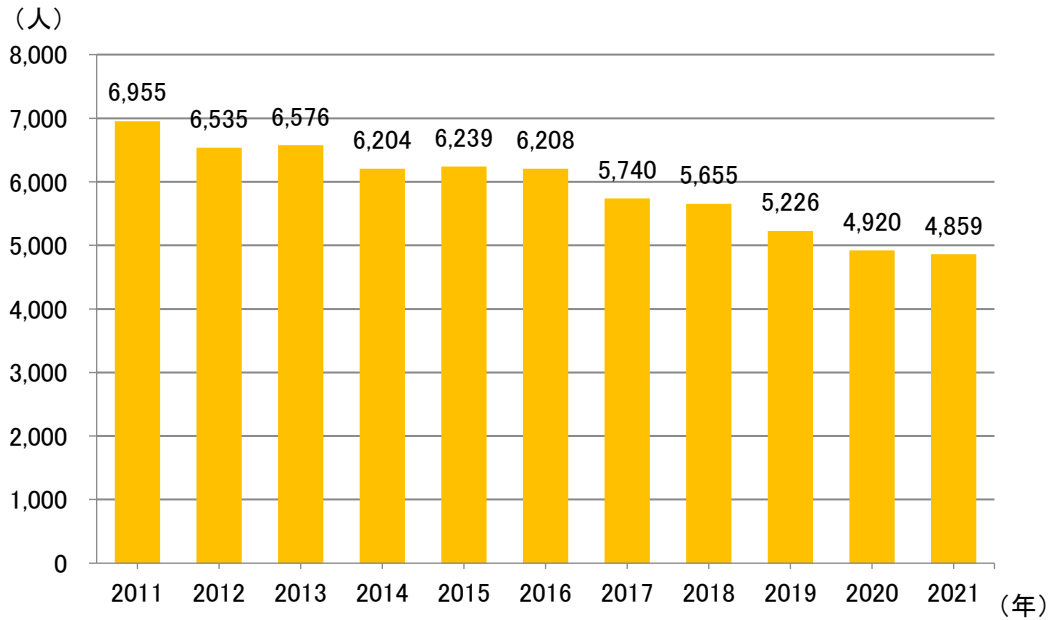
【全国】



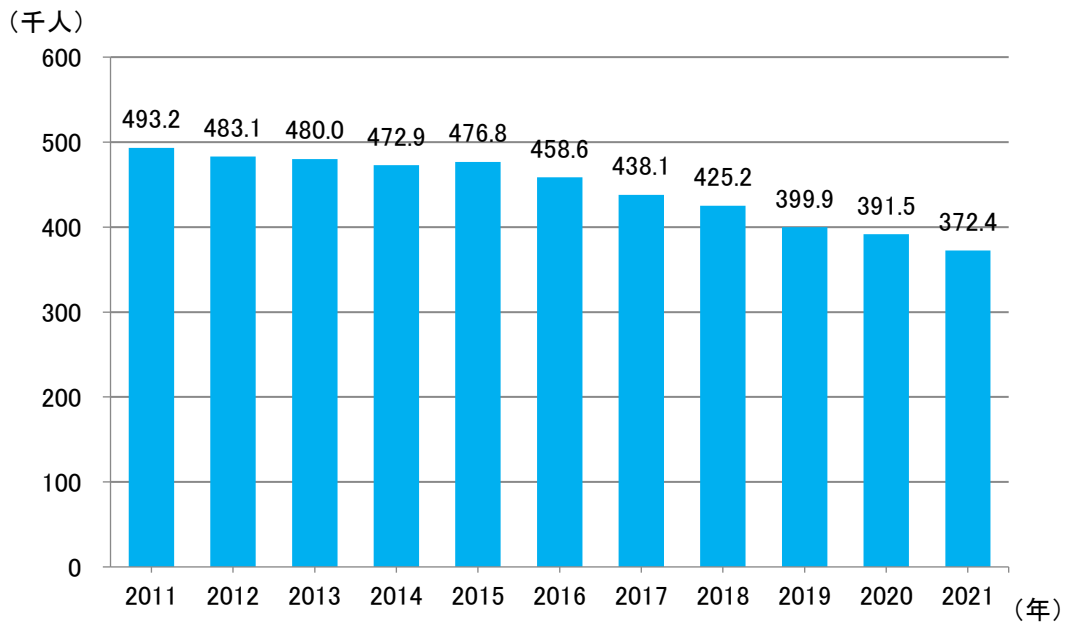
(資料) 厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-19 出生数(第1子)

【三重県】



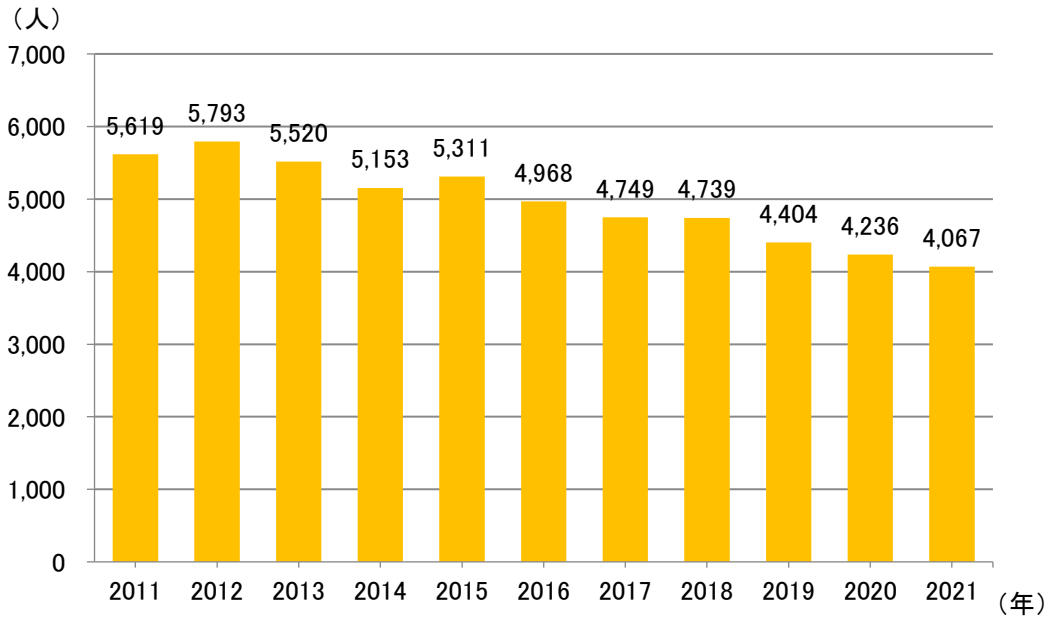
【全国】



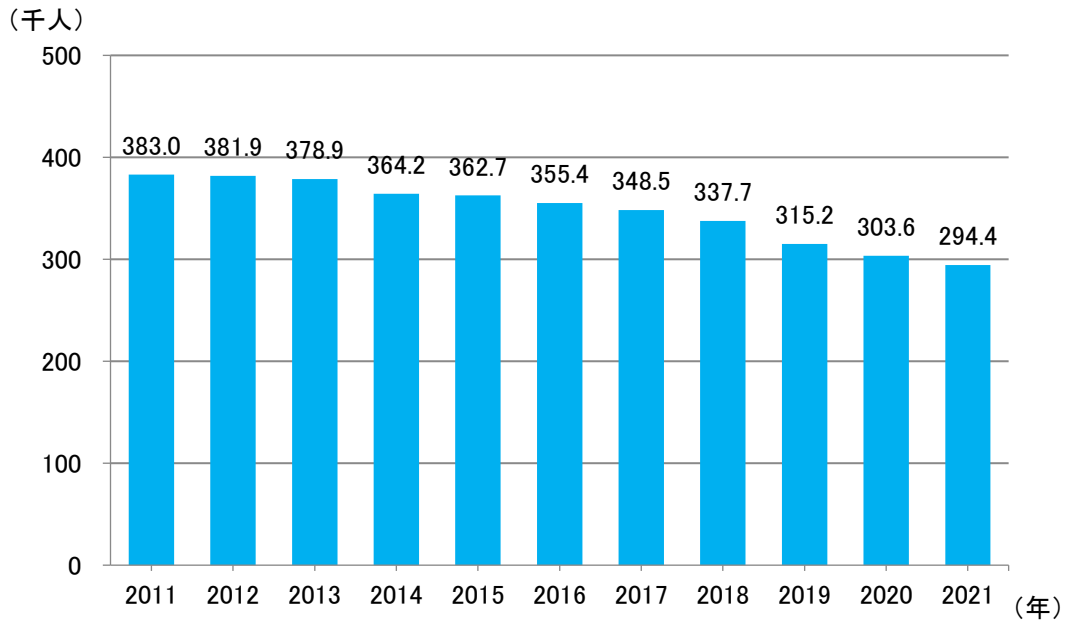
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-20 出生数(第2子)

【三重県】

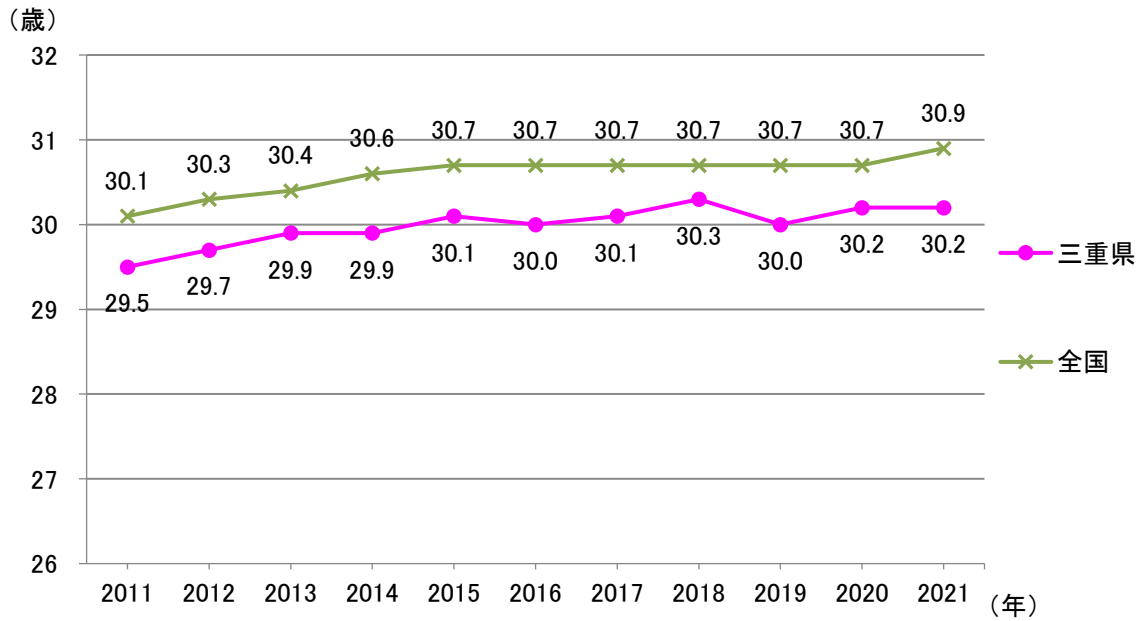


【全国】



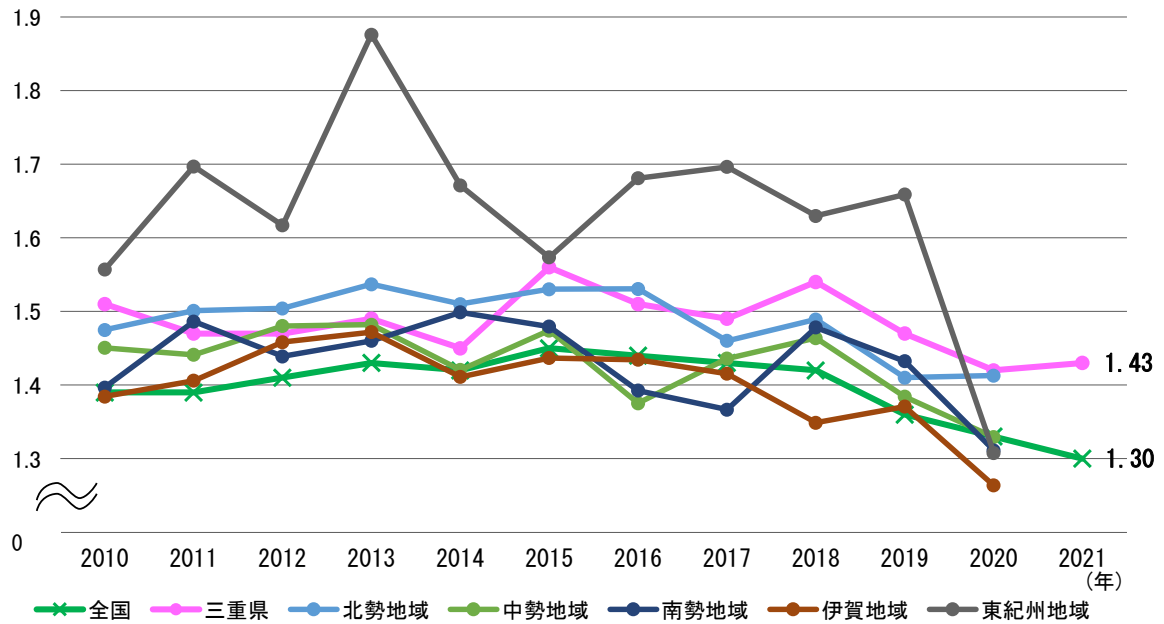
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-21 出生児の母の平均年齢(第1子)



(資料)厚生労働省「人口動態統計」

図表 II-22 合計特殊出生率



(資料)厚生労働省「人口動態統計」 三重県「三重県の人口動態」

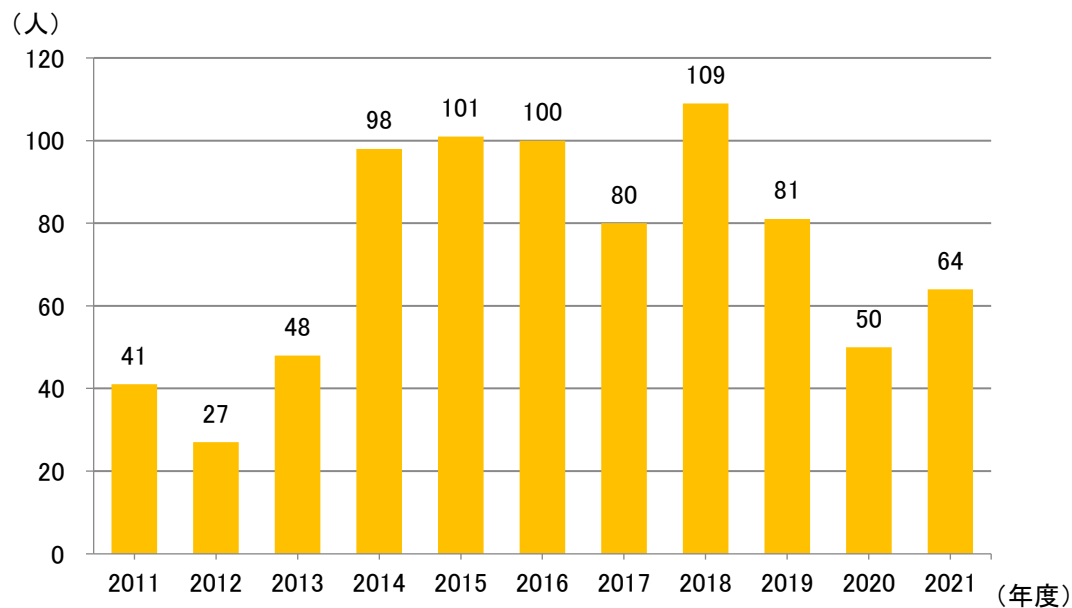
4. 子育てに関連する指標

三重県における保育所等の待機児童数は、2013年から2014年にかけて大きく増加し、2018年まで概ね横ばいで推移してきたが、2019年以降は減少傾向にある。

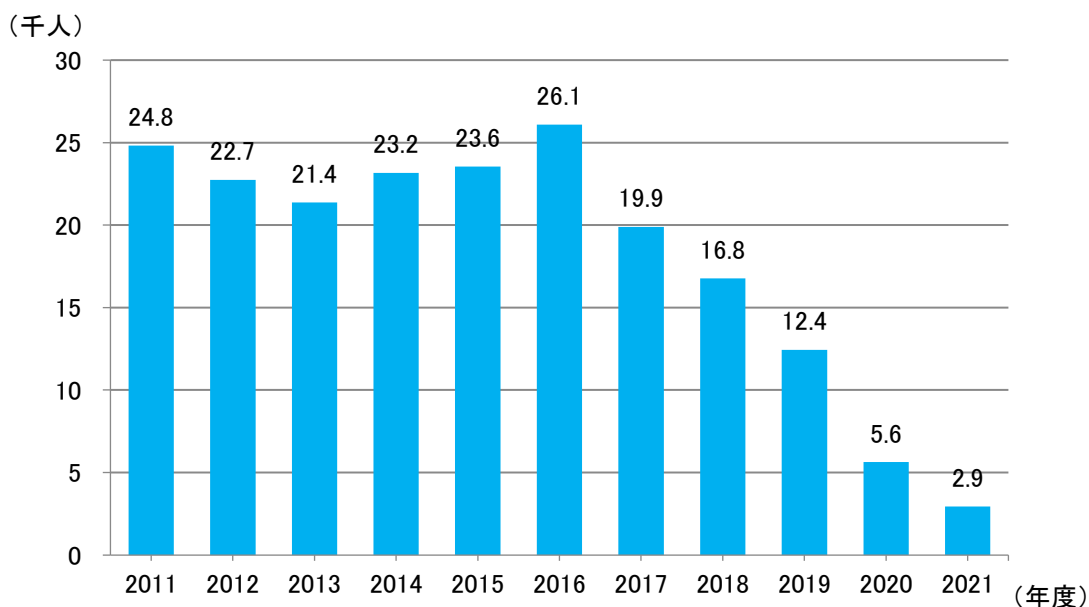
また、保育士の勤続年数は、全国平均を下回る年次が多く、2021年では全国平均を3年ほど下回っている。

図表 II-23 保育所等の待機児童数

【三重県】

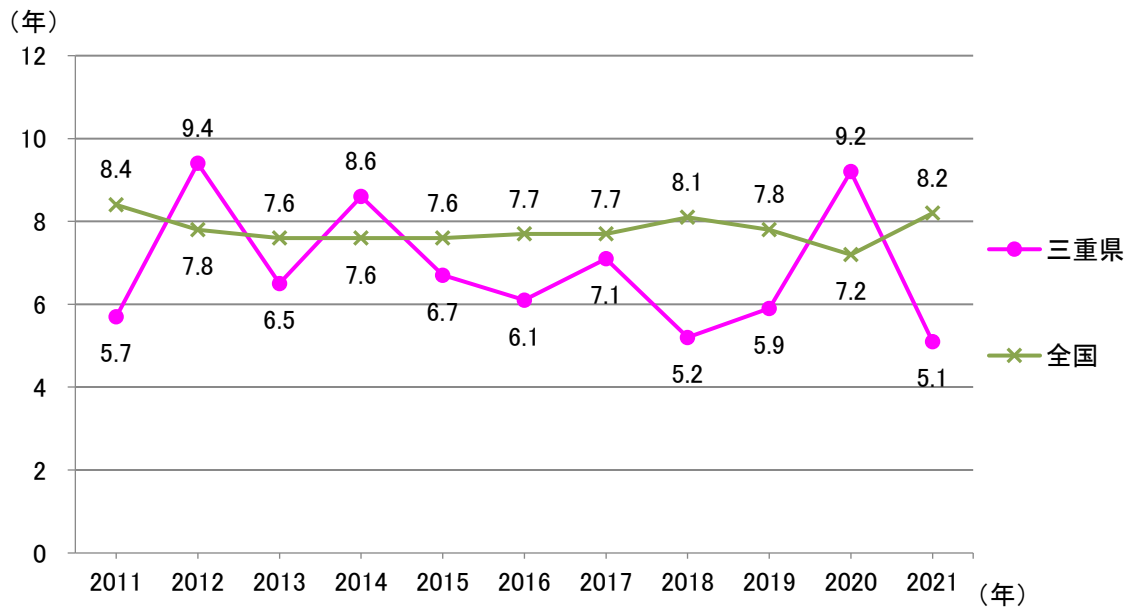


【全国】



(資料)厚生労働省「保育所児童等利用待機児童数調査」

図表 II-24 保育士の勤続年数

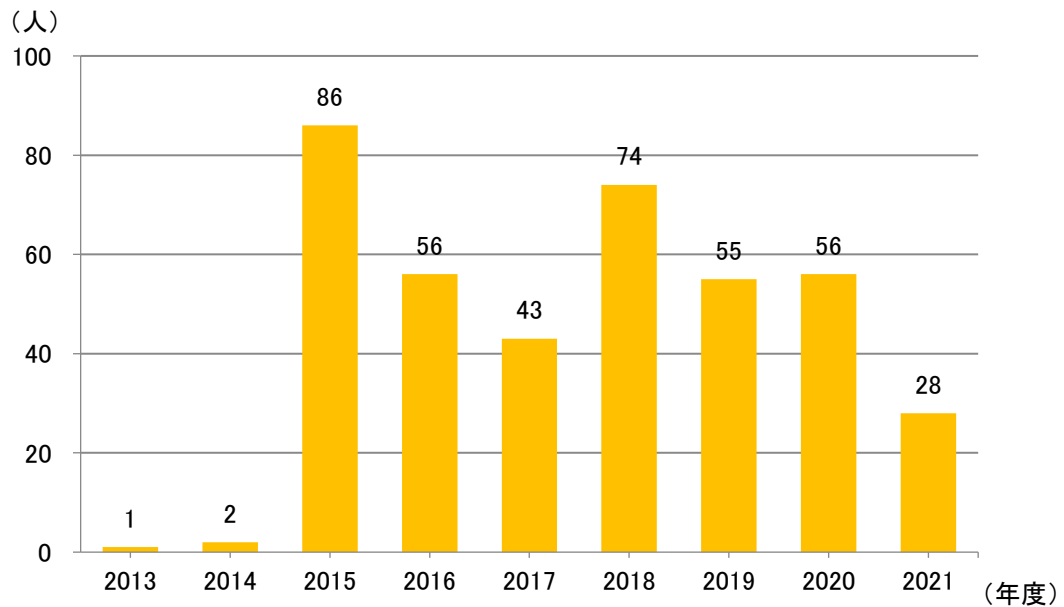


(資料)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

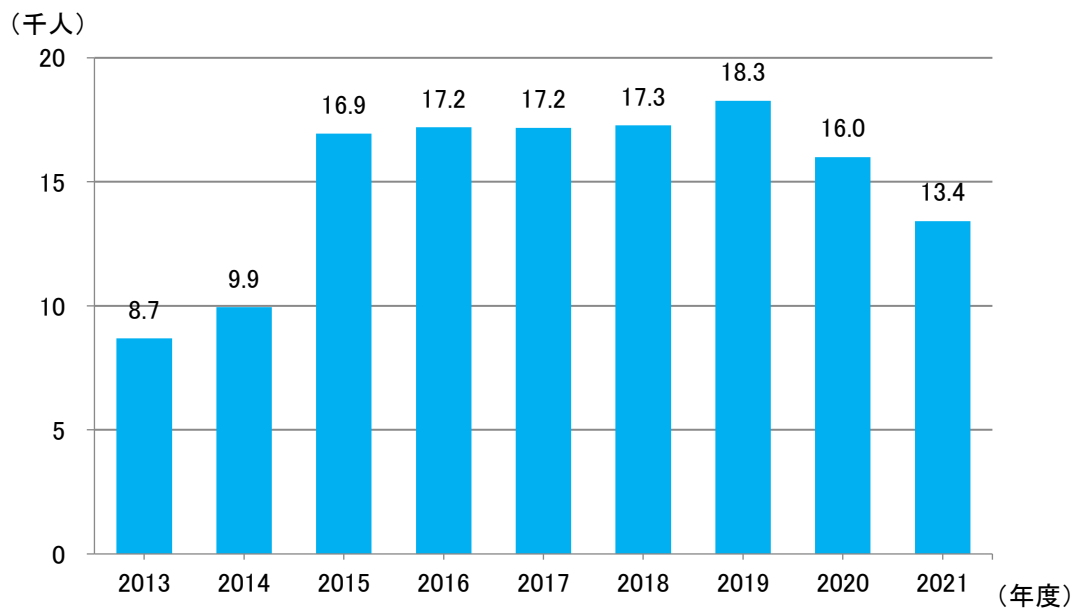
三重県における放課後児童クラブの待機児童数は、年によって増減があるものの、2015年以降、概ね減少傾向にある。2021年の待機児童数は、2015年以降で最も少なくなっている。

図表 II-25 放課後児童クラブの待機児童数

【三重県】



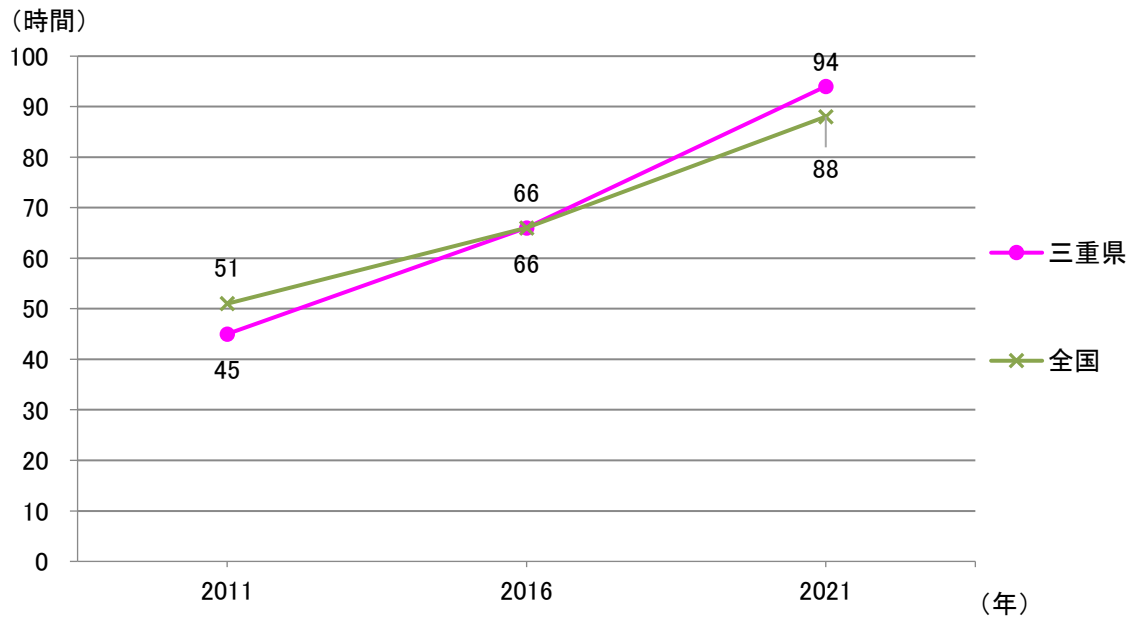
【全国】



(資料) 厚生労働省「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況調査」

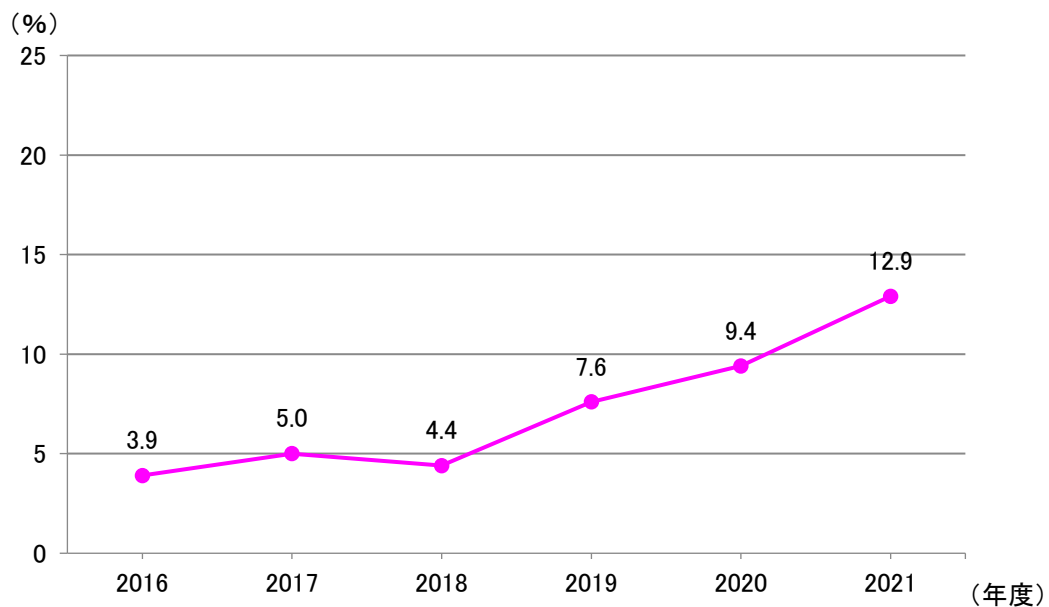
男性の家事・育児時間及び県内事業所における男性の育児休業取得率は、増加傾向にあり、男性の育児参加に対する理解が進みつつあると考えられる。

図表 II-26 男性の家事・育児時間



(資料)総務省「社会生活基本調査」

図表 II-27 男性の育児休業取得率



(資料)三重県「三重県内事業所等労働条件等実態調査」

■子育て家庭の支援に関連する指標

	2019 (年度)	2020 (年度)	2021 (年度)
「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業・団体数	82	84	114
県が関わって実施した「みえの親スマイルワーク」の実施市町数	4	5	10
「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合(県)	57.4%	59.4%	60.5%

(資料) 三重県「みえ子どもスマイルレポート」

■子どもへの医療的ケアに関連する指標

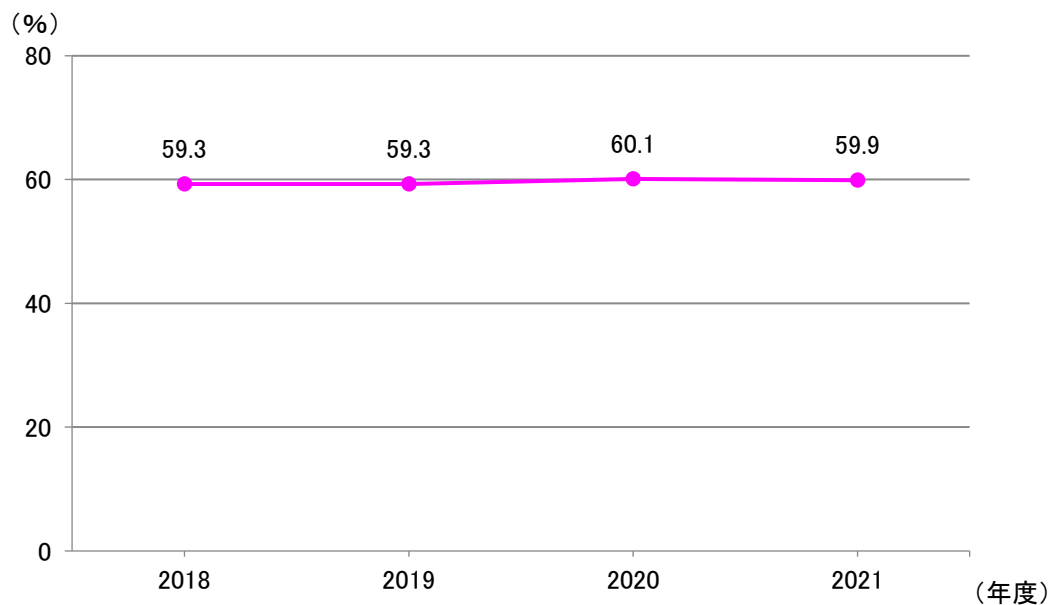
	2019 (年度)	2020 (年度)	2021 (年度)
5歳児健診を実施する市町数	7	7	8
在宅での医療的ケア児の数(20歳未満)		252	306
医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数(累計)	71	107	153

(資料) 三重県「みえ子どもスマイルレポート」

5. 働き方に関連する指標

出産後も働き続けることを希望する女性の割合は、60%前後を横ばいで推移しており、仕事と子育ての両立を実現できる環境づくりが求められている。

図表 II-28 女性が結婚・出産した場合の働き方について、「産前産後休暇や育児休業等を利用しながら、出産後も働き続ける(キャリアを継続する)方がよい」と考える人の割合



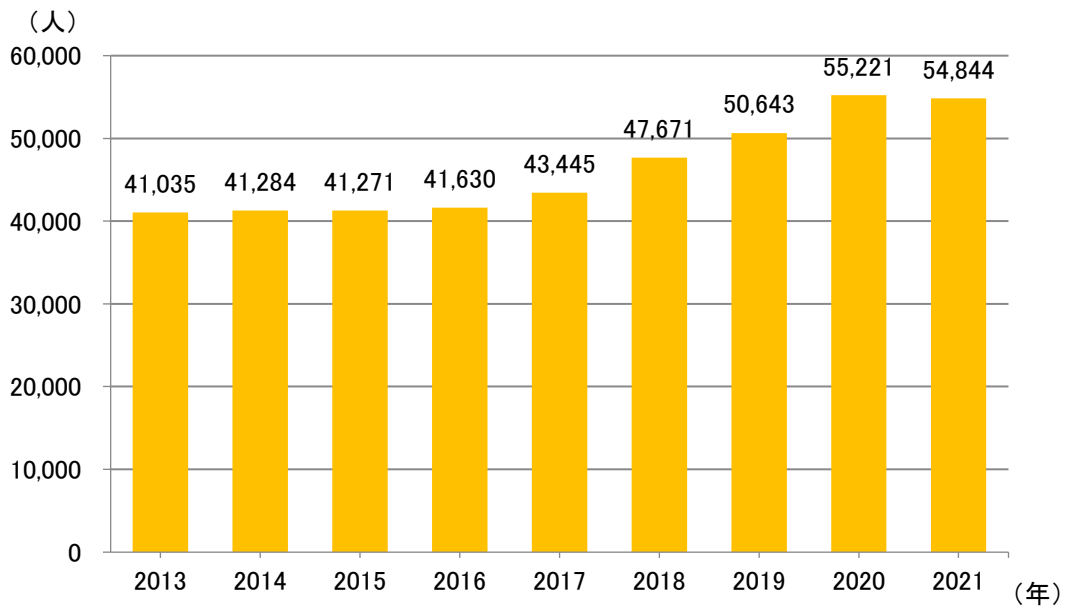
(資料)三重県「e モニター調査」

6. 環境の整備等に関連する指標

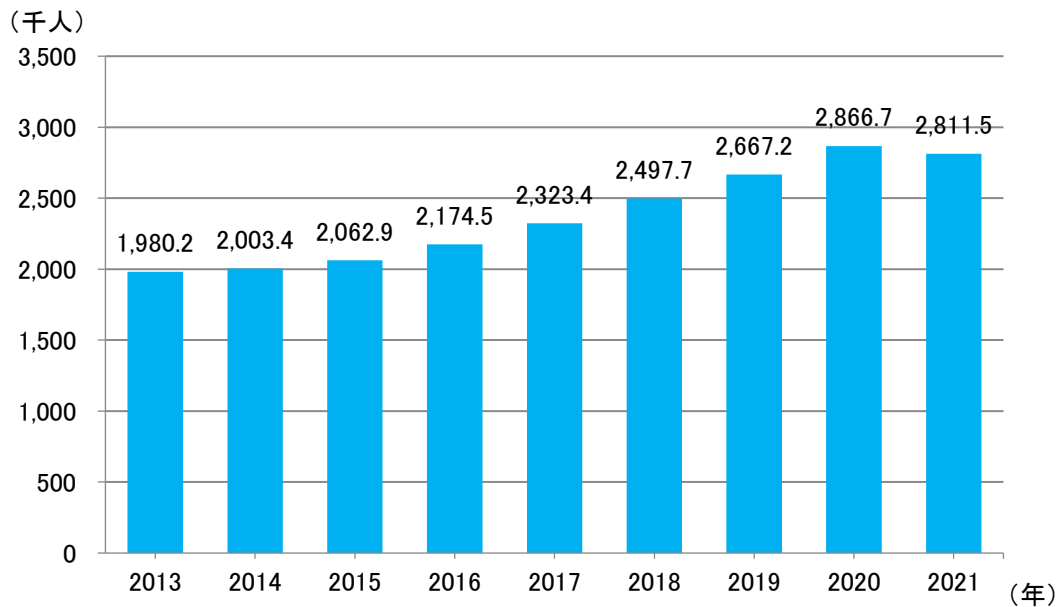
三重県において、外国人住民の数は年々増加し、特に、2018～2020年にかけては、数千人単位で増加している。外国人の増加に伴って、外国人の出生者数も増加傾向で推移している。

図表 II-29 外国人(住民数)

【三重県】



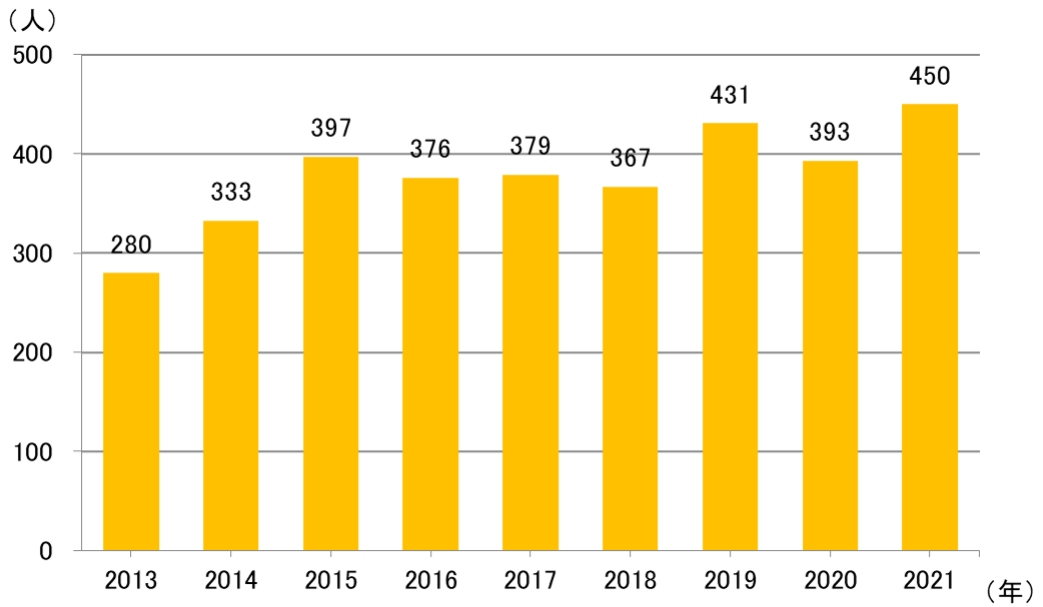
【全国】



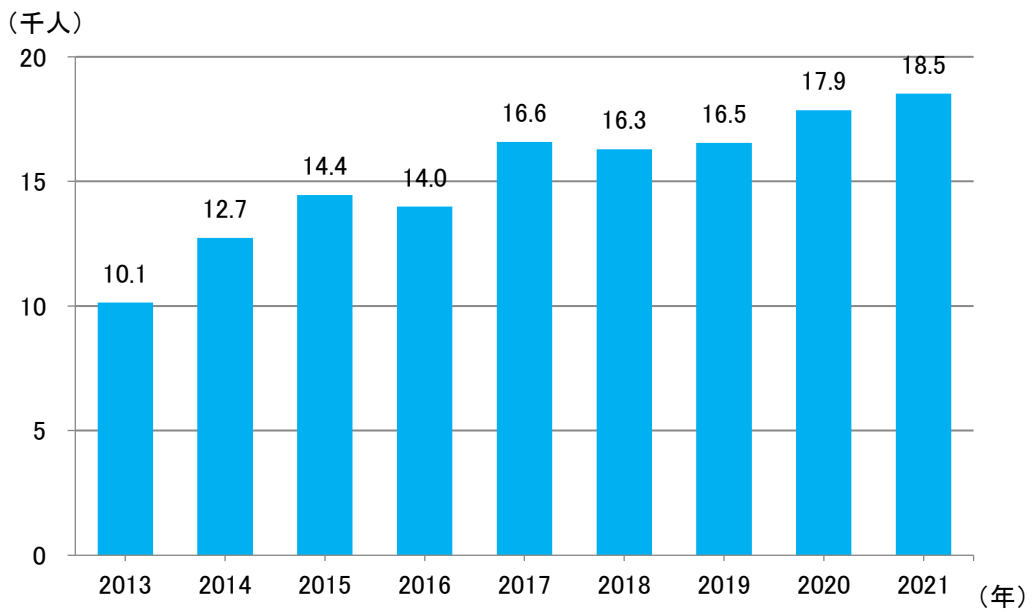
(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

図表 II-30 外国人(出生数)

【三重県】



【全国】

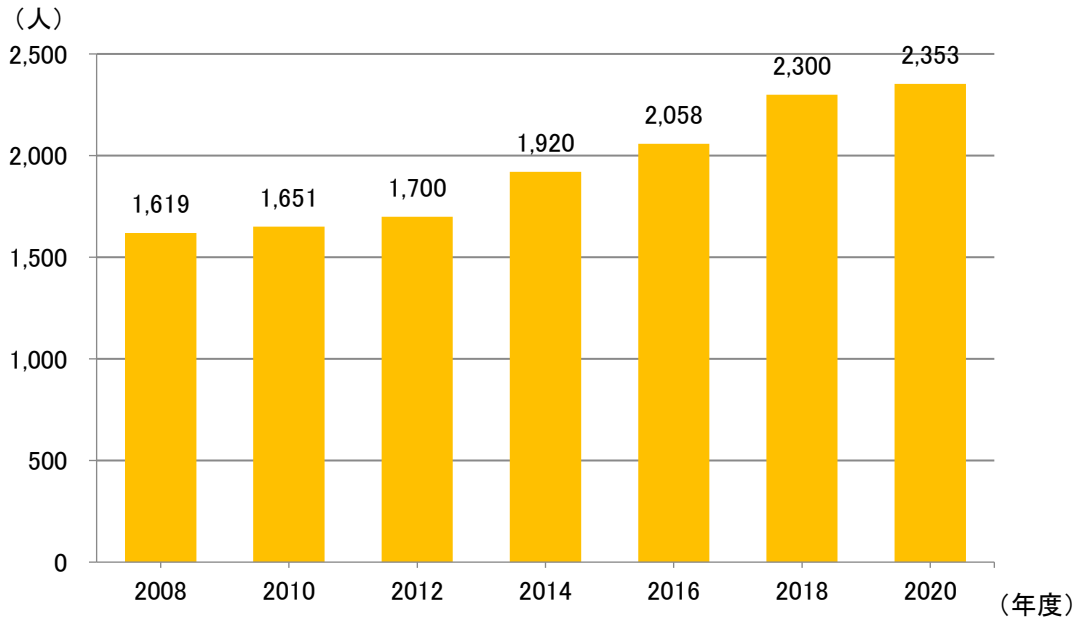


(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

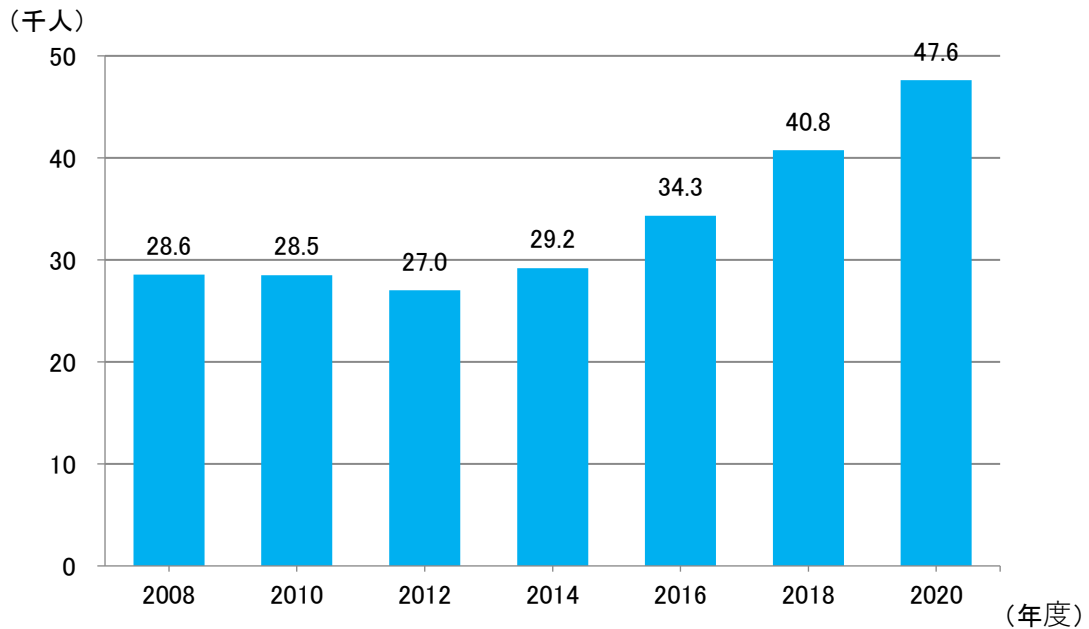
外国人住民の増加に伴い、保護者が日本語を母語としていないなどの理由により日本語指導を必要とする児童生徒の人数が全国的に増加しており、三重県においても、2010年以降一貫して増加傾向にある。

図表 II-31 日本語指導が必要な児童生徒の数(外国籍)

【三重県】



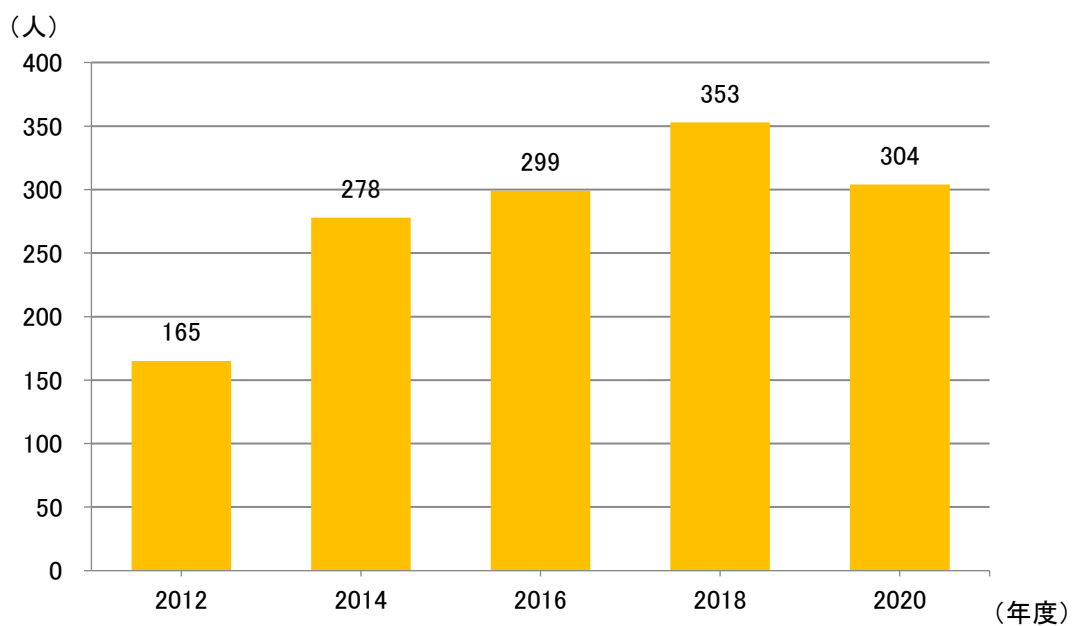
【全国】



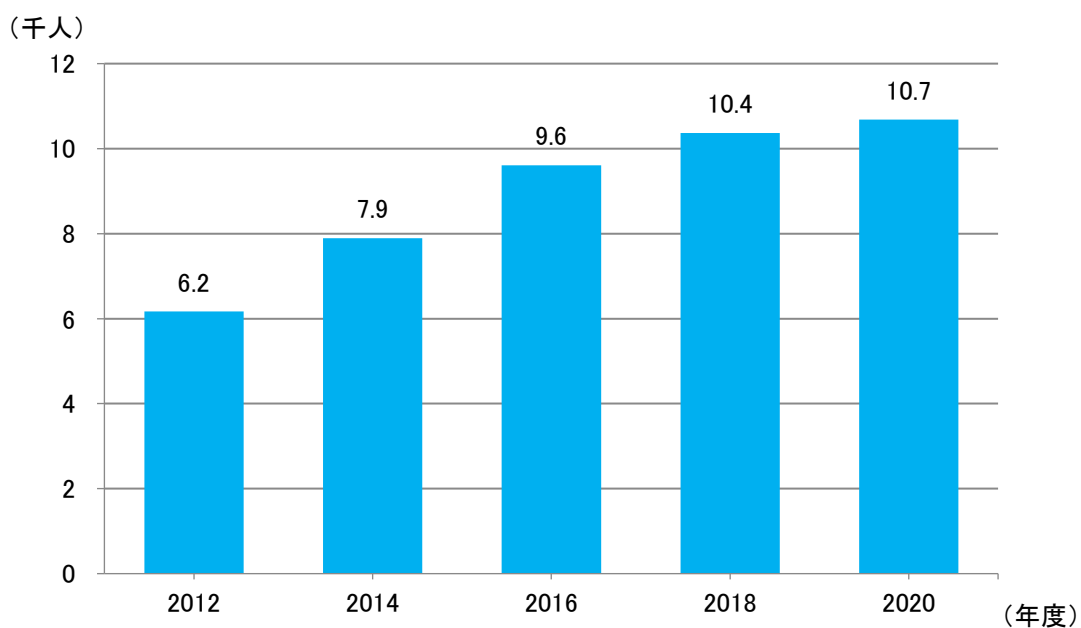
(資料) 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

図表 II-32 日本語指導が必要な児童生徒の数(日本国籍)

【三重県】



【全国】



(資料) 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

III. 社会増減に関するデータの収集・整理

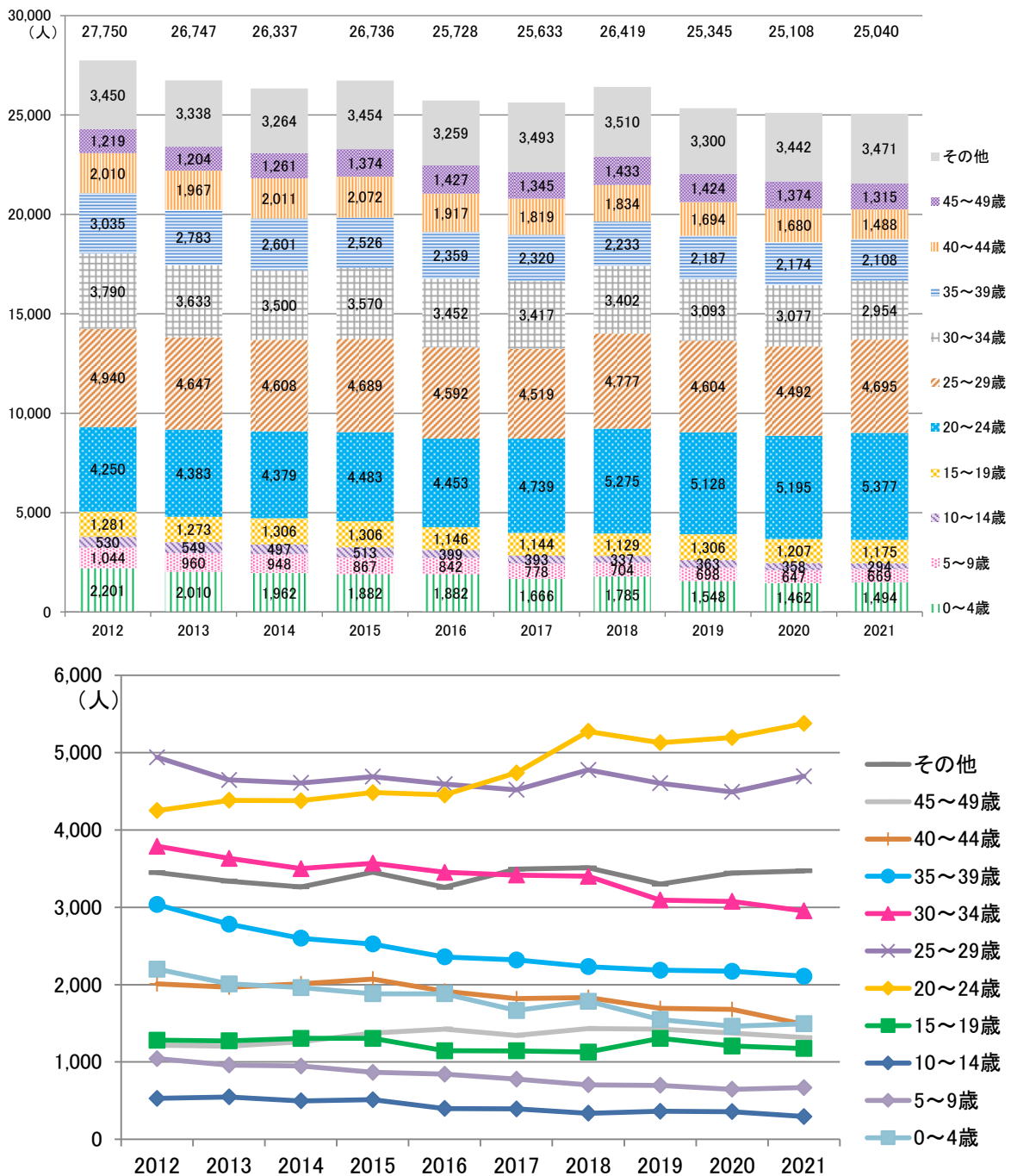
1. 三重県の人口移動状況

(1) 年齢5歳階級別

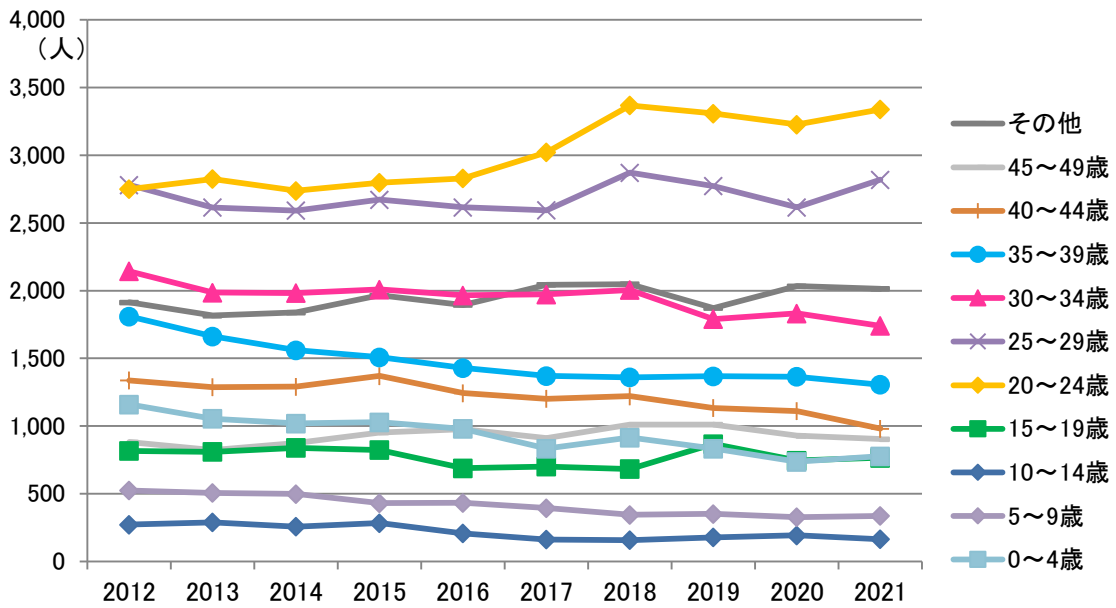
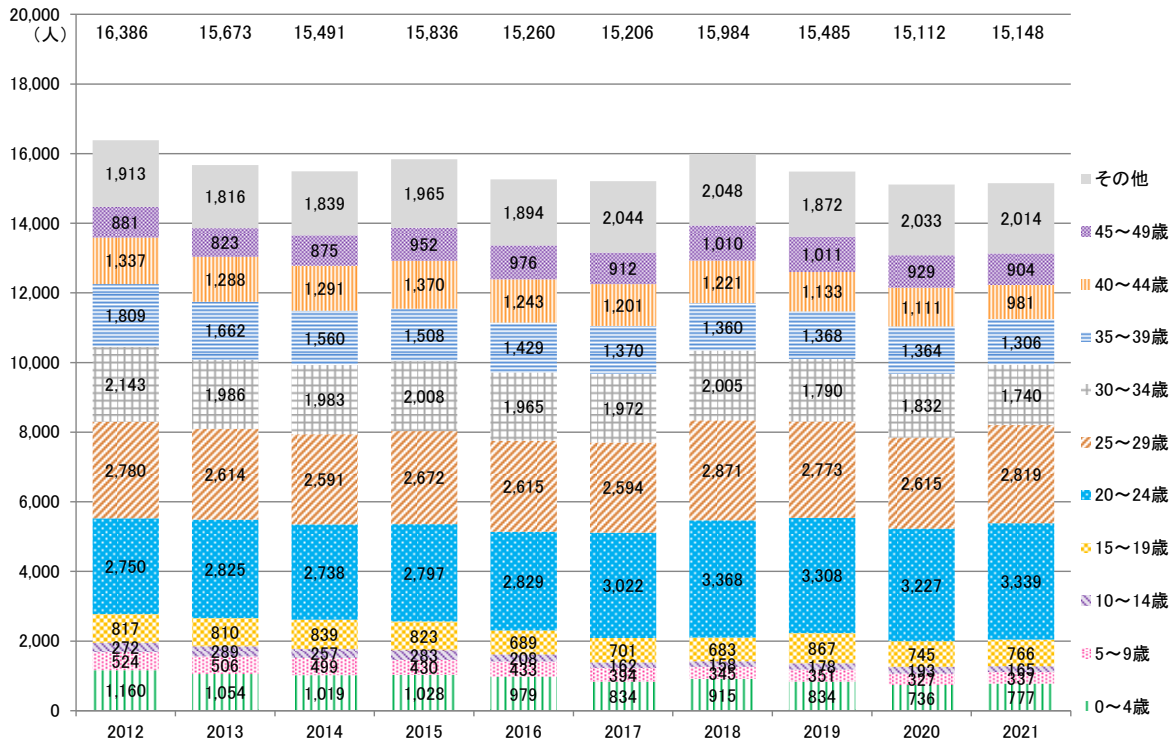
① 転入

年齢5歳階級別にみると、20歳代の転入者数が大きくなっている。20～24歳については、男女ともに増加傾向にあるが、25～29歳については、男性がやや増加傾向、女性が横ばいで推移している。

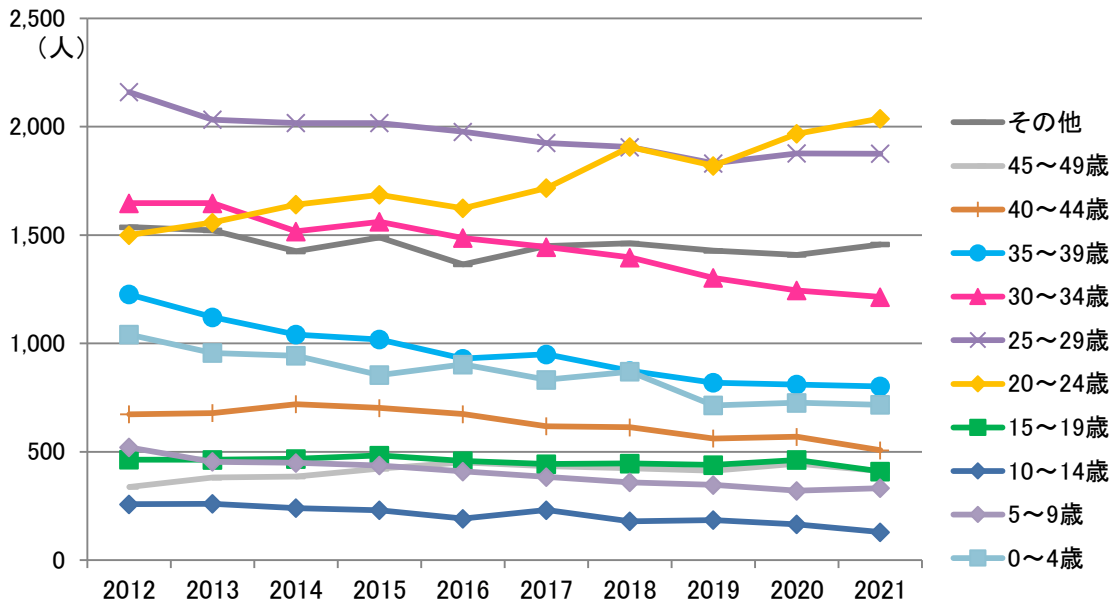
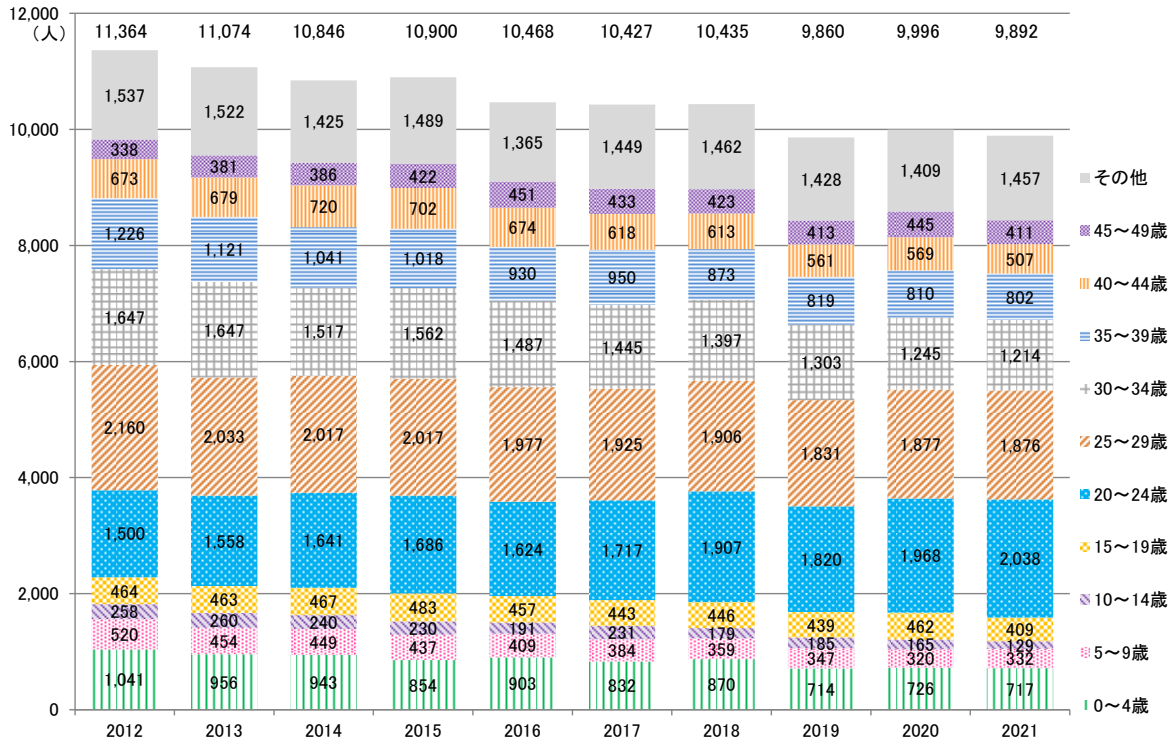
図表 III-1 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男女計-日本人のみ>



図表 III-2 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男性-日本人のみ>

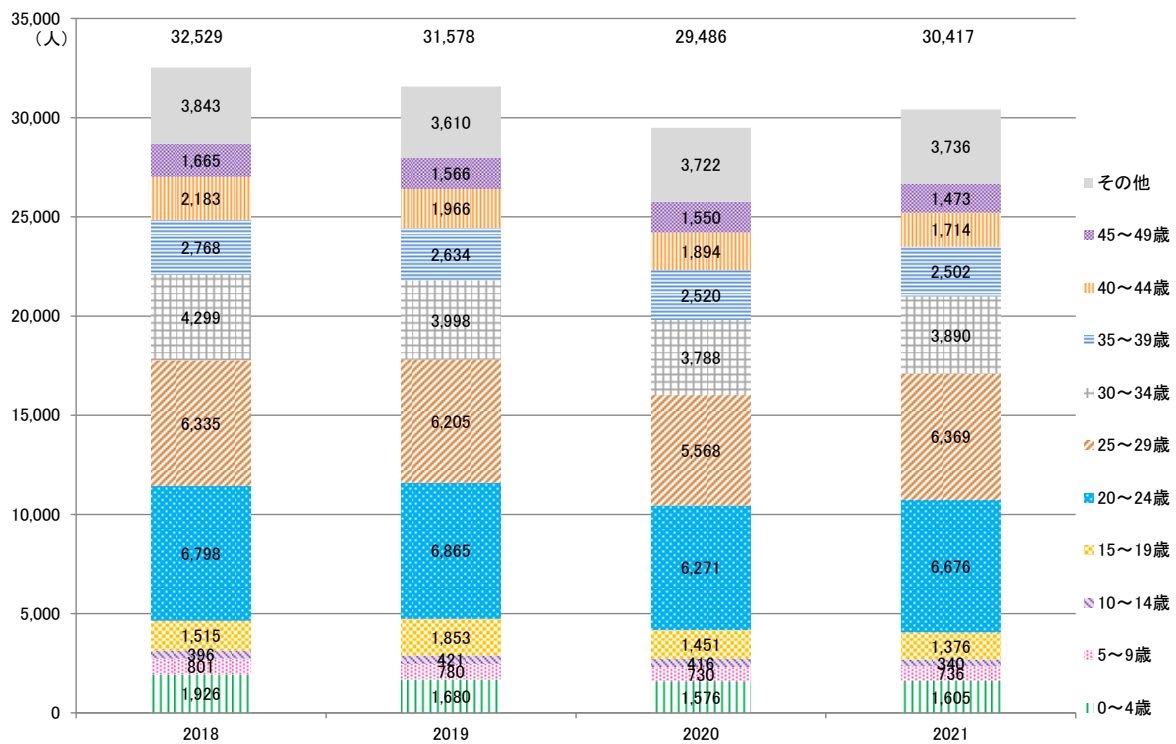


図表 III-3 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-女性-日本人のみ>

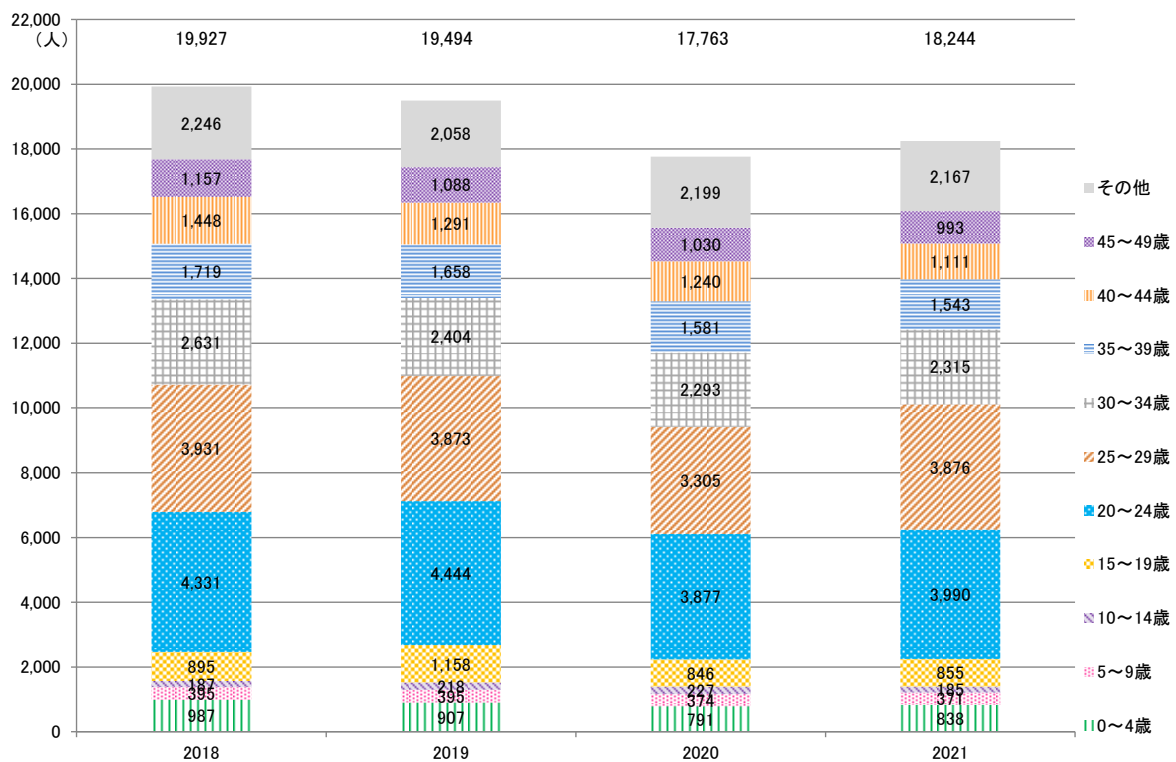


【参考】外国人を含む転入者数

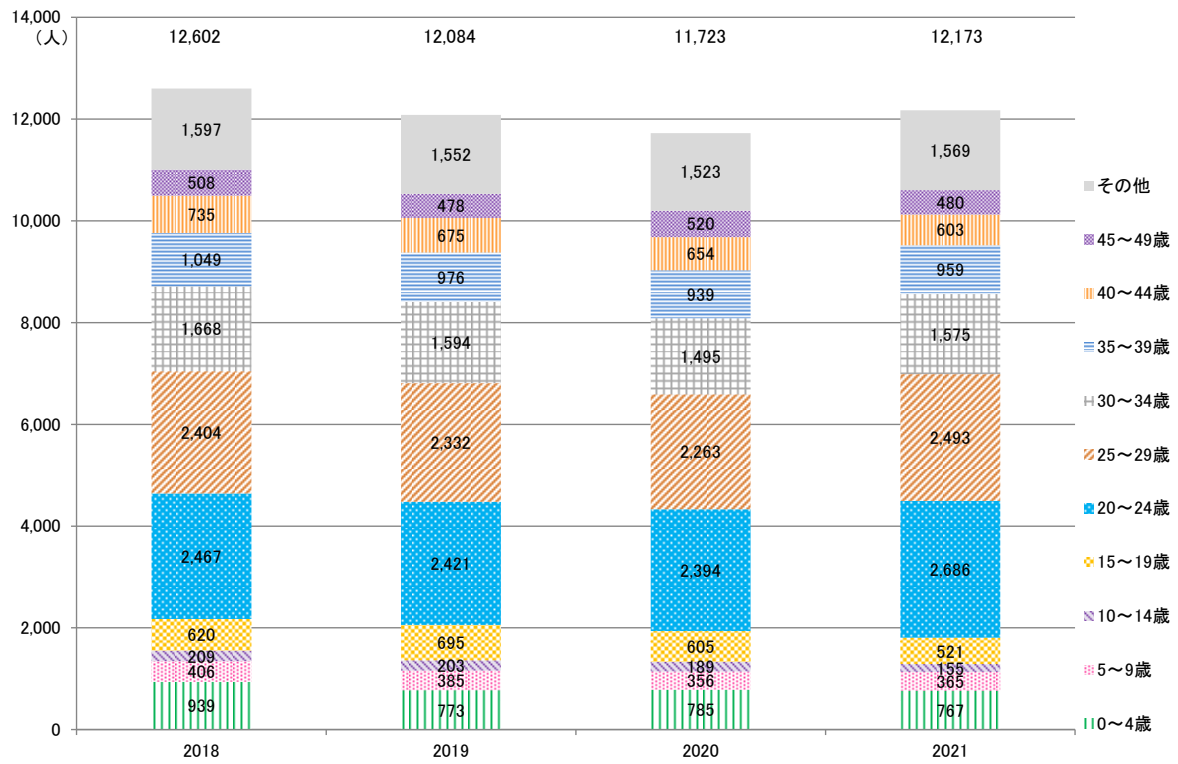
図表 III-4 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男女計-外国人を含む>



図表 III-5 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男性-外国人を含む>



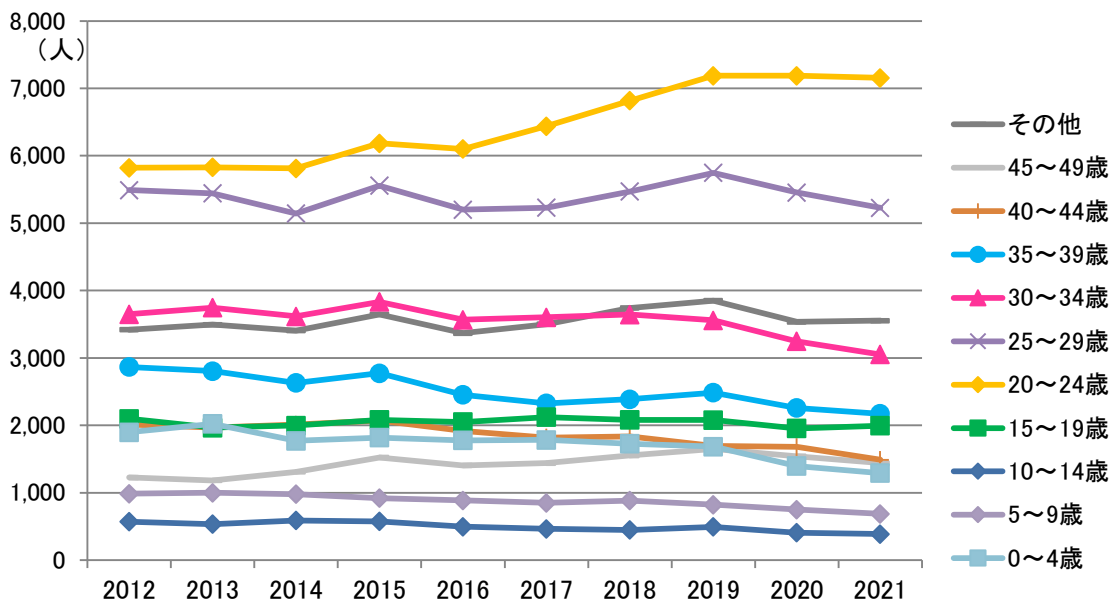
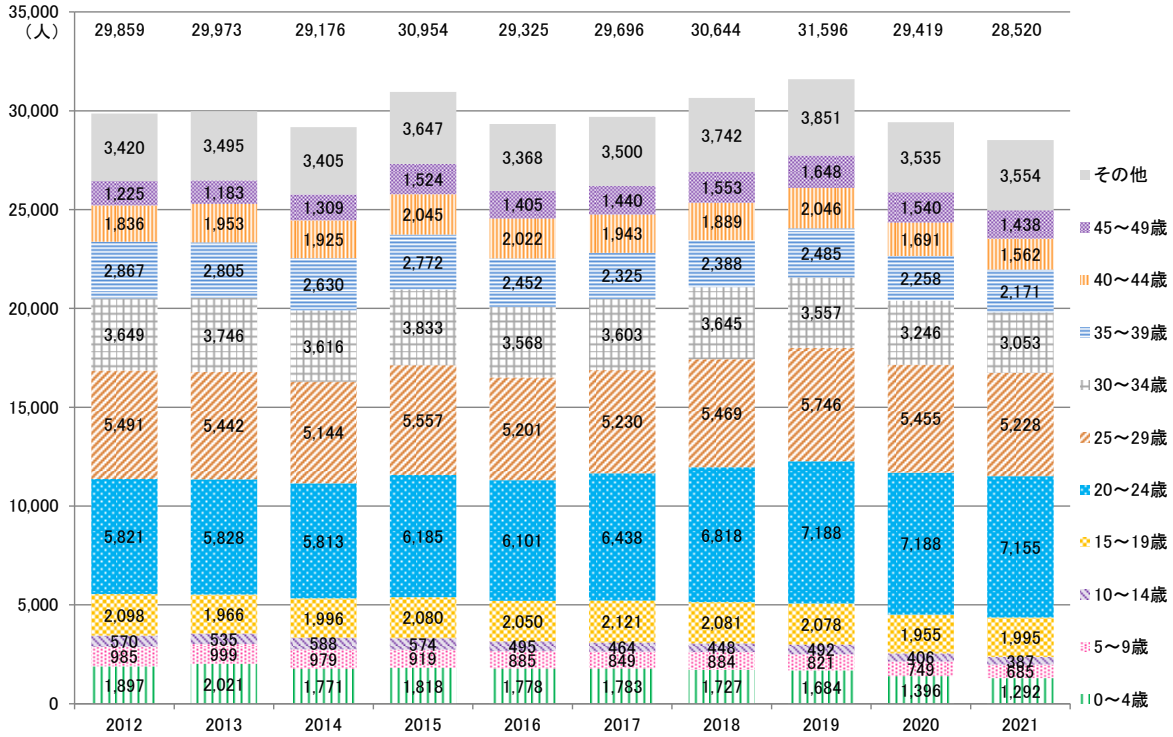
図表 III-6 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-女性-外国人を含む>



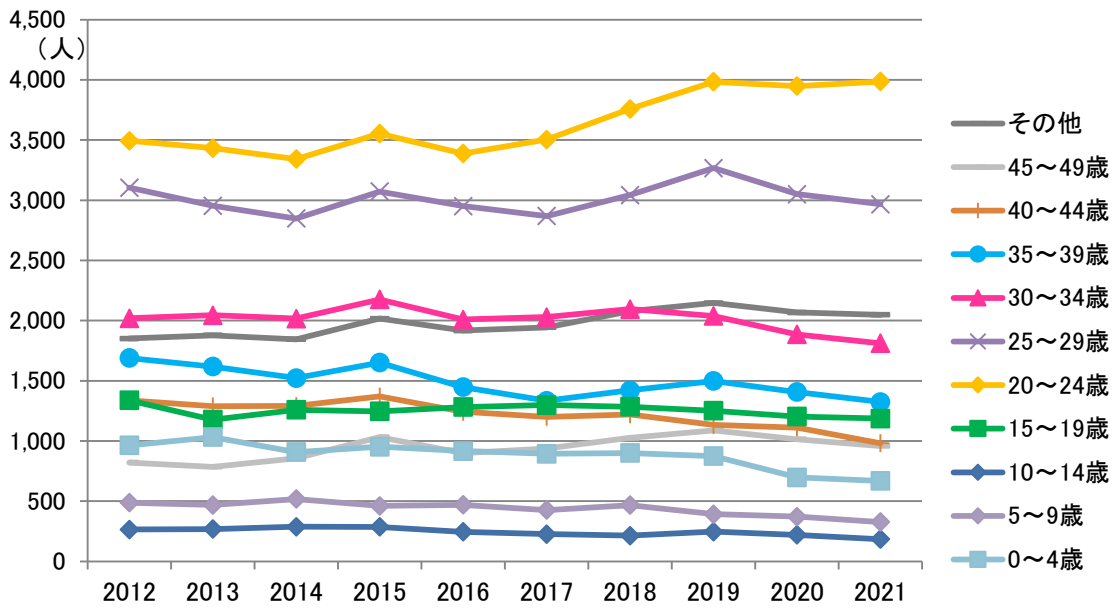
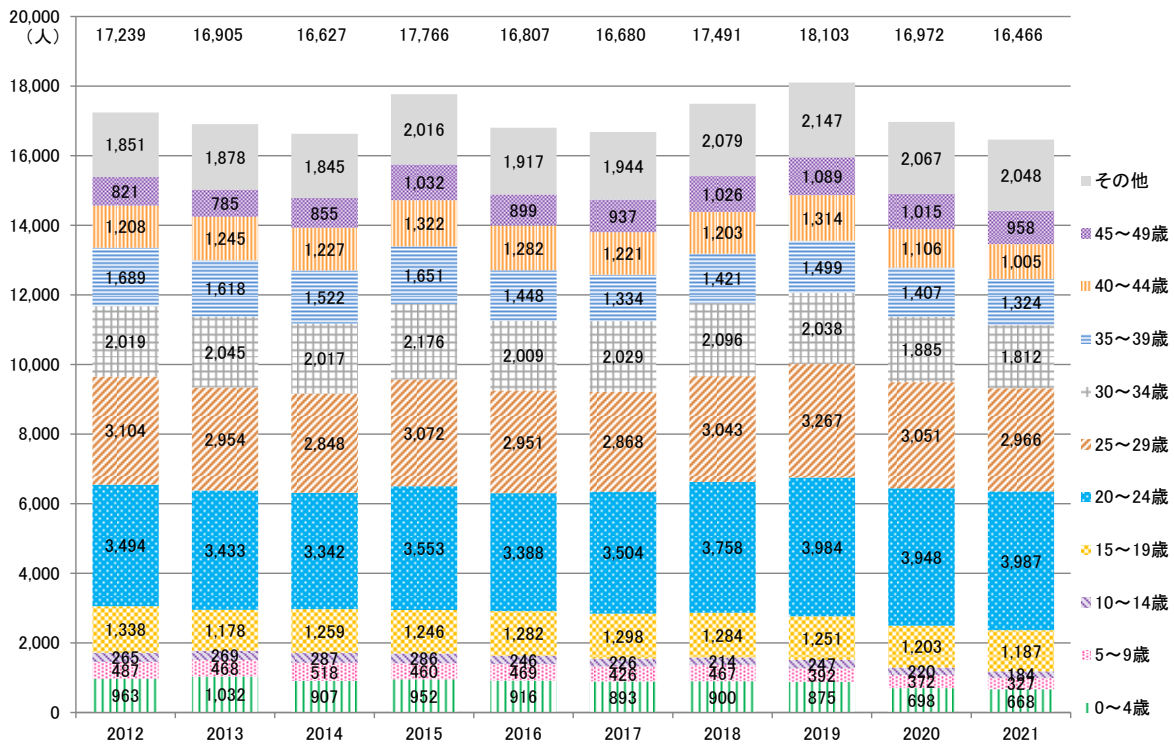
② 転出

年齢5歳階級別にみると、20歳代の転出者数が大きくなっている。20～24歳の転出者数は、2018年まで男女ともに増加傾向にあったが、2019年以降、男性はやや減少傾向で推移している。

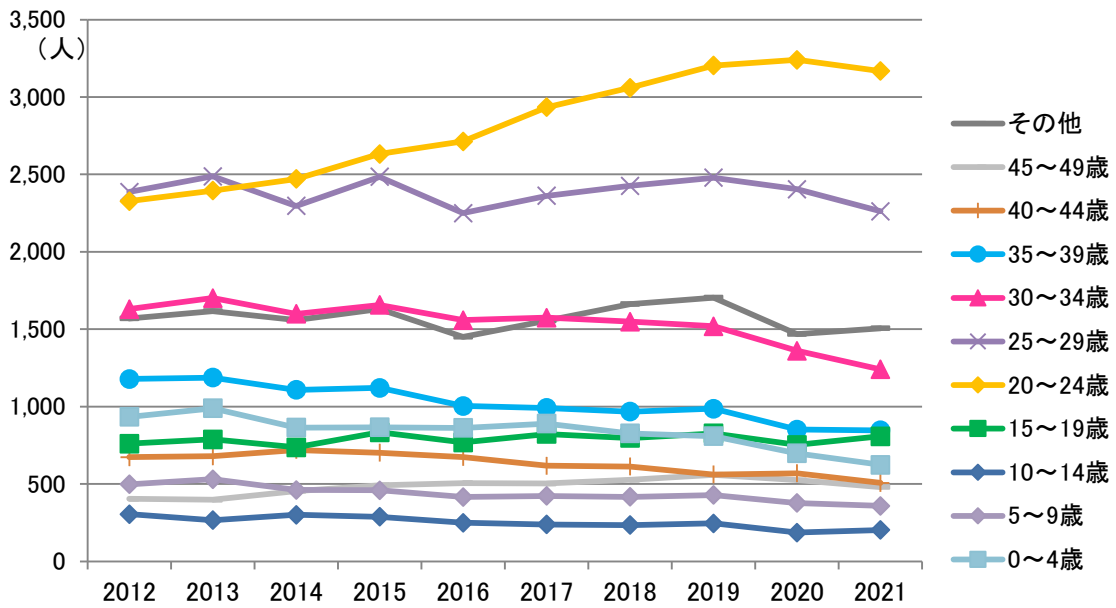
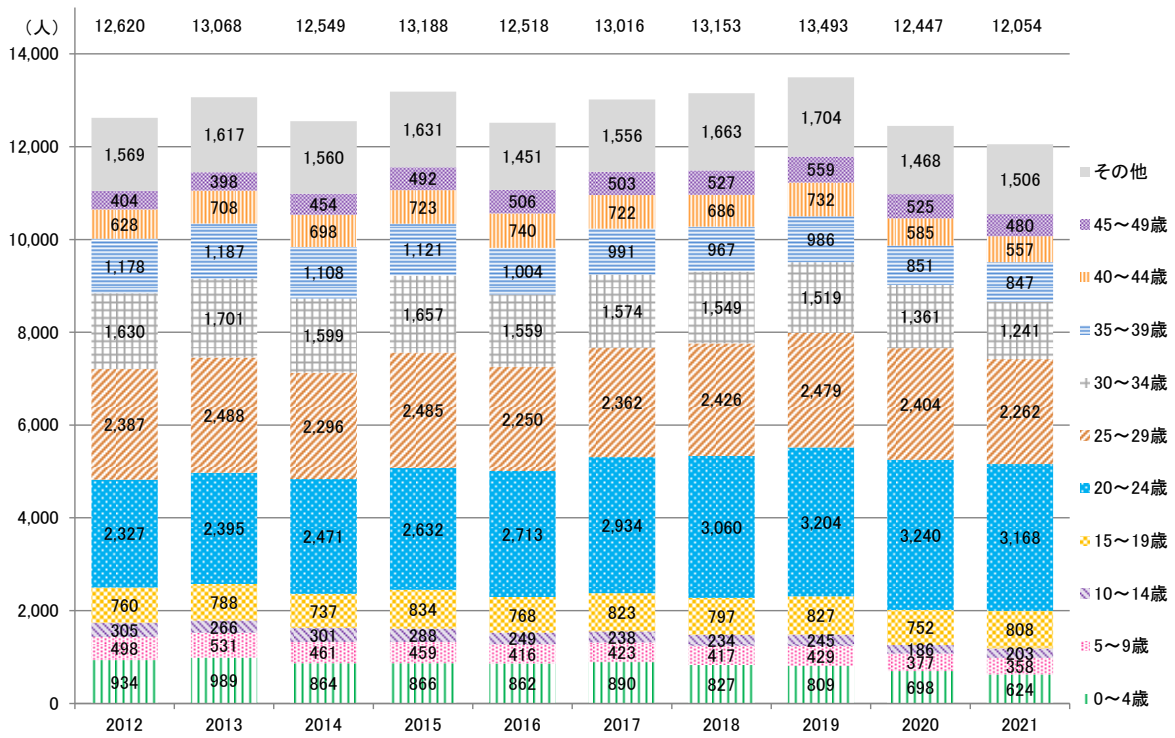
図表 III-7 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男女計>



図表 III-8 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男性>

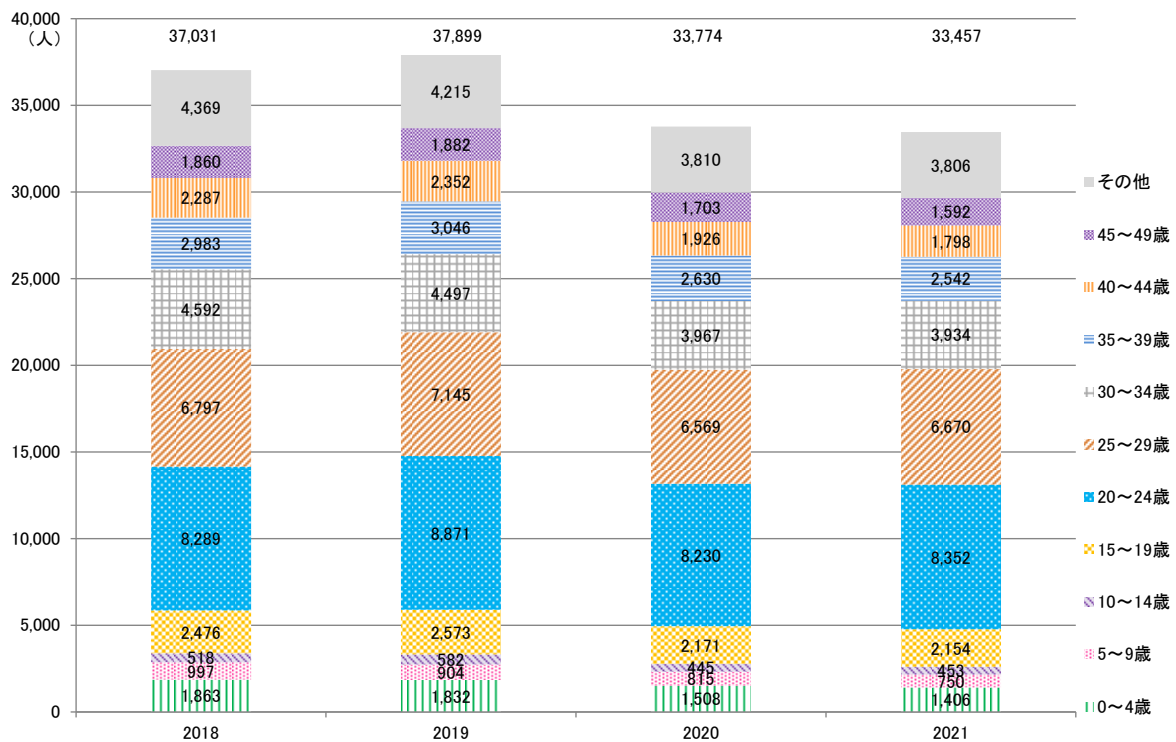


図表 III-9 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-女性>

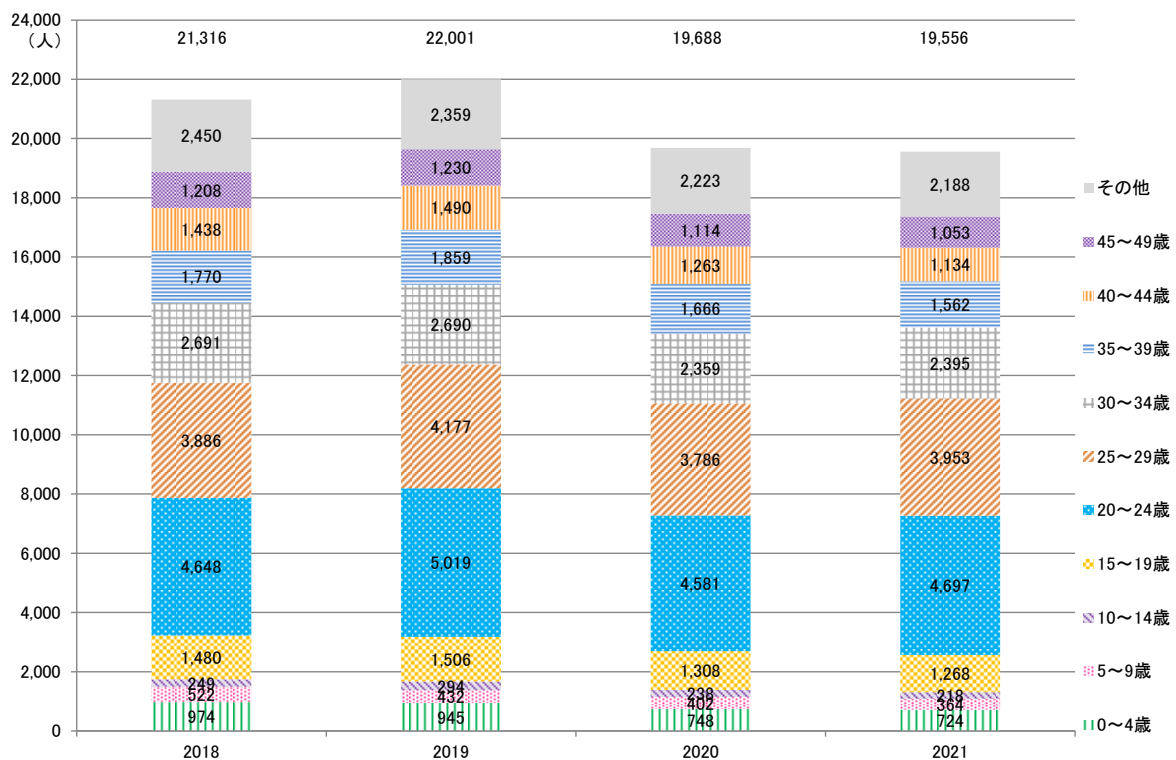


【参考】外国人を含む転出者数

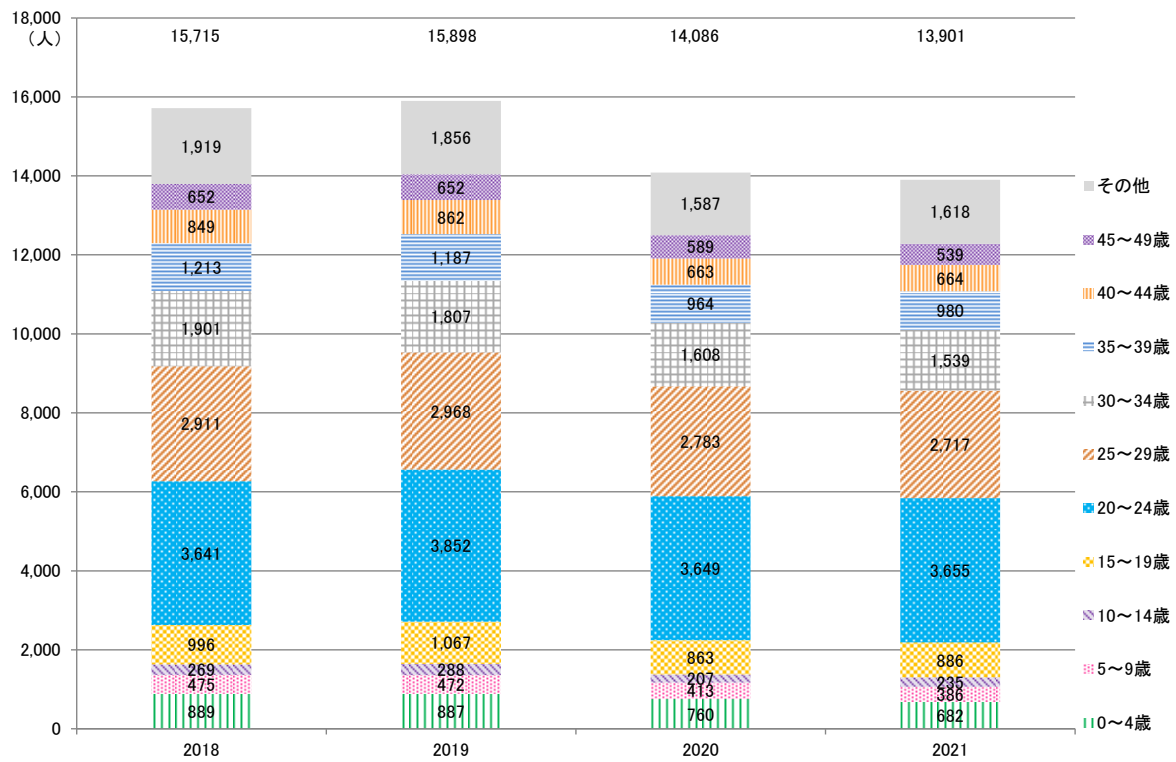
図表 III-10 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男女計-外国人を含む>



図表 III-11 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男性-外国人を含む>



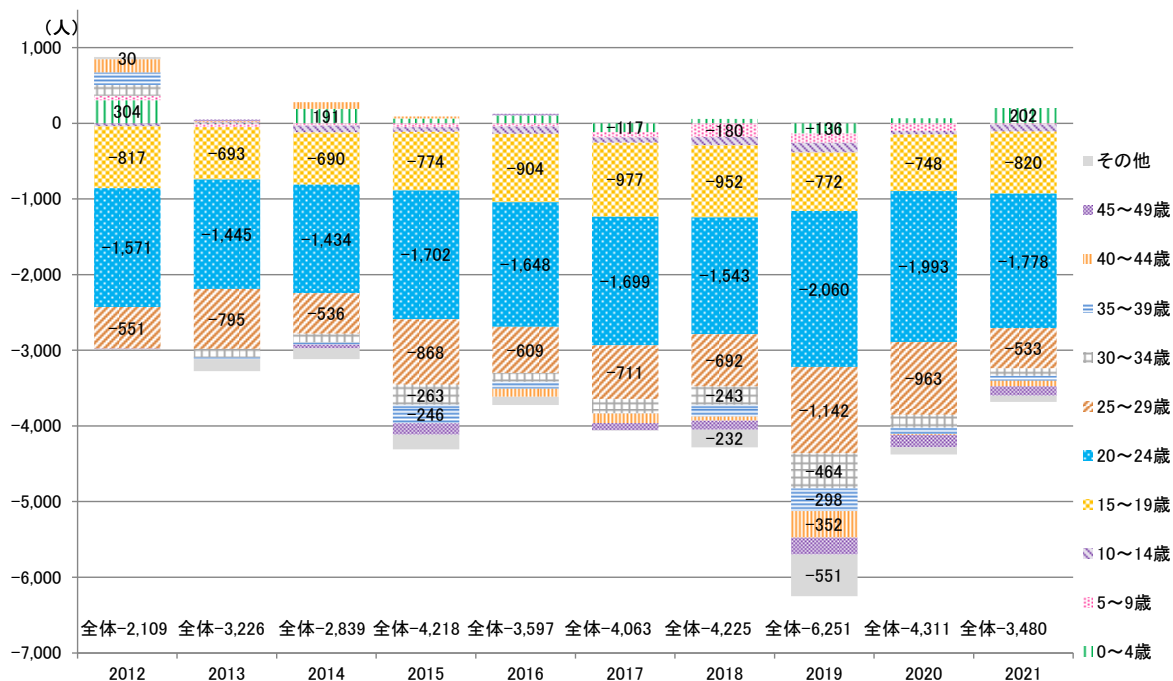
図表 III-12 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-女性-外国人を含む>



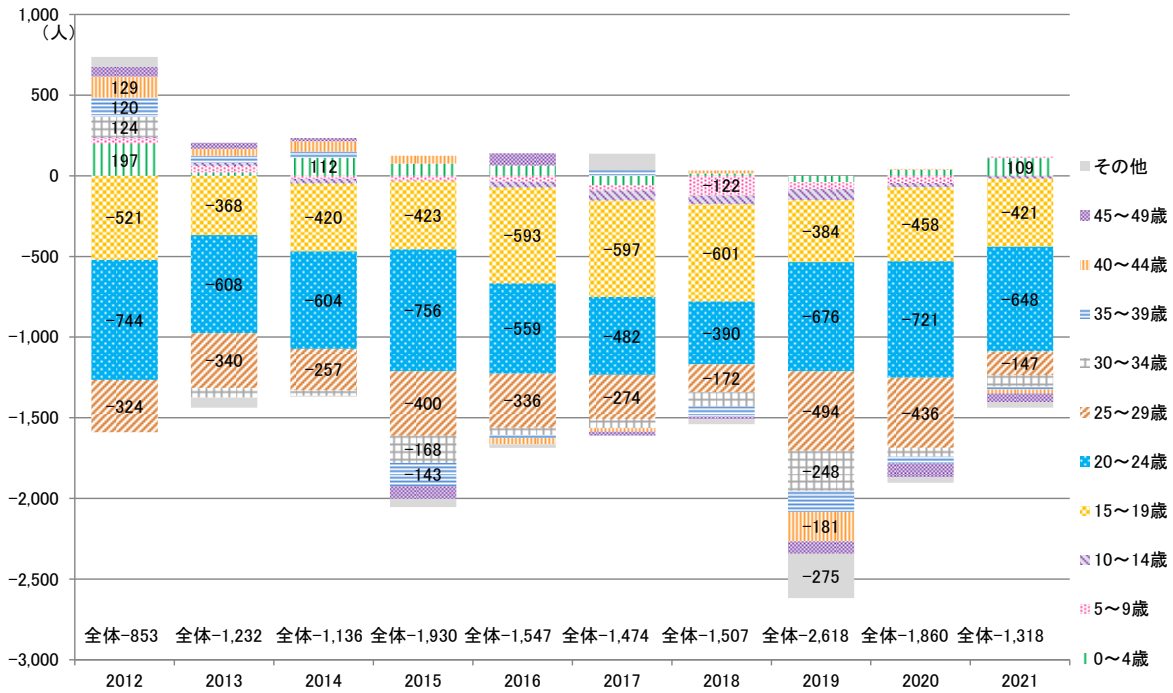
③ 転入超過

年齢5歳階級別にみると、15~19歳、20~24歳、25~29歳の転出超過数が大きくなってきている。また、転出超過数全体に占める20~24歳の転出超過数の割合は、男性と比べて女性の方が大きく、県全体の転出超過数に大きく寄与している。

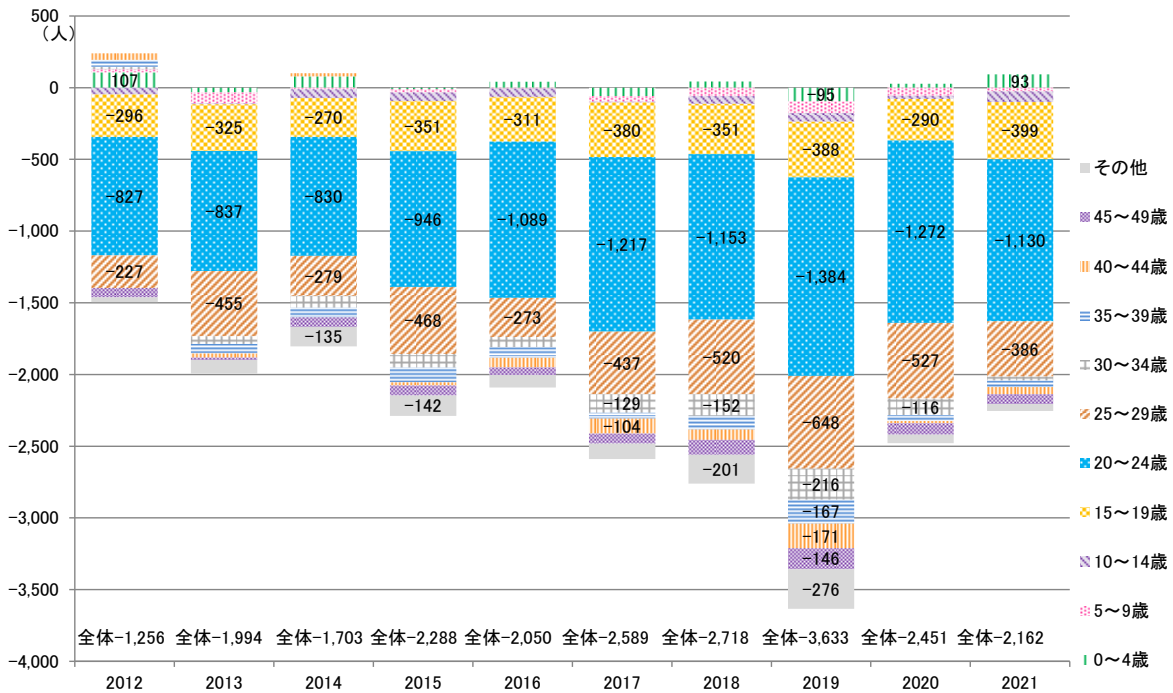
図表 III-13 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男女計>



図表 III-14 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男性>

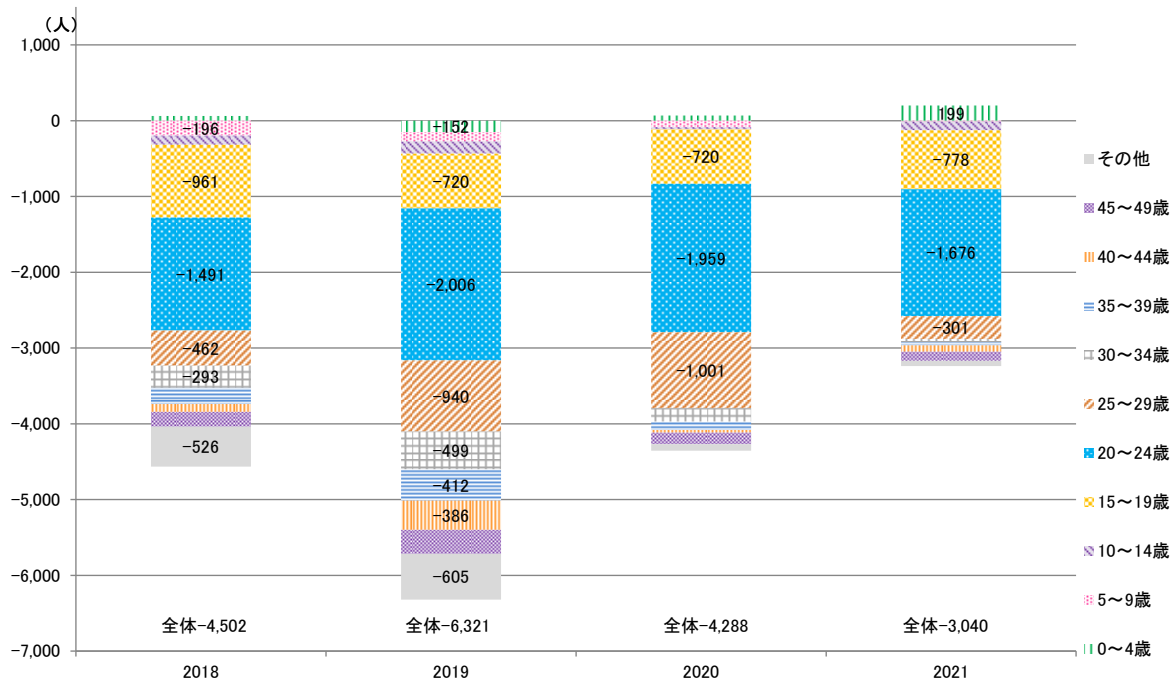


図表 III-15 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-女性>

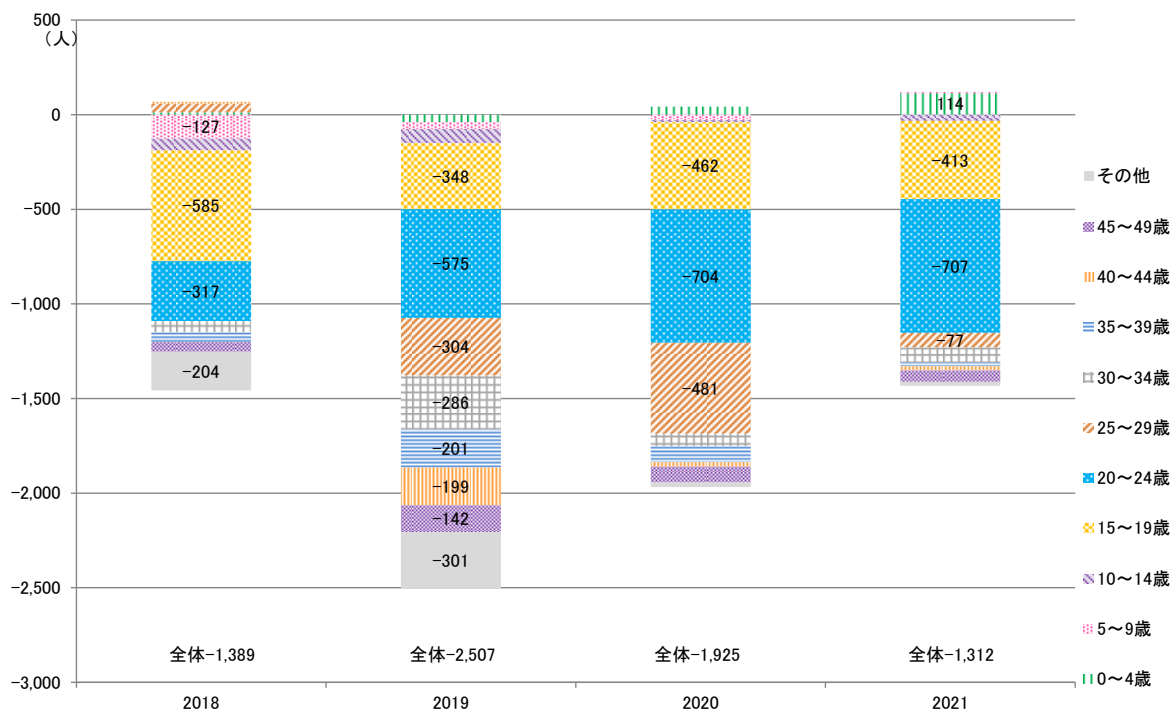


【参考】外国人を含む転入超過数

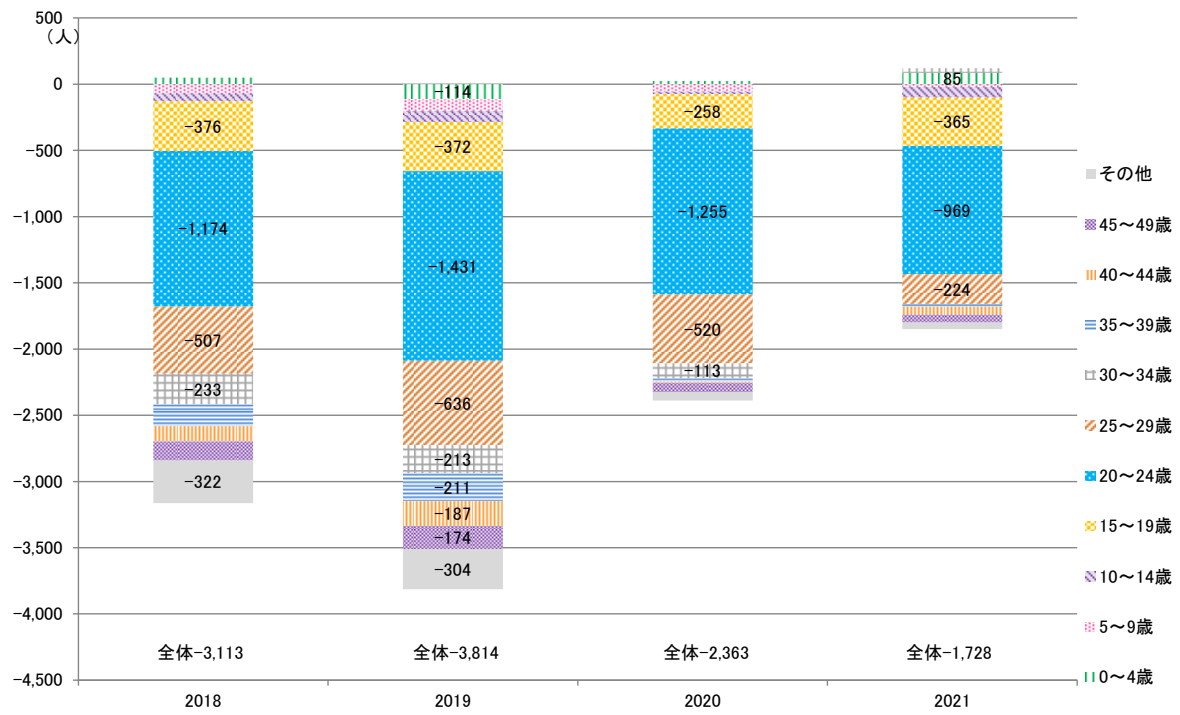
図表 III-16 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男女計-外国人を含む>



図表 III-17 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-男性-外国人を含む>



図表 III-18 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<三重県-女性-外国人を含む>

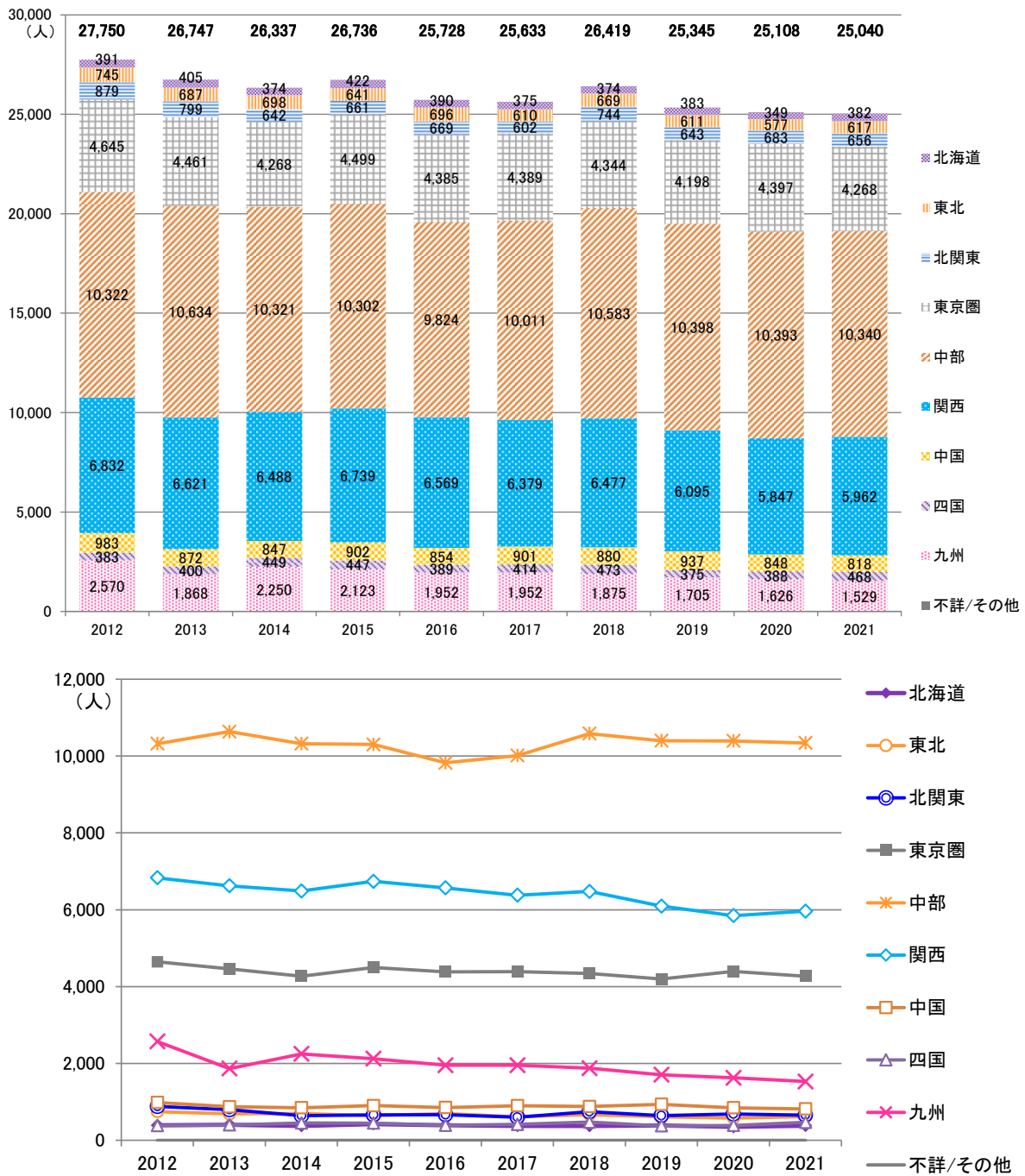


(2) 移動地域別

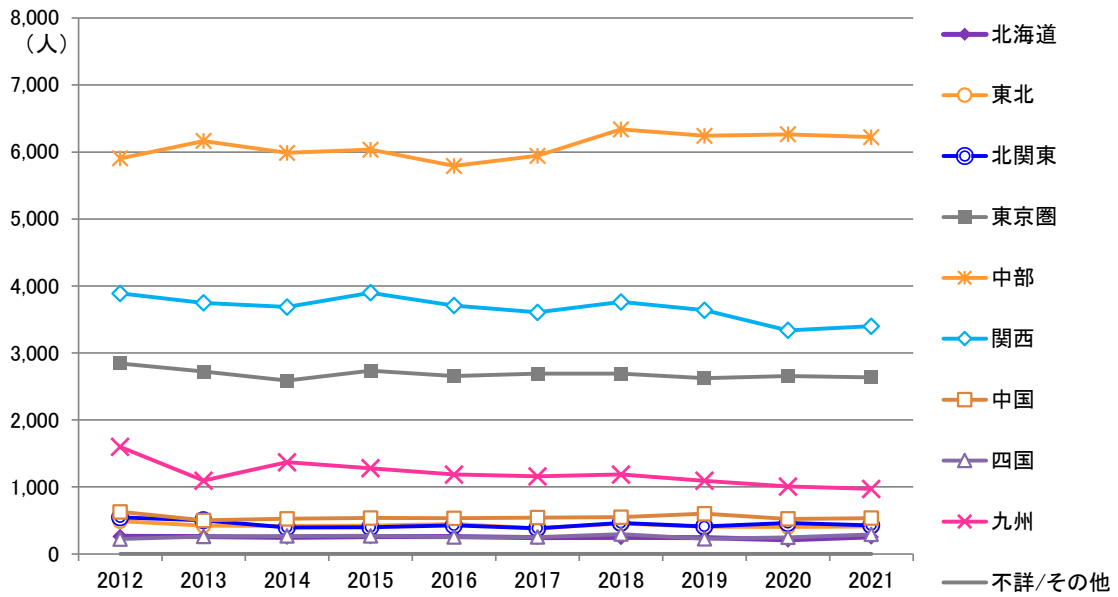
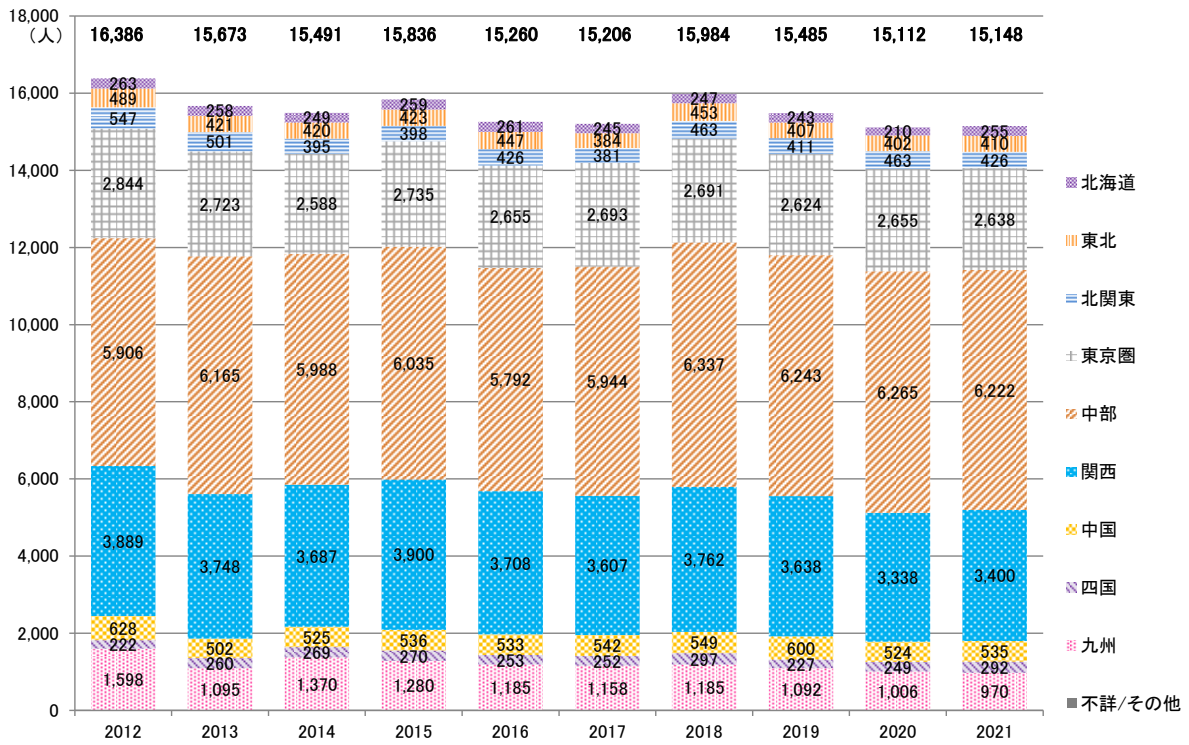
① 転入

転入者数を移動地域別にみると、中部、関西、東京圏の割合が大きくなっている。2012年以降の推移は、男女ともにおおむね同様の傾向を示しているが、中部の転入者数については、男性はやや増加しているのに対し、女性はやや減少している。

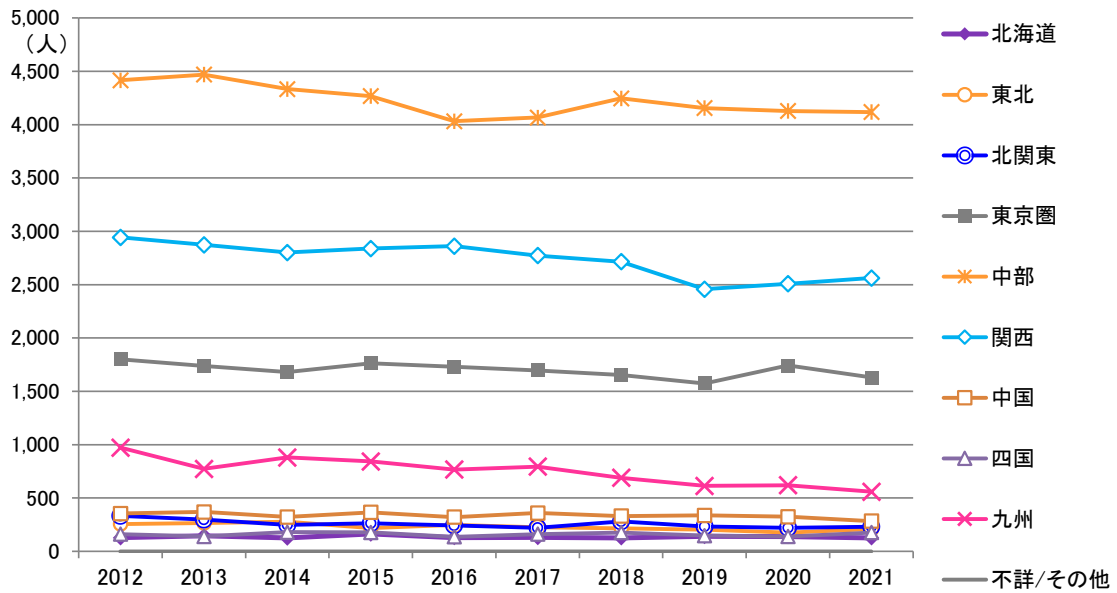
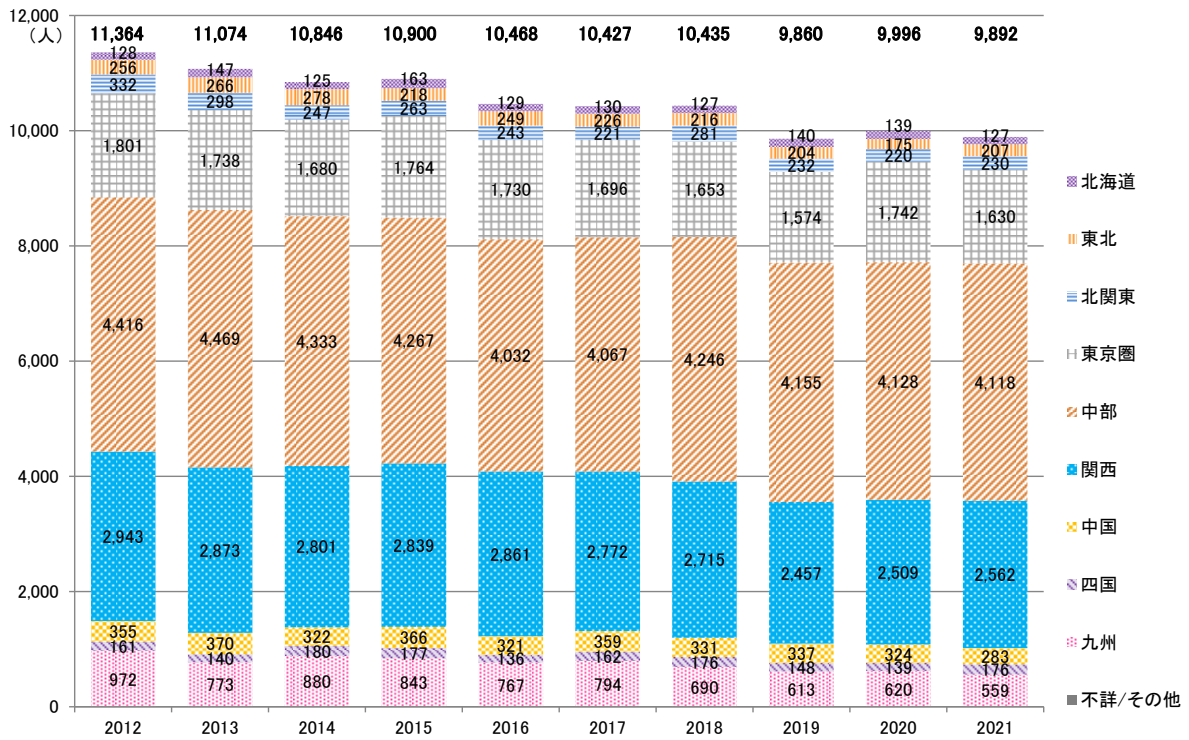
図表 III-19 転入者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男女計>



図表 III-20 転入者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男性>

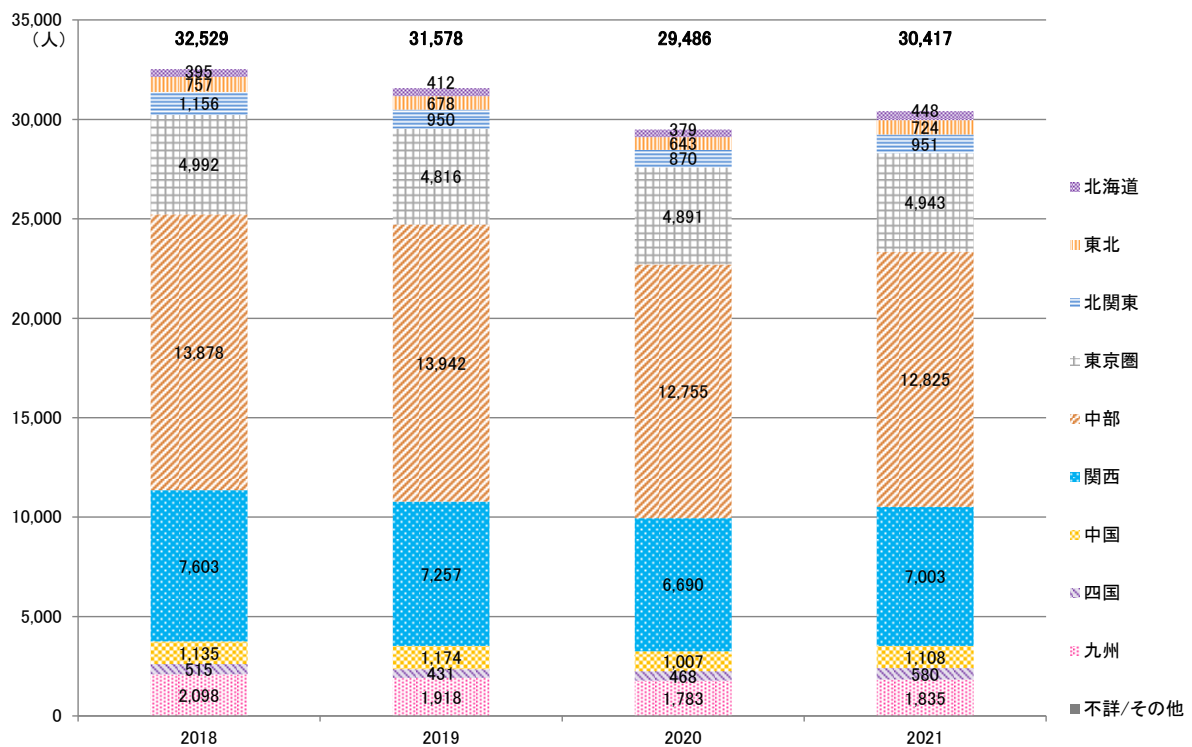


図表 III-21 転入者数(地域ブロック別)の推移<三重県-女性>

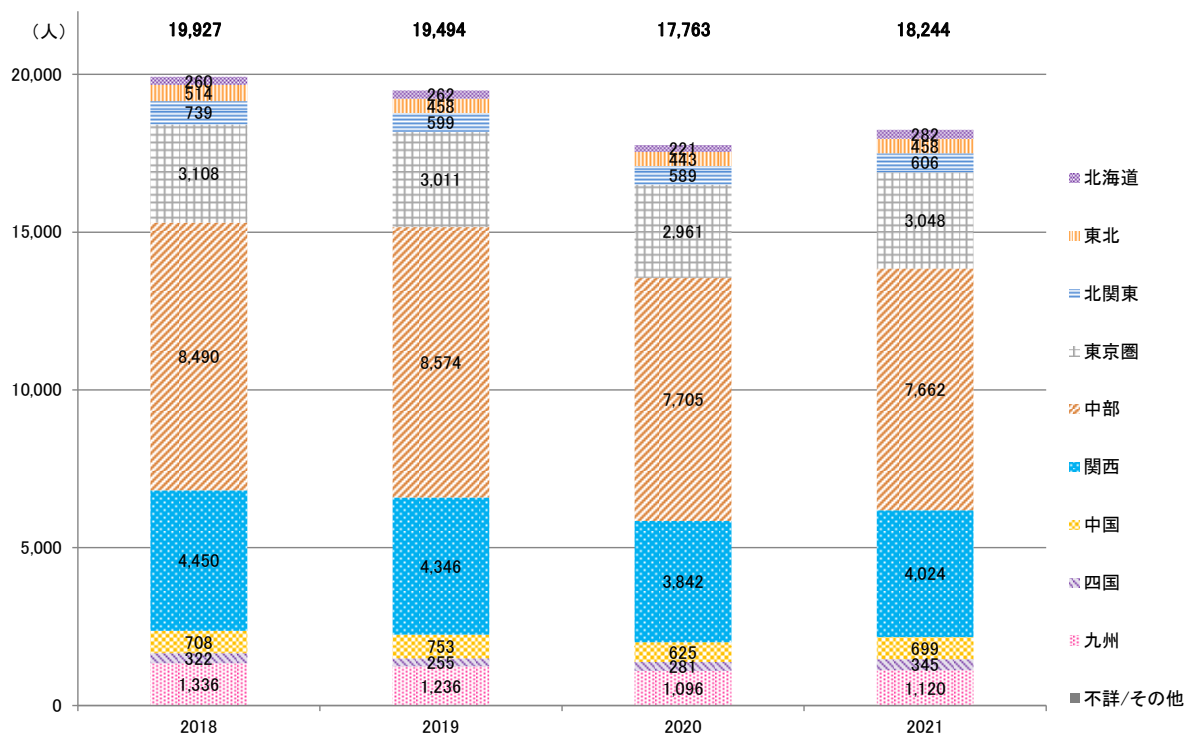


【参考】外国人を含む転入者数

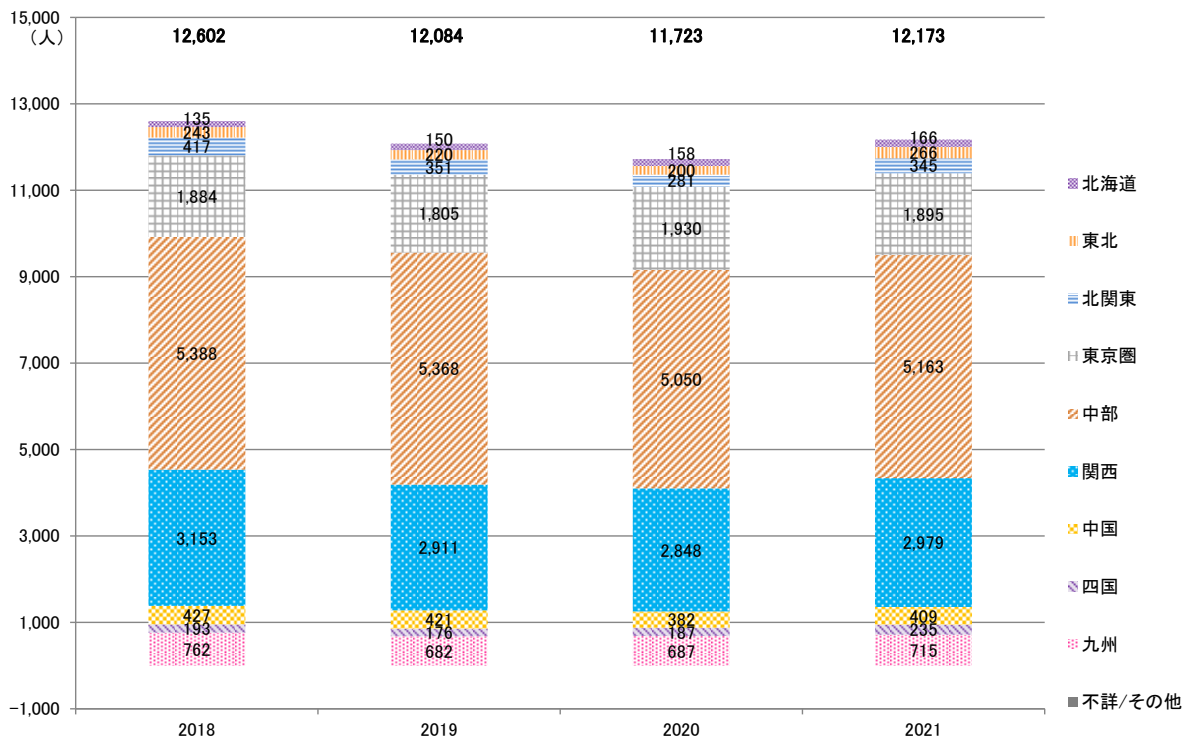
図表 III-22 転入者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男女計-外国人を含む>



図表 III-23 転入者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男性-外国人を含む>



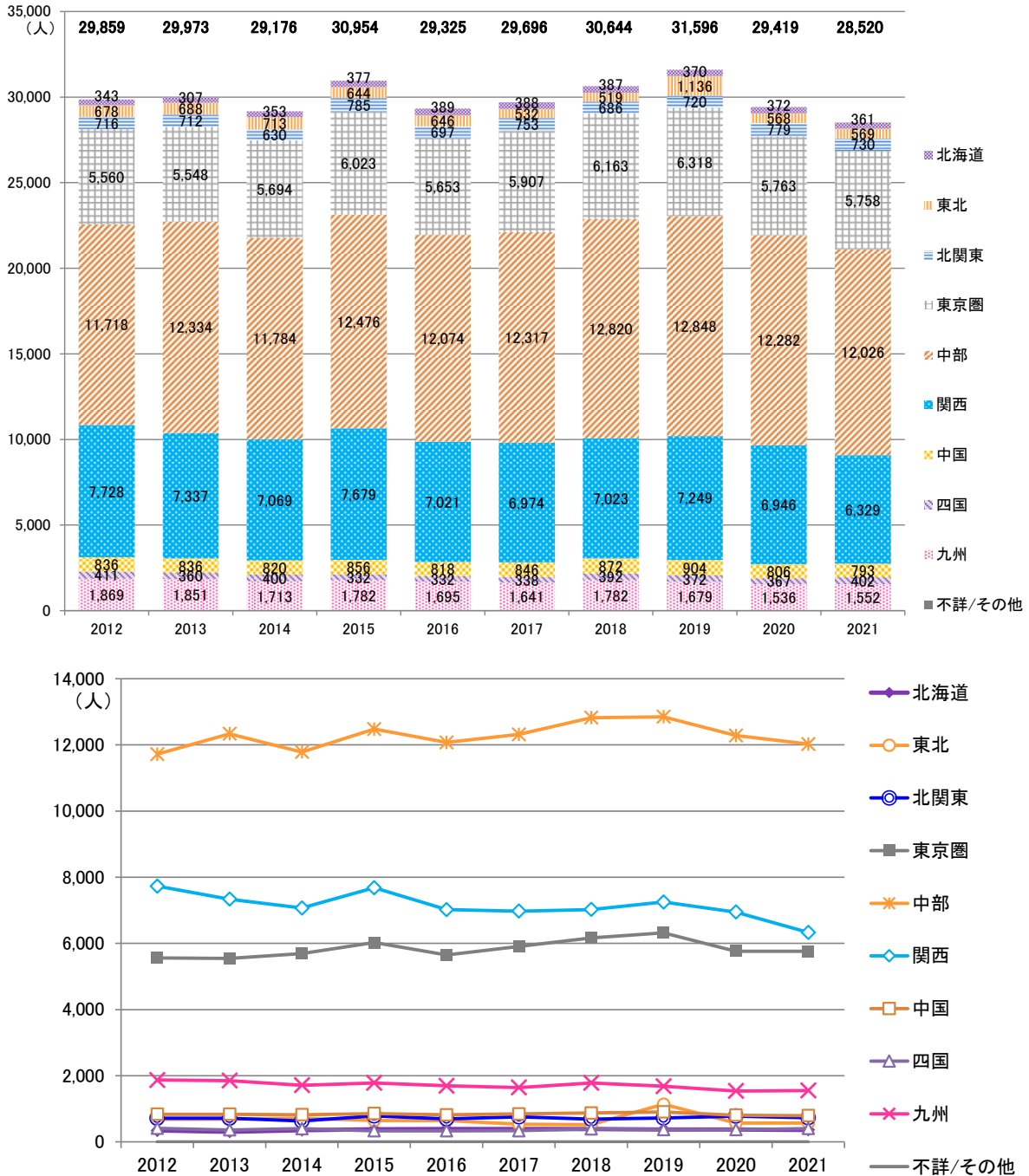
図表 III-24 転入者数(地域ブロック別)の推移<三重県-女性-外国人を含む>



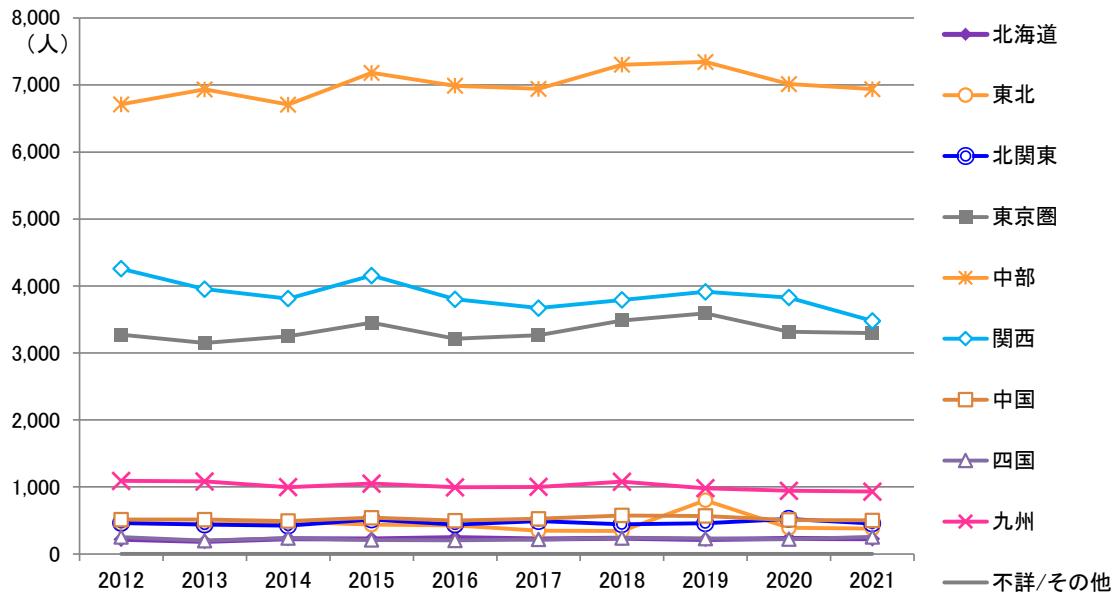
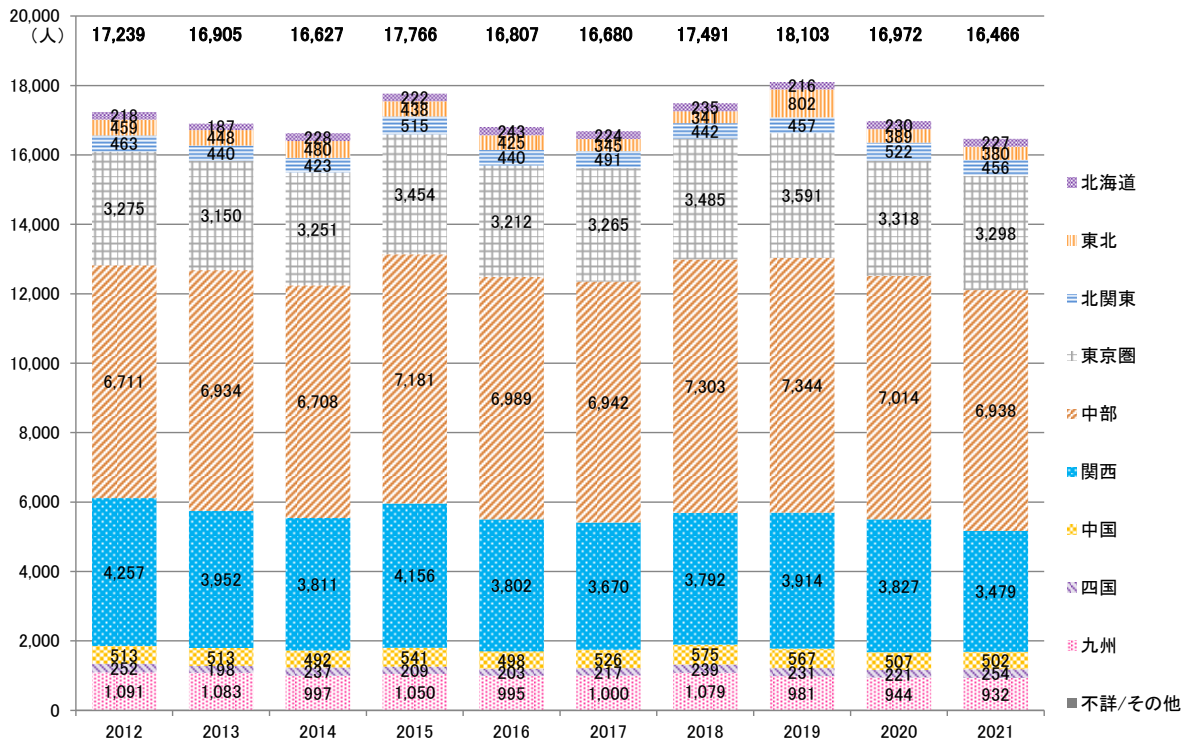
② 転出

転出者数を移動地域別にみると、中部、関西、東京圏の割合が大きくなっている。2012年以降の推移は、男女ともにおおむね同様の傾向を示している。2016年以降、関西と東京圏の転出者数の差が縮小傾向にあり、特に男性において顕著となっている。

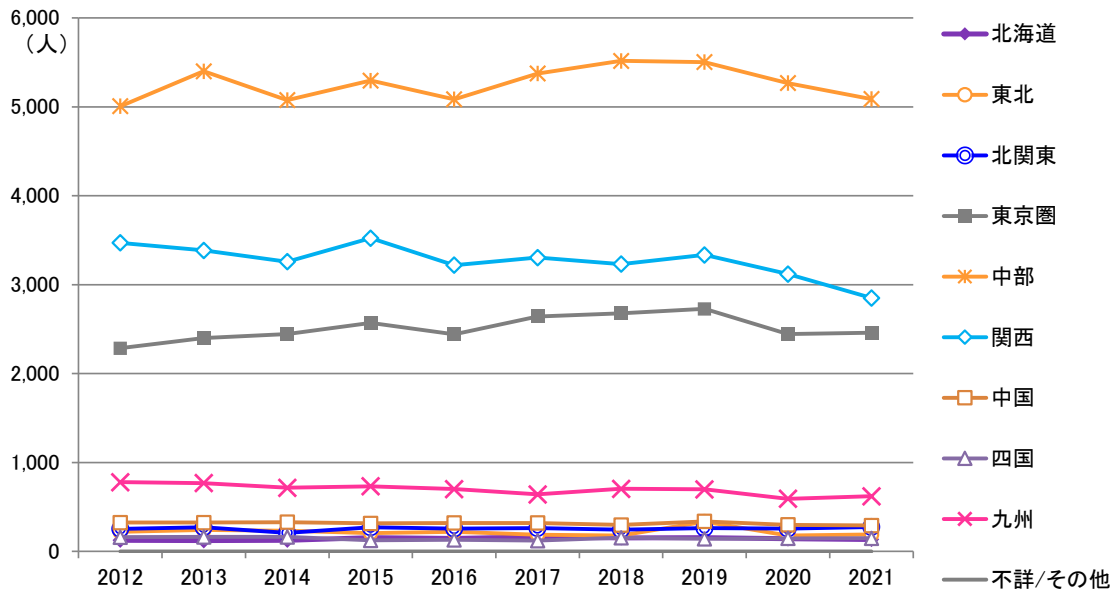
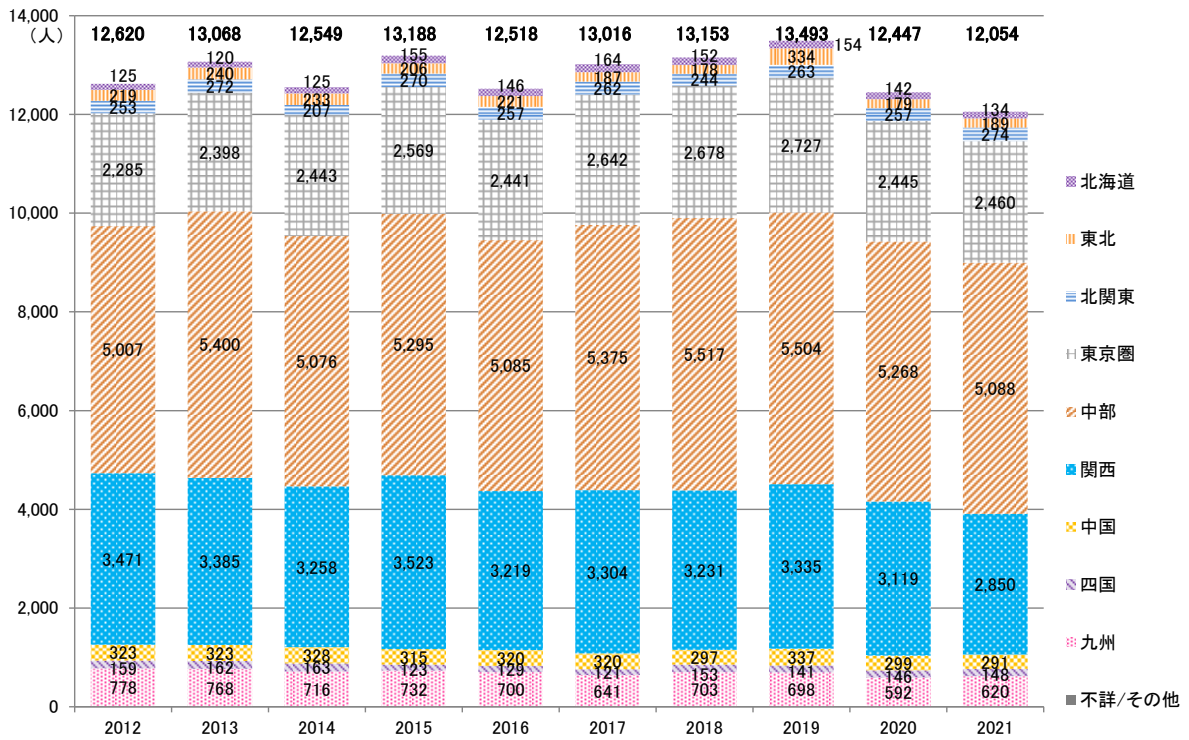
図表 III-25 転出者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男女計>



図表 III-26 転出者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男性>

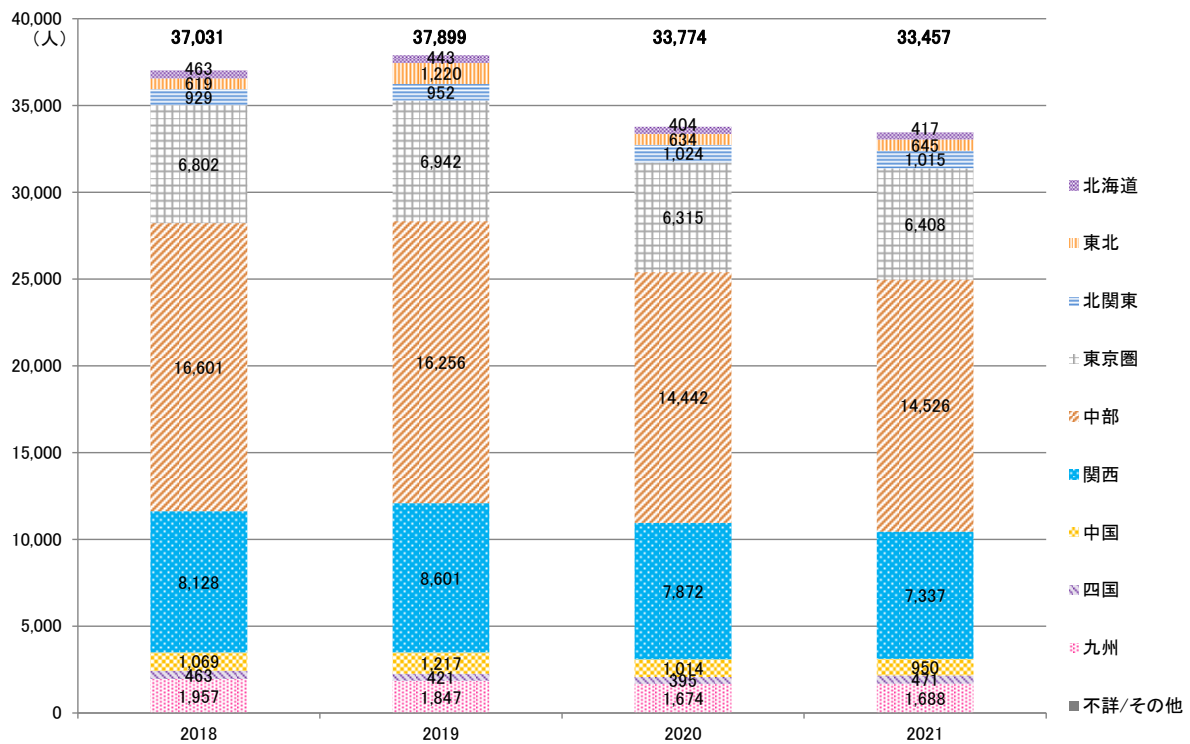


図表 III-27 転出者数(地域ブロック別)の推移<三重県-女性>

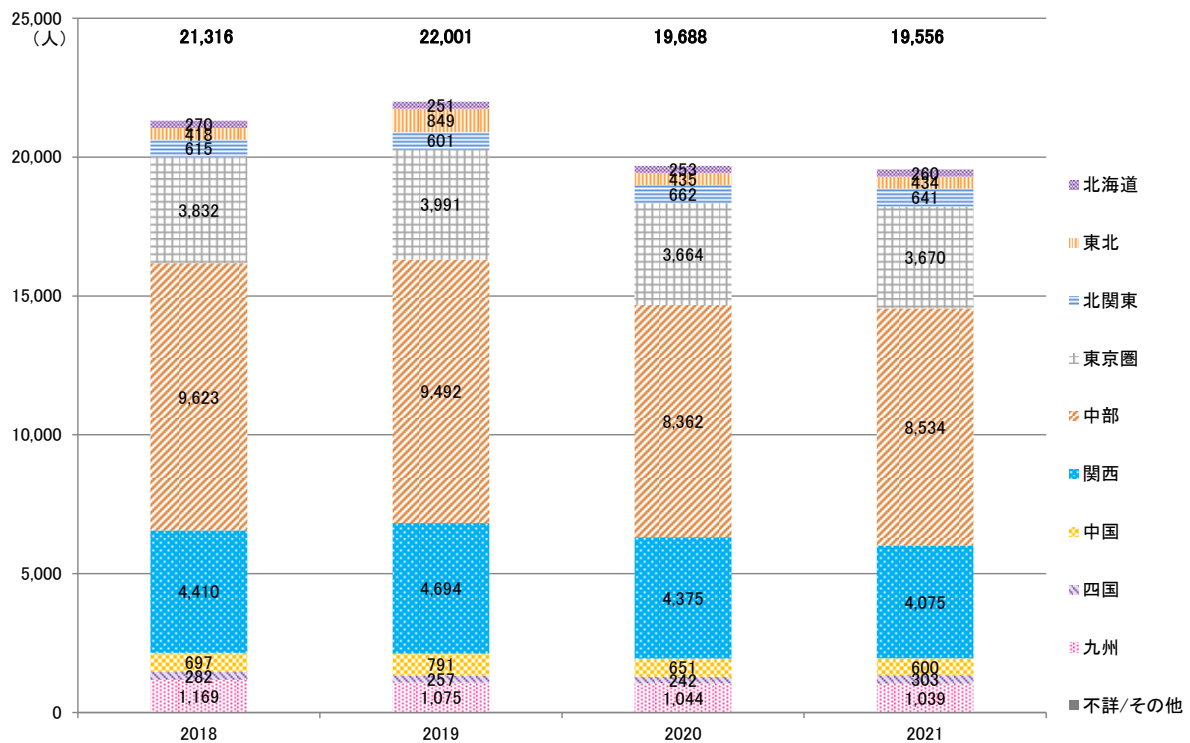


【参考】外国人を含む転出者数

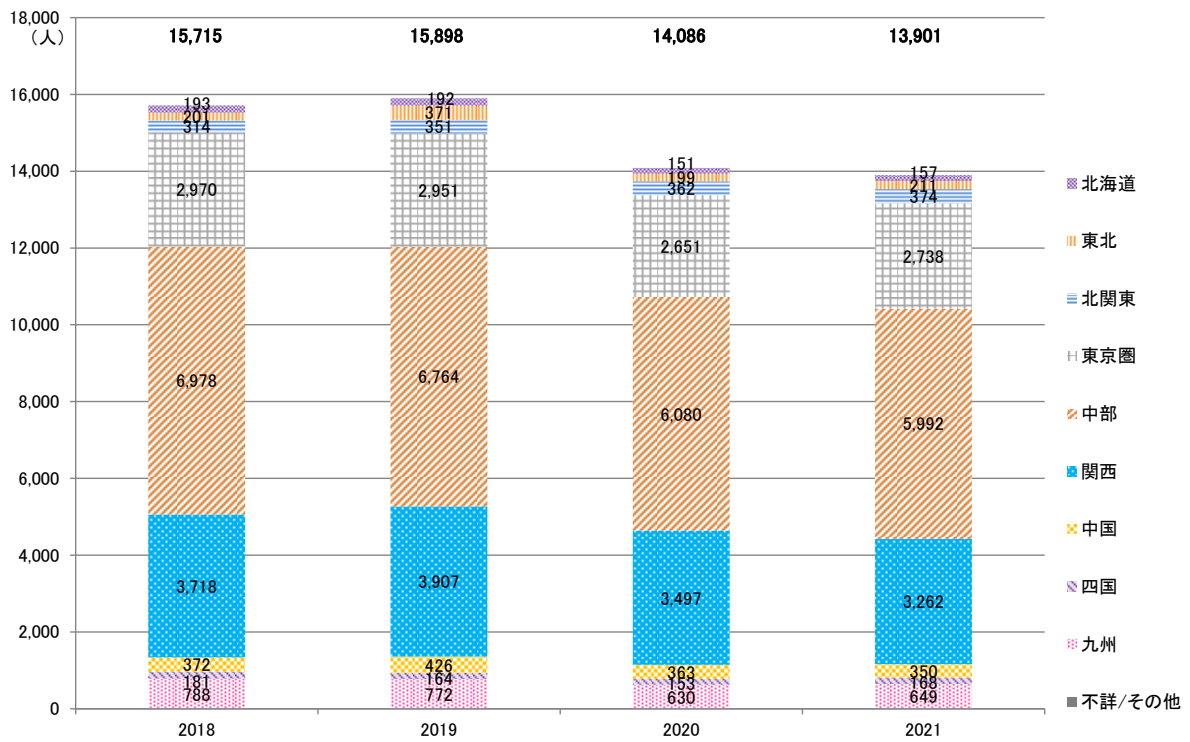
図表 III-28 転出者数(地域ブロック別)の推移<三重県-男女計-外国人を含む>



図表 III-29 転出者数(移動地域別)の推移<三重県-男性-外国人を含む>



図表 III-30 転出者数(移動地域別)の推移<三重県-女性-外国人を含む>

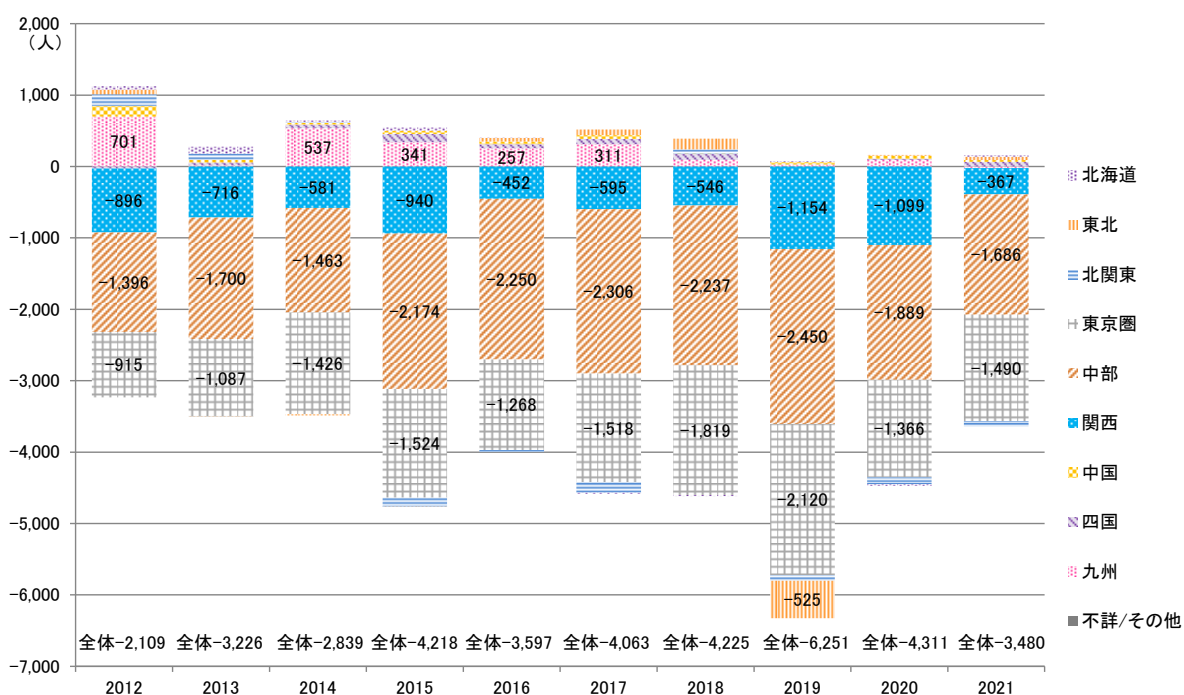


③ 転入超過

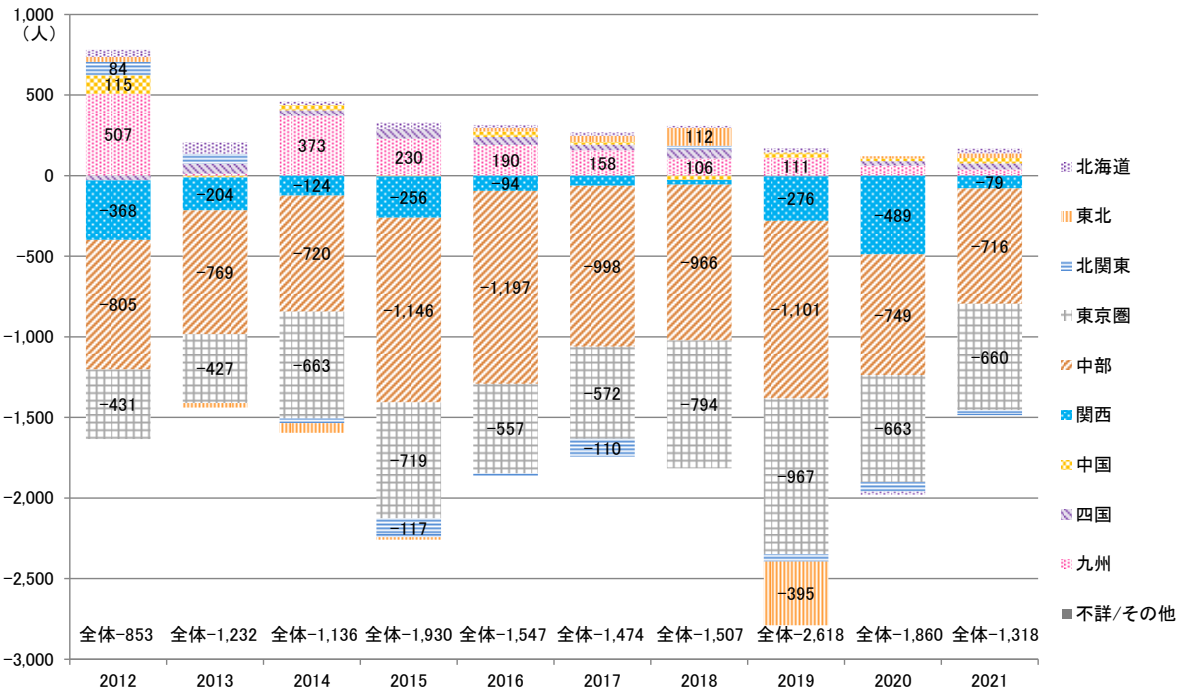
移動地域別にみると、中部、関西、東京圏の転出超過数が大きくなっている。また、2012年時点ではその他の地域と比べて特に大きい転入超過数を示していた九州は、転入超過数の減少が続き、2021年には転出超過（-23人）に転じている。

男女別にみると、転出超過数全体に占める関西への転出超過数の割合が、男性と比べて女性の方が大きくなっている。

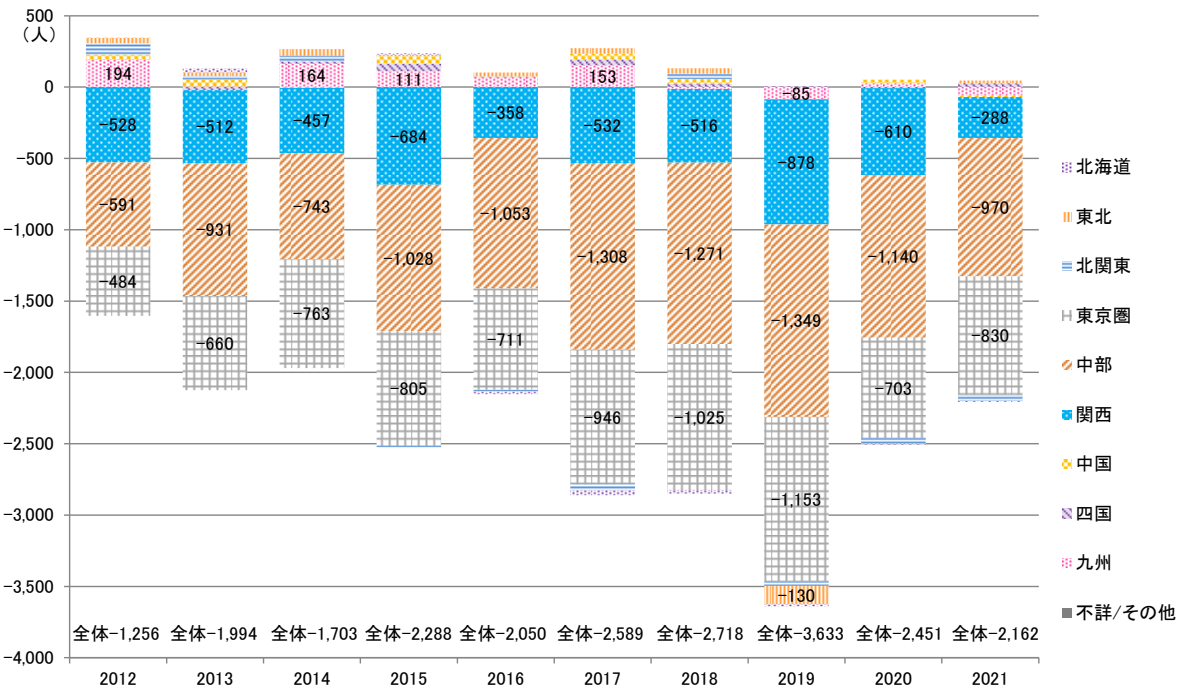
図表 III-31 転入超過数(地域ブロック別)の推移<三重県-男女計>



図表 III-32 転入超過数(地域ブロック別)の推移<三重県-男性>

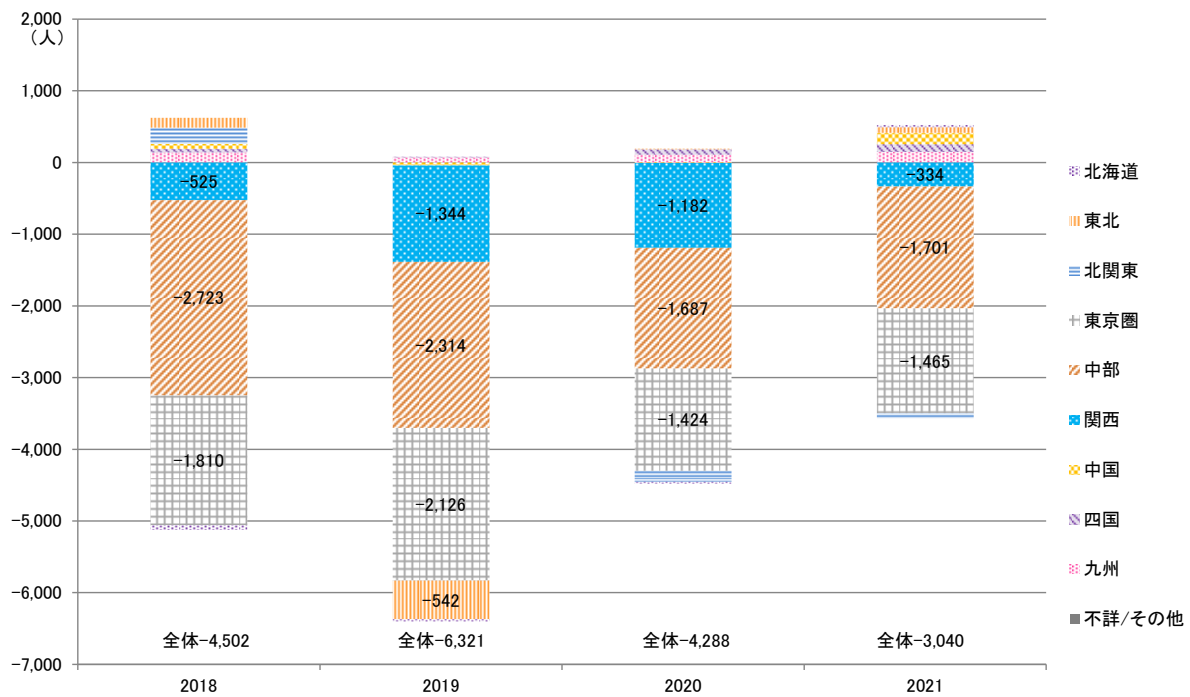


図表 III-33 転入超過数(地域ブロック別)の推移<三重県-女性>

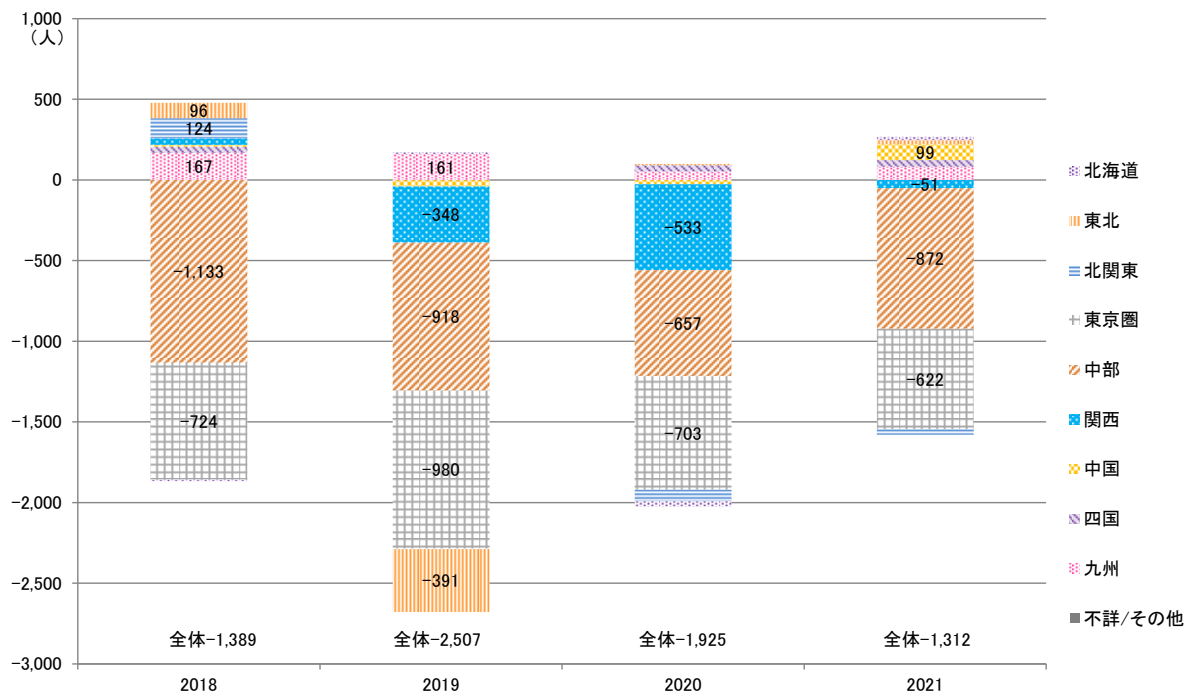


【参考】外国人を含む転入超過数

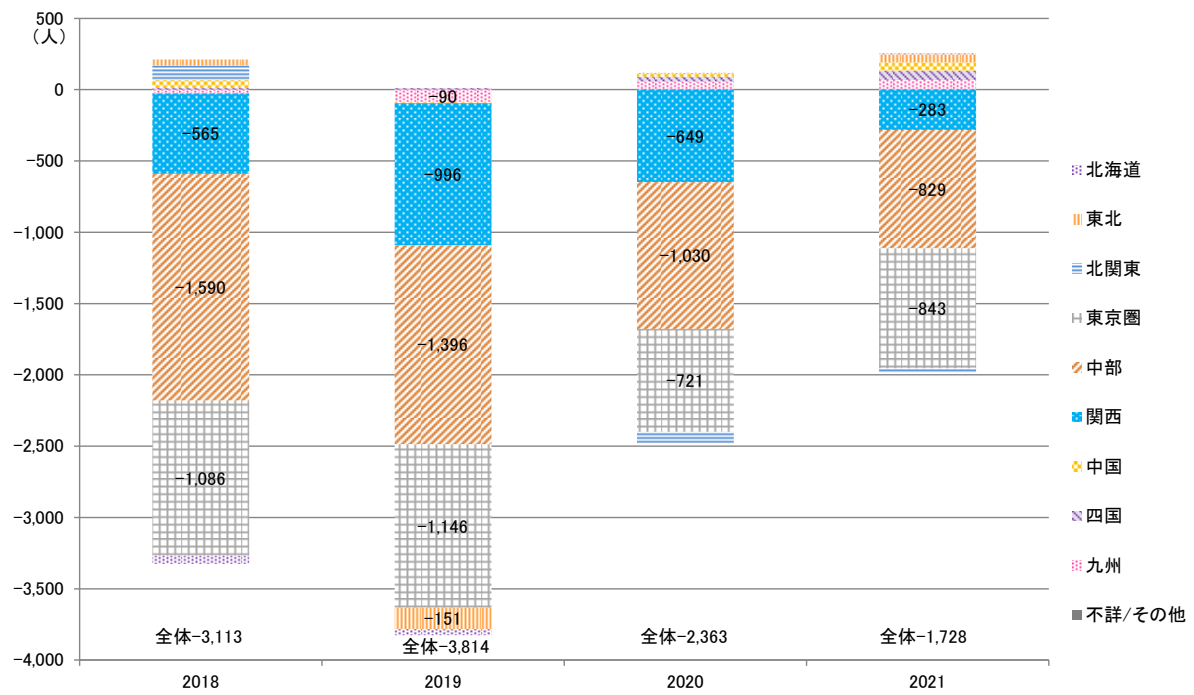
図表 III-34 転入超過数(地域ブロック別)の推移<三重県-男女計-外国人を含む>



図表 III-35 転入超過数(地域ブロック別)の推移<三重県-男性-外国人を含む>



図表 III-36 転入超過数(地域ブロック別)の推移<三重県-女性-外国人を含む>



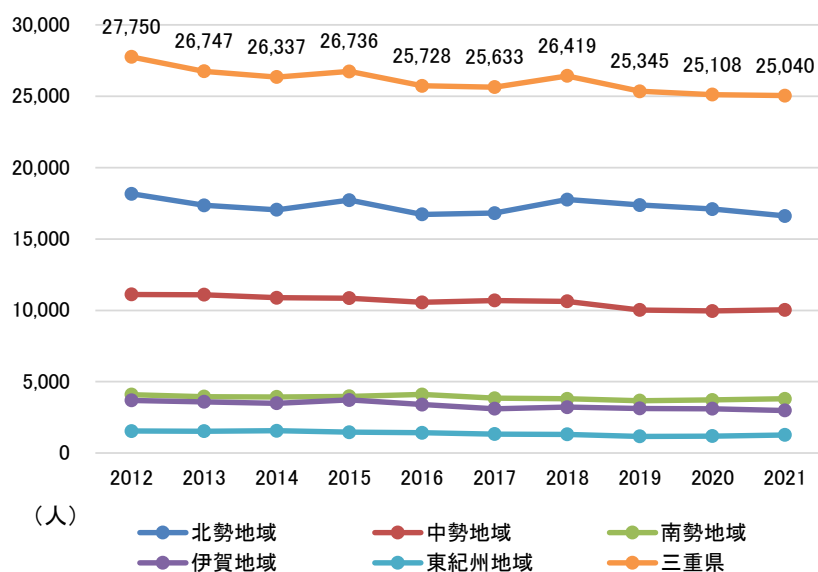
2. 県内5地域別の人口移動状況（地域比較）

(1) 転入

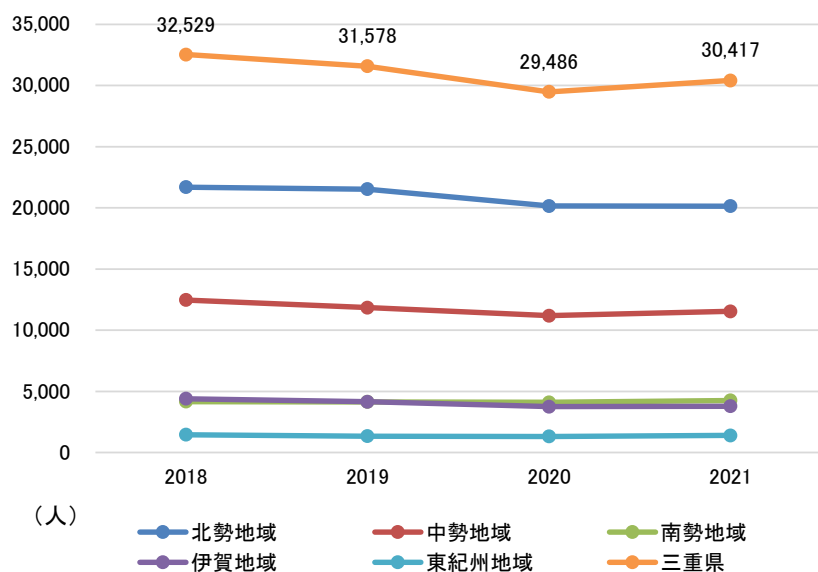
2012年から2021年の転入者数の推移をみると、三重県全体では2015年及び2018年にやや増加がみられるものの、10年間でみるとやや減少傾向にある。

5地域別にみると、北勢地域は三重県全体と同様に2015年及び2018年にやや増加しているが、この10年間では減少傾向となっている。中勢地域は、2018年まで横ばいで推移していたが、2019年に減少し、その後は再び横ばいで推移している。南勢、伊賀、東紀州地域は、概ね横ばいで推移している。

図表 III-37 転入者数(5地域別)の推移<日本人>



図表 III-38 転入者数(5地域別)の推移<外国人を含む移動者総数>

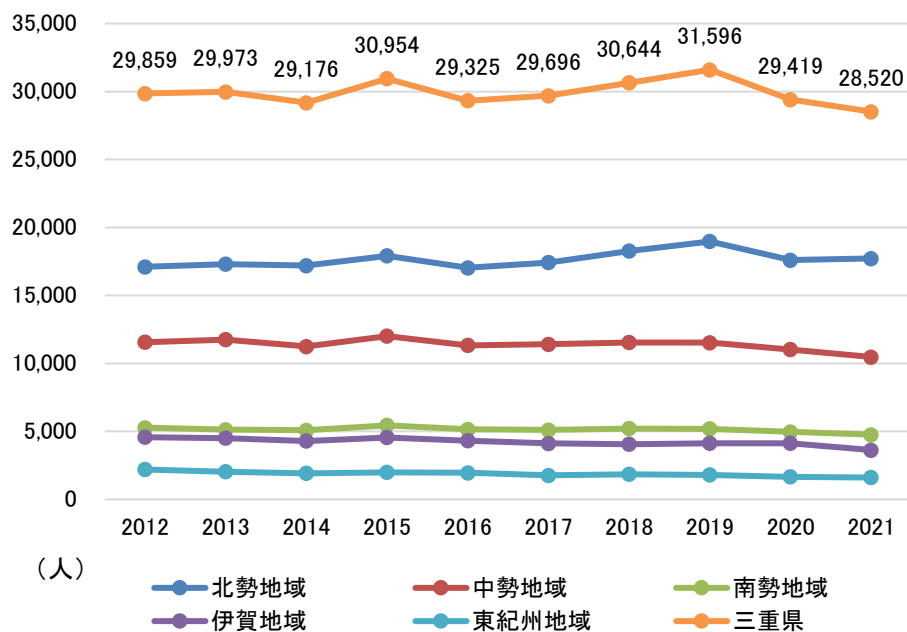


(2) 転出

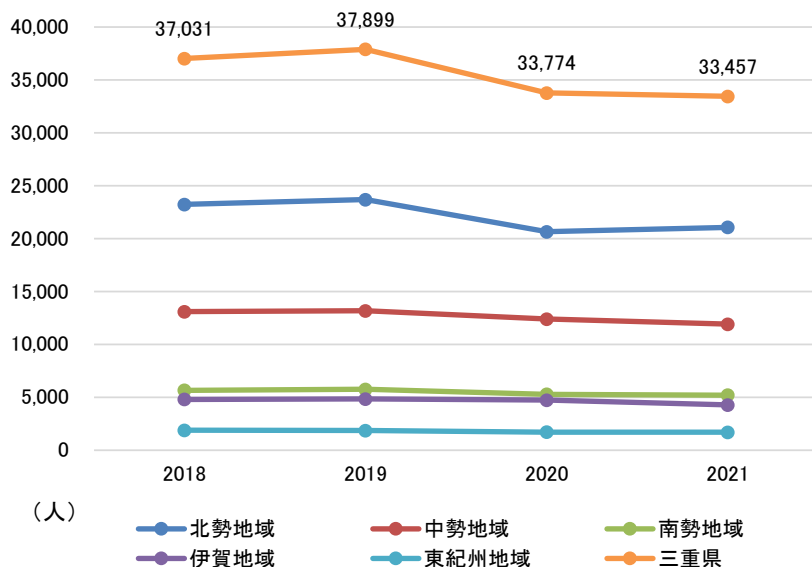
2012年から2021年の転出者数の推移をみると、三重県全体では2012年から2016年にかけて、2015年を除いて概ね横ばいで推移し、その後2019年までは増加傾向にあったが、2020年には減少に転じている。

5地域別にみると、北勢地域は、概ね三重県全体と同様の傾向で推移しているが、2020年から2021年にかけて増加に転じている。中勢地域は、2019年まで概ね横ばいで推移していたが、2020年には減少に転じている。南勢、伊賀、東紀州地域は、概ね横ばいで推移している。

図表 III-39 転出者数(5地域別)の推移<日本人>



図表 III-40 転出者数(5地域別)の推移<外国人を含む移動者総数>



(3) 転入超過

2012年から2021年の10年間の転入超過の推移をみると、三重県全体では転出超過で推移し、特に2019年には転出超過数が大きく増加している。

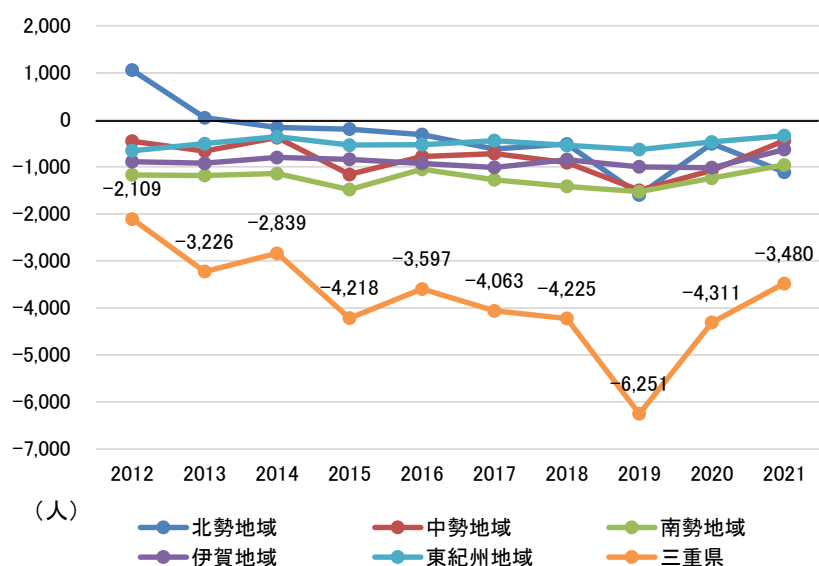
5地域別にみると、北勢地域は2012年、2013年に転入超過となっていたが、2014年以降は転出超過となっている。また、他地域と比べて、2019年の転出超過の拡大が顕著である。

中勢地域は、転出超過で推移しており、特に2015年、2019年に転出超過数が大きく増加している。

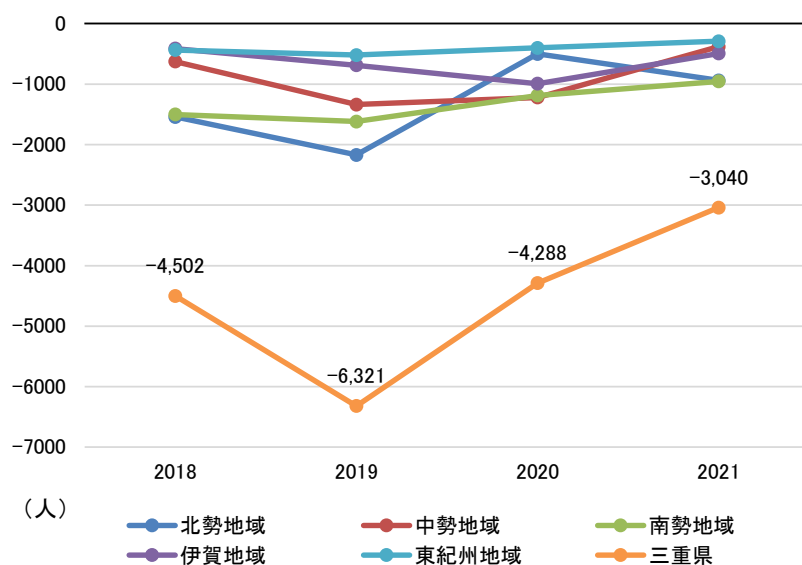
南勢地域、伊賀地域は、転出超過で推移しているが、2020年から2021年にかけて、転出超過数がやや減少している。

東紀州地域は、転出超過で推移し、転出超過数は概ね横ばいとなっている。

図表 III-41 転入超過数(5地域別)の推移<日本人>



図表 III-42 転入超過数(5地域別)の推移<外国人を含む移動者総数>



3. 県内5地域別の人口移動状況（年齢階級・移動地域別集計）

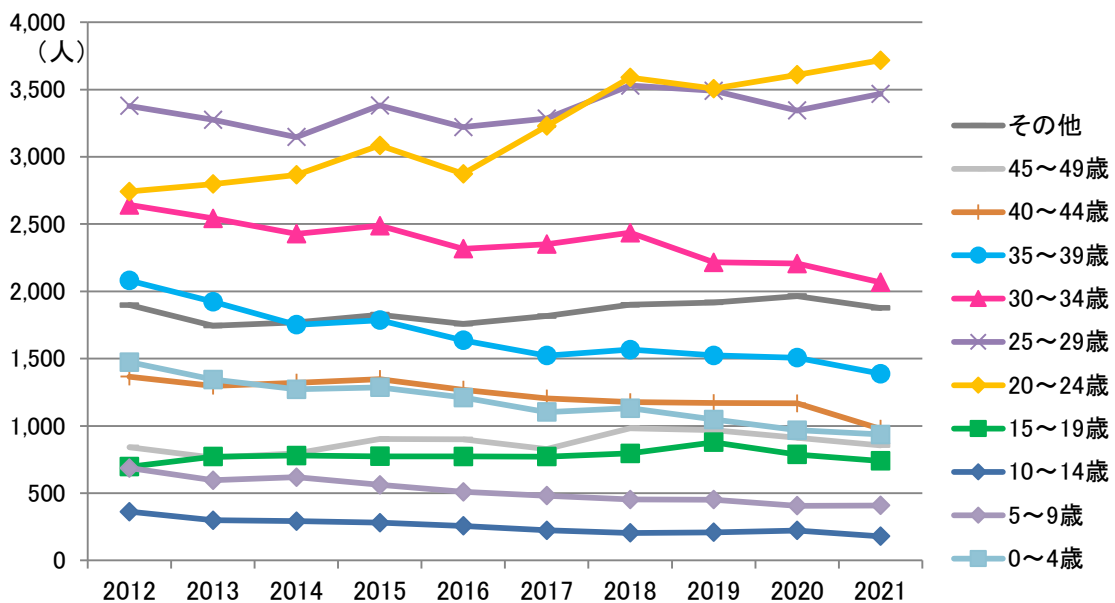
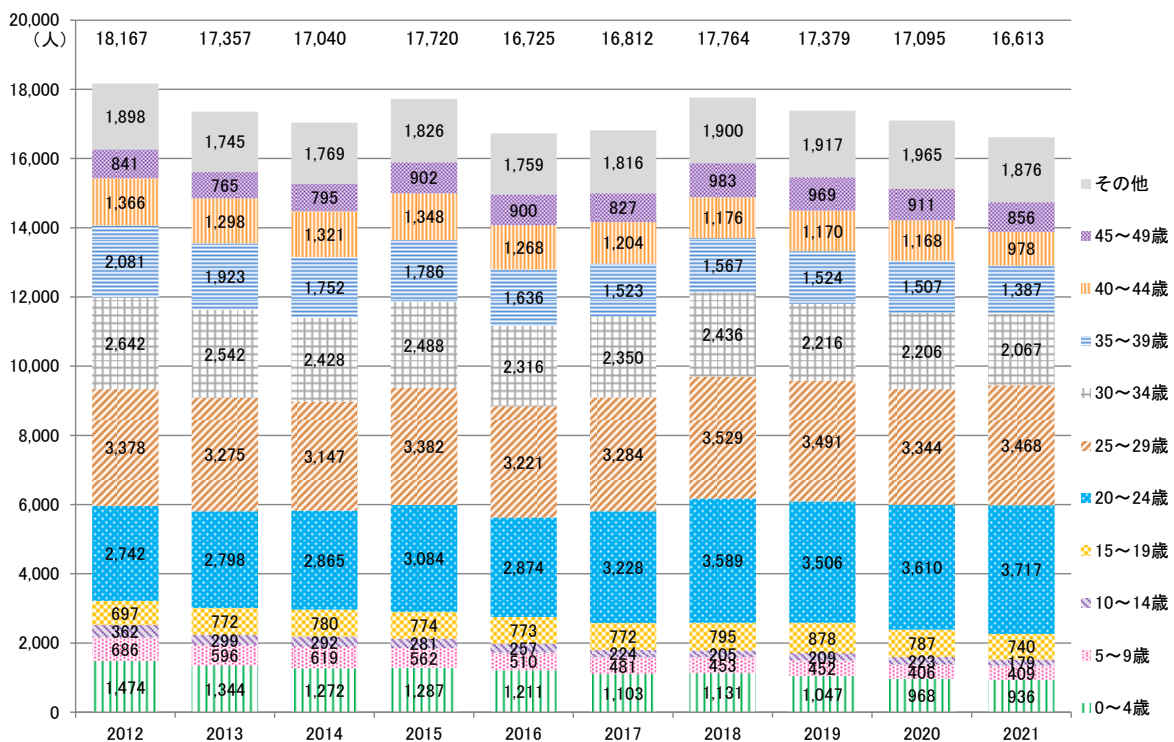
(1) 北勢地域

① 年齢5歳階級別

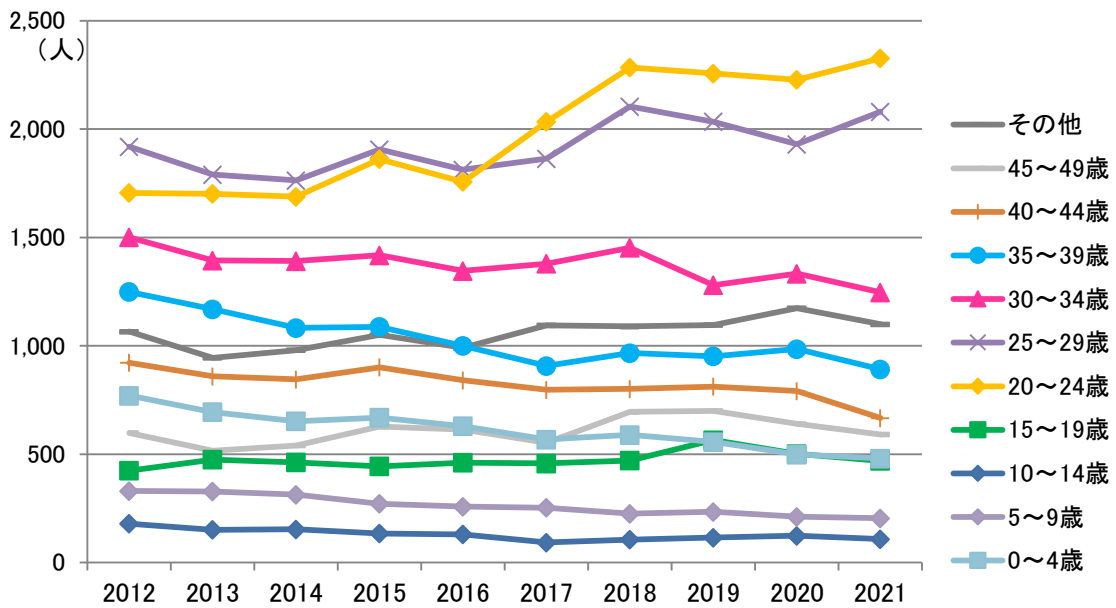
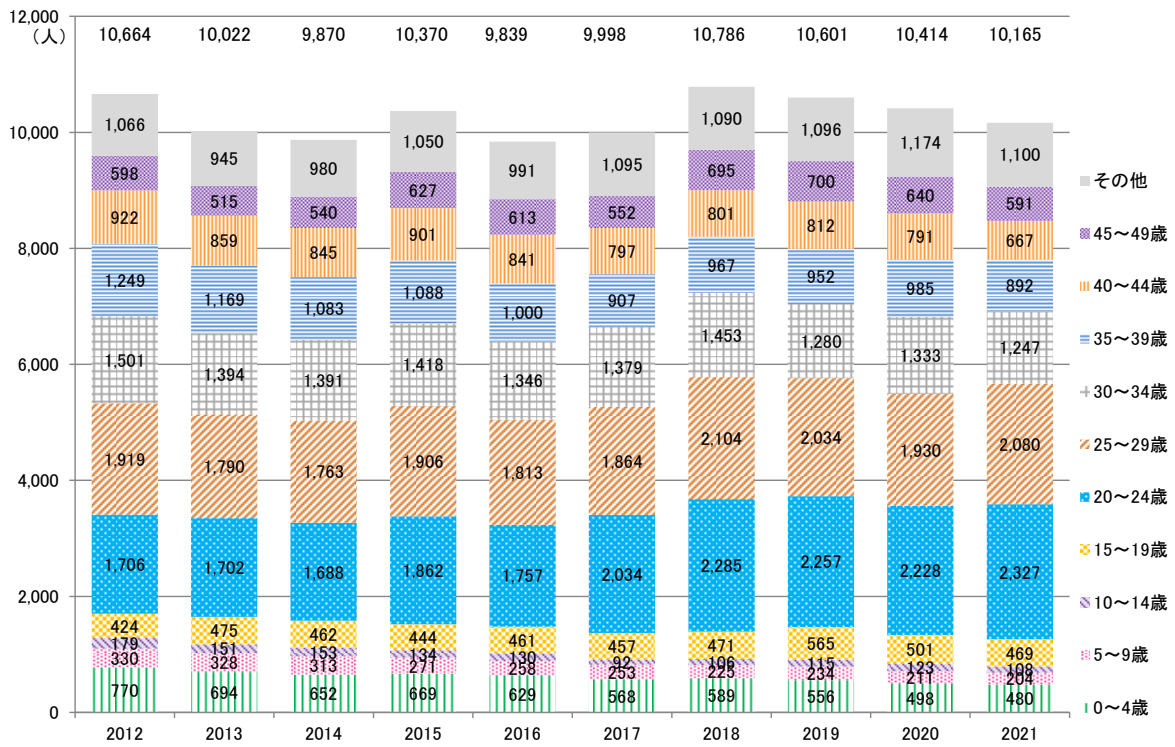
1) 転入

年齢5歳階級別にみると、20~24歳及び25~29歳の転入者数が大きくなっている。20~24歳については、男女ともに増加傾向にあるが、25~29歳については、男性が増加傾向、女性が横ばいで推移している。

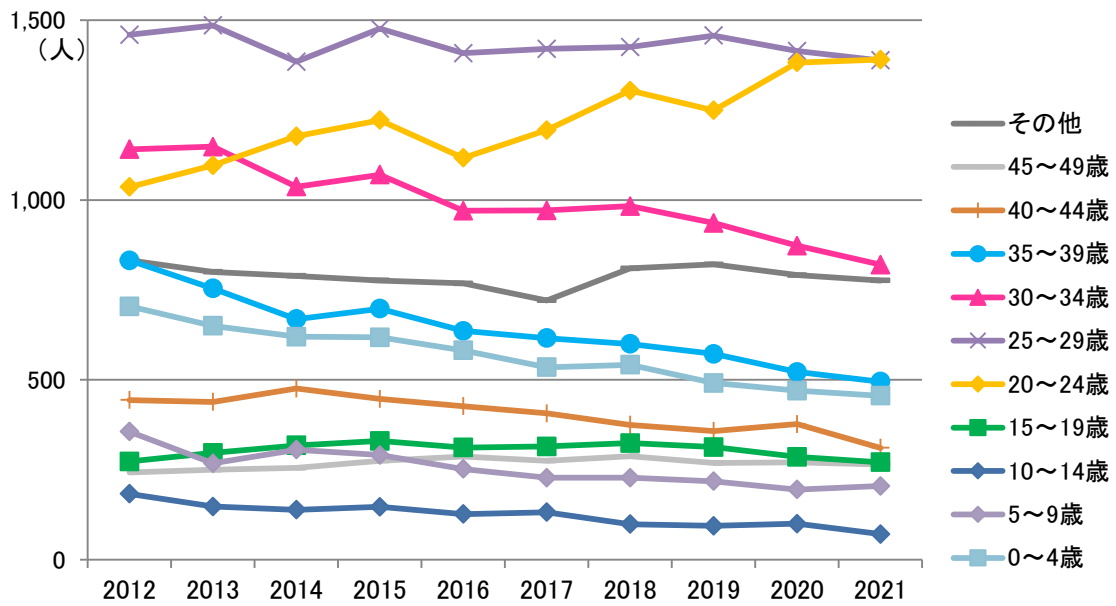
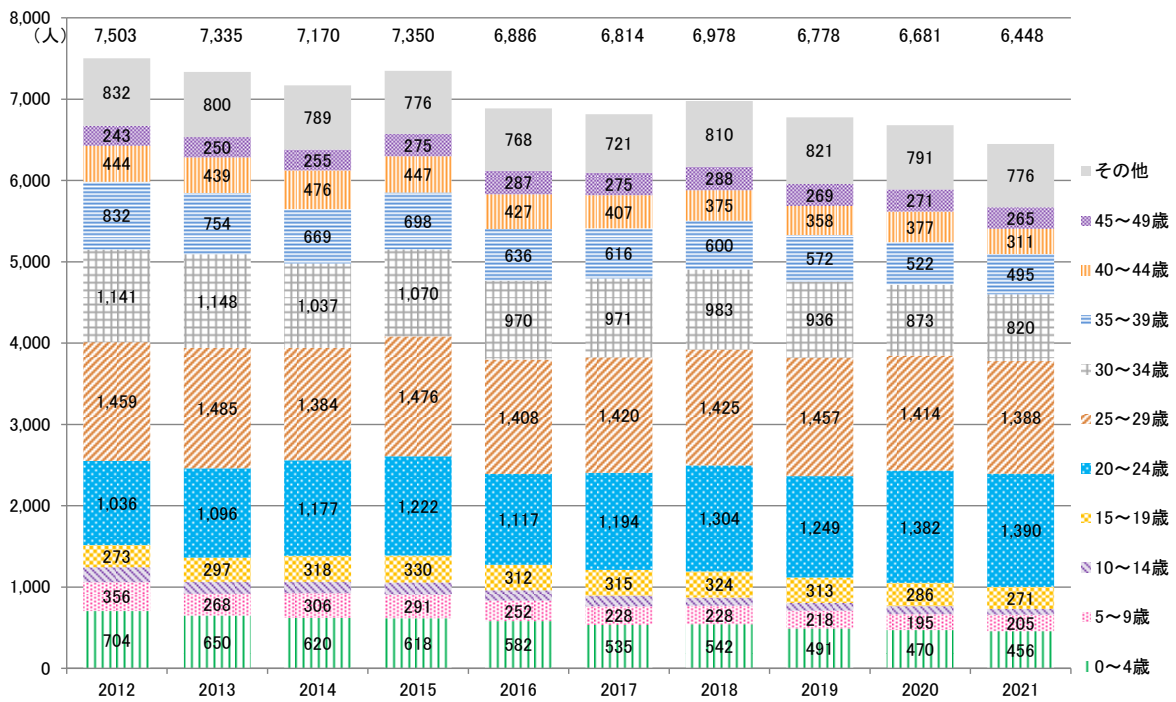
図表 III-43 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-44 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男性-日本人のみ>

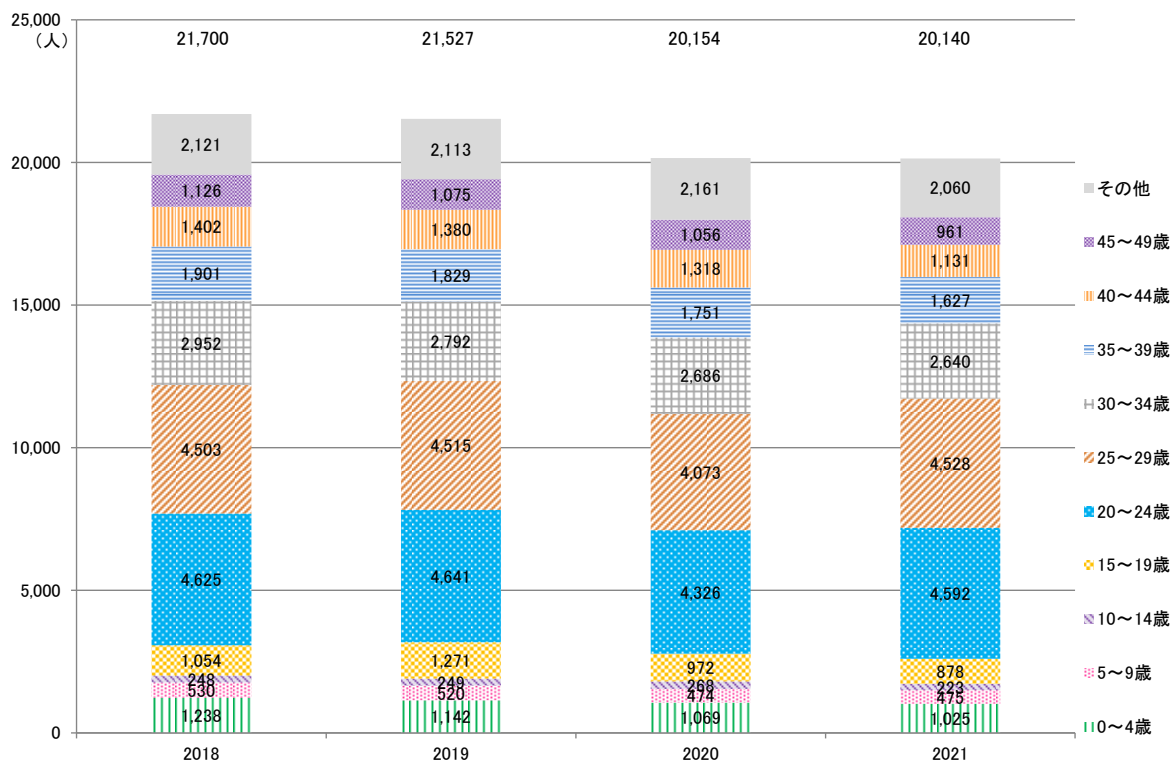


図表 III-45 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-女性-日本人のみ>

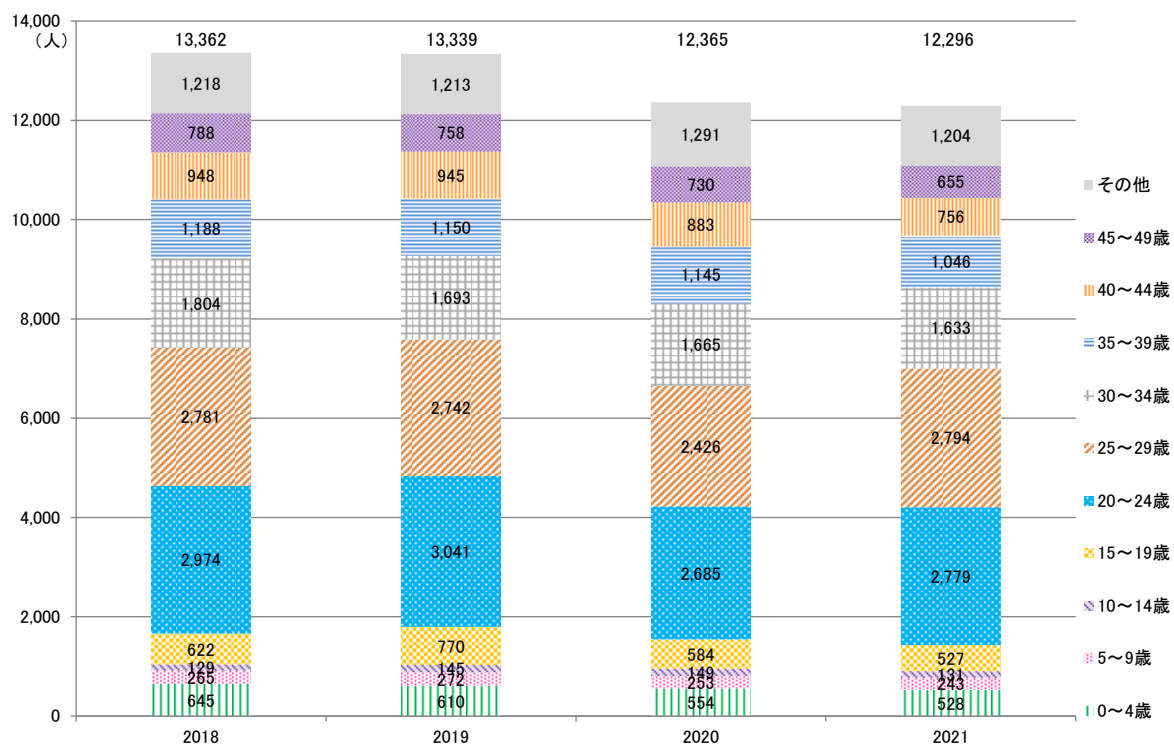


【参考】外国人を含む転入者数

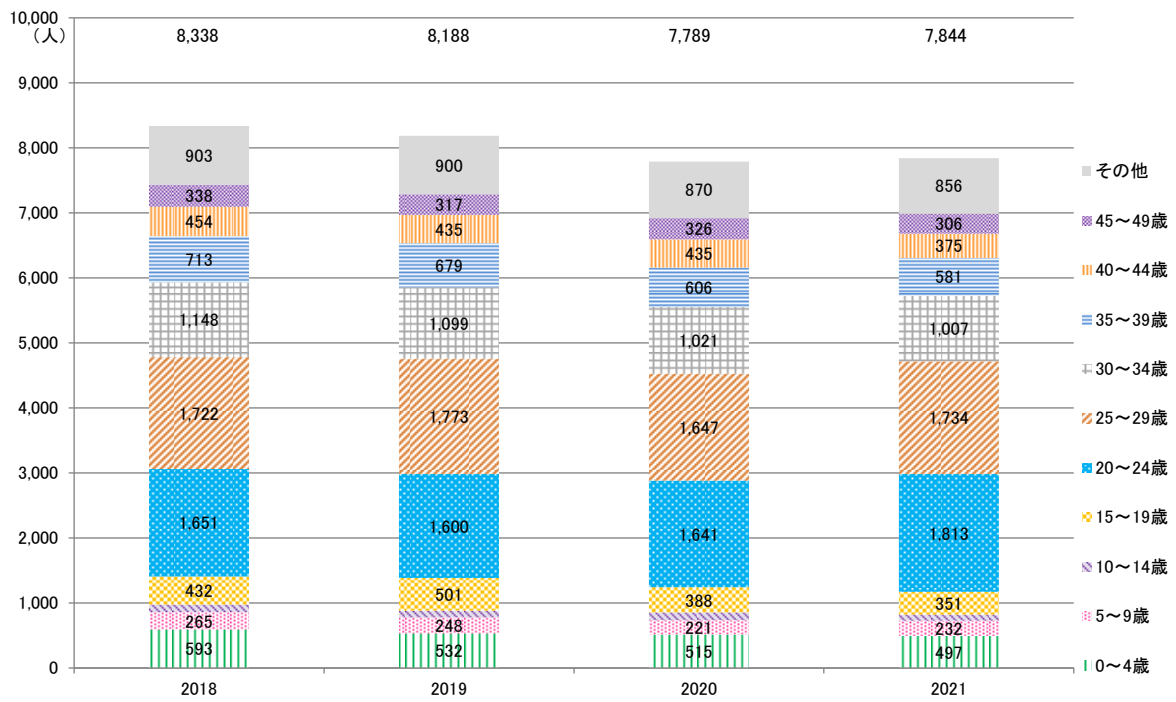
図表 III-46 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-47 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男性-外国人を含む>



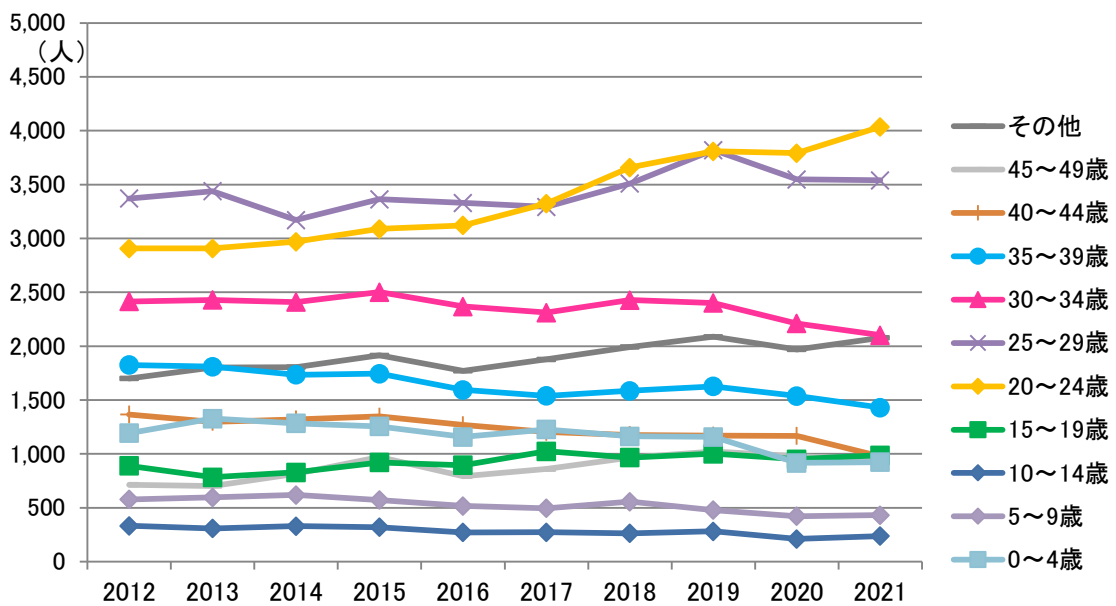
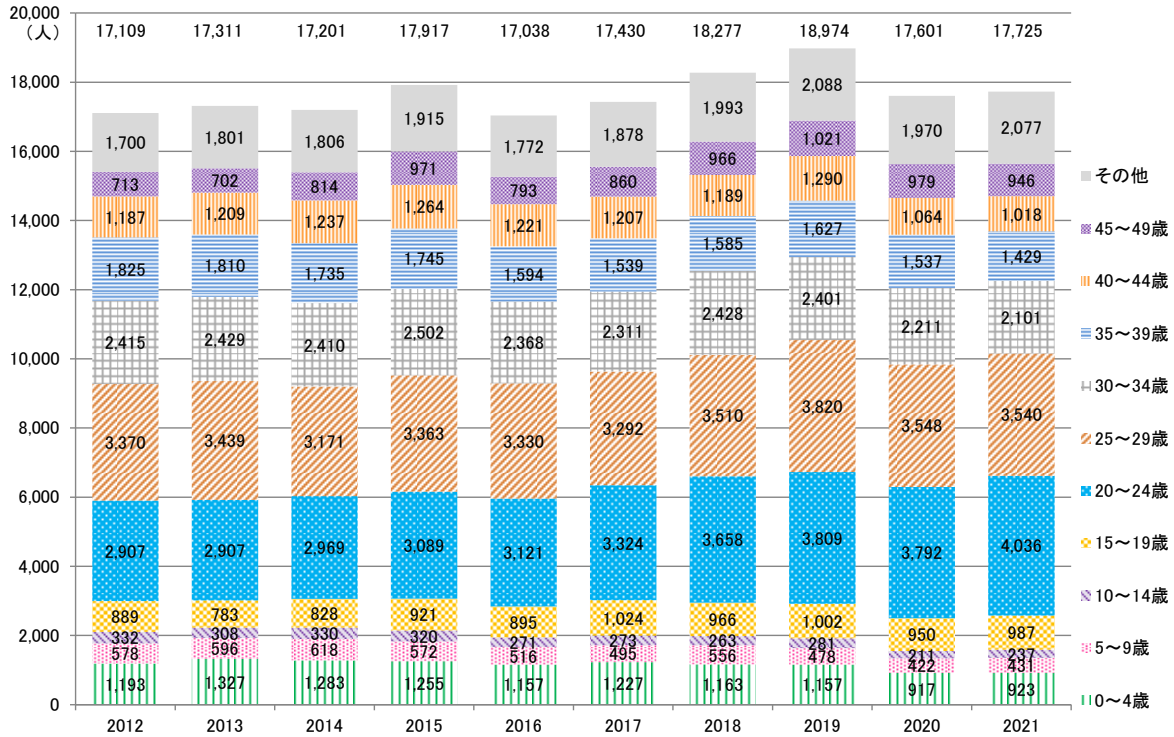
図表 III-48 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-女性-外国人を含む>



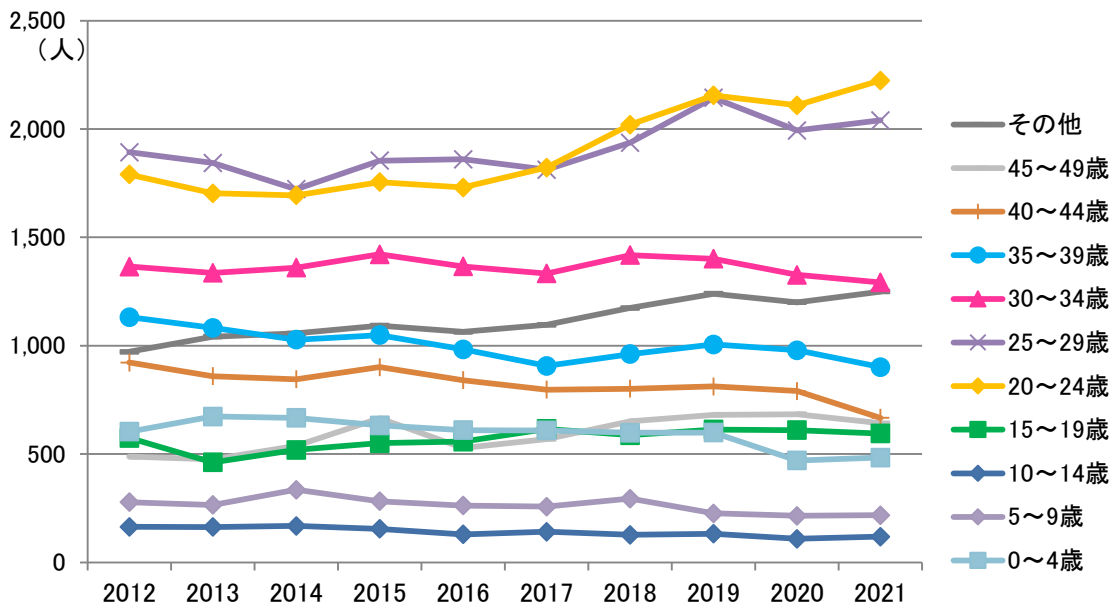
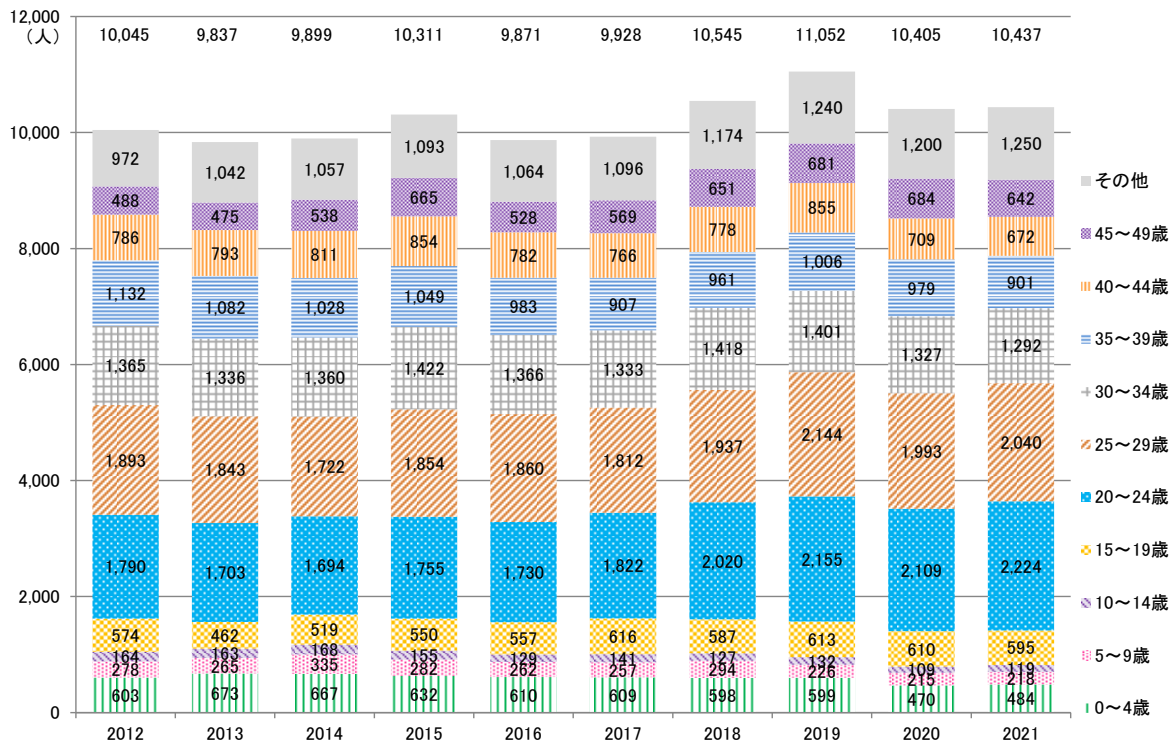
2) 転出

年齢5歳階級別にみると、20~24歳及び25~29歳の転出者数が大きくなっている。転入者数と同様に、20~24歳については、男女ともに増加傾向にあるが、25~29歳については、男性が増加傾向、女性が横ばい・漸減傾向となっている。

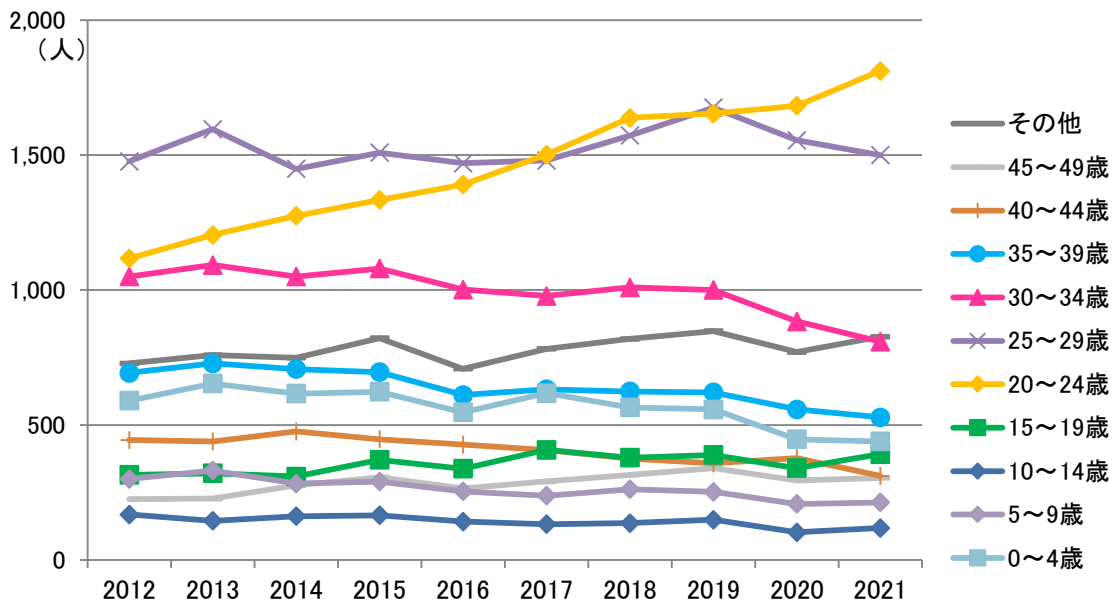
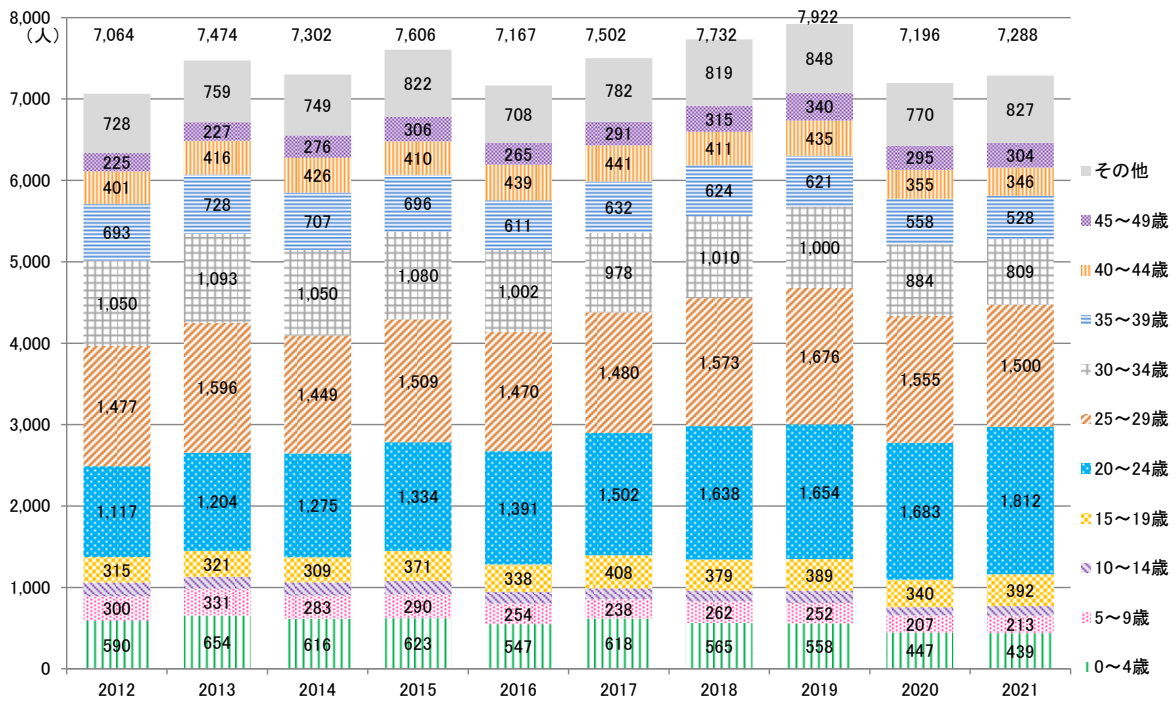
図表 III-49 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-50 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男性-日本人のみ>

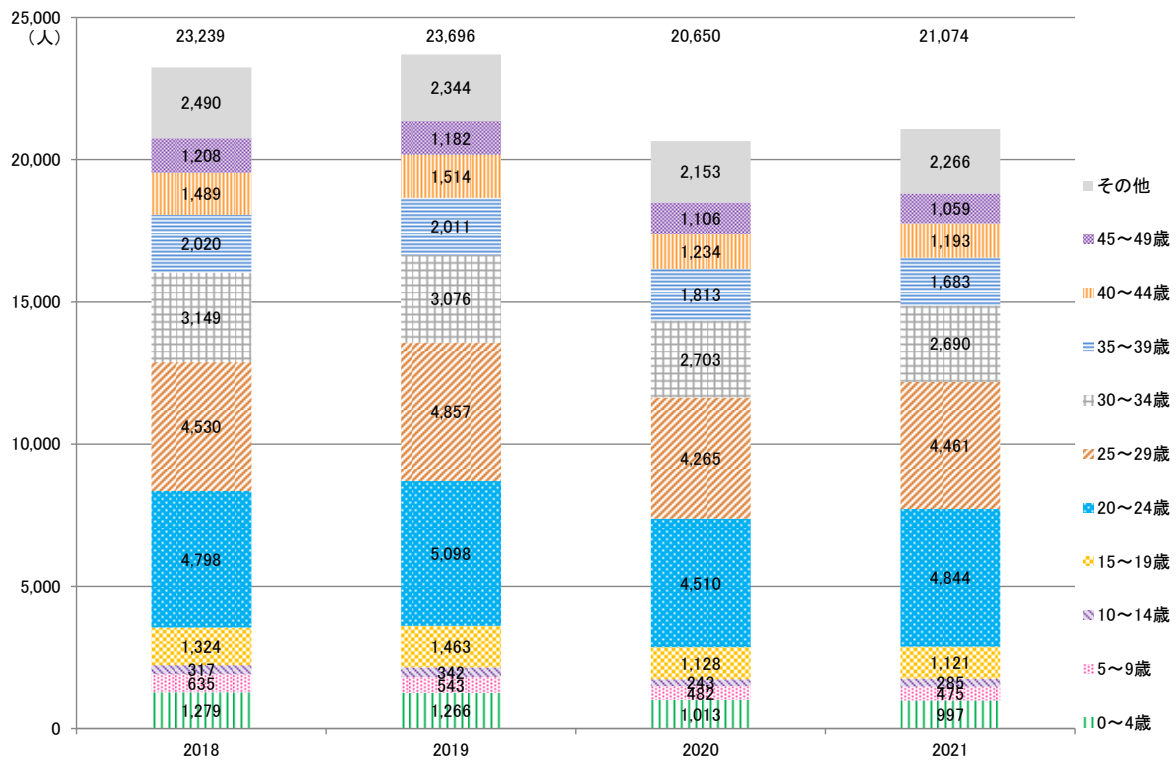


図表 III-51 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-女性-日本人のみ>

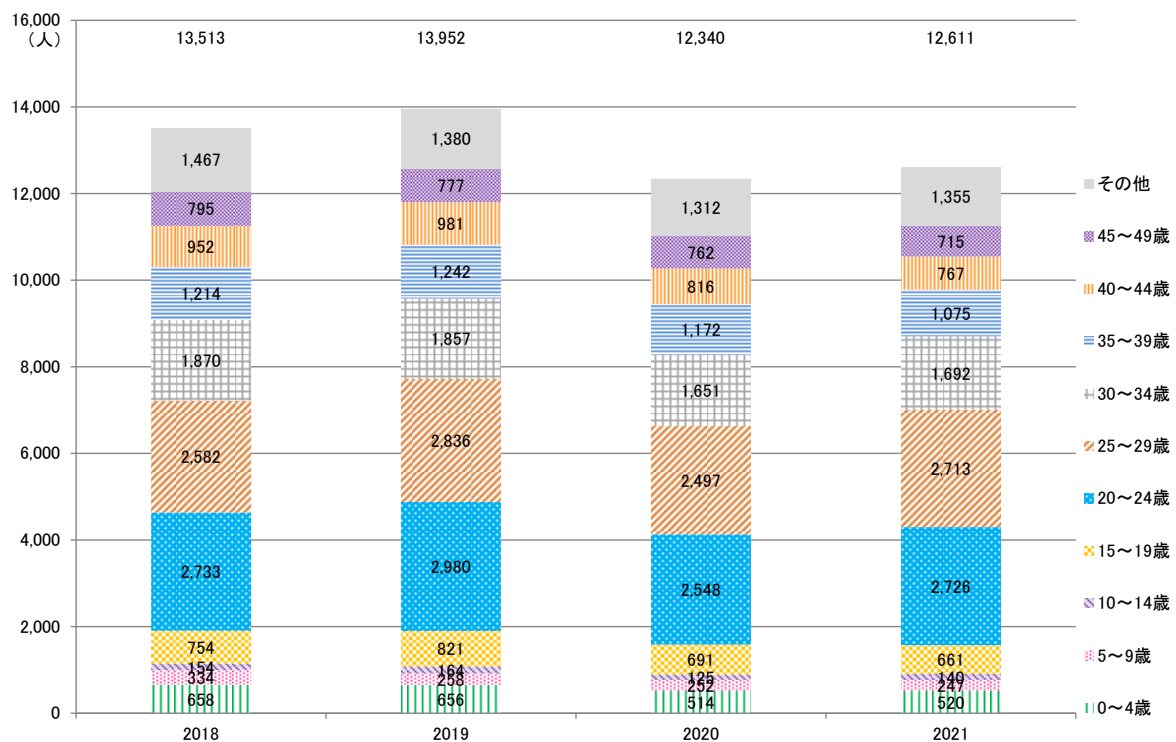


【参考】外国人を含む転出者数

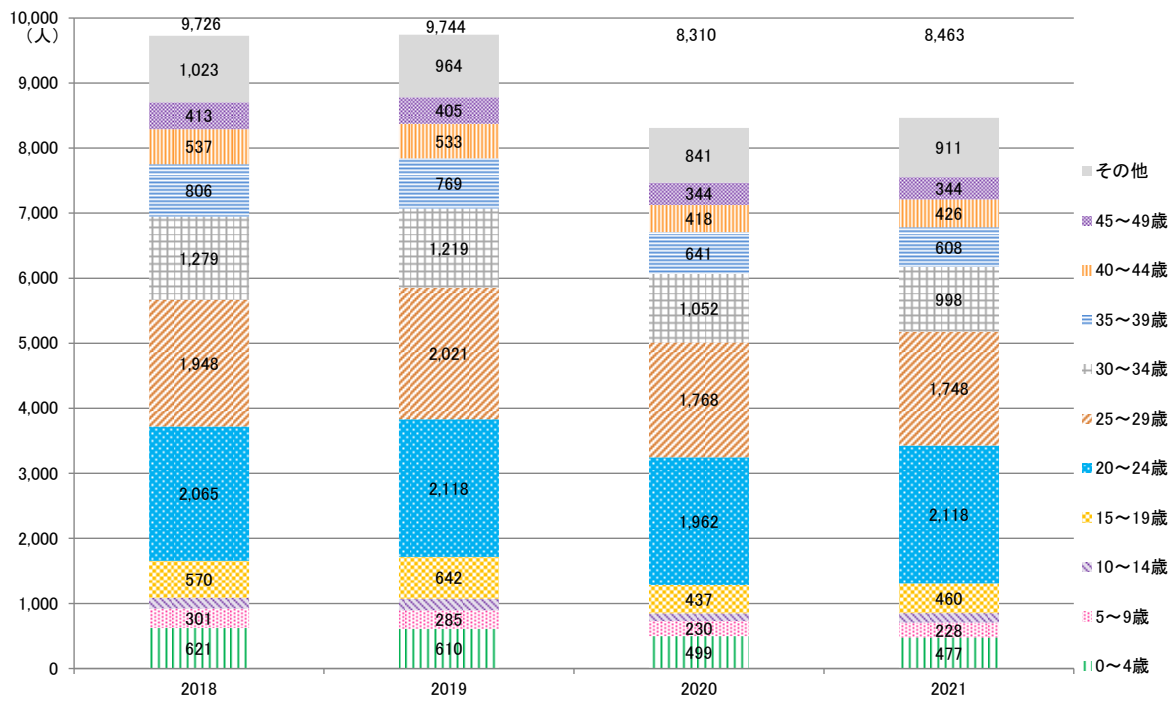
図表 III-52 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-53 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男性-外国人を含む>



図表 III-54 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-女性-外国人を含む>

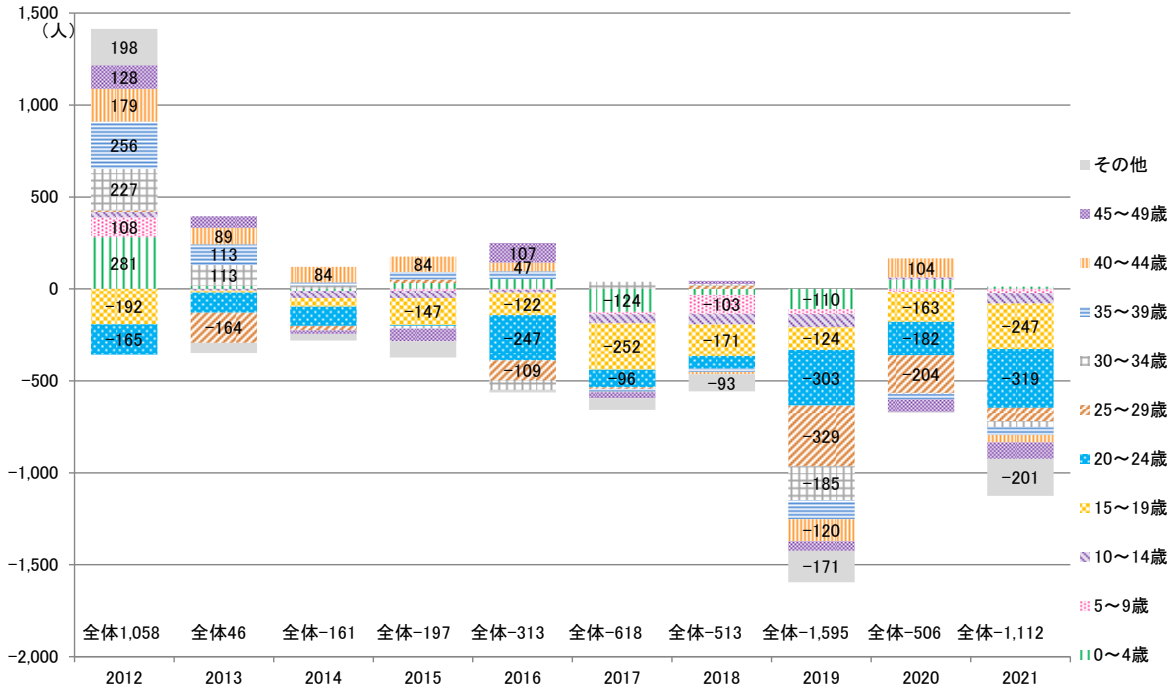


3) 転入超過

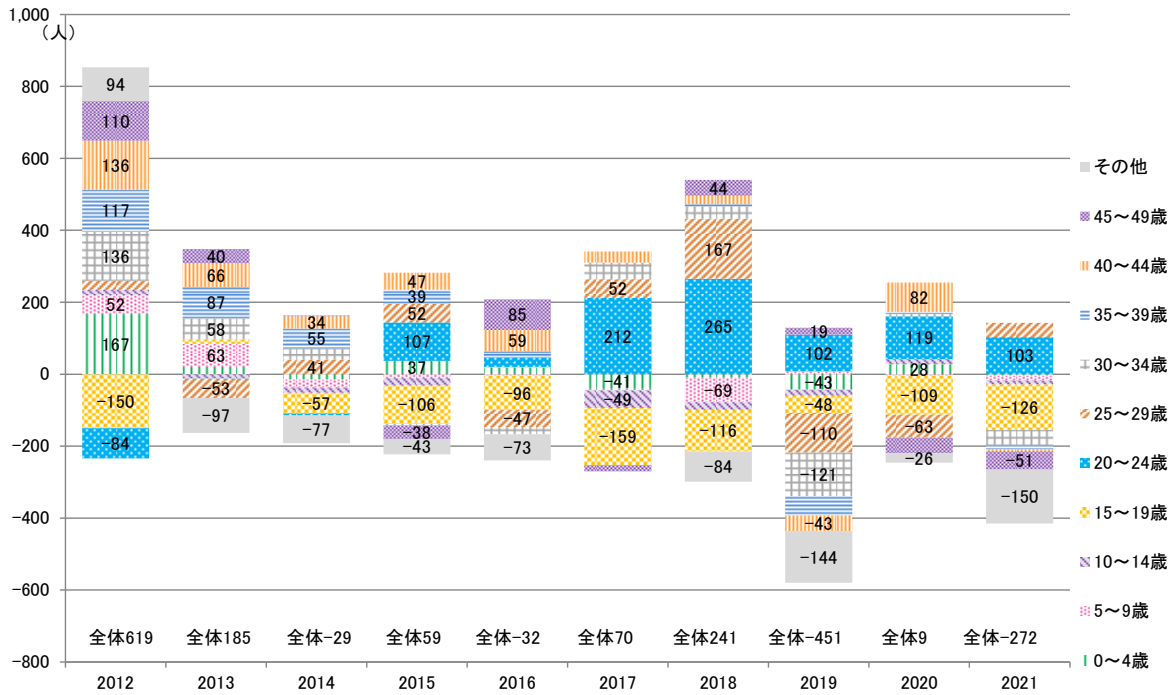
年齢5歳階級別にみると、15~19歳、20~24歳、25~29歳の転出超過数が大きくなってきている。特に2019年には大幅な転出超過となり、20~24歳及び25~29歳の転出超過数が大きく増加している。

男女別にみると、男性の20~24歳は2015年以降転入超過が続いているが、女性の20~24歳は大幅な転出超過が継続している。

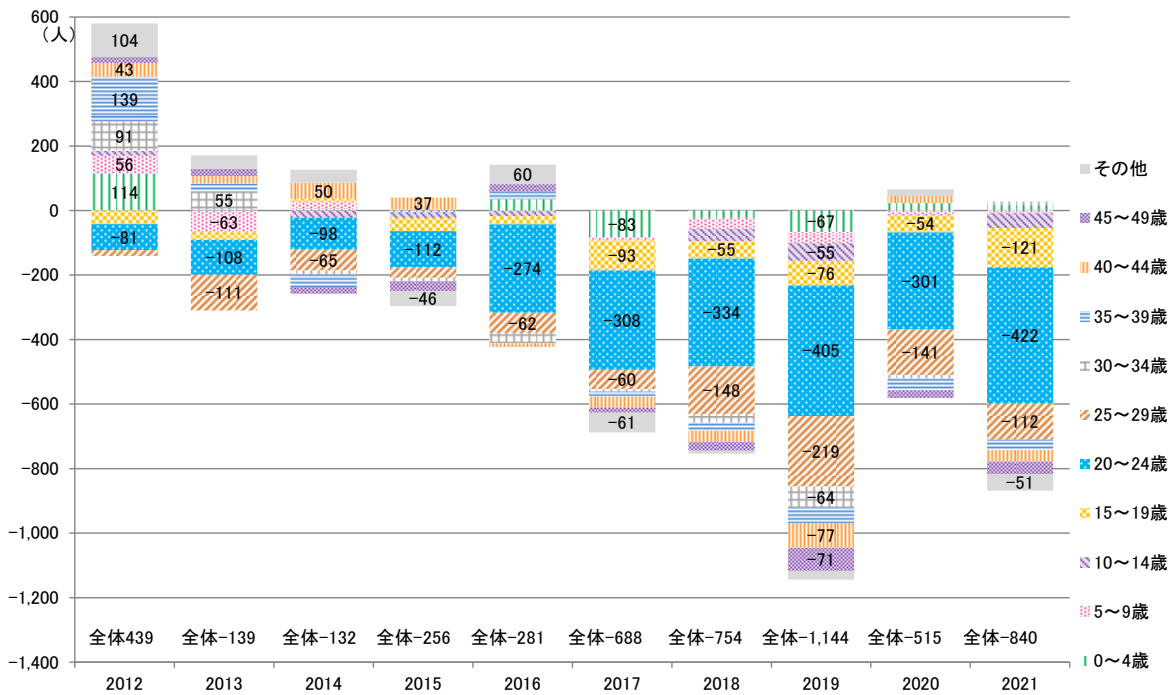
図表 III-55 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-56 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男性-日本人のみ>

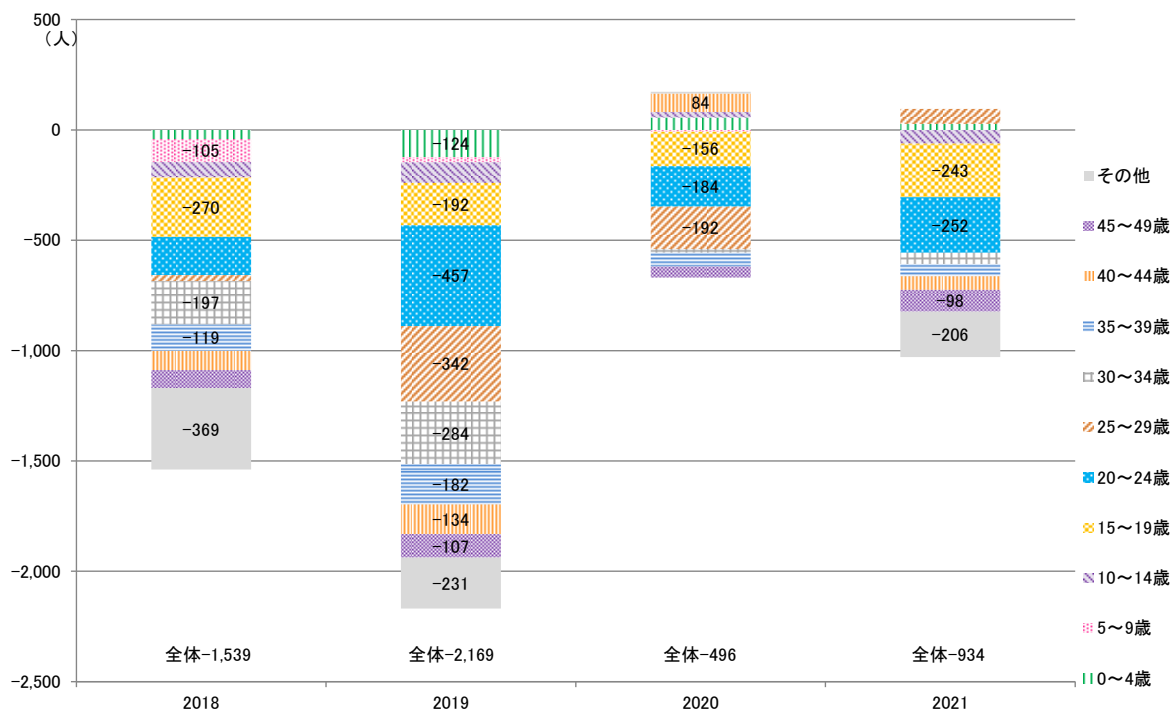


図表 III-57 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-女性-日本人のみ>

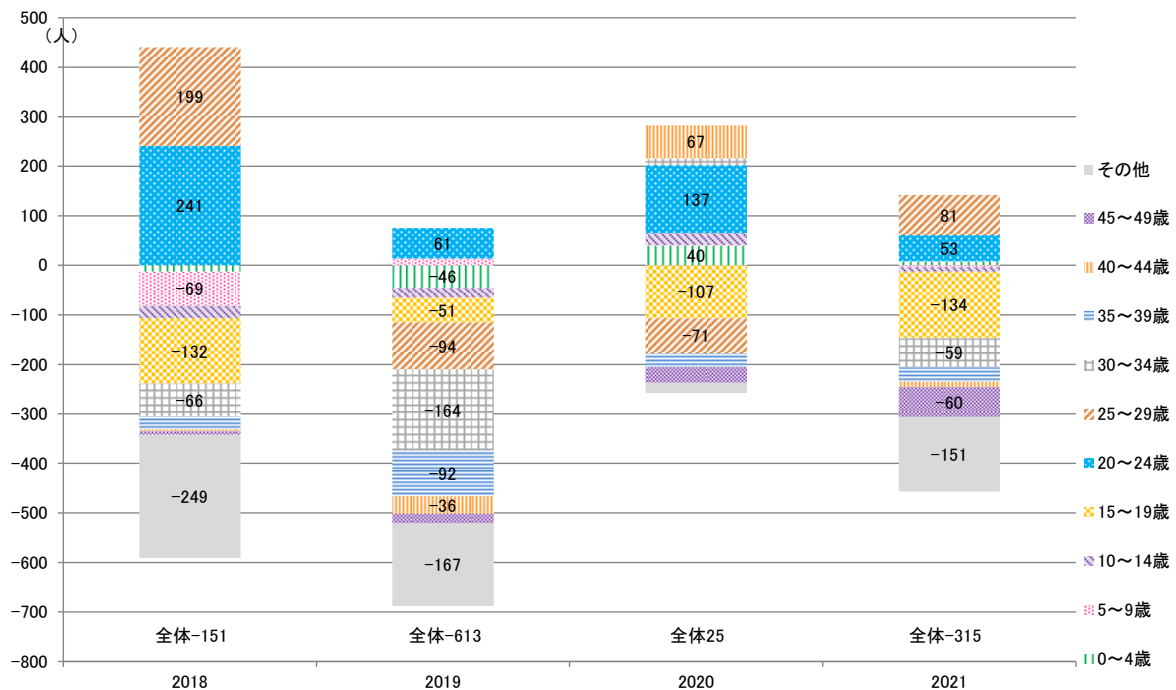


【参考】外国人を含む転入超過数

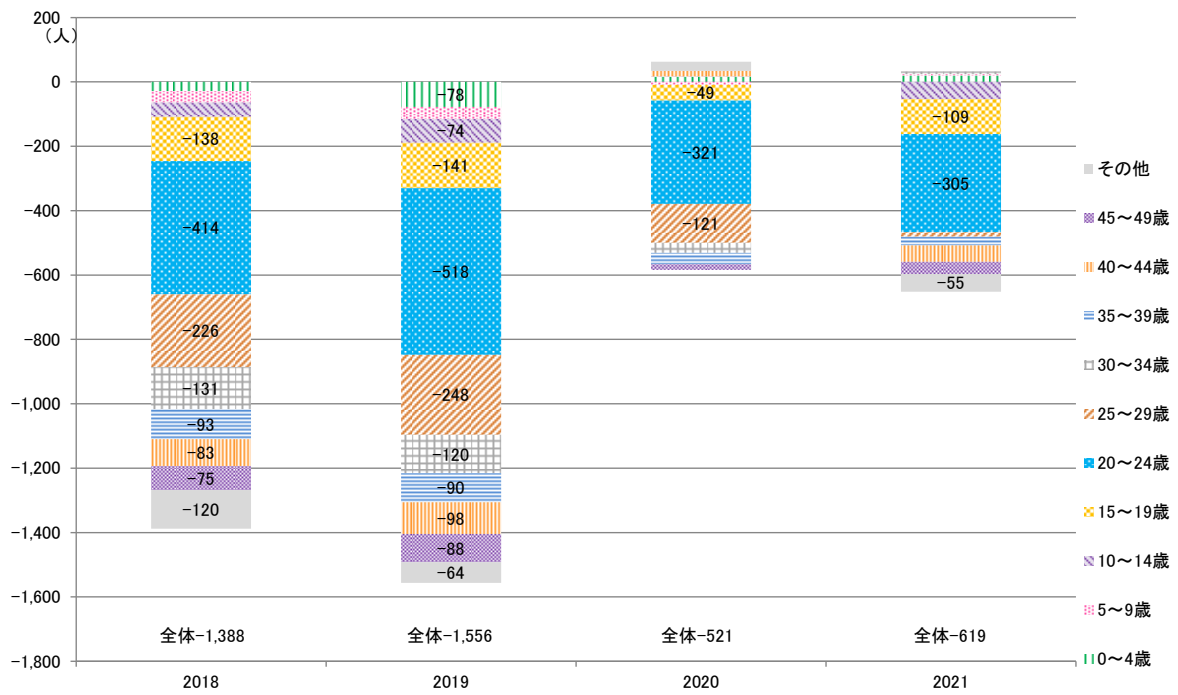
図表 III-58 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-59 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-男性-外国人を含む>



図表 III-60 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<北勢-女性-外国人を含む>

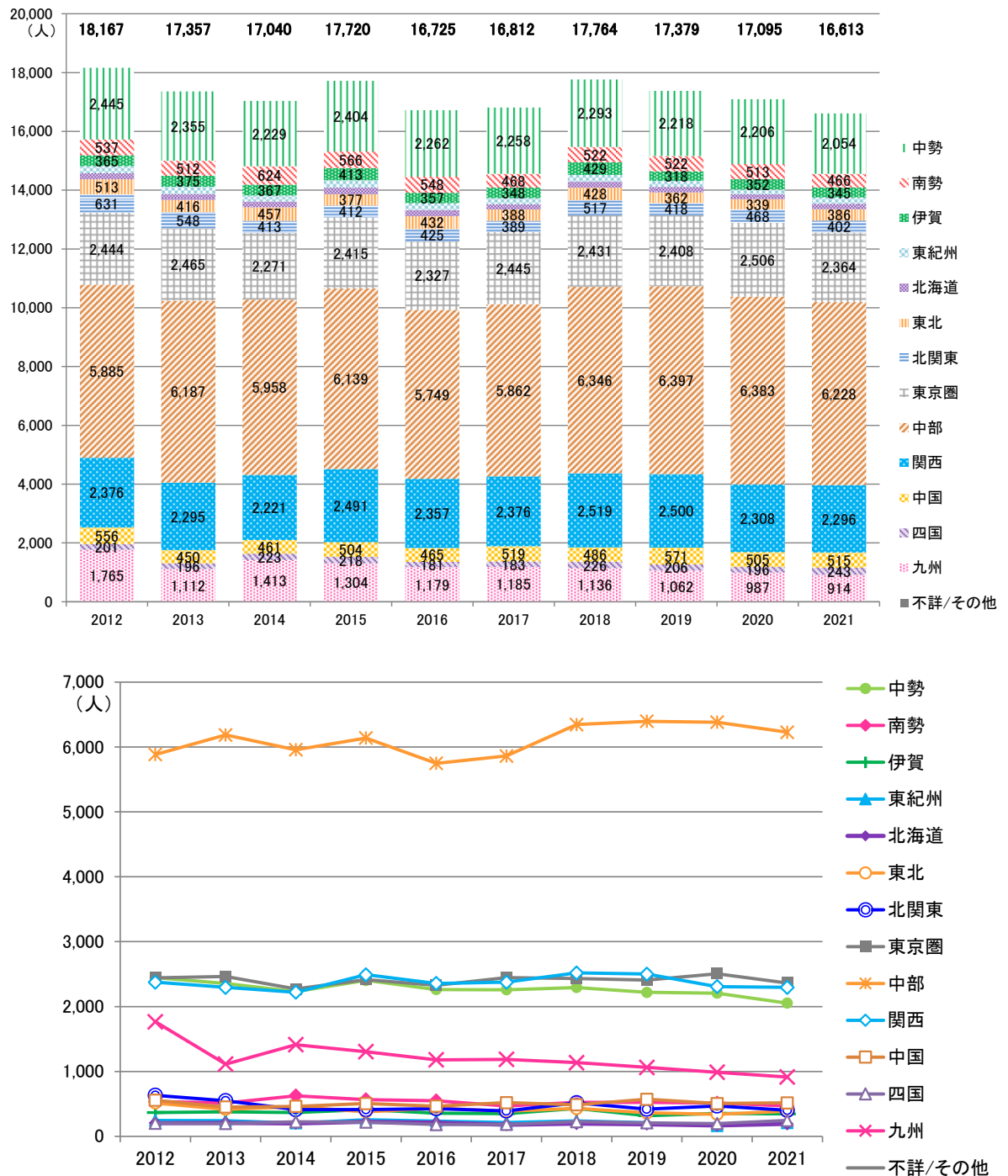


② 移動地域別

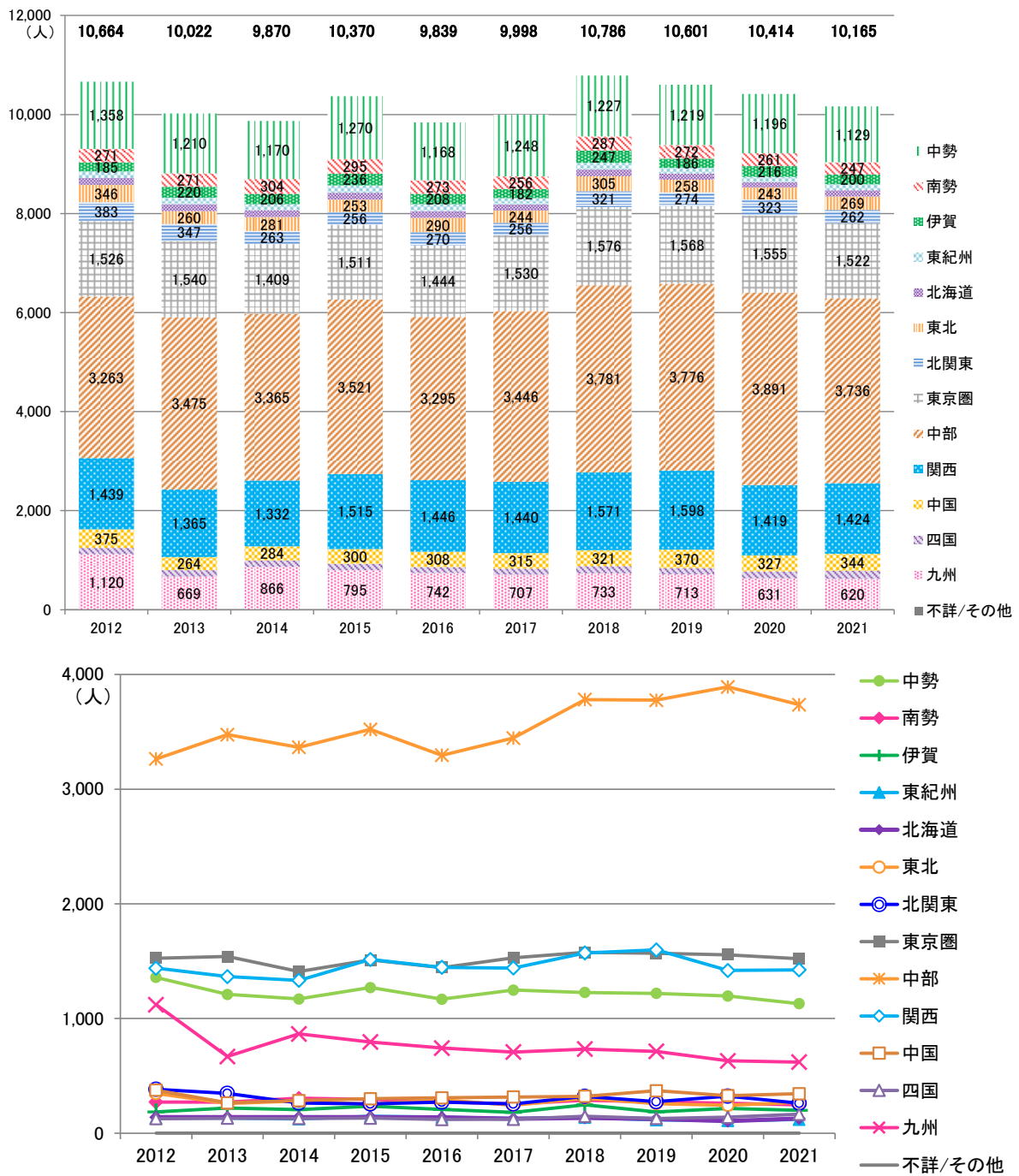
1) 転入

転入者数を男女別・移動地域別にみると、移動地域別の移動数の順位に男女間で多少の差異はあるものの、中部地域からの転入者数が最も多いなど、移動地域別の傾向は男女でほぼ同様となっている。ただし、中部からの転入者数は男性では増加傾向にあり、女性では横ばいで推移している。

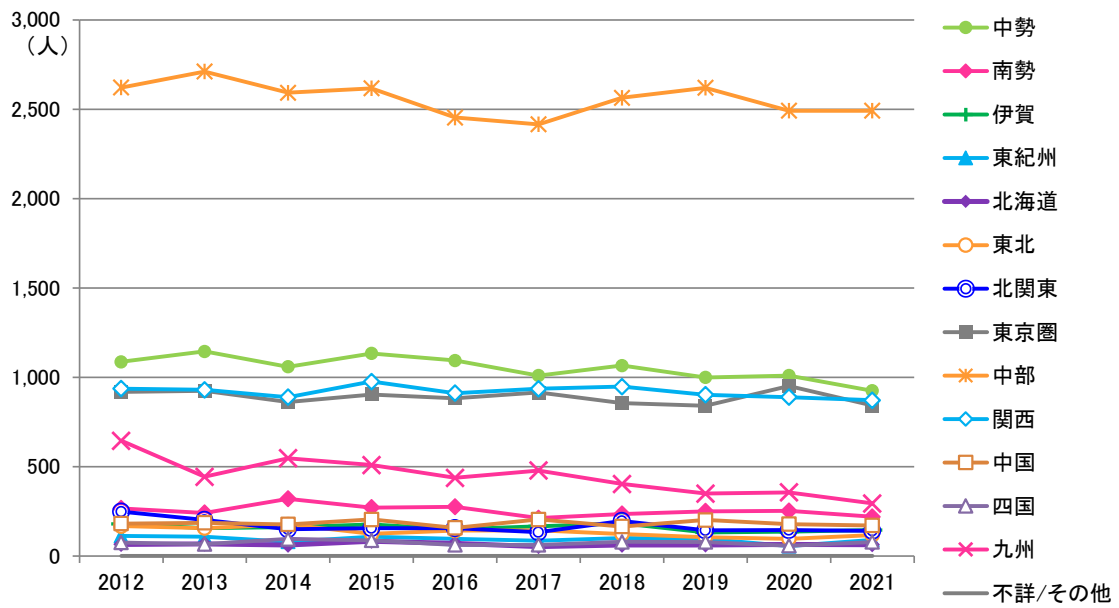
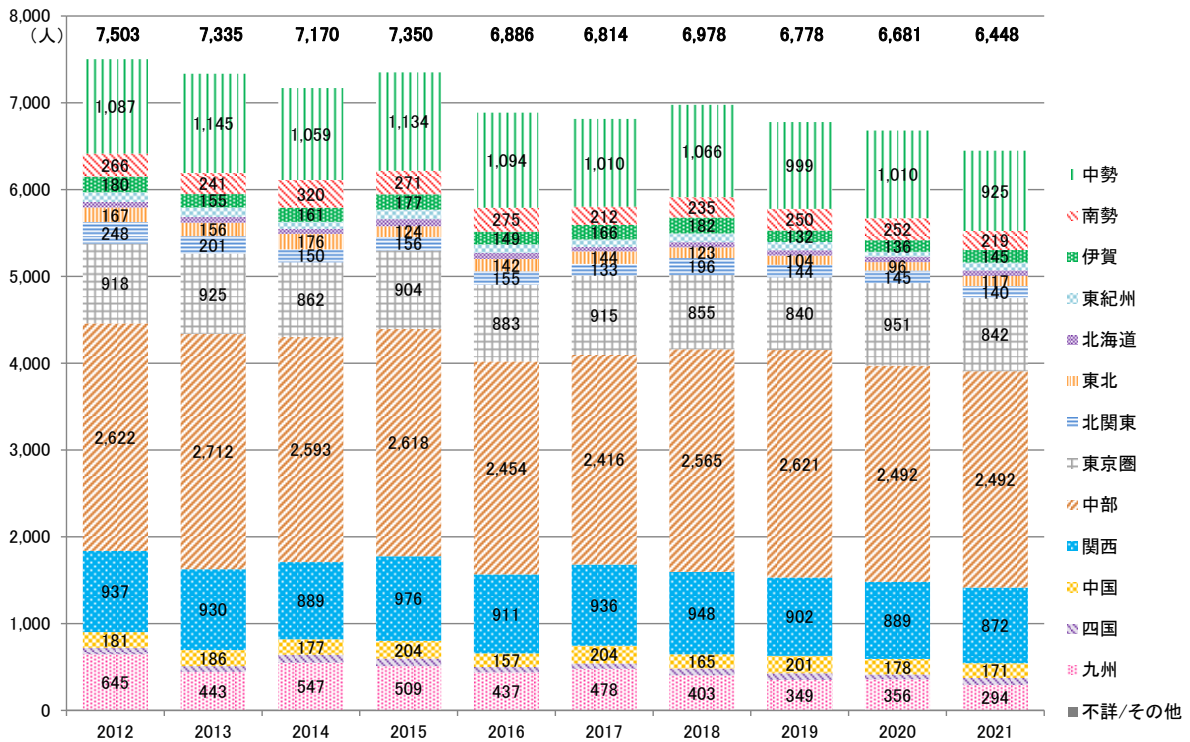
図表 III-61 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-62 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男性-日本人のみ>

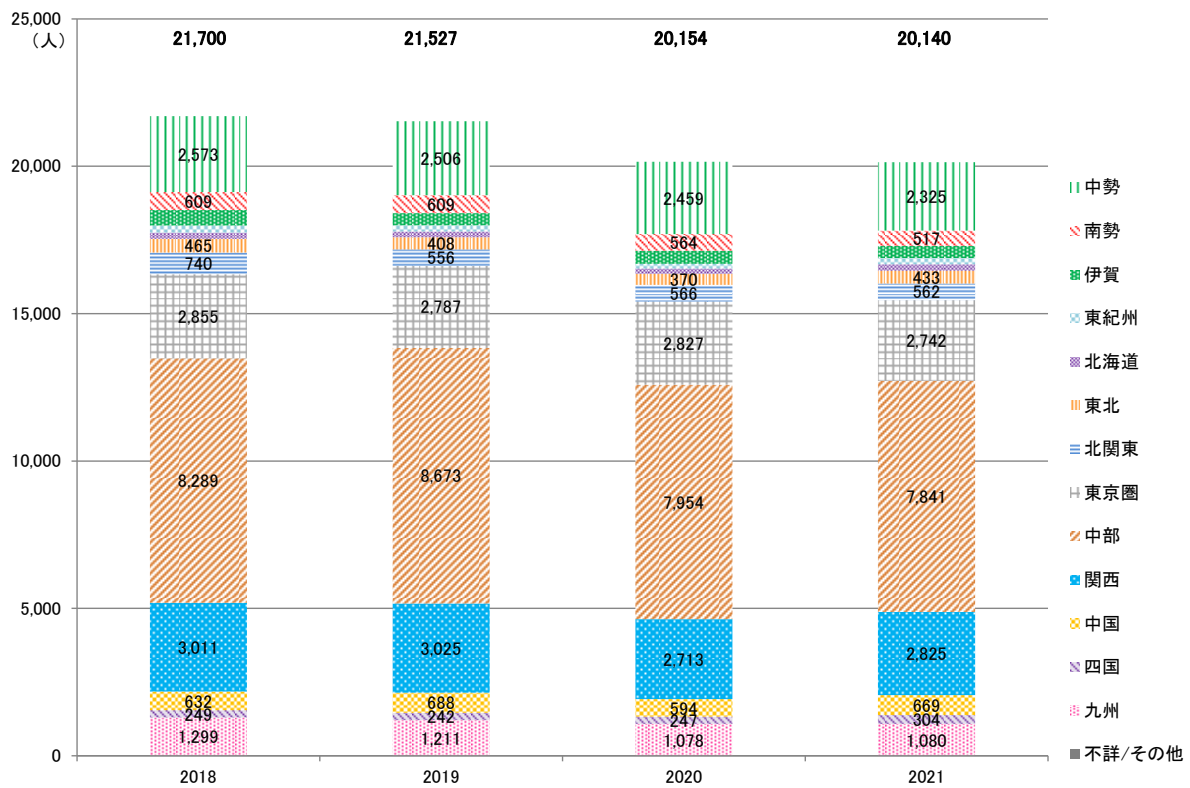


図表 III-63 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-女性-日本人のみ>

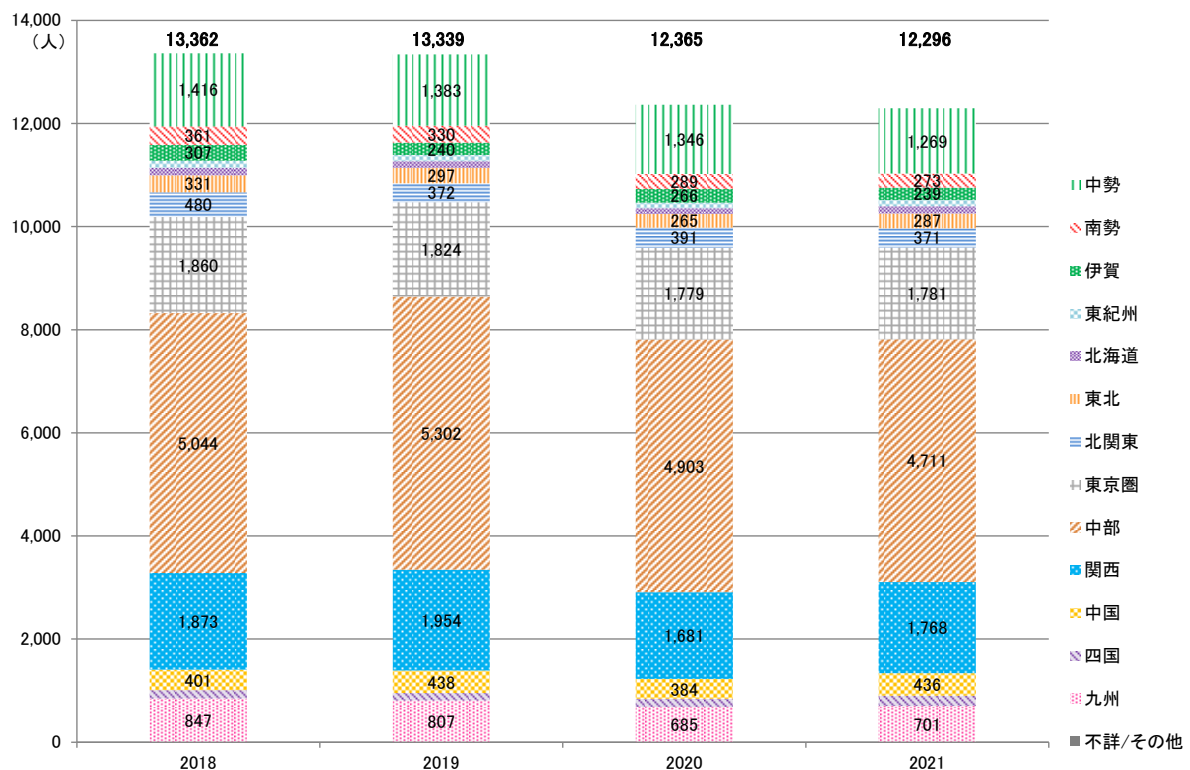


【参考】外国人を含む転入者数

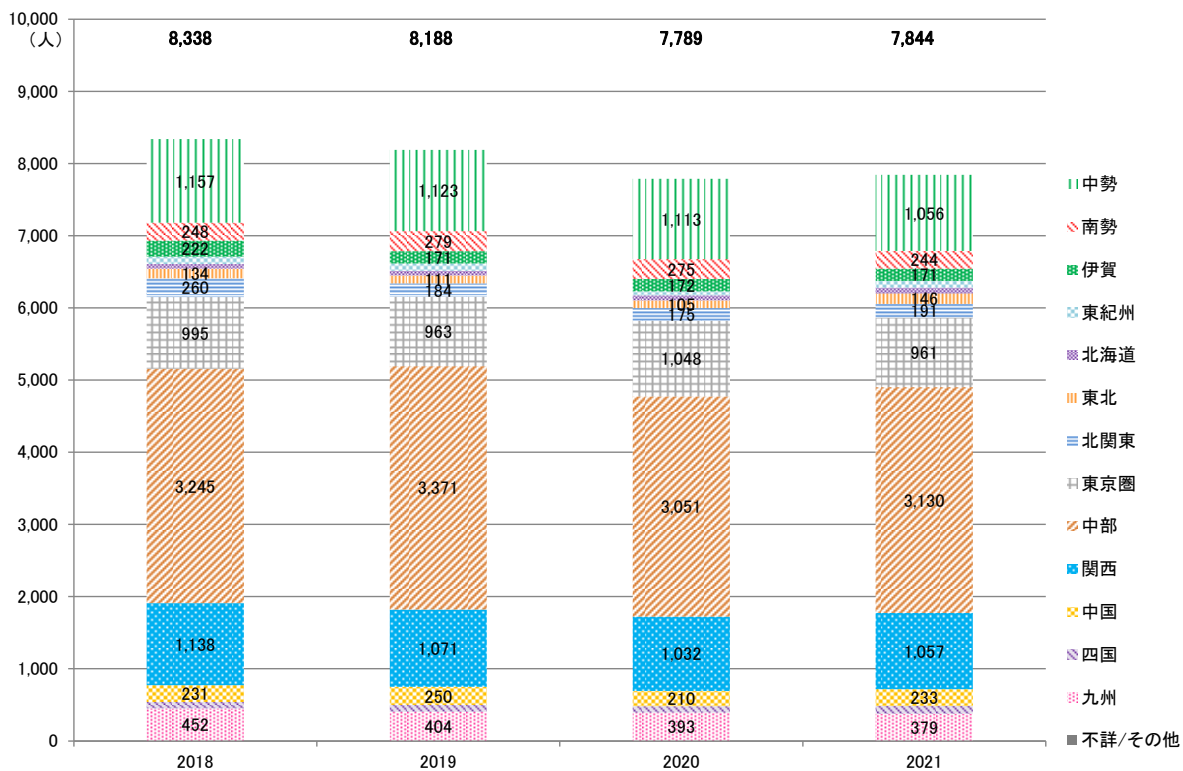
図表 III-64 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-65 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男性-外国人を含む>



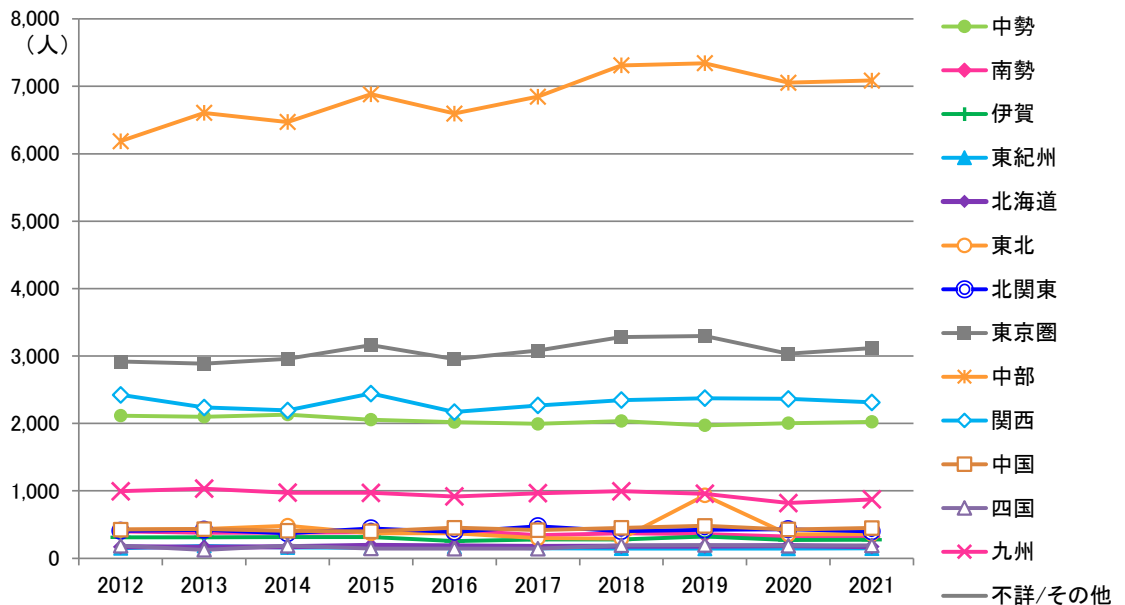
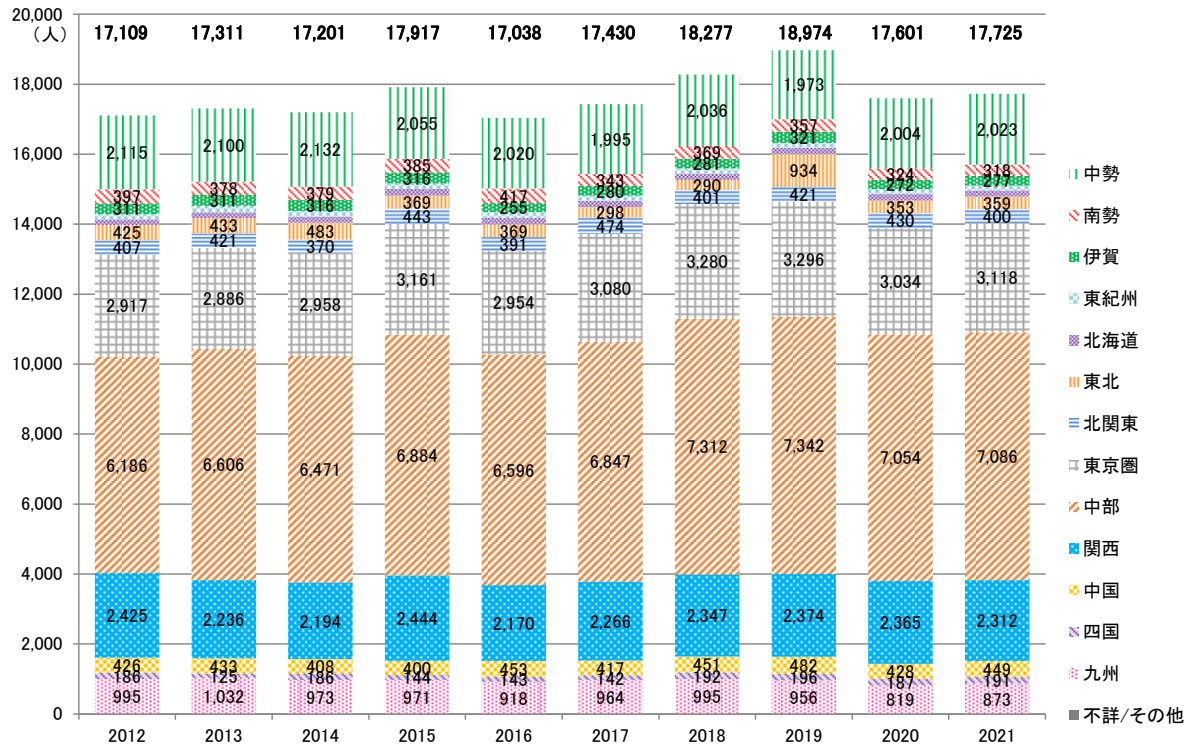
図表 III-66 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-女性-外国人を含む>



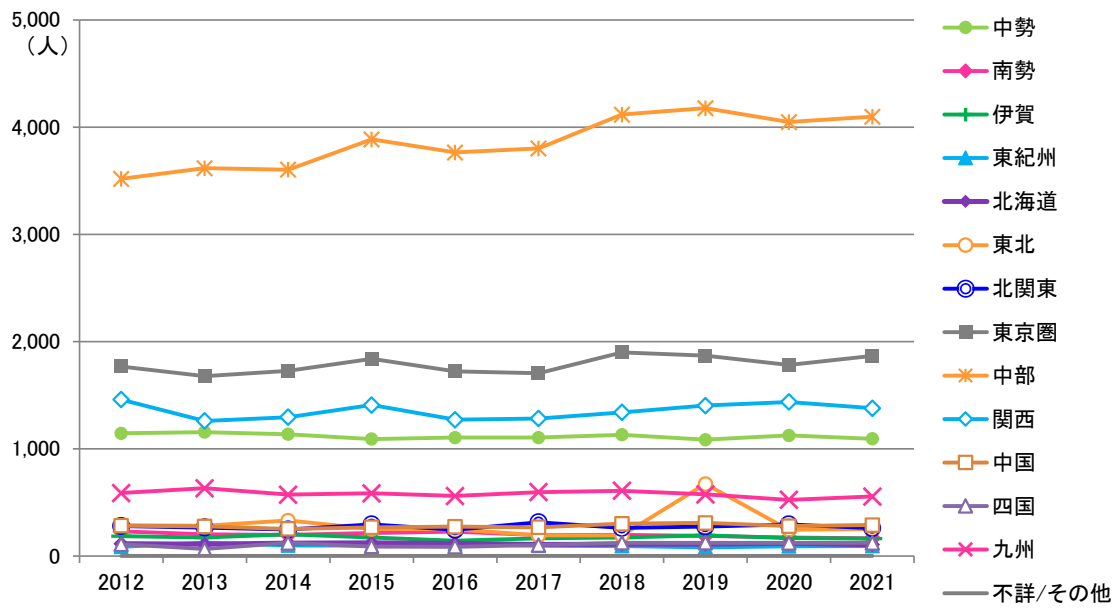
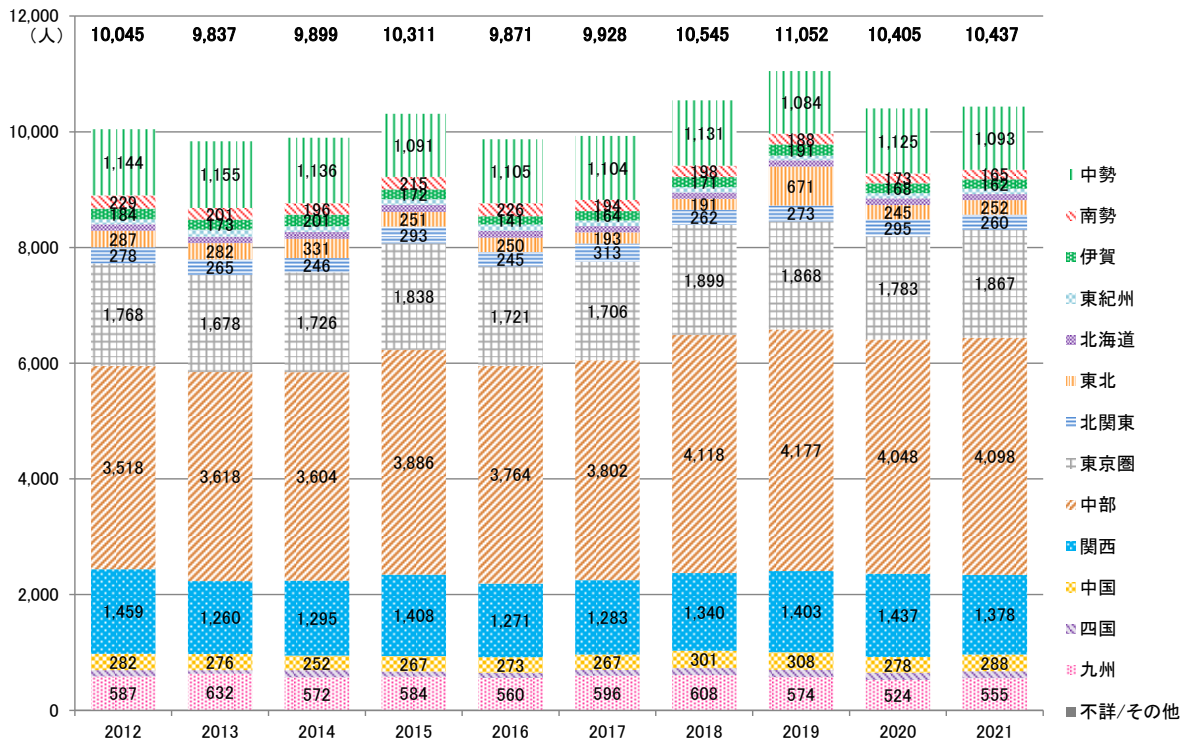
2) 転出

転出者数を男女別・移動地域別にみると、移動地域別の転出者数は男女ともにほぼ同様の傾向を示しているが、男性ではいずれの年次についても関西への転出者数が中勢への転出者数を上回っているのに対し、女性では年次によって両地域への転出者数の大小関係が異なっている。

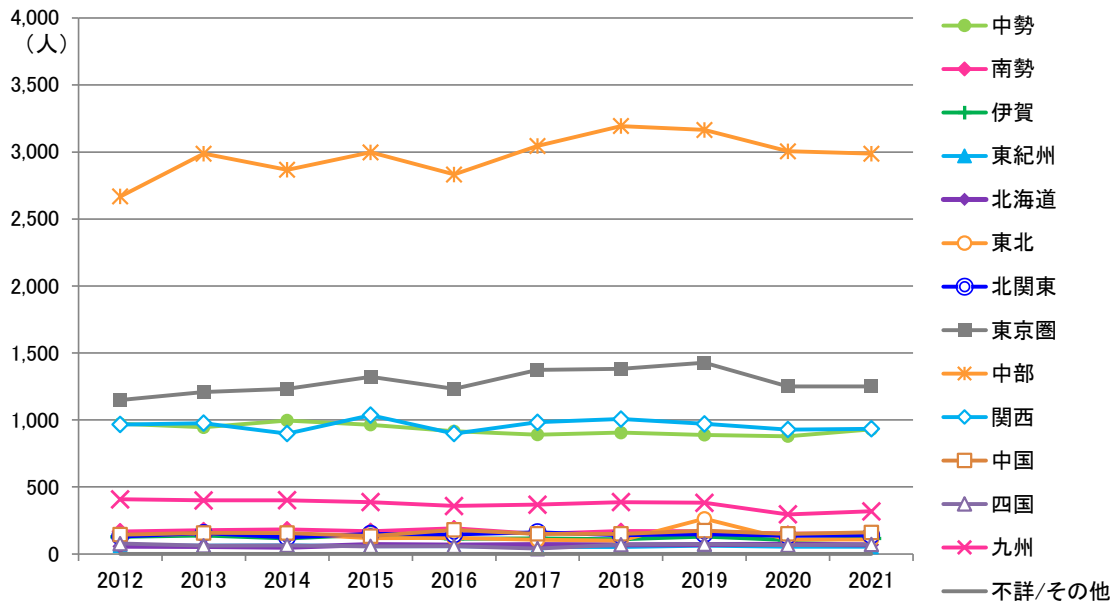
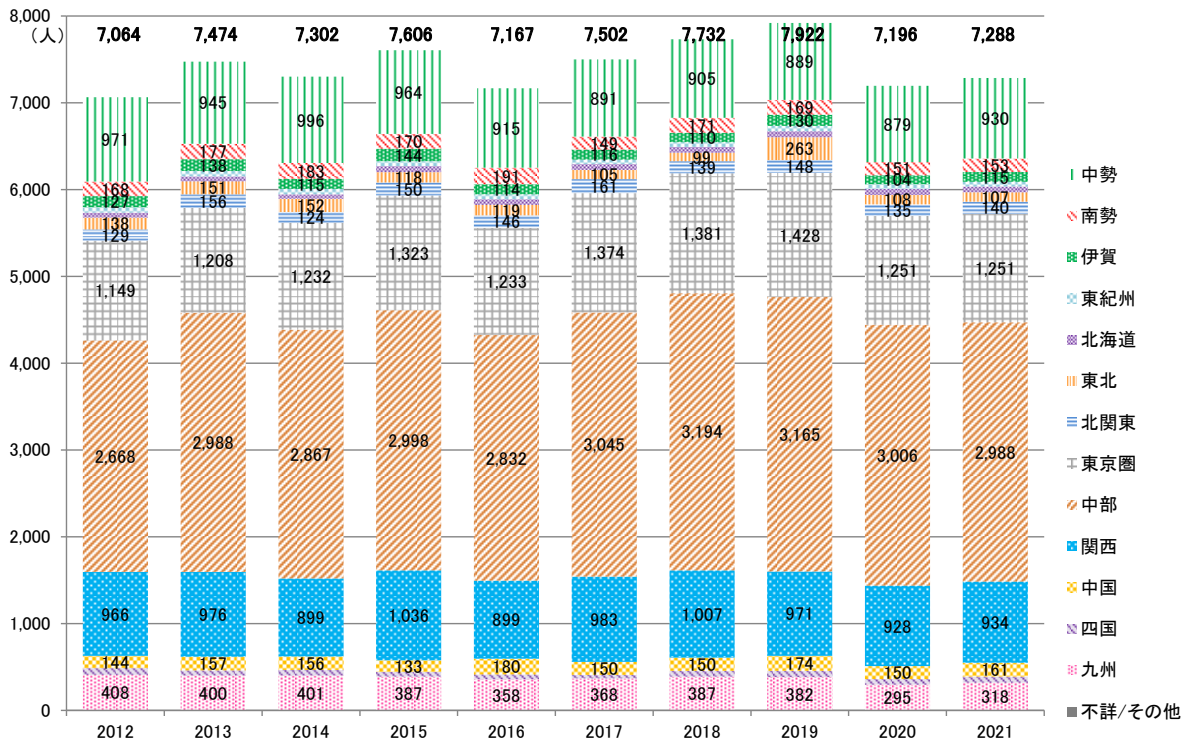
図表 III-67 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-68 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男性-日本人のみ>

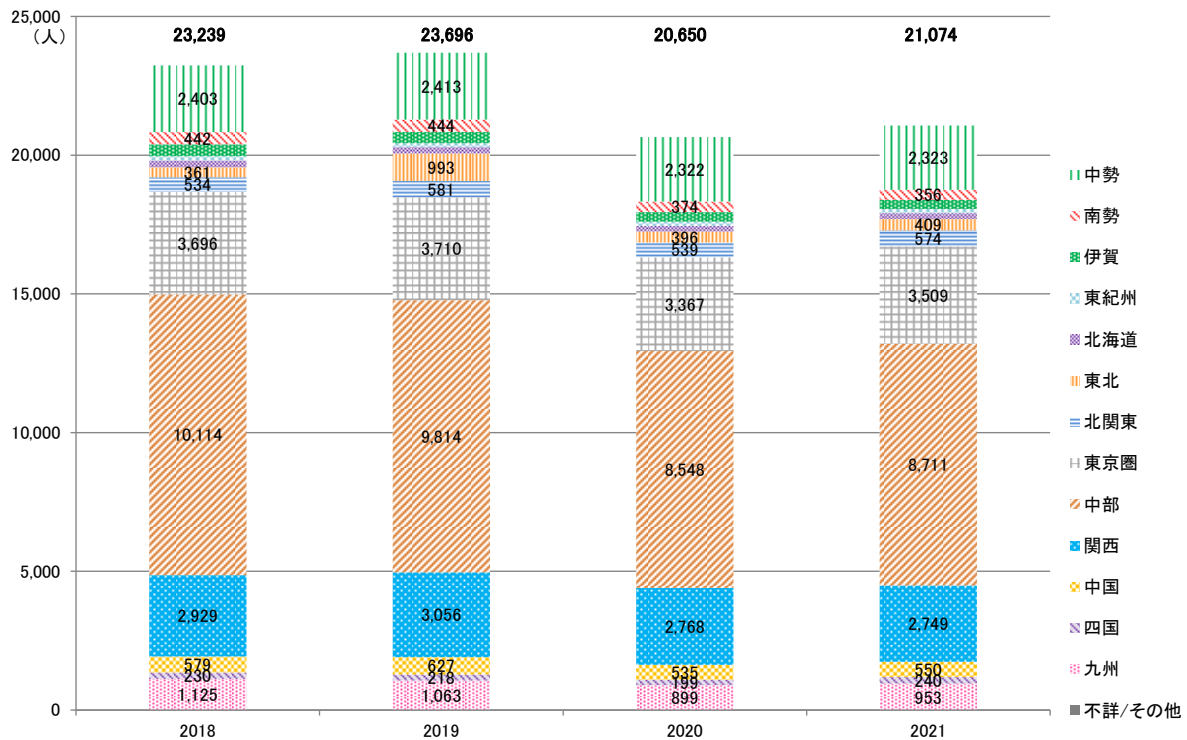


図表 III-69 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-女性-日本人のみ>

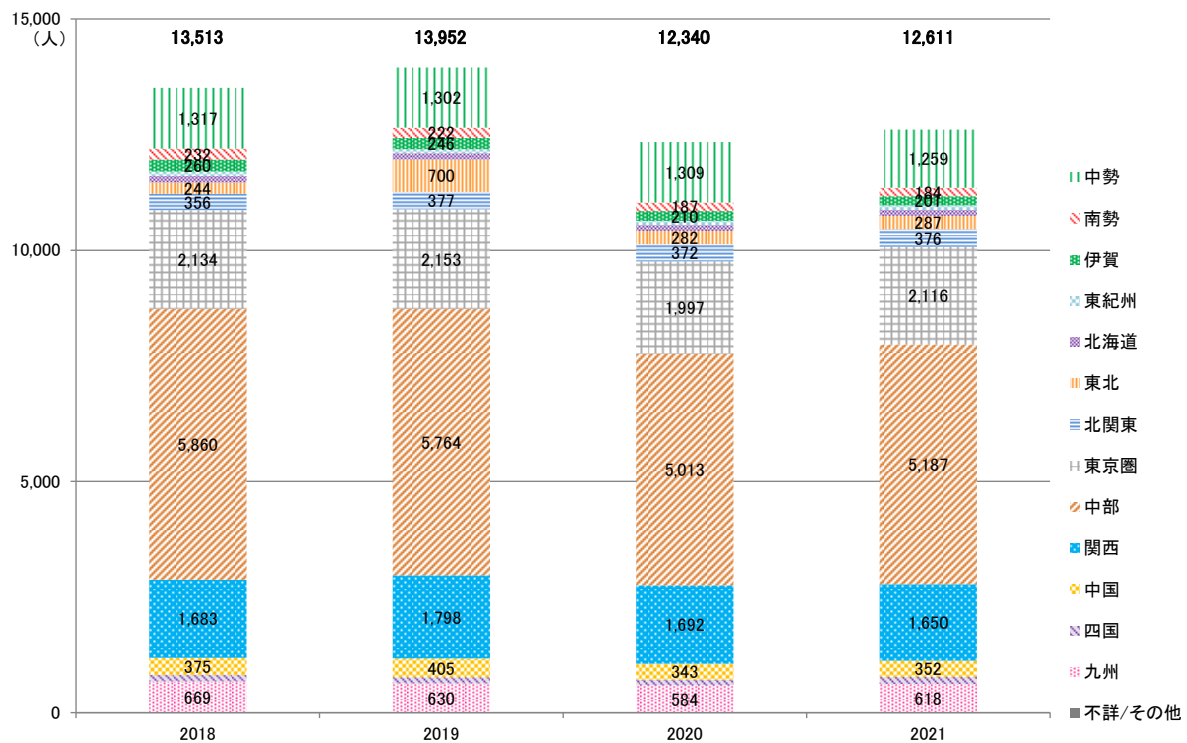


【参考】外国人を含む転出者数

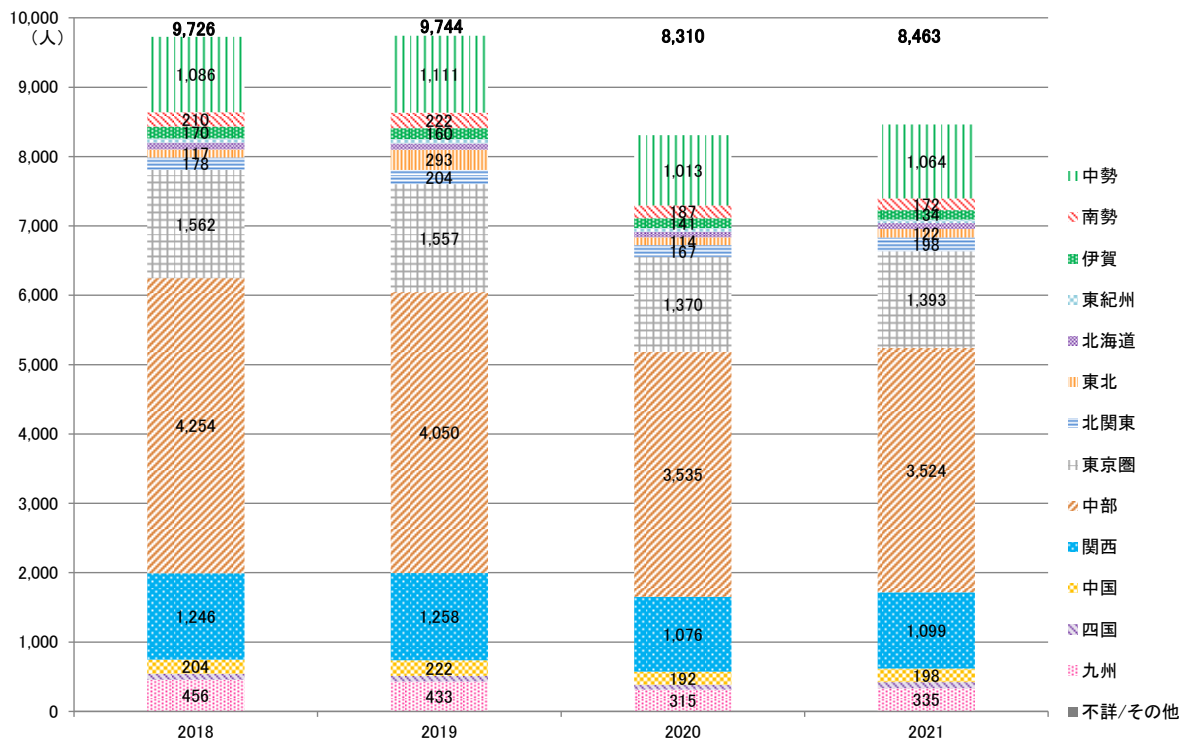
図表 III-70 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-71 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男性-外国人を含む>



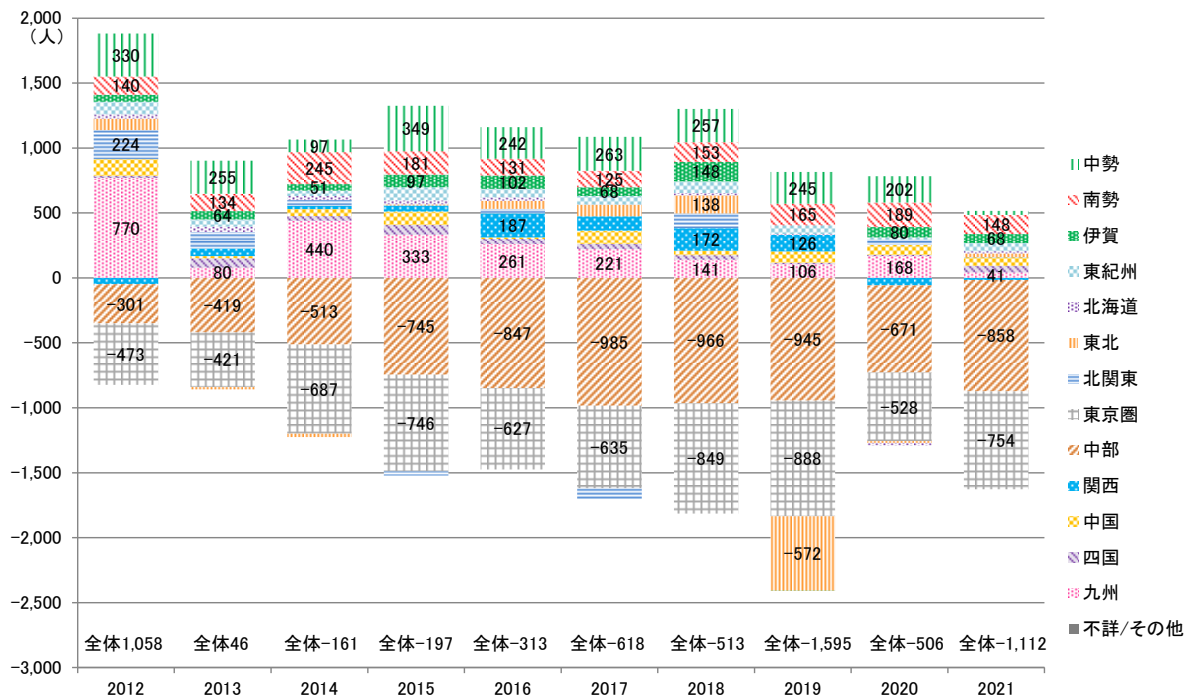
図表 III-72 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-女性-外国人を含む>



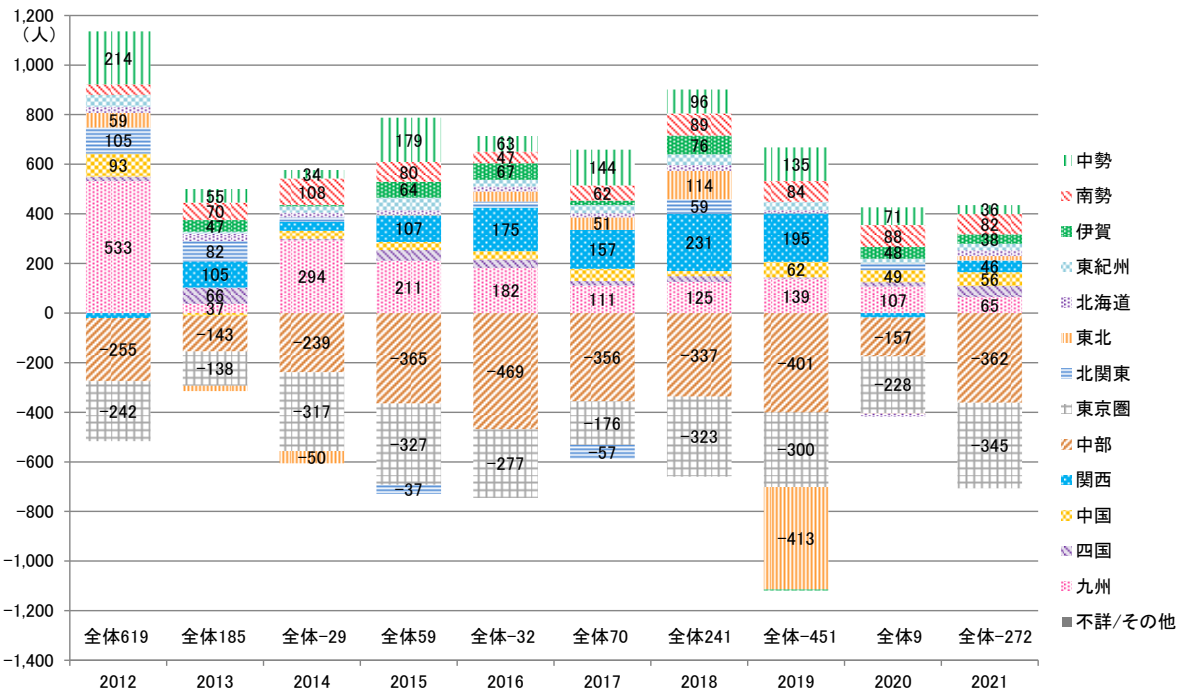
3) 転入超過

転入超過を男女別・移動地域別にみると、男性は複数の年次において転入超過となっているのに対し、女性は2013年以降転出超過が続いている。また、男性は関西に対して転入超過となっている年次が多いのに対し、女性は転出超過となっている年次が多くなっている。

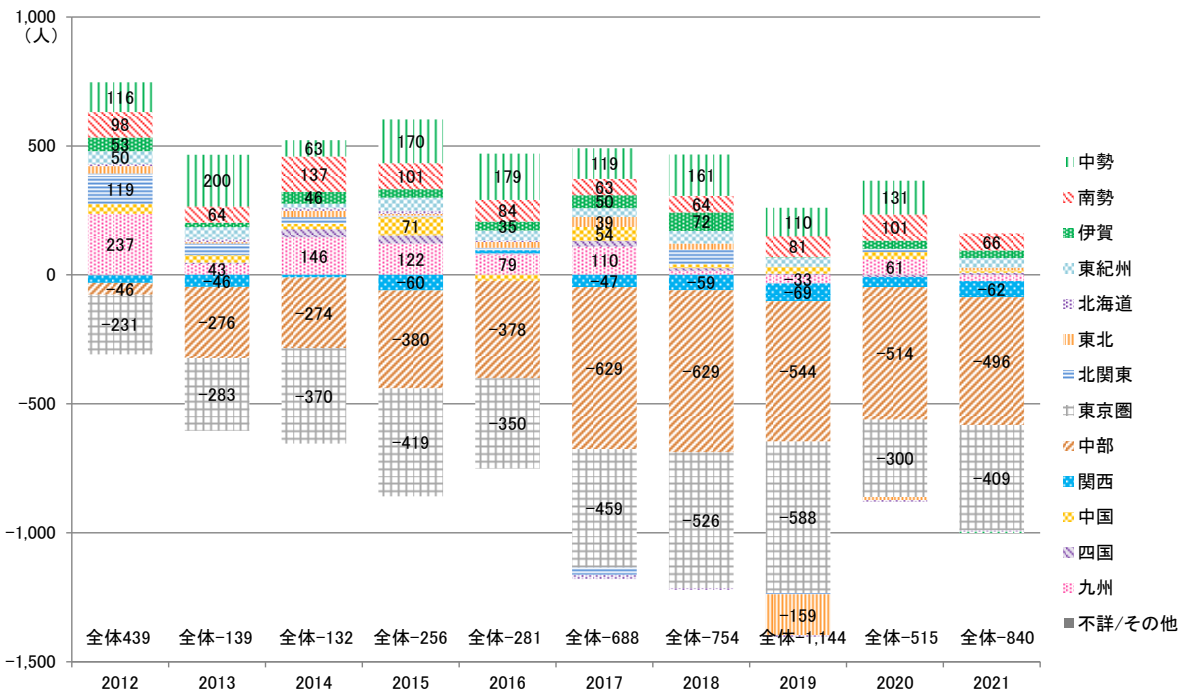
図表 III-73 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-74 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男性-日本人のみ>

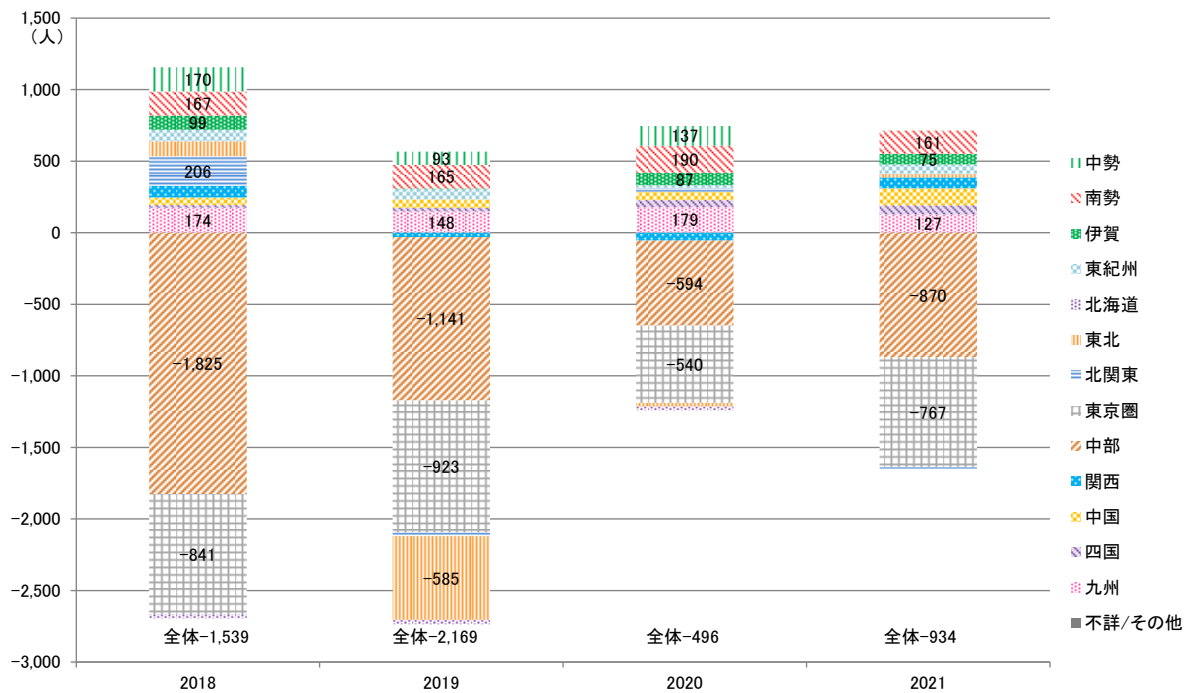


図表 III-75 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-女性-日本人のみ>

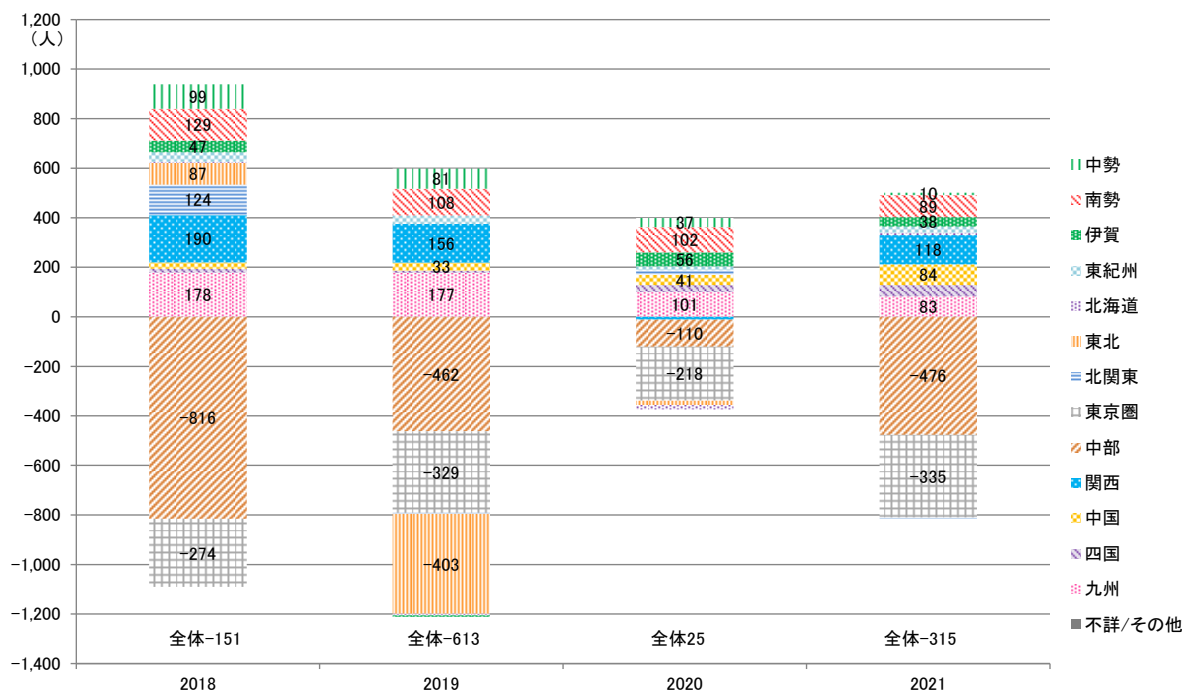


【参考】外国人を含む転入超過数

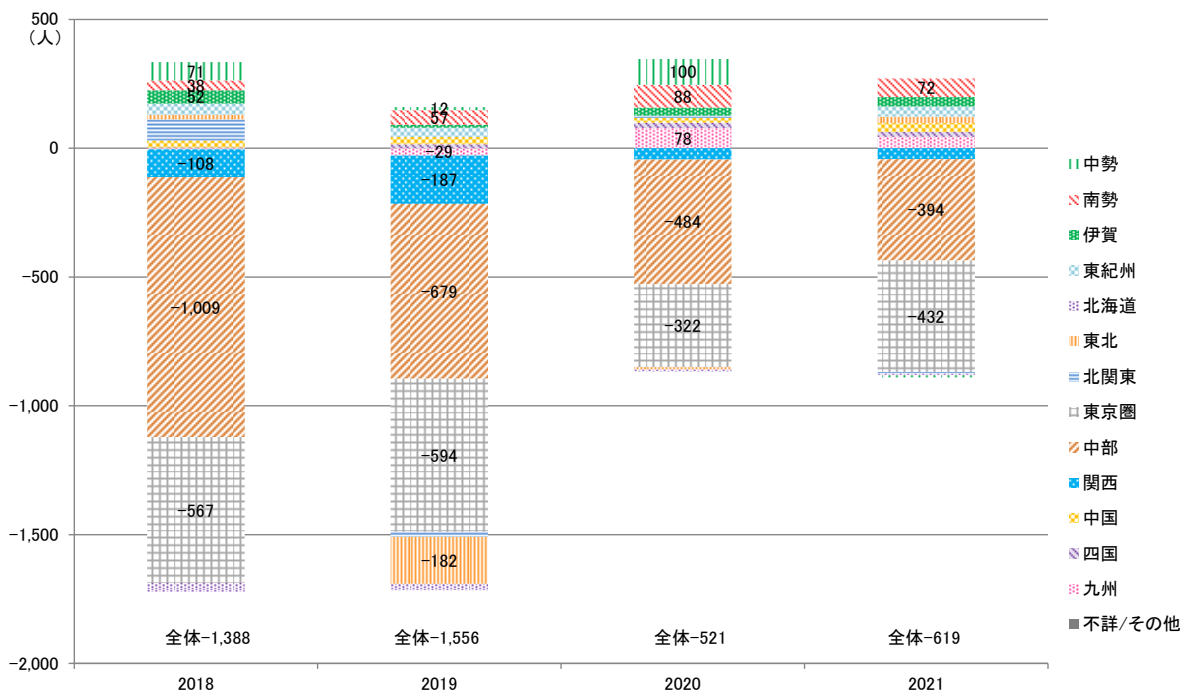
図表 III-76 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-77 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-男性-外国人を含む>



図表 III-78 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<北勢-女性-外国人を含む>



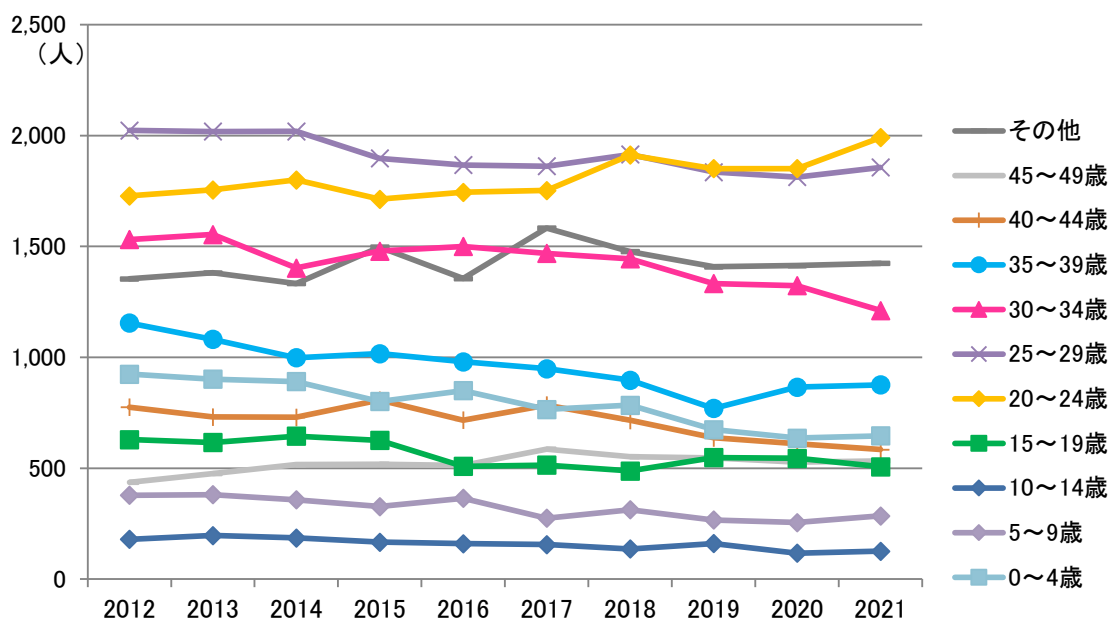
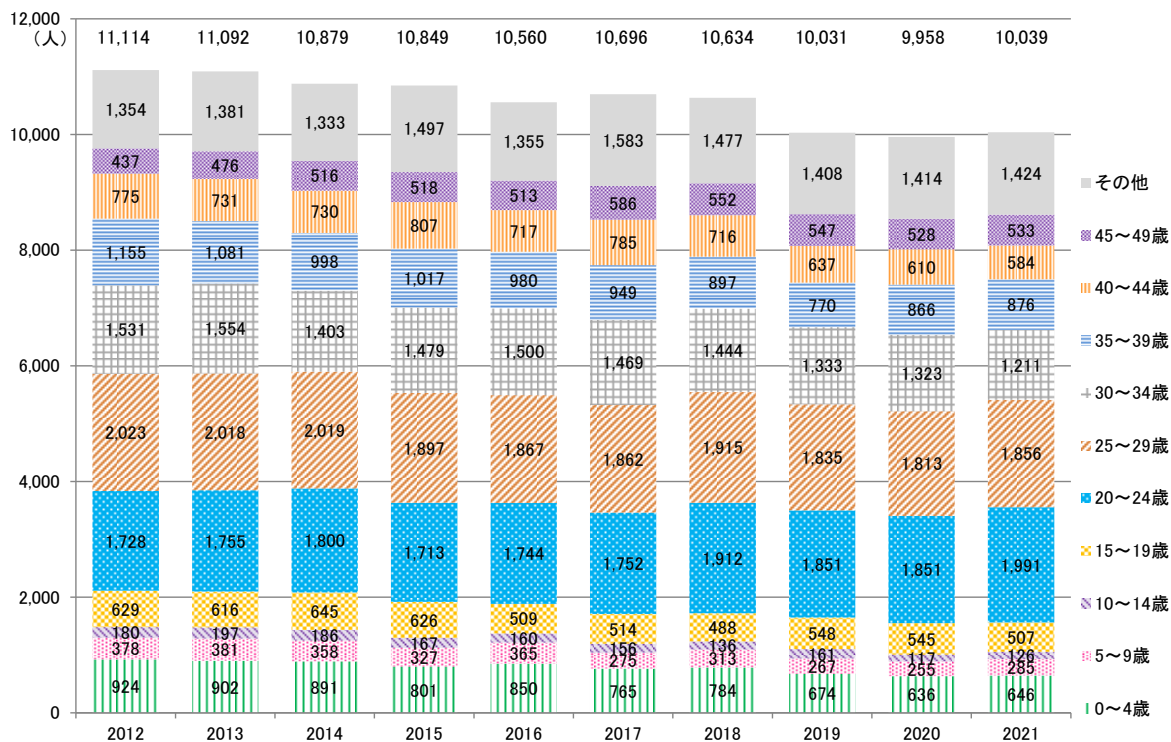
(2) 中勢地域

① 年齢5歳階級別

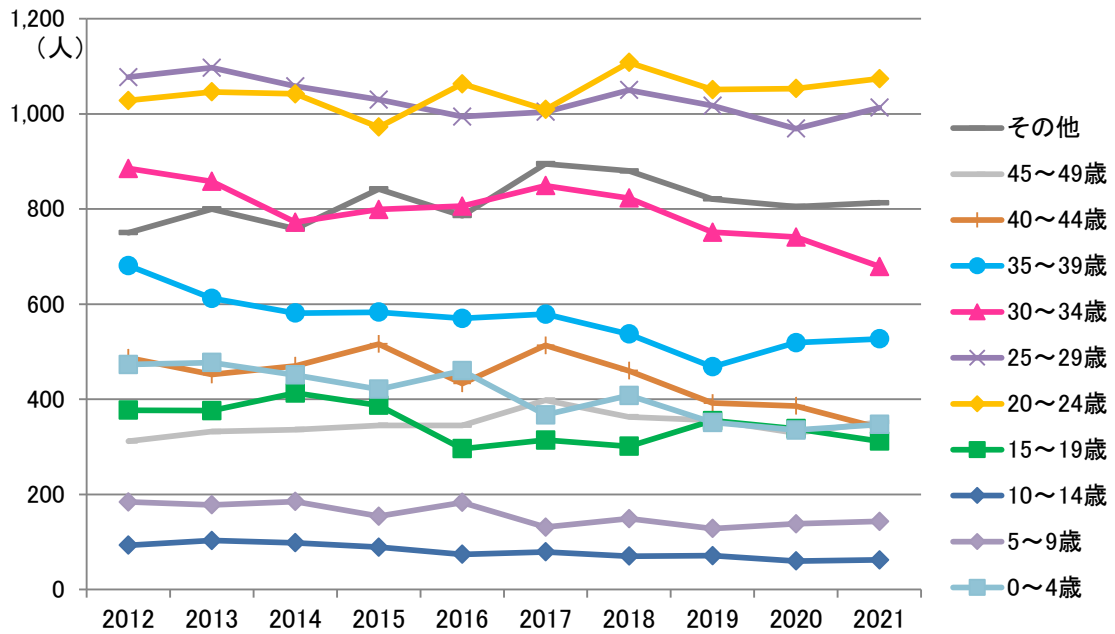
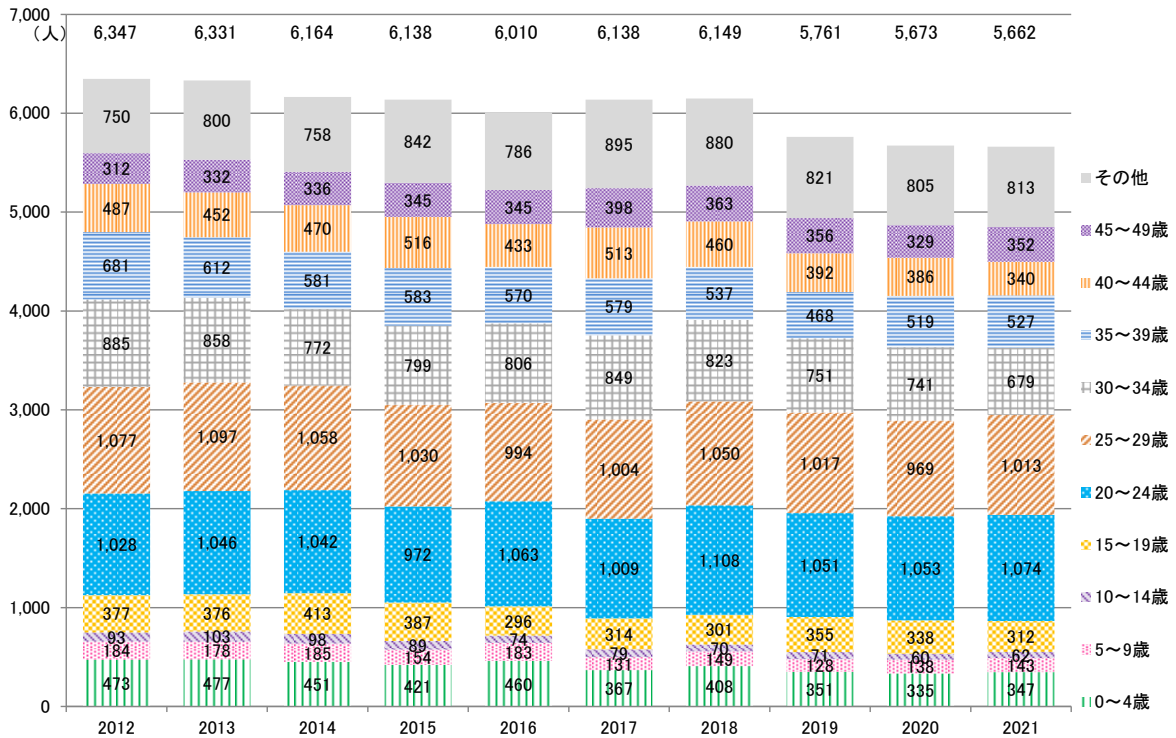
1) 転入

年齢5歳階級別にみると、20~24歳及び25~29歳の転入者数が大きくなっている。20~24歳については、男女ともに増加傾向にあるが、25~29歳については、男女ともに横ばいで推移している。

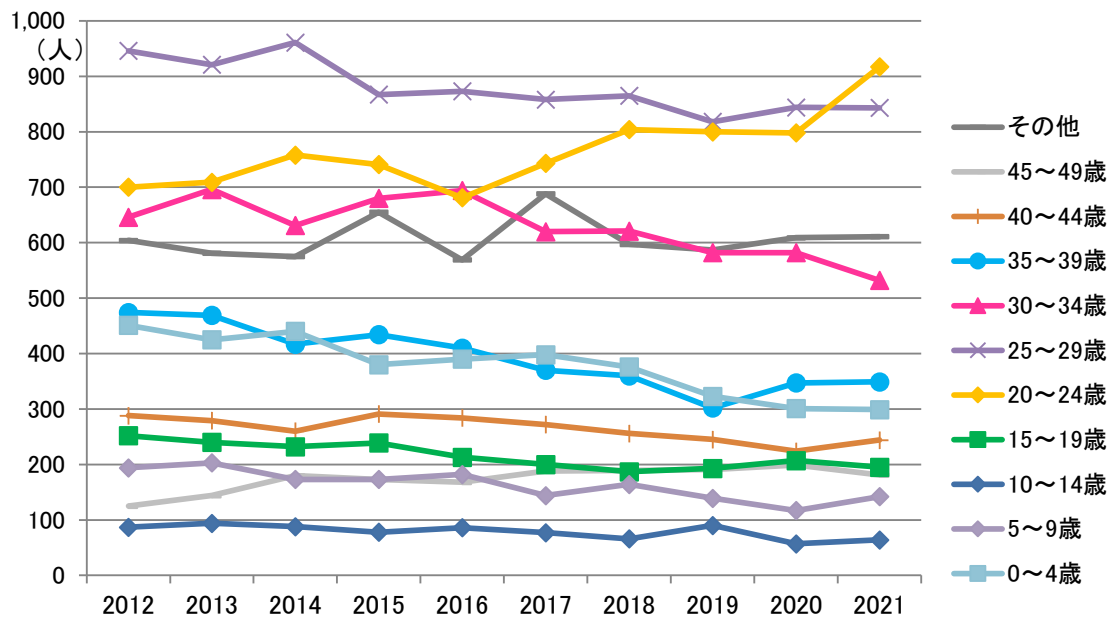
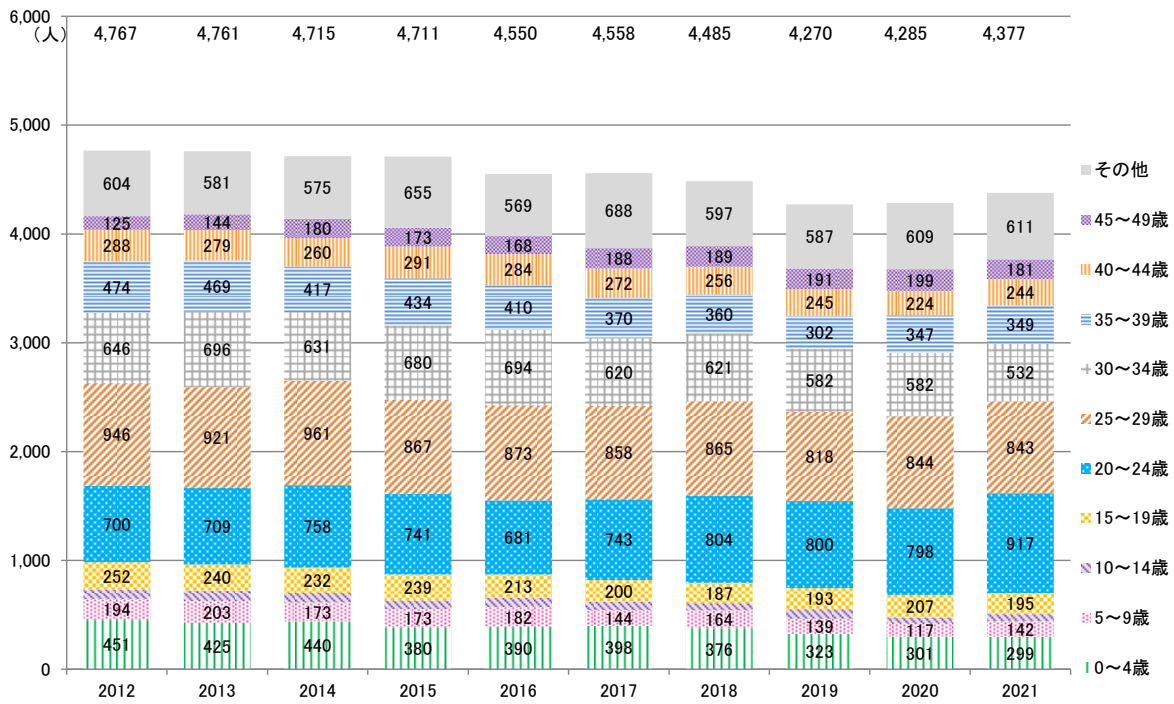
図表 III-79 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-80 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男性-日本人のみ>

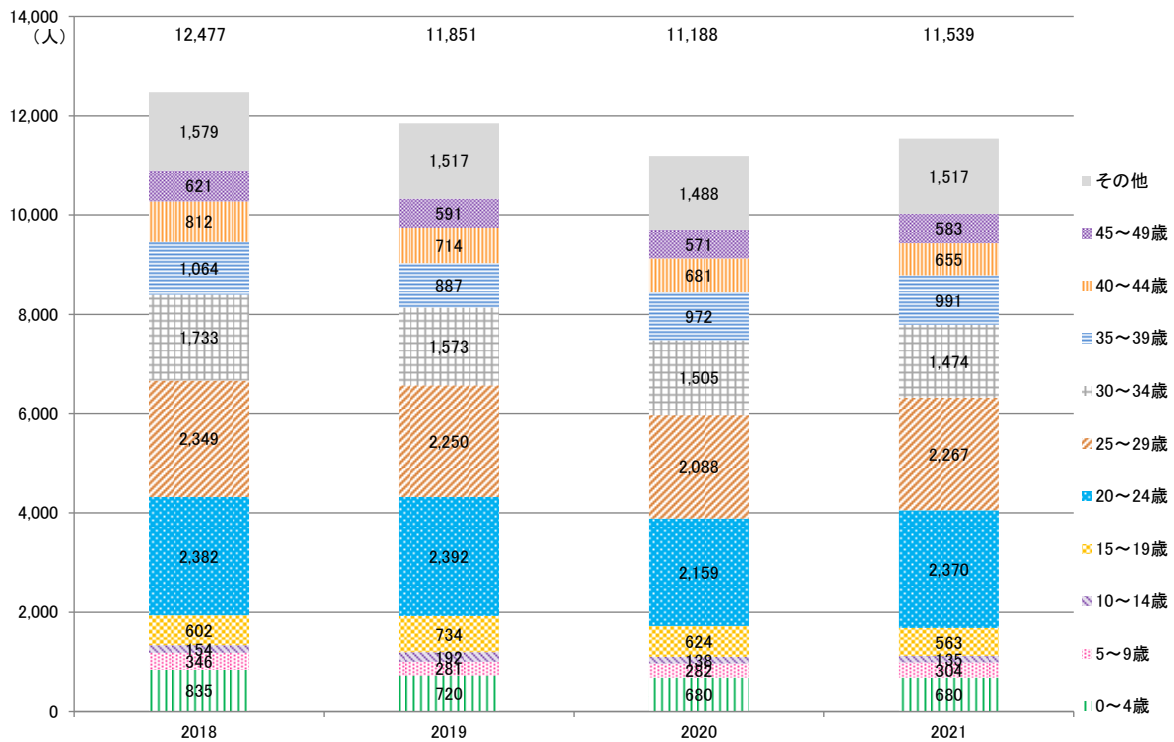


図表 III-81 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-女性-日本人のみ>

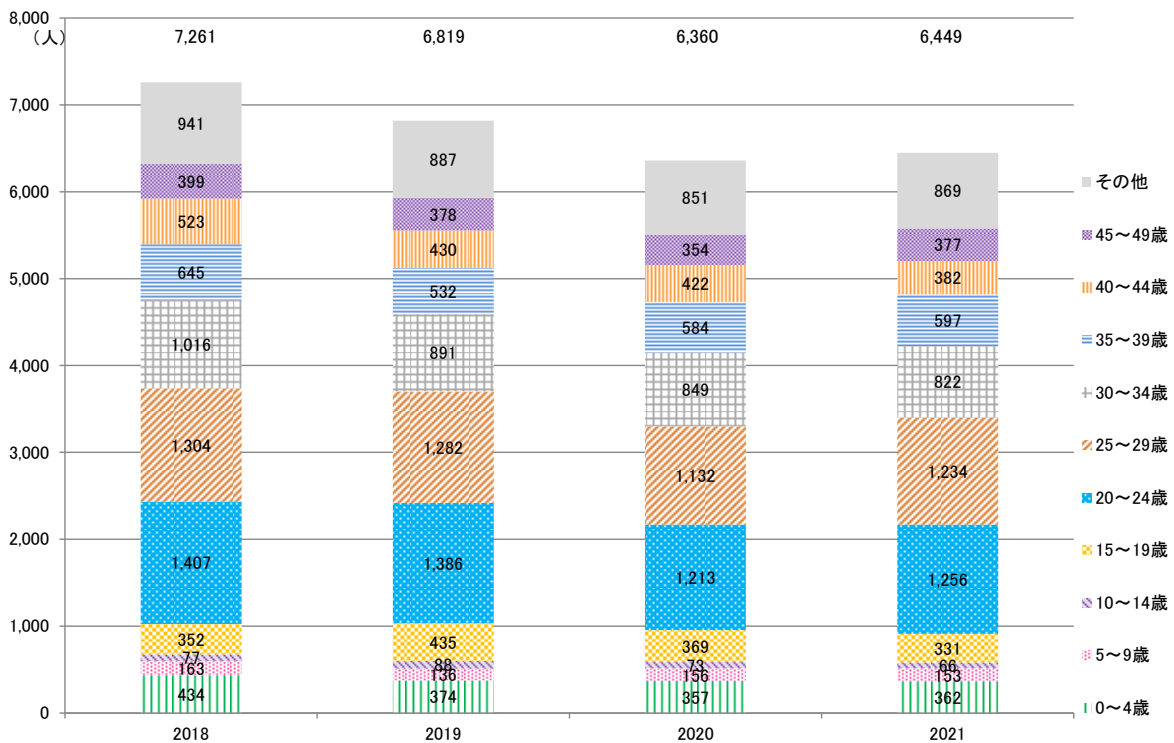


【参考】外国人を含む転入者数

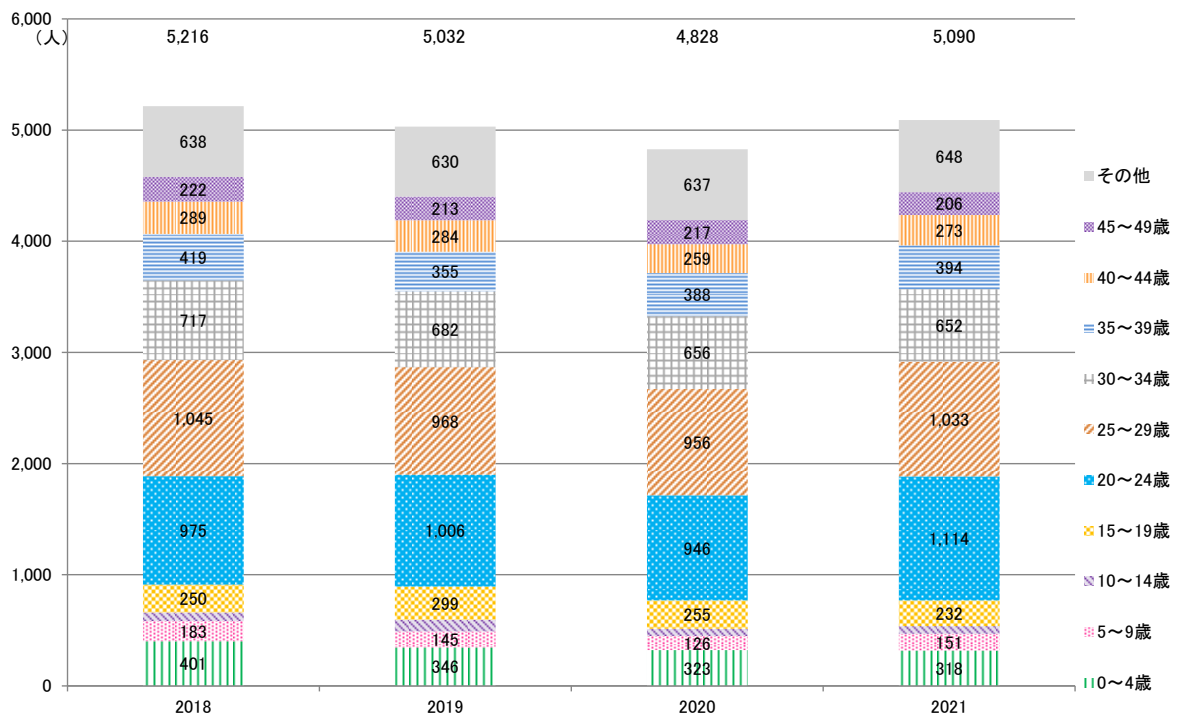
図表 III-82 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-83 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男性-外国人を含む>



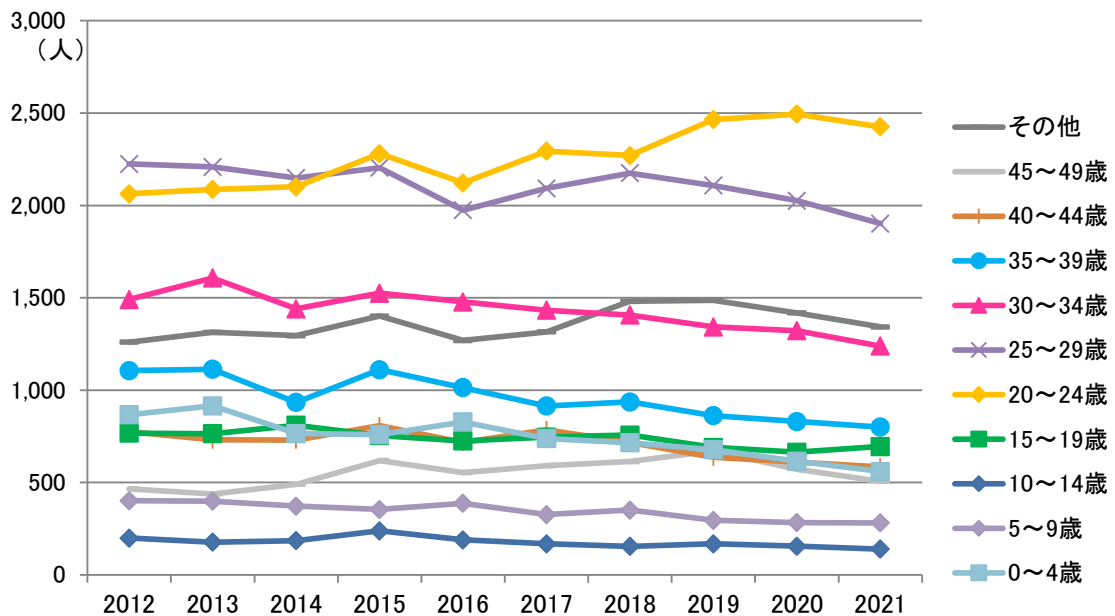
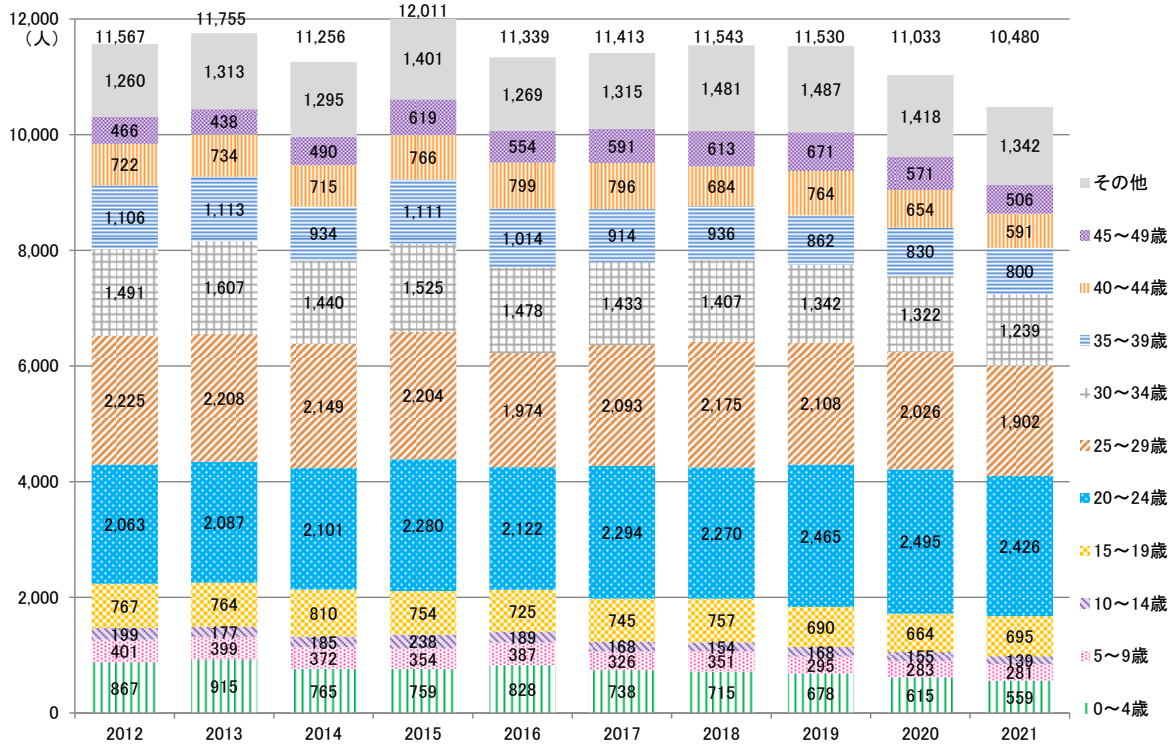
図表 III-84 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



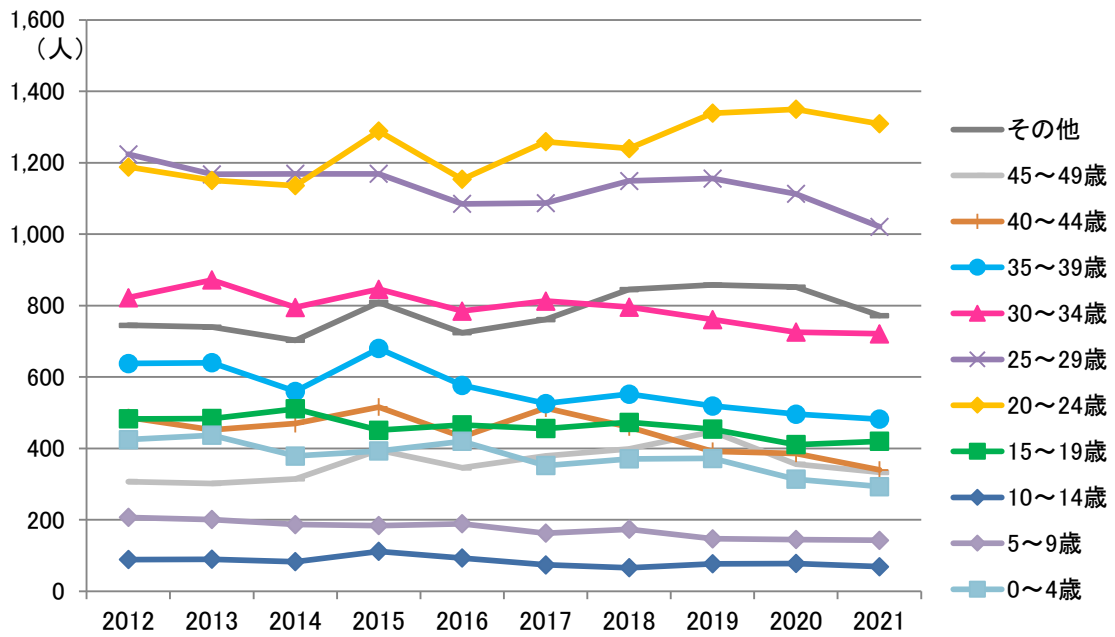
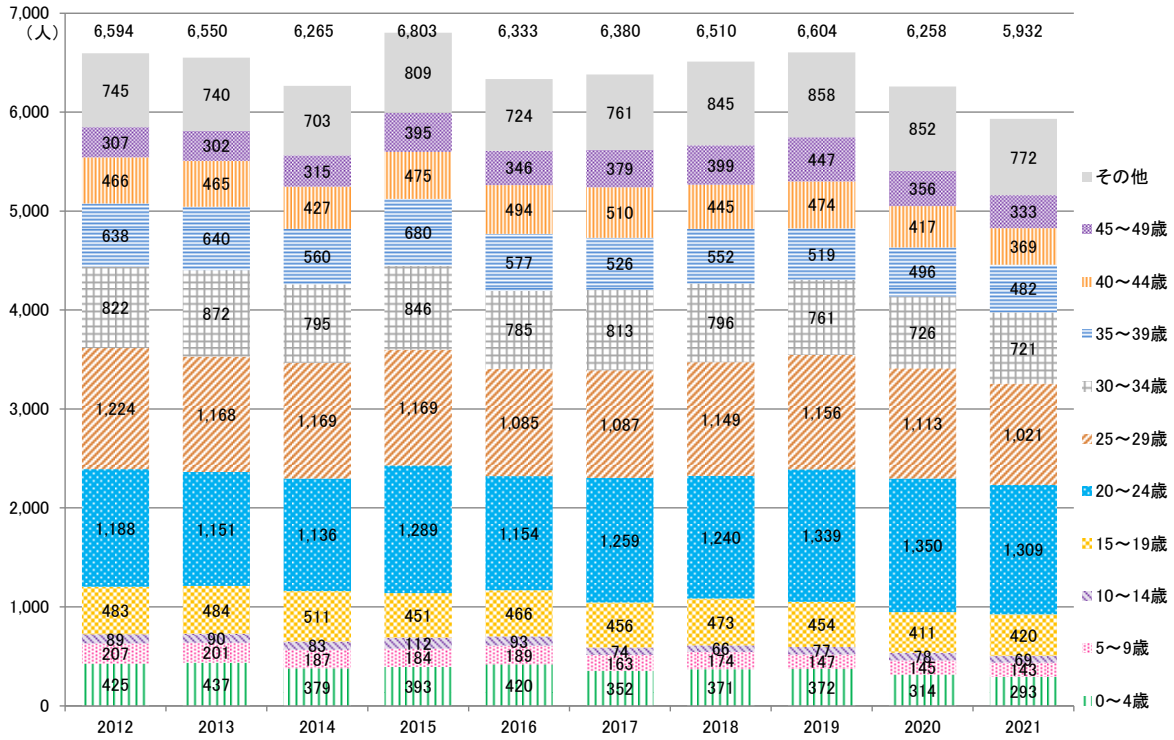
2) 転出

年齢5歳階級別にみると、20~24歳及び25~29歳の転入者数が大きくなっている。25~29歳については、男女ともに減少傾向にあるが、20~24歳は男女ともに増加傾向にある。特に、女性の20~24歳の転出者数の増加が顕著である。

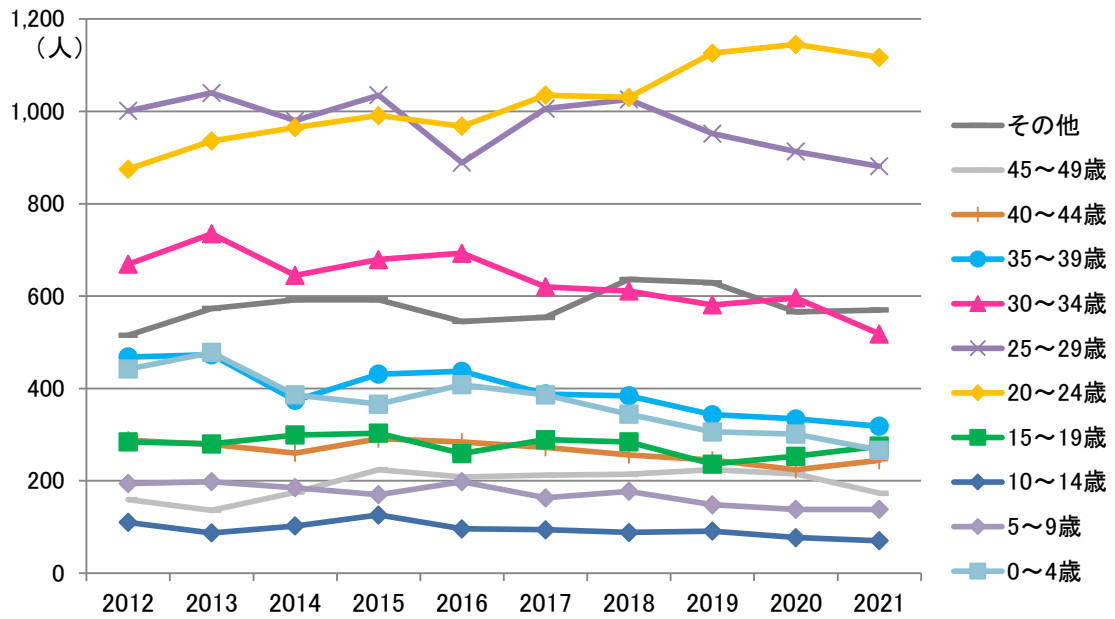
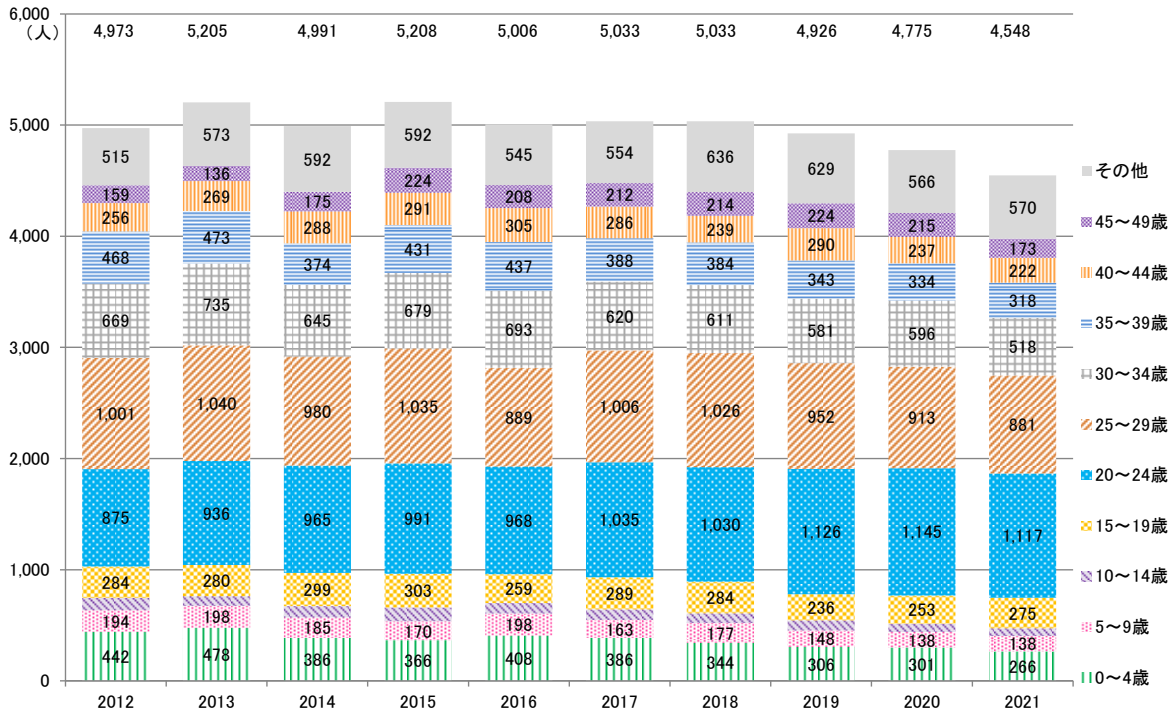
図表 III-85 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-86 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男性-日本人のみ>

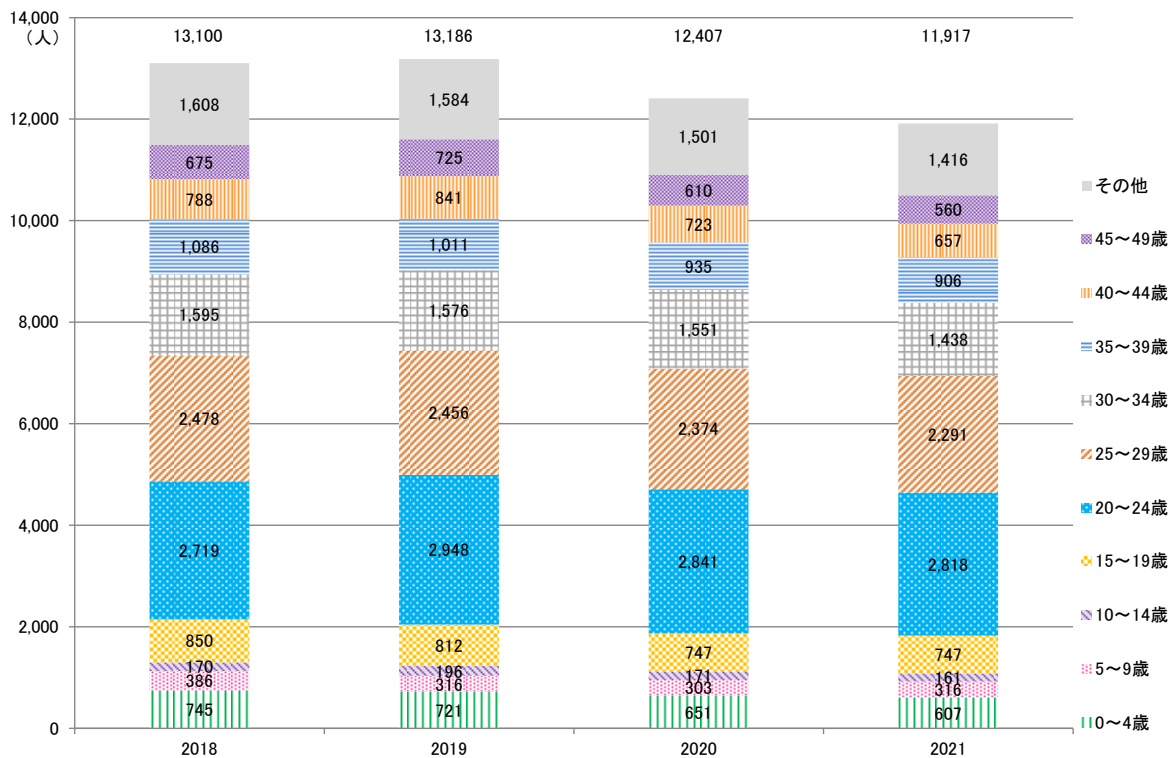


図表 III-87 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-女性-日本人のみ>

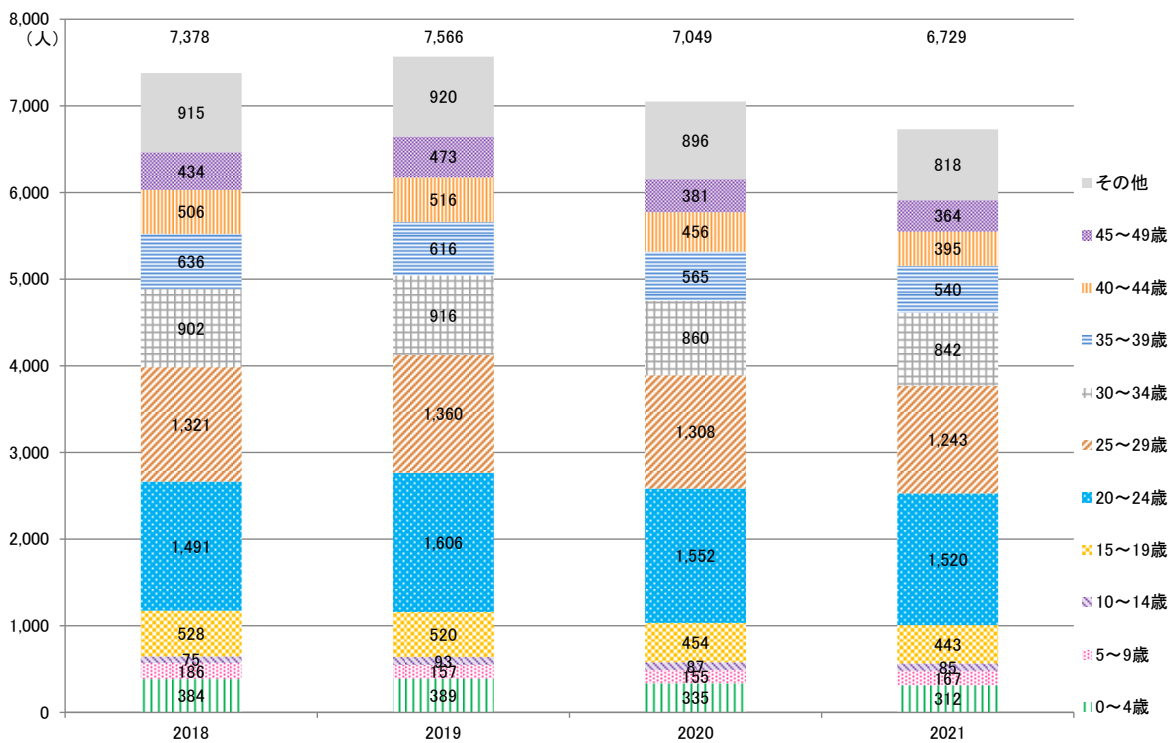


【参考】外国人を含む転出者数

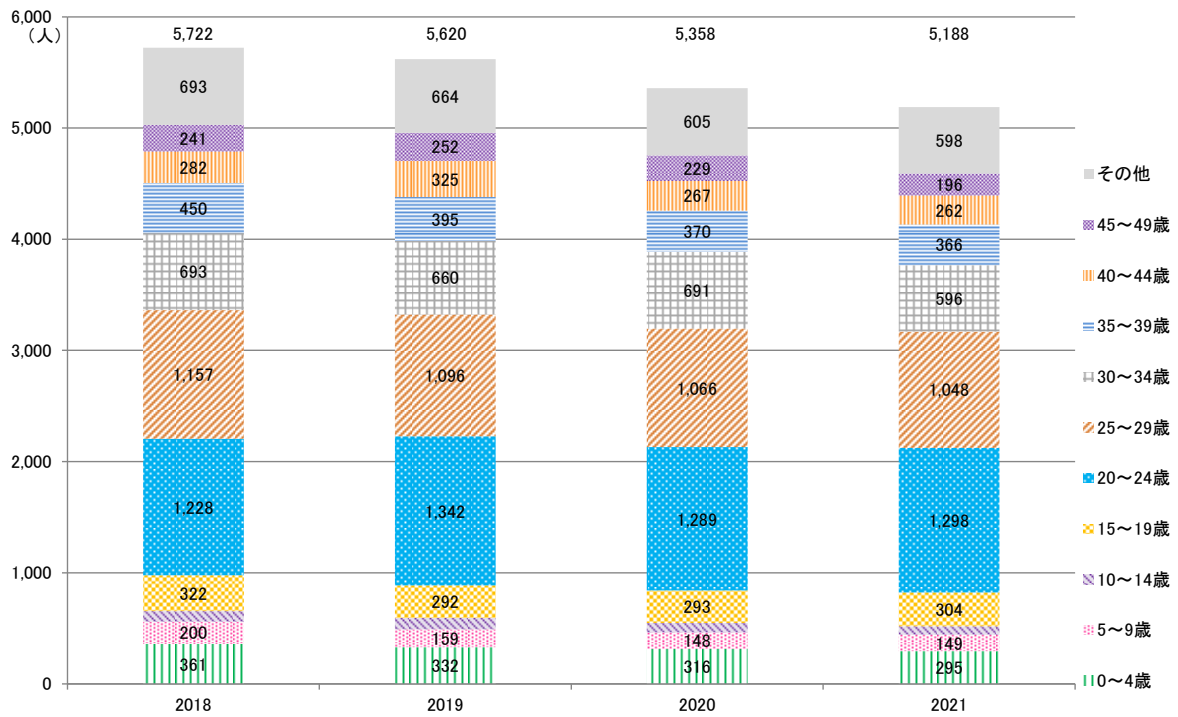
図表 III-88 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-89 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男性-外国人を含む>



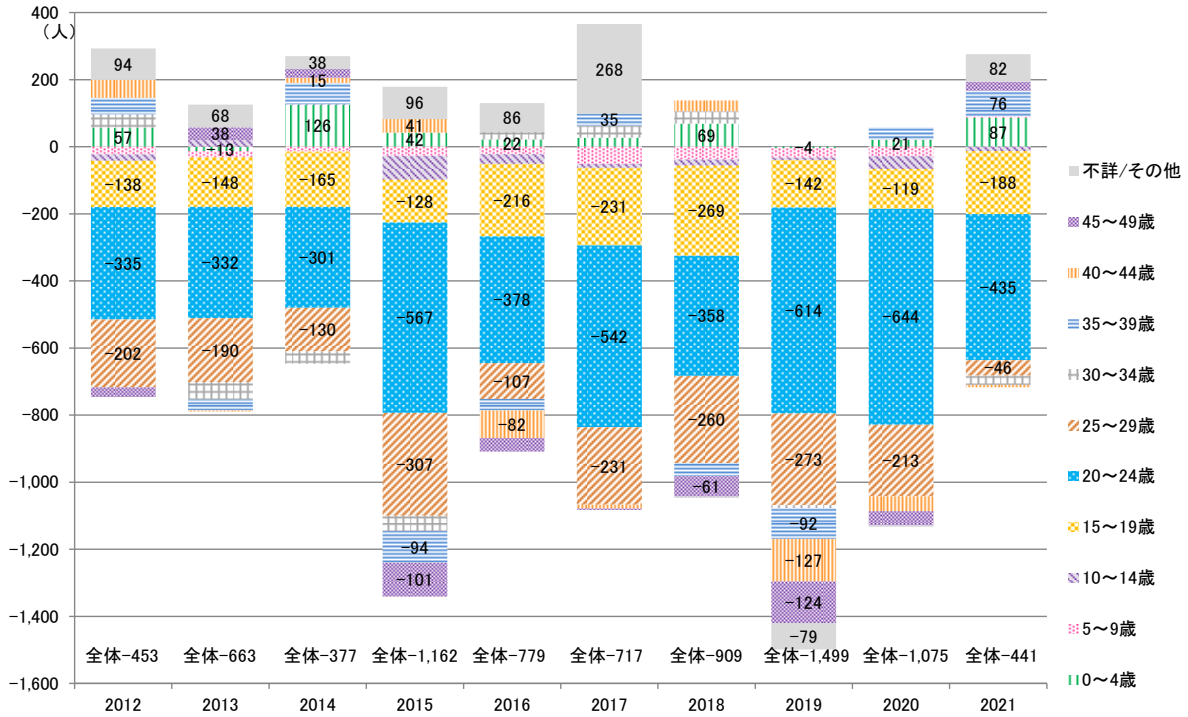
図表 III-90 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-女性-外国人を含む>



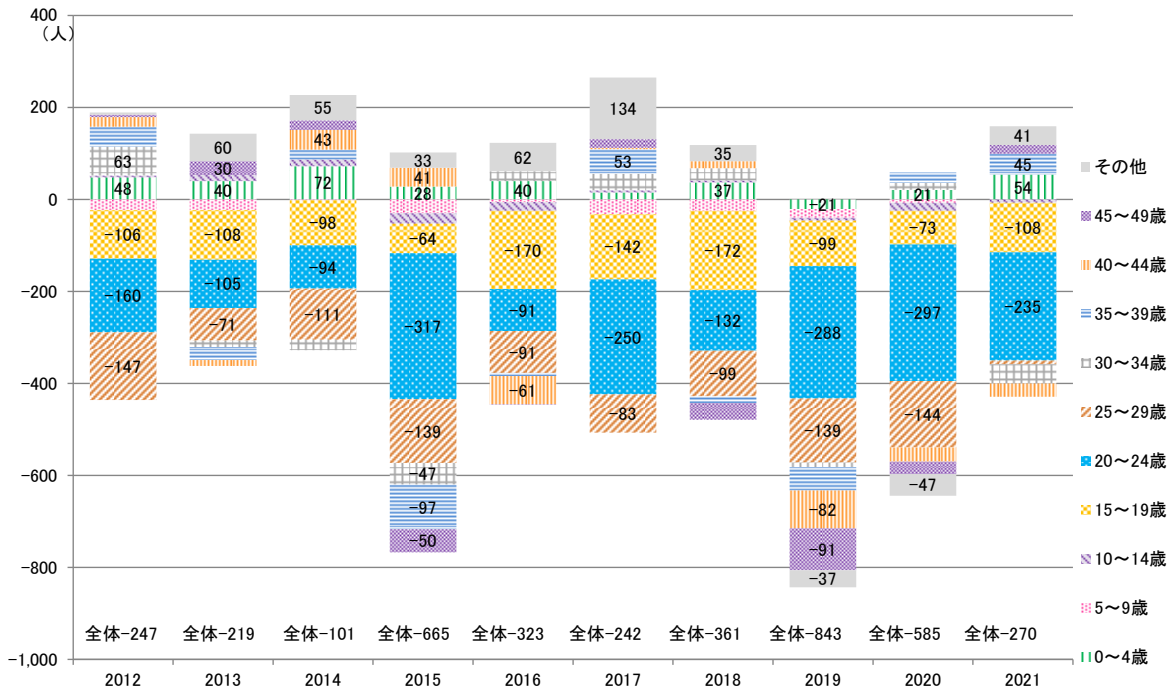
3) 転入超過

15~19歳、20~24歳及び25~29歳の転出超過数が大きく、転出入超過状況に大きく影響している。また、20~24歳の転出超過数は男性よりも女性が大きく、15~19歳では女性よりも男性が大きい傾向がみられる。

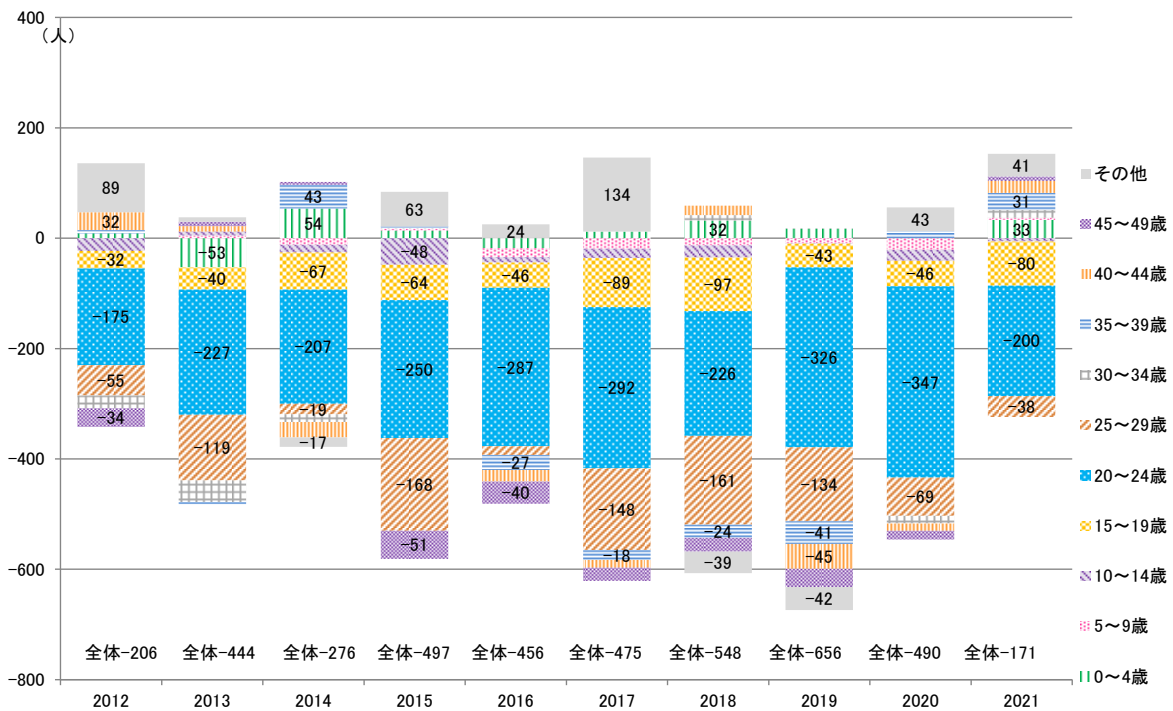
図表 III-91 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-92 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男性-日本人のみ>

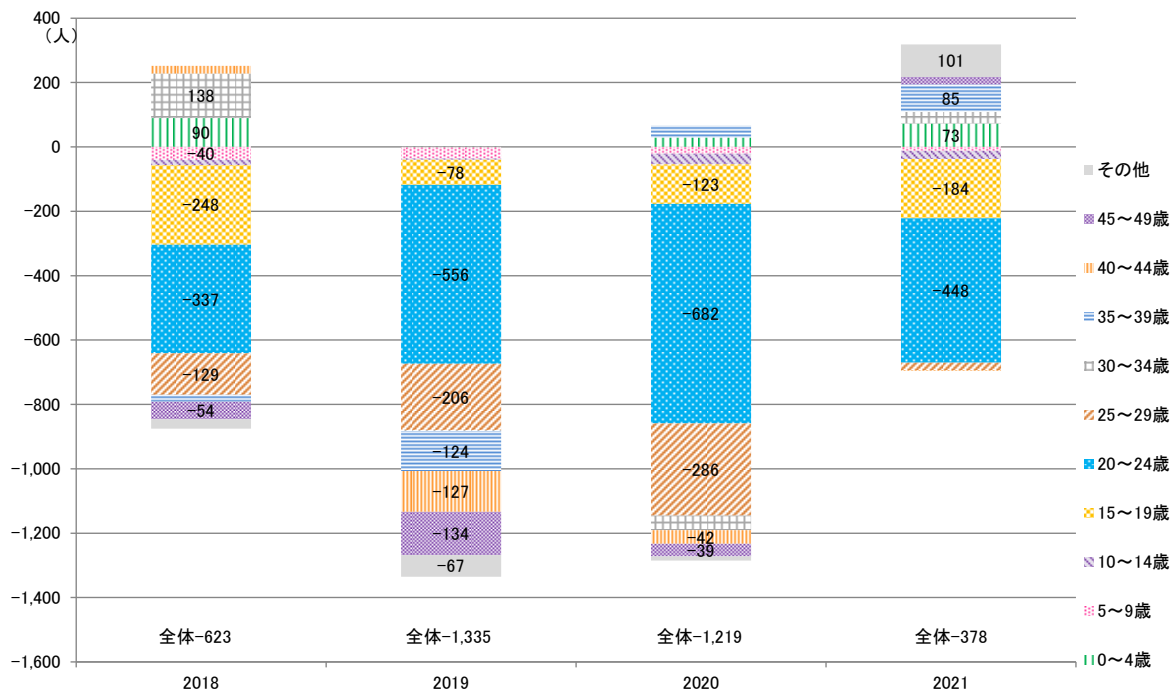


図表 III-93 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-女性-日本人のみ>

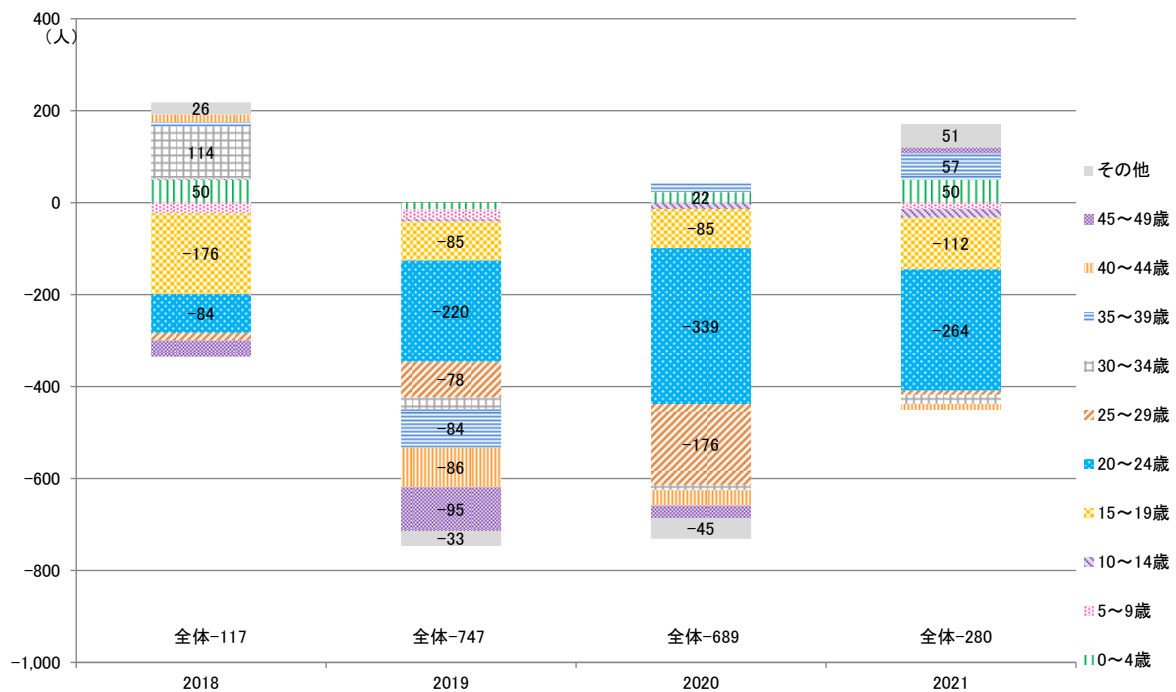


【参考】外国人を含む転入超過数

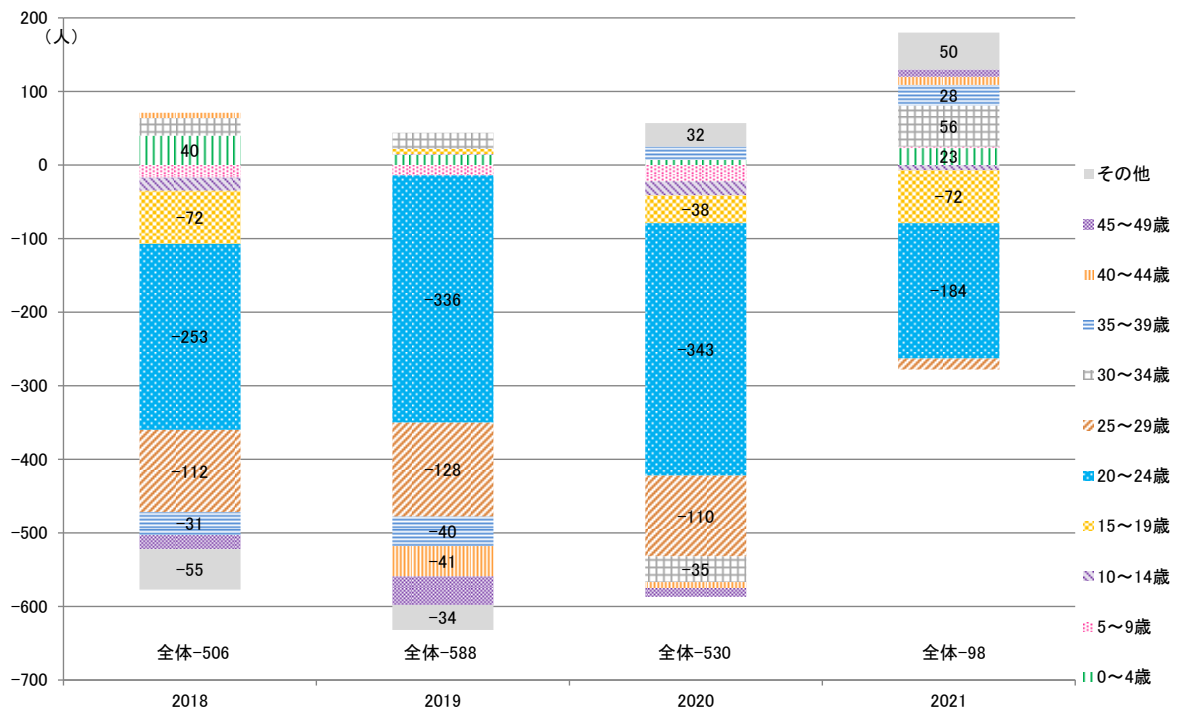
図表 III-94 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-95 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-男性-外国人を含む>



図表 III-96 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<中勢-女性-外国人を含む>

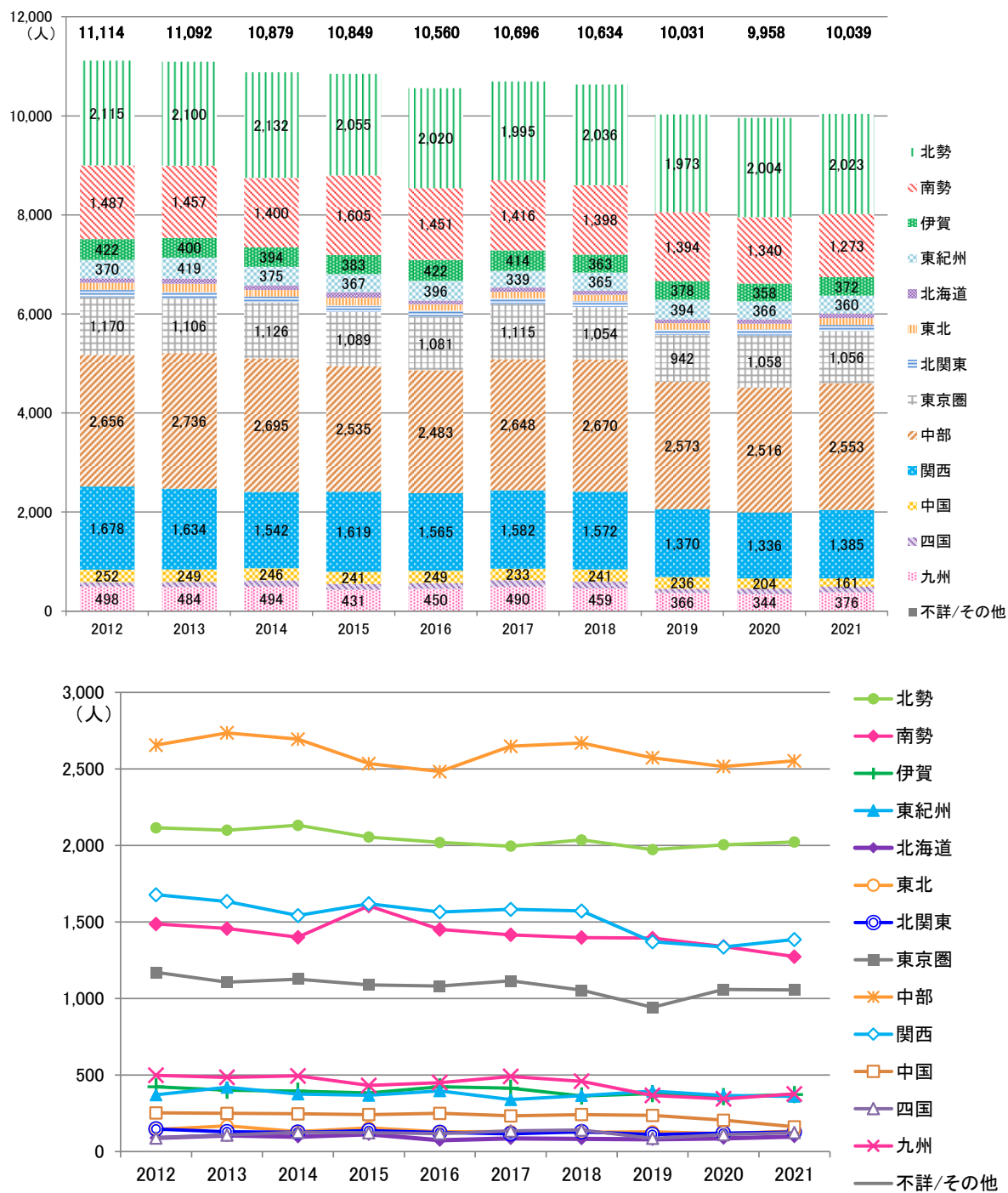


② 移動地域別

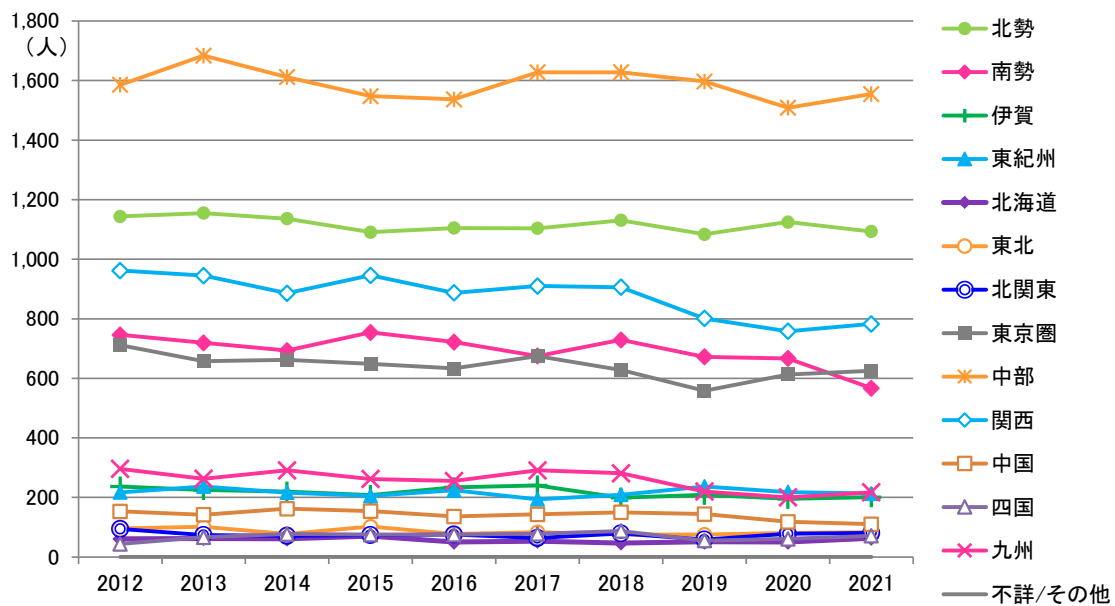
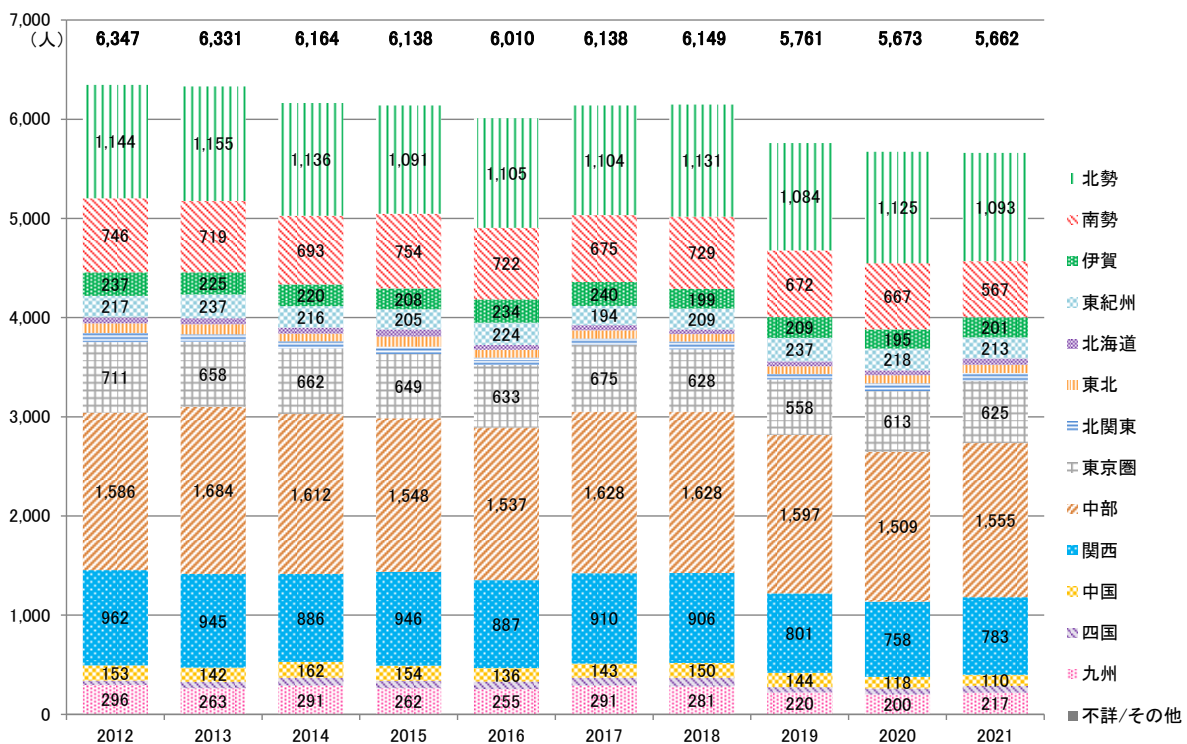
1) 転入

転入者数を男女別・移動地域別にみると、男性では中部の転入者数が特に大きくなっているのに対し、女性では中部・北勢の2地域が並ぶ状況となっている。

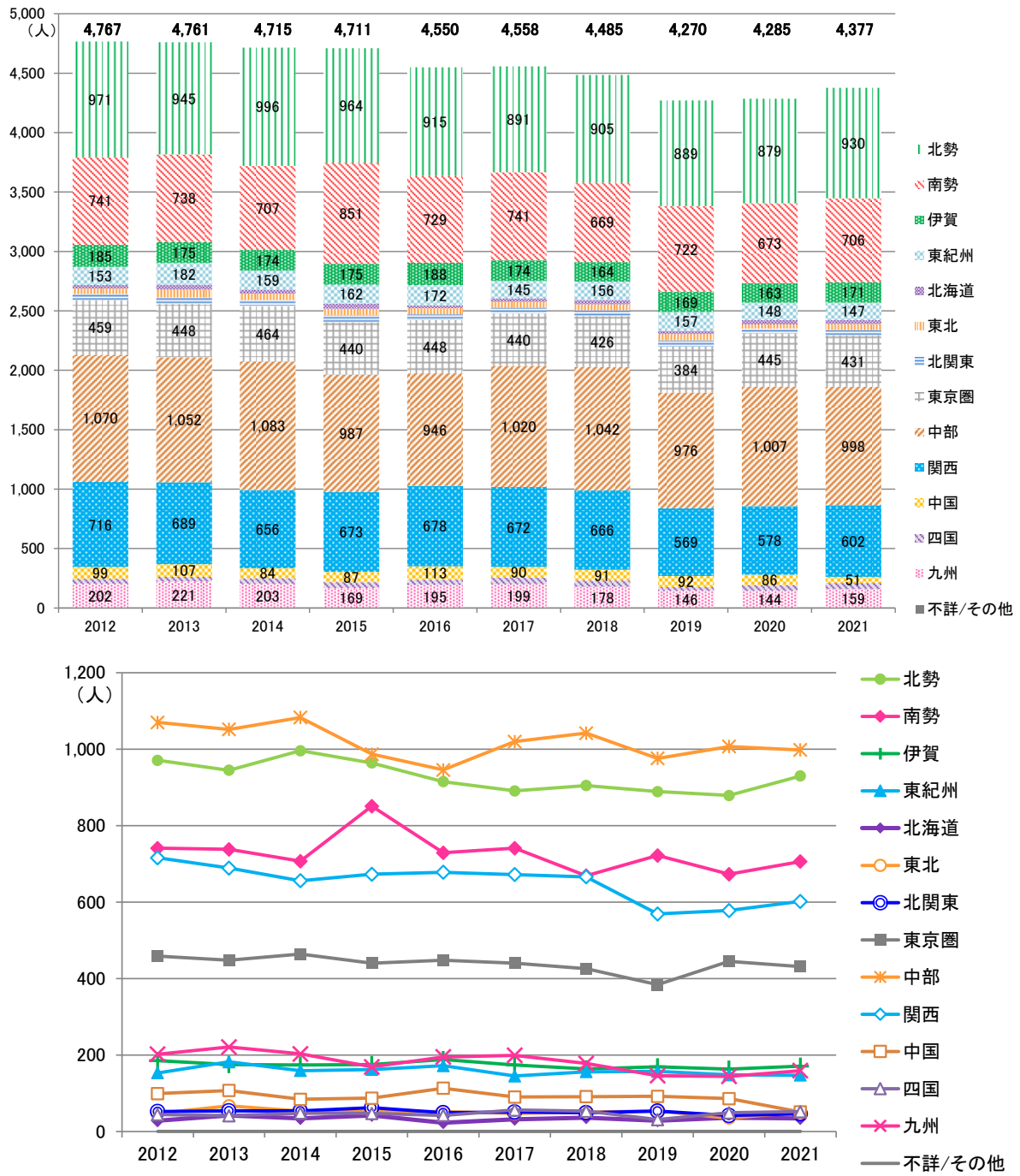
図表 III-97 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-98 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男性-日本人のみ>

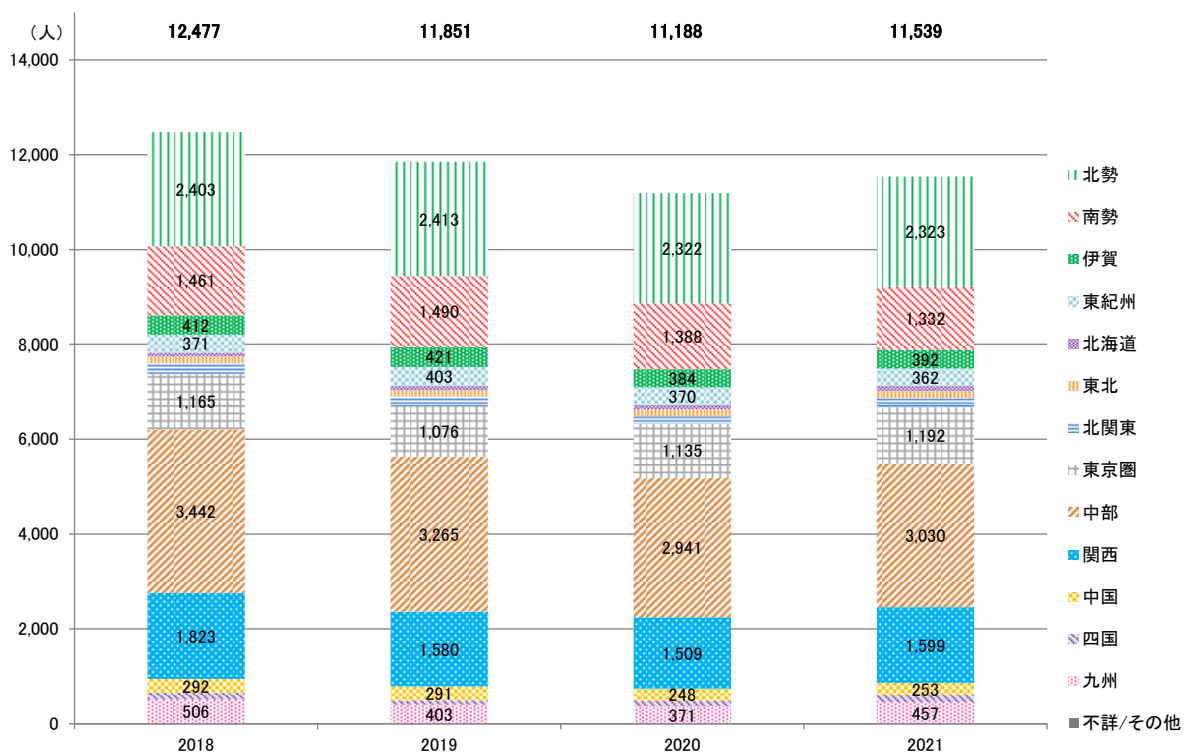


図表 III-99 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-女性>

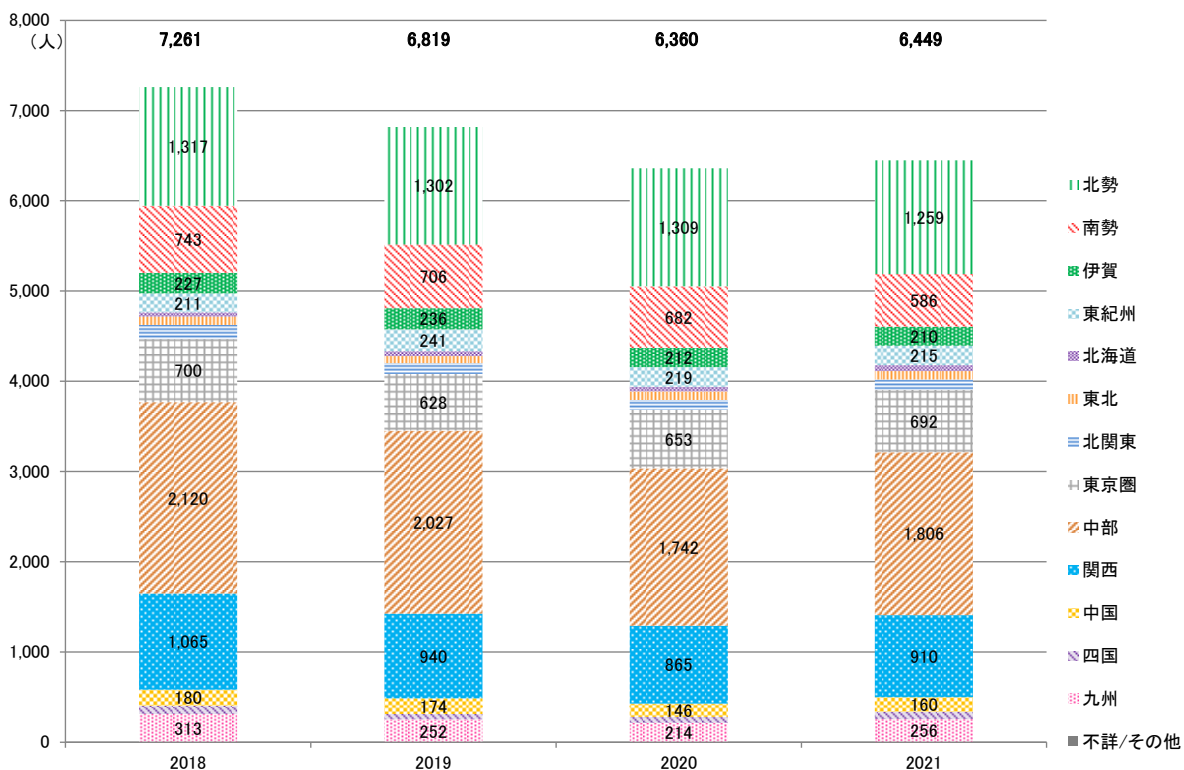


【参考】外国人を含む転入者数

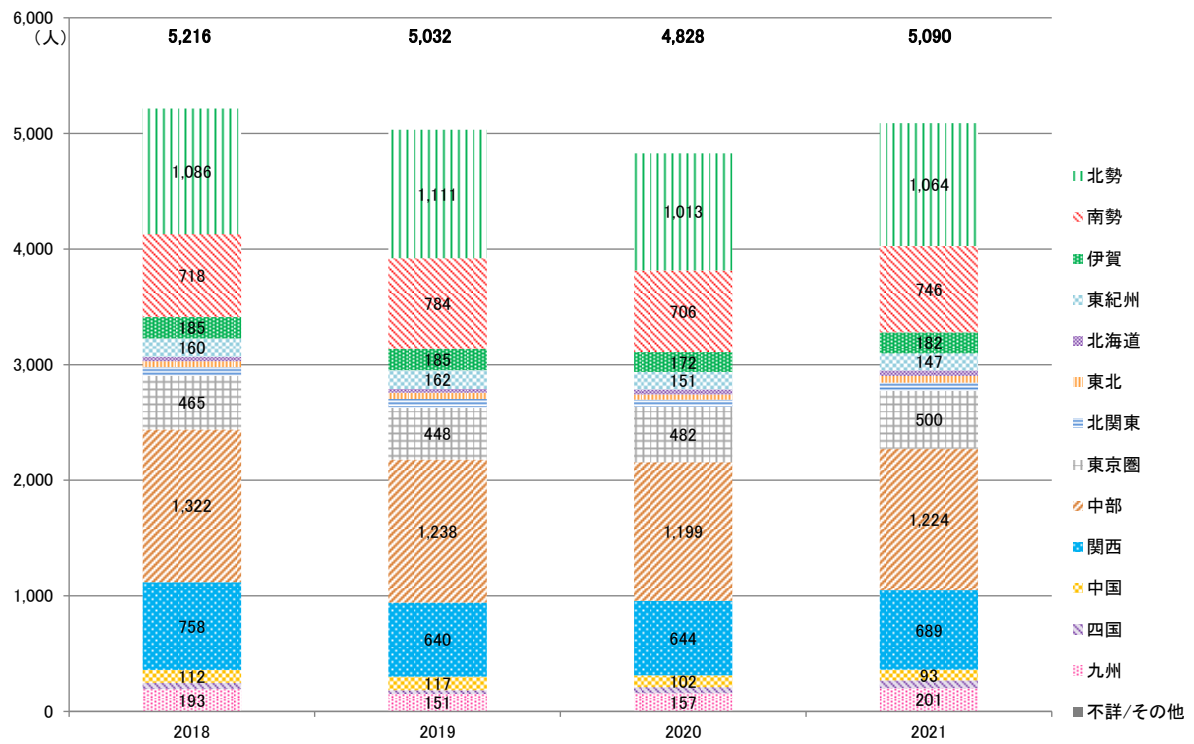
図表 III-100 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-101 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男性-外国人を含む>



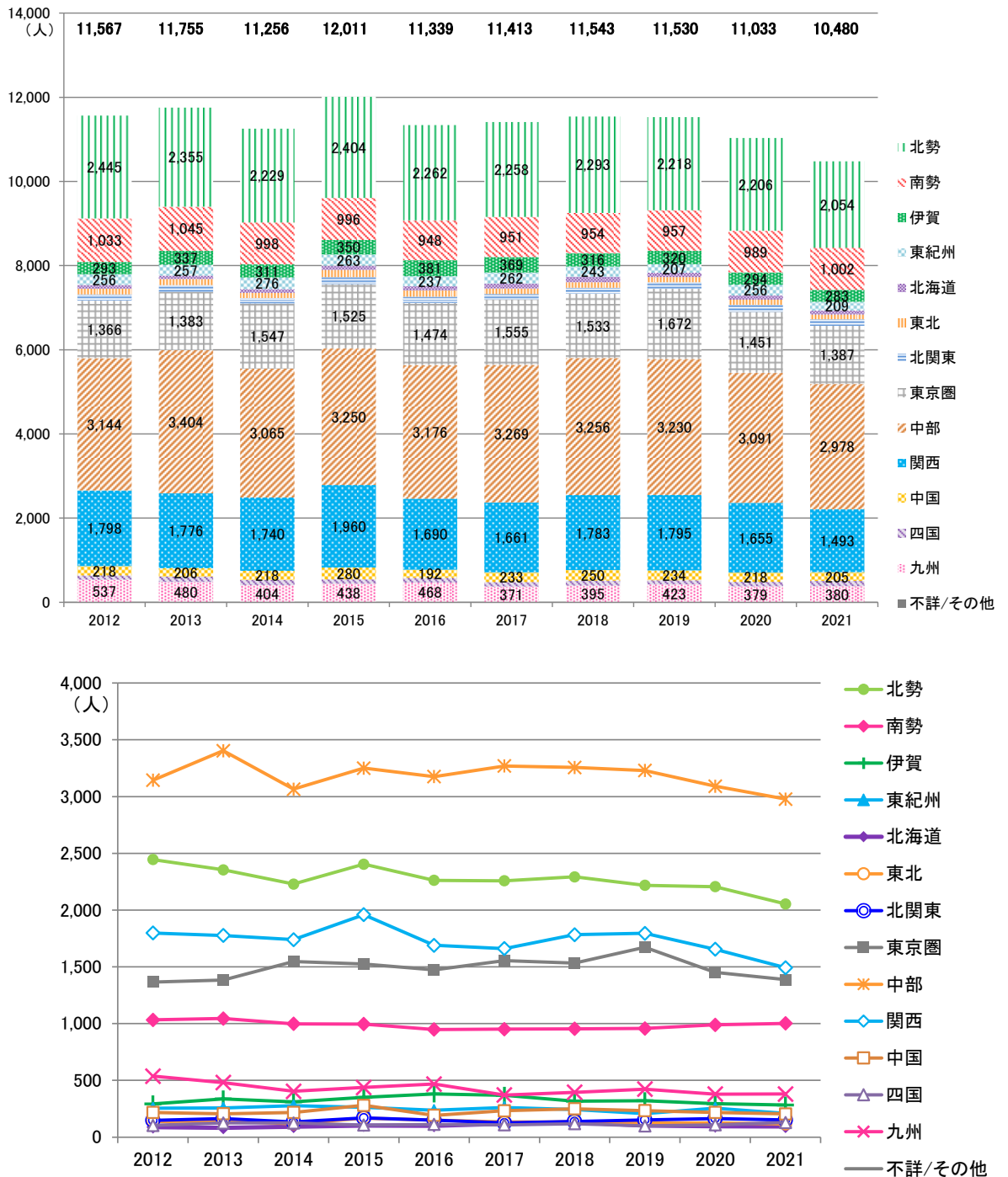
図表 III-102 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



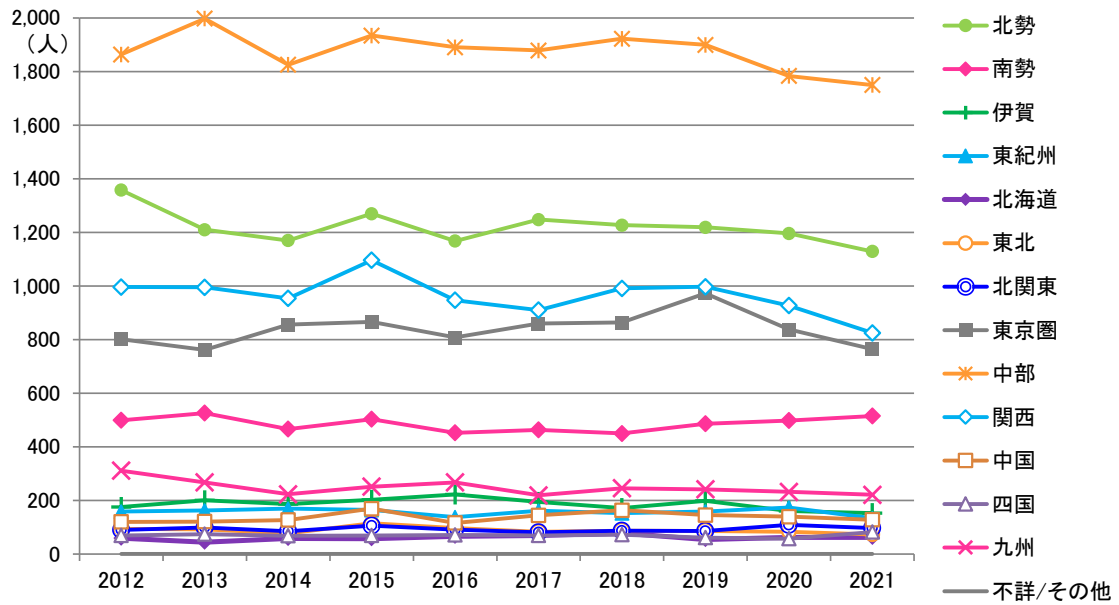
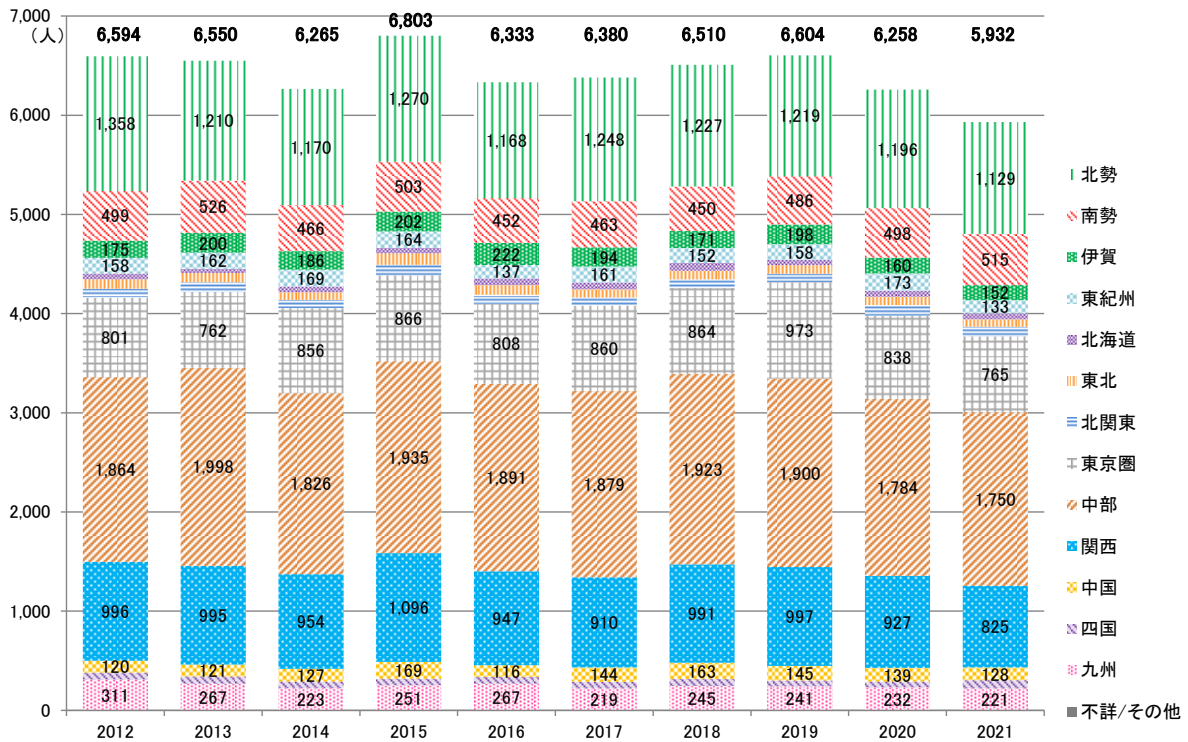
2) 転出

転出者数を男女別・移動地域別にみると、男女ともに全体的な傾向は同様となっている。一方で、男性と比べて女性の方が、北勢及び南勢への転出者数の割合が高くなっている。

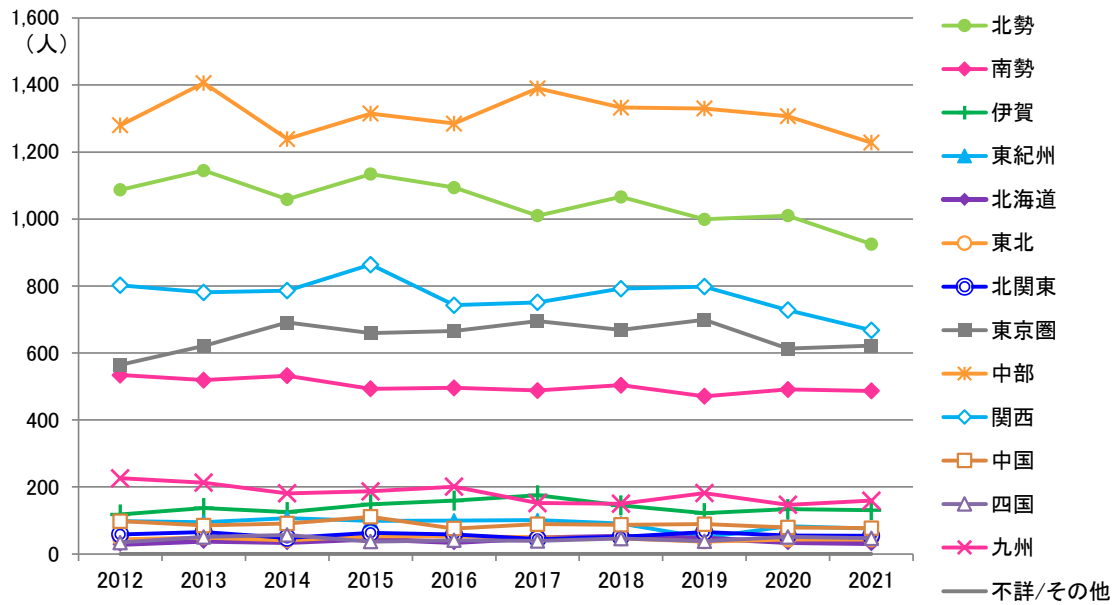
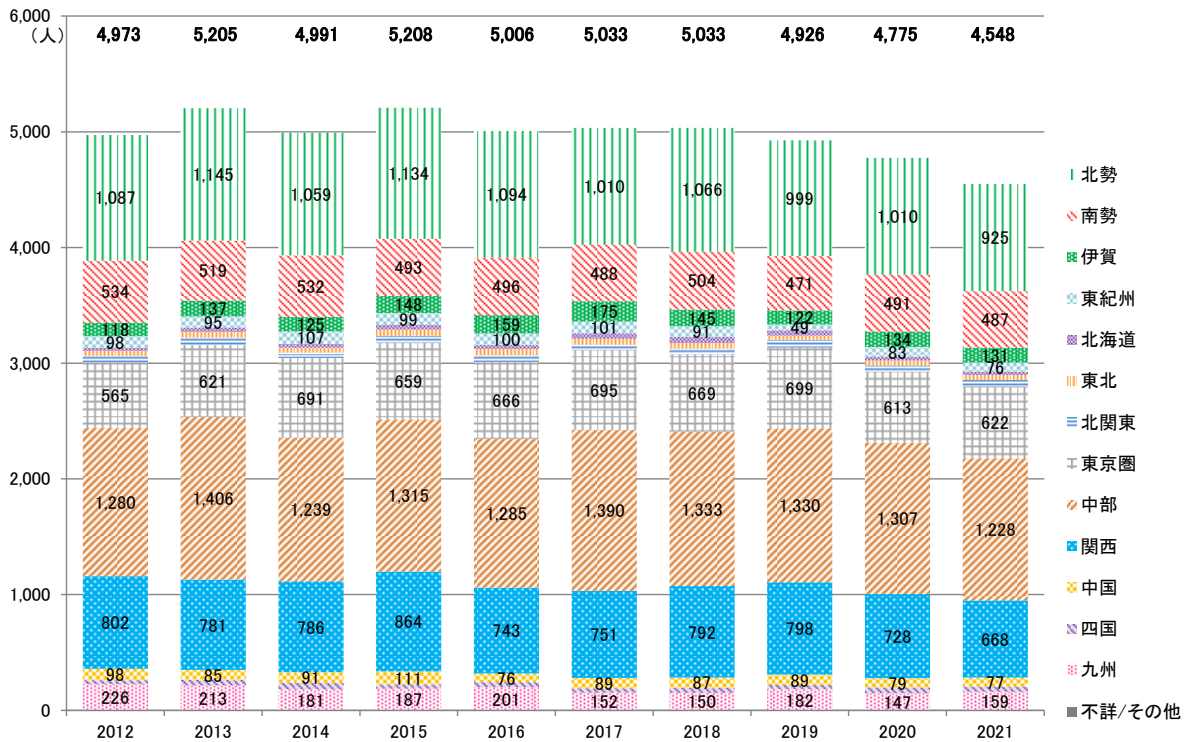
図表 III-103 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-104 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男性-日本人のみ>

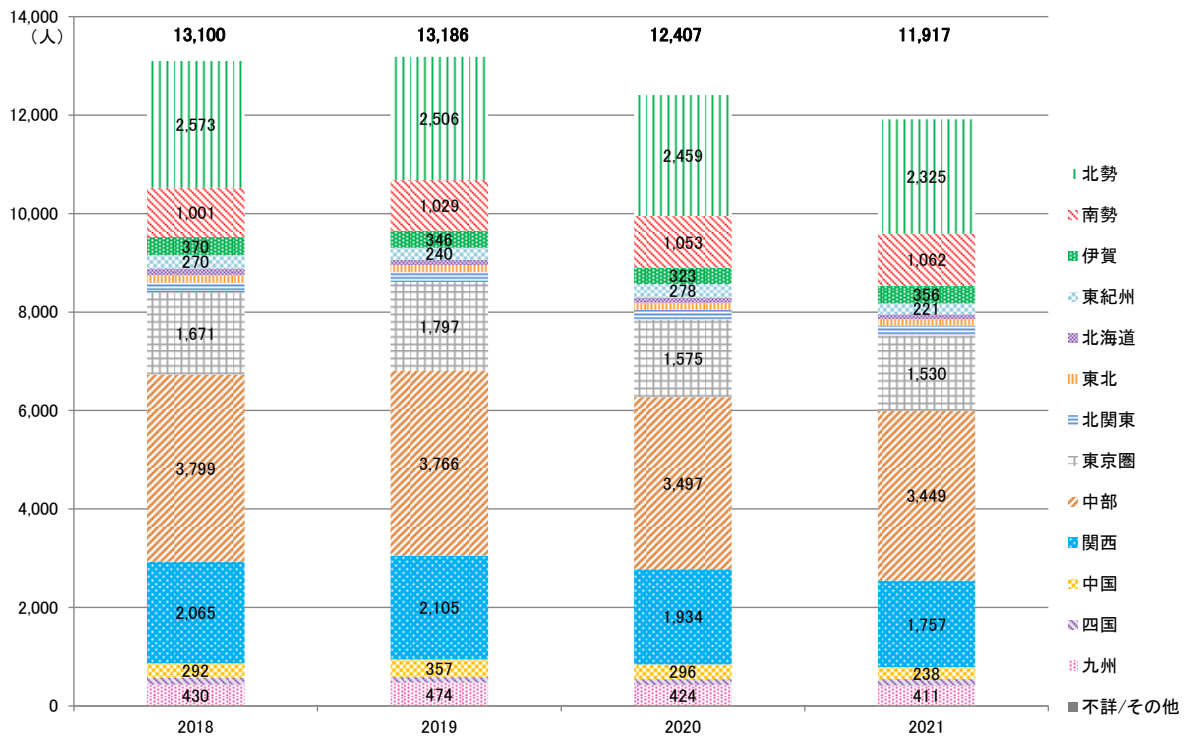


図表 III-105 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-女性-日本人のみ>

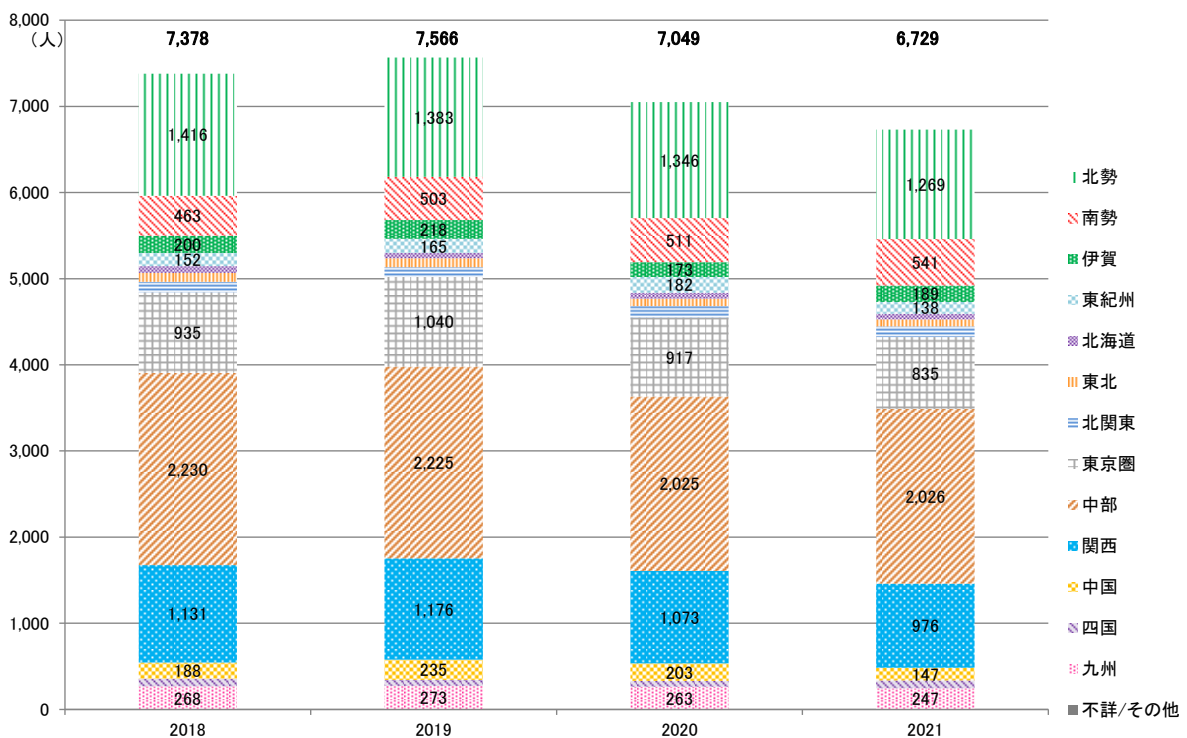


【参考】外国人を含む転出者数

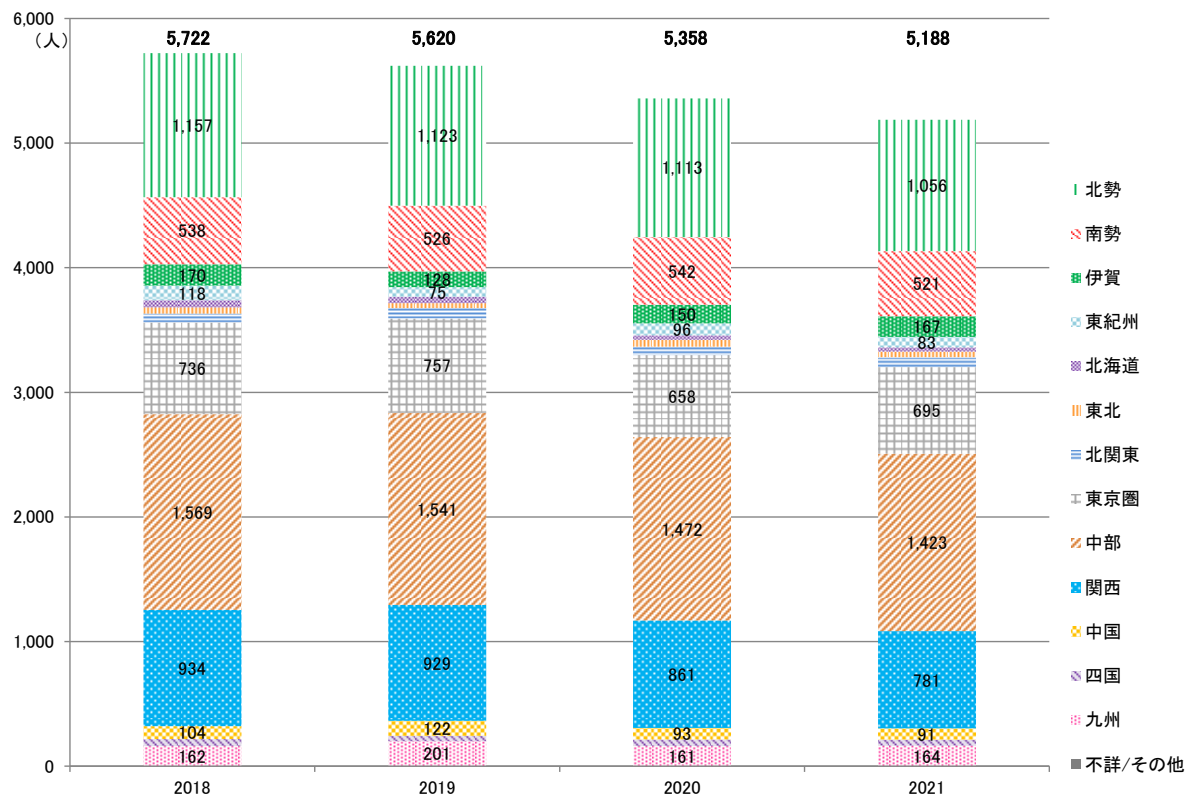
図表 III-106 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-107 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男性-外国人を含む>



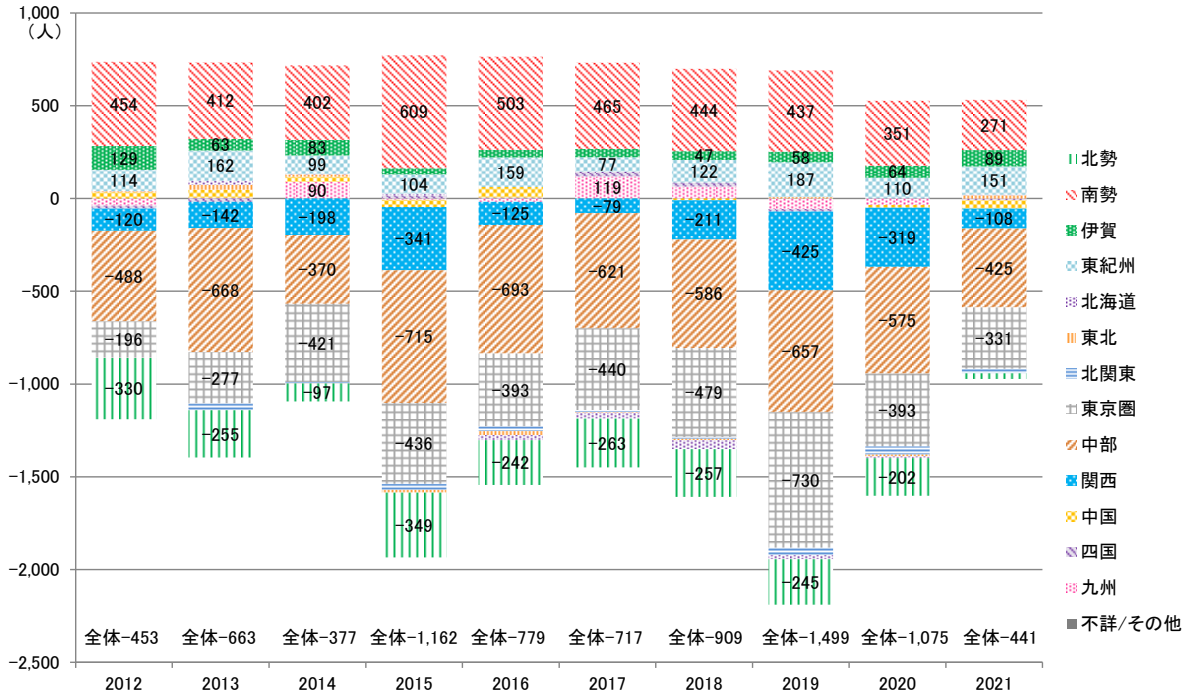
図表 III-108 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-女性-外国人を含む>



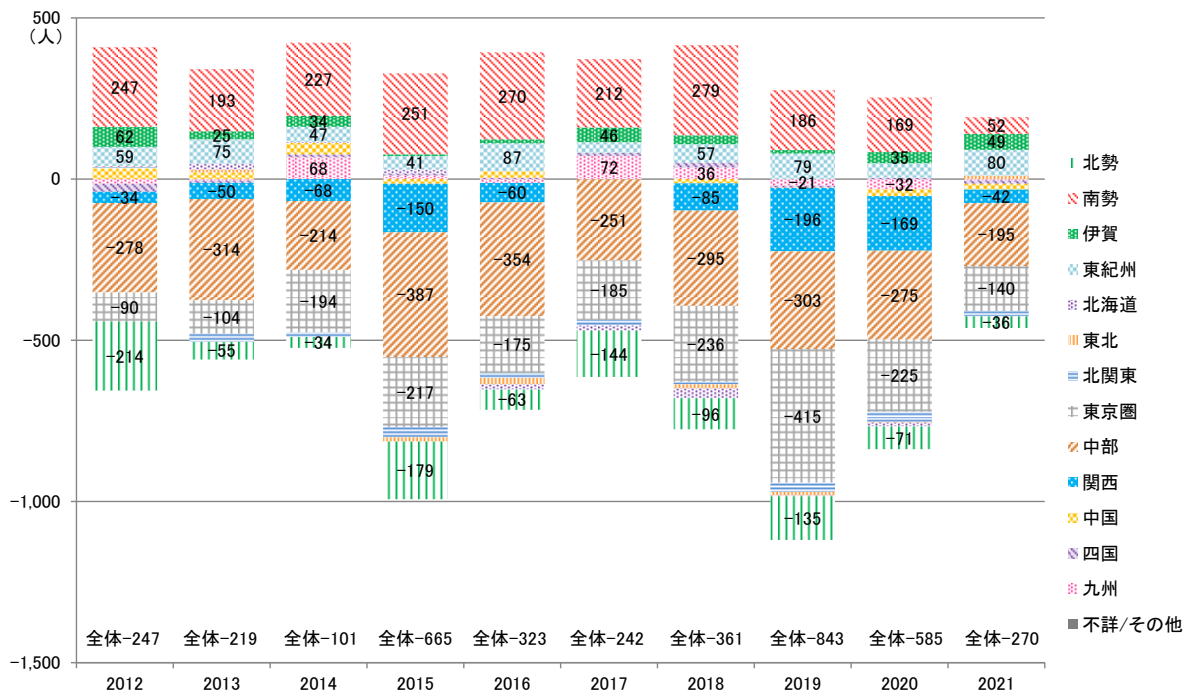
3) 転入超過

転入超過数を男女別・移動地域別にみると、男女ともに全体的な傾向は同様となっており、特に中部及び東京圏の転出超過数が大きくなっている。男女ともに、各地域に対する転入超過数は年次によって増減し、一貫して増加または減少している地域はみられない。

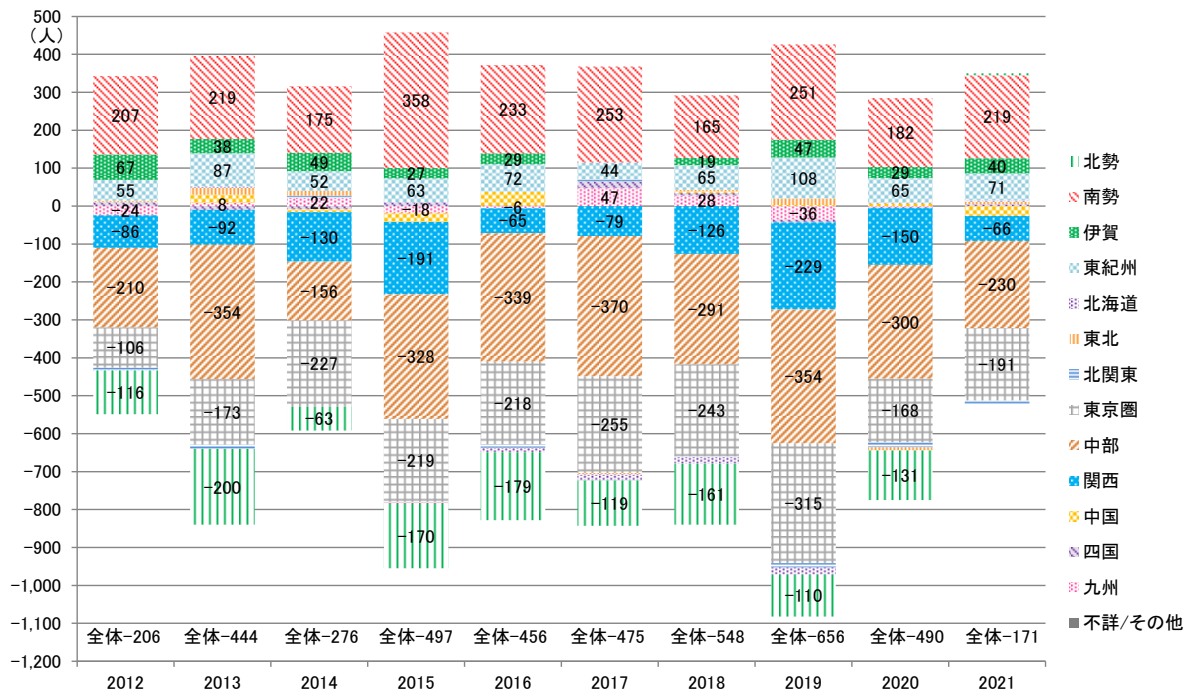
図表 III-109 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-110 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男性-日本人のみ>

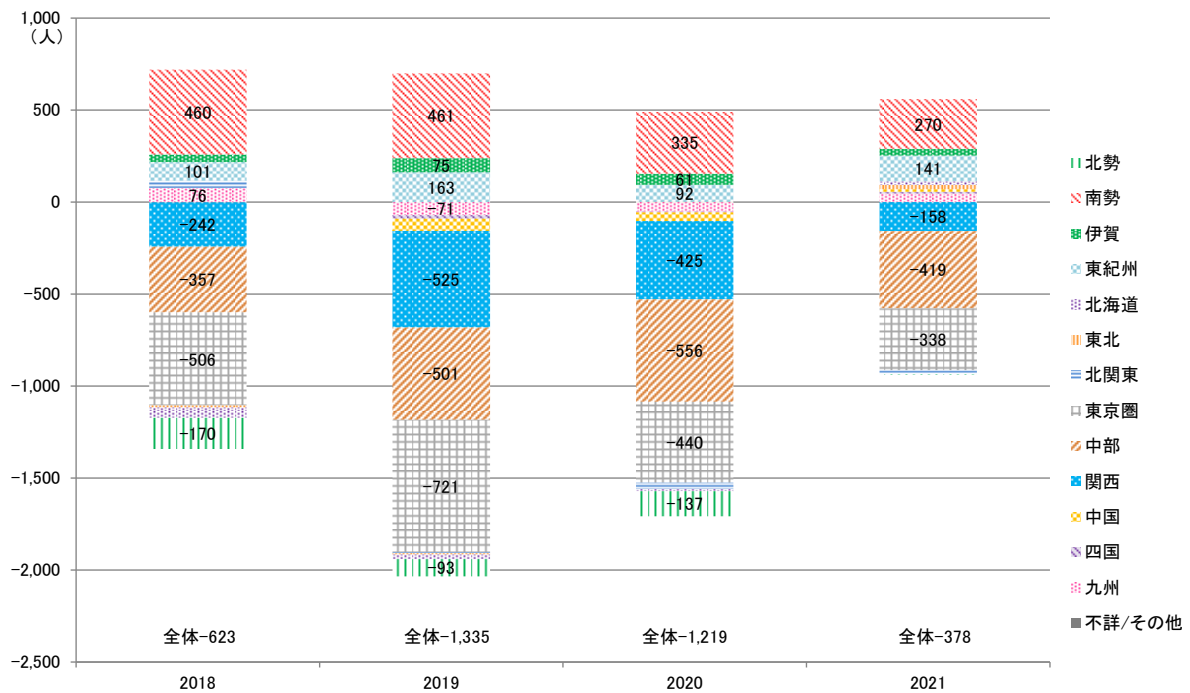


図表 III-111 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-女性>

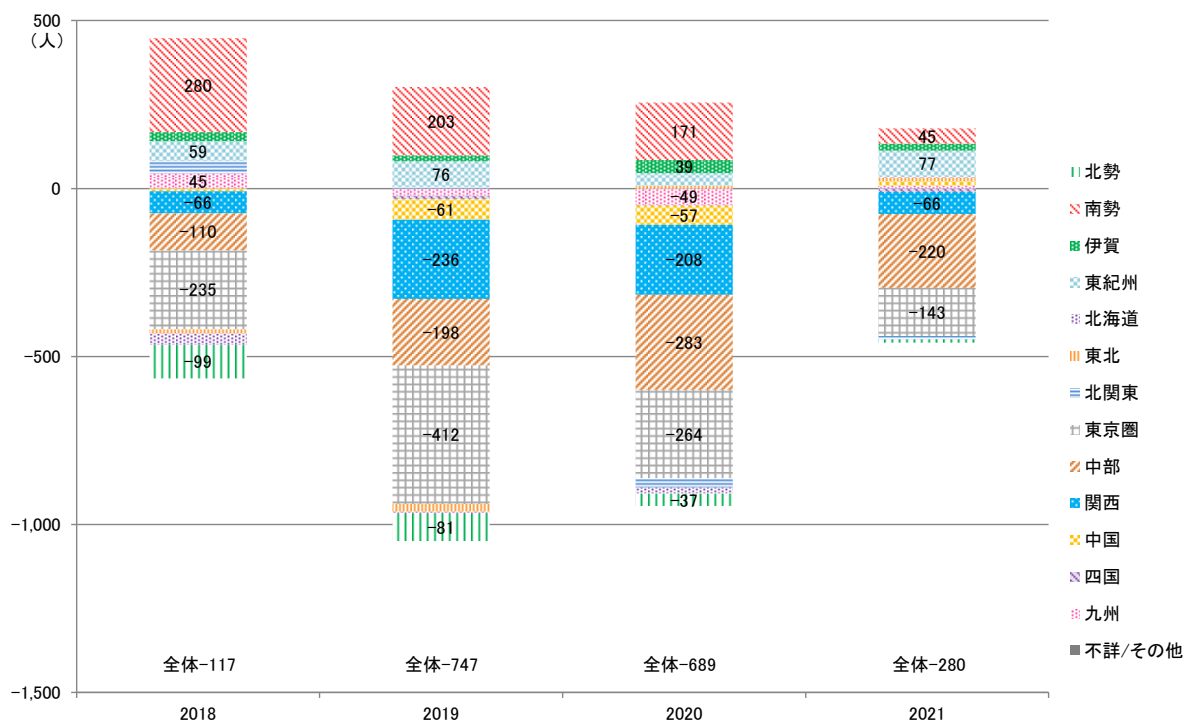


【参考】外国人を含む転入超過数

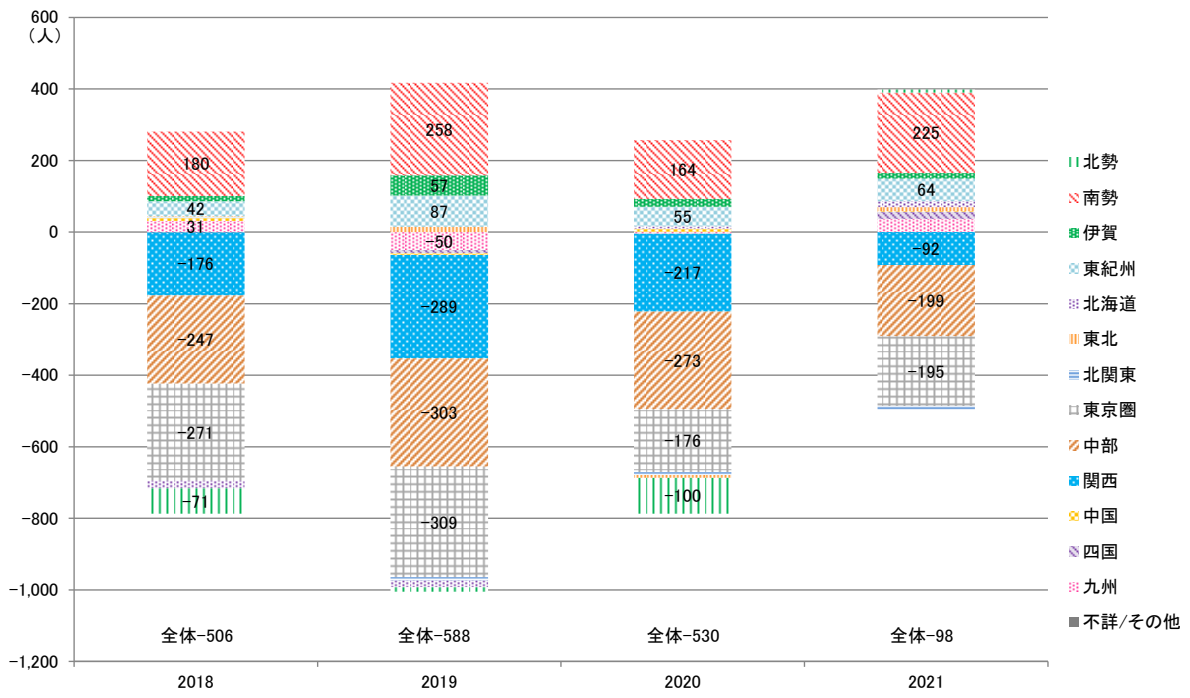
図表 III-112 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-113 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-男性-外国人を含む>



図表 III-114 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<中勢-女性-外国人を含む>



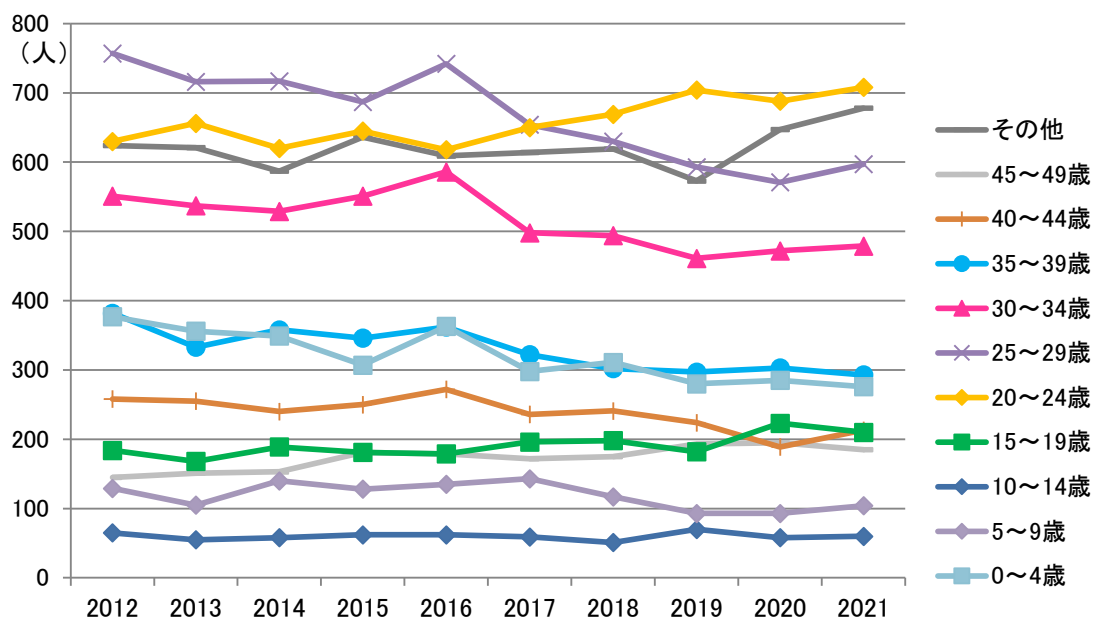
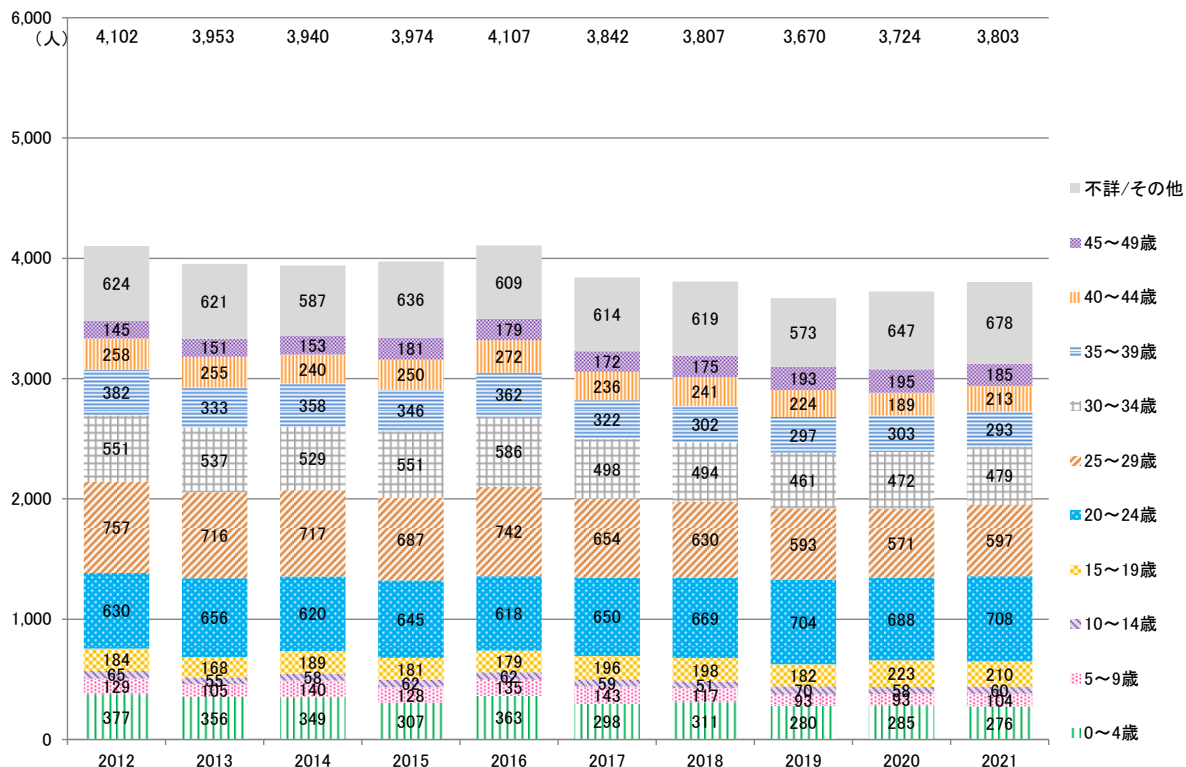
(3) 南勢地域

① 年齢5歳階級別

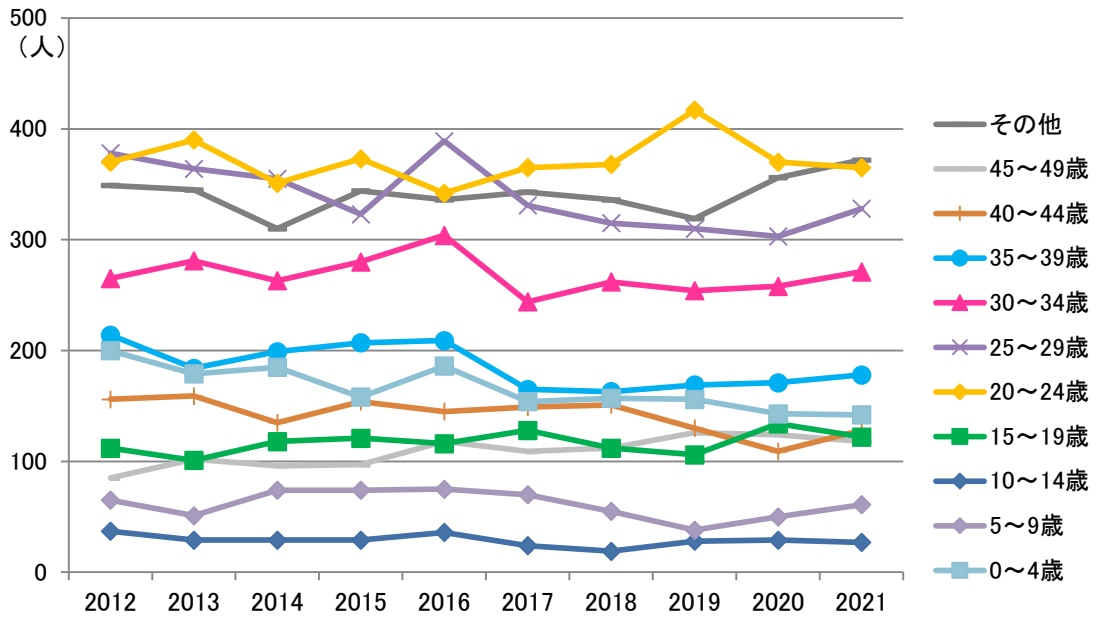
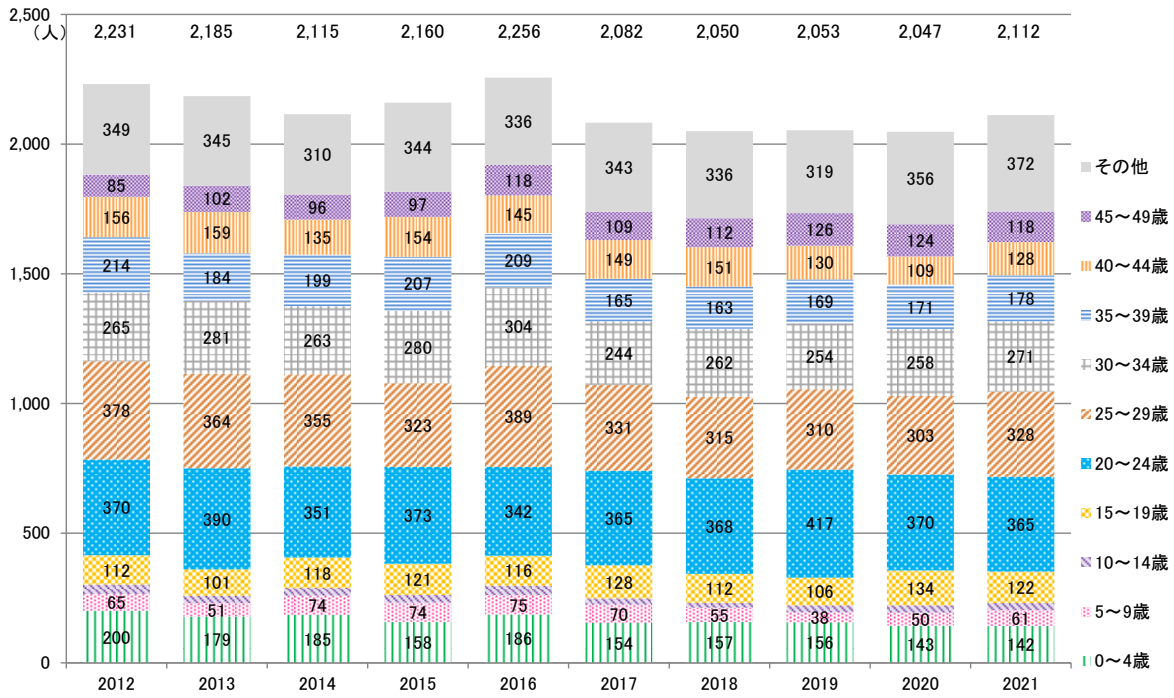
1) 転入

年齢5歳階級別にみると、20～24歳、25～29歳、30～34歳の転入者数が大きくなっている。25～29歳及び30～34歳は減少傾向、20～24歳は増加傾向にあるが、特に女性において顕著である。

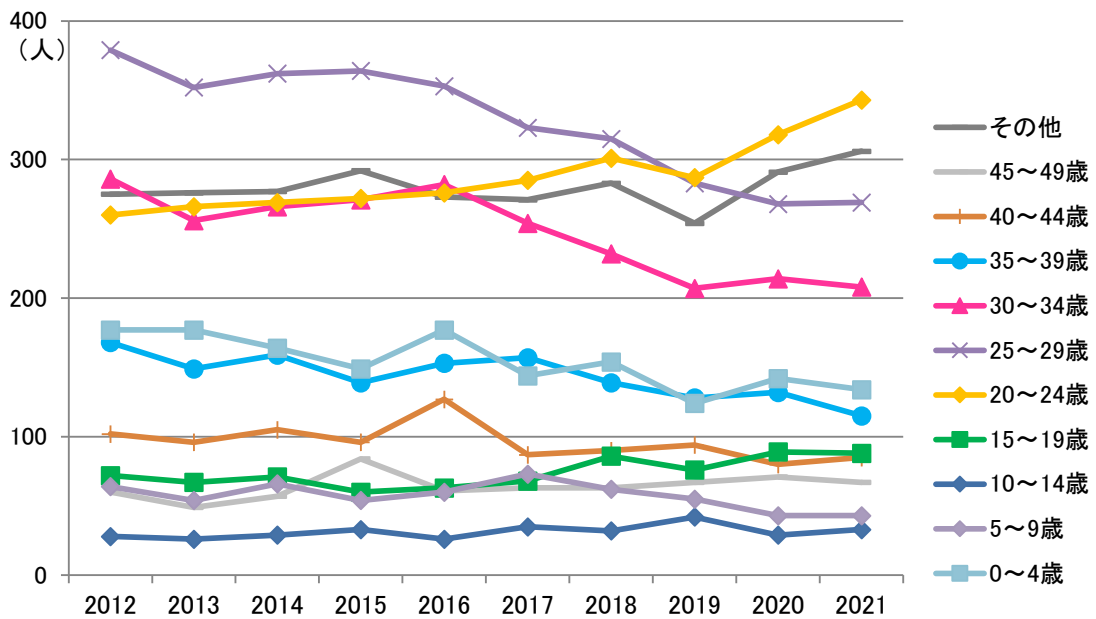
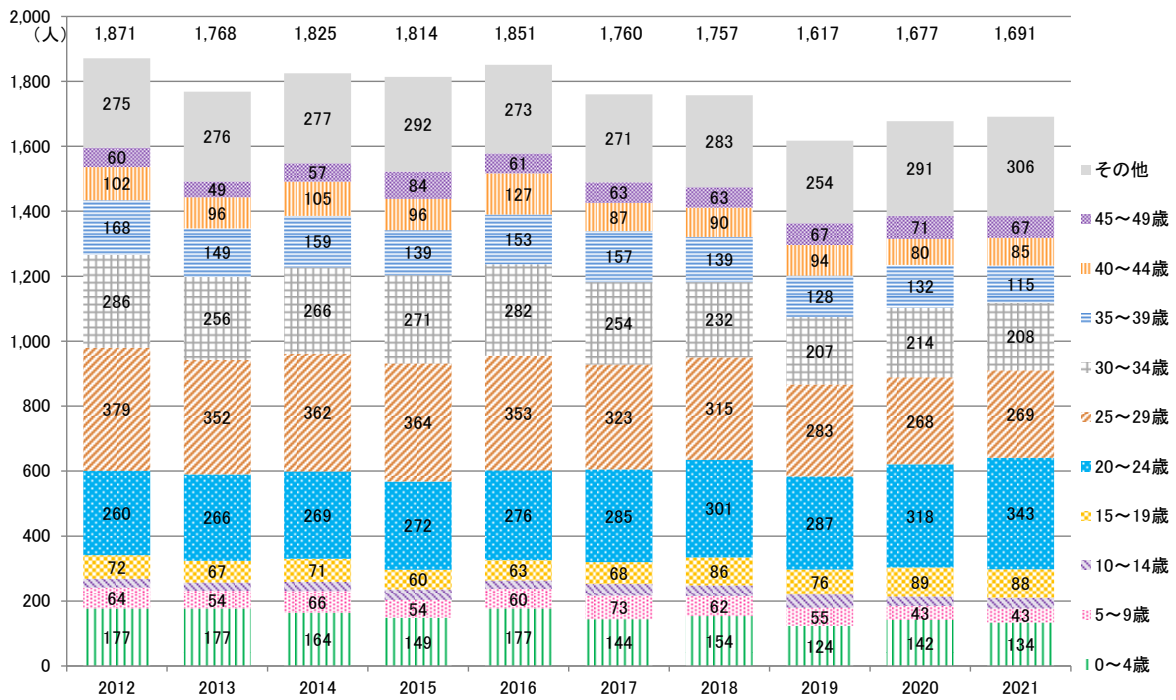
図表 III-115 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-116 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男性-日本人のみ>

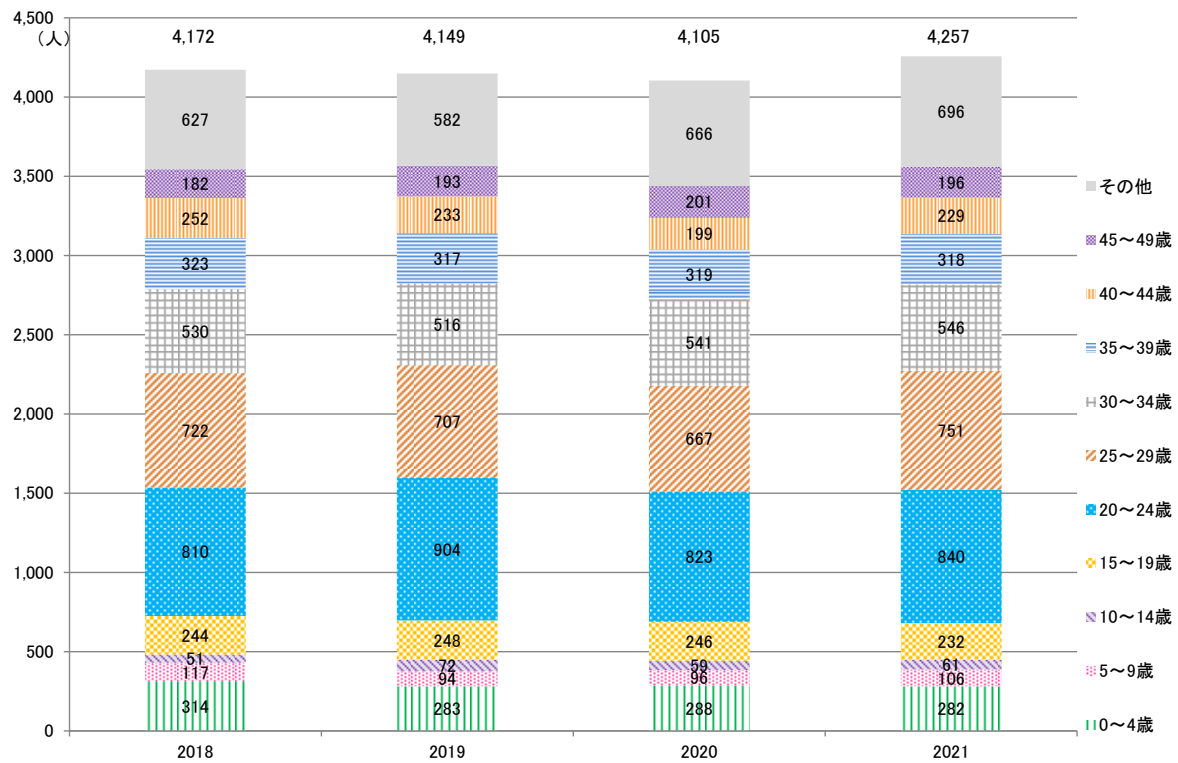


図表 III-117 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-女性-日本人のみ>

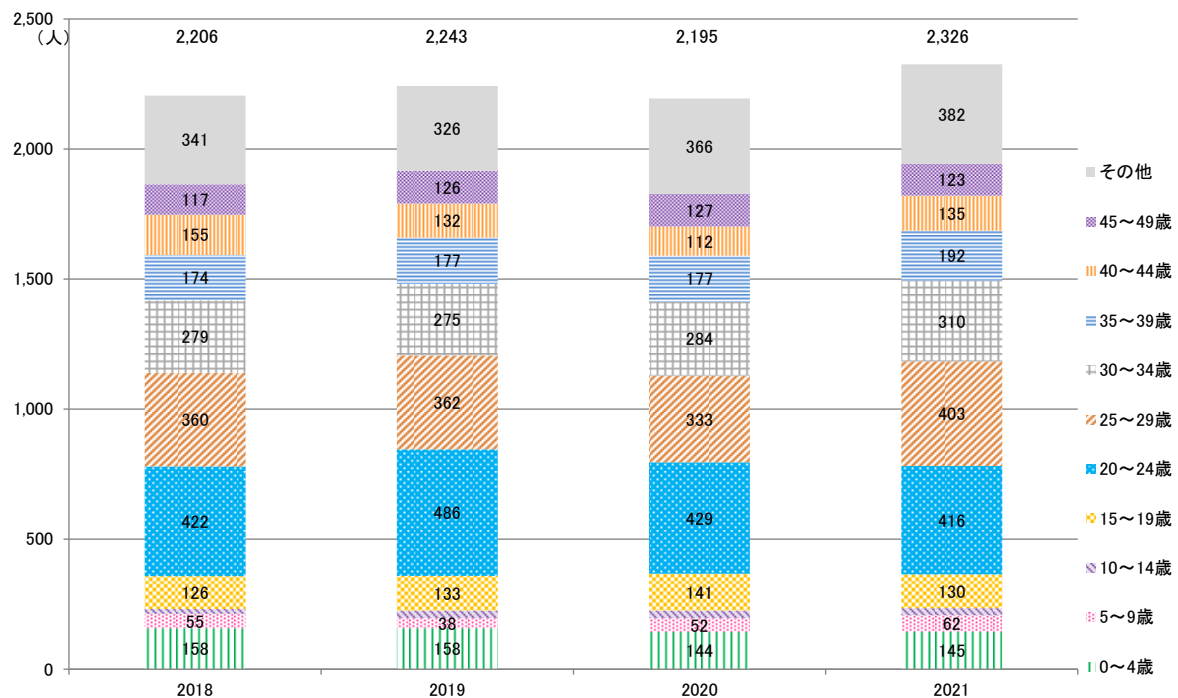


【参考】外国人を含む転入者数

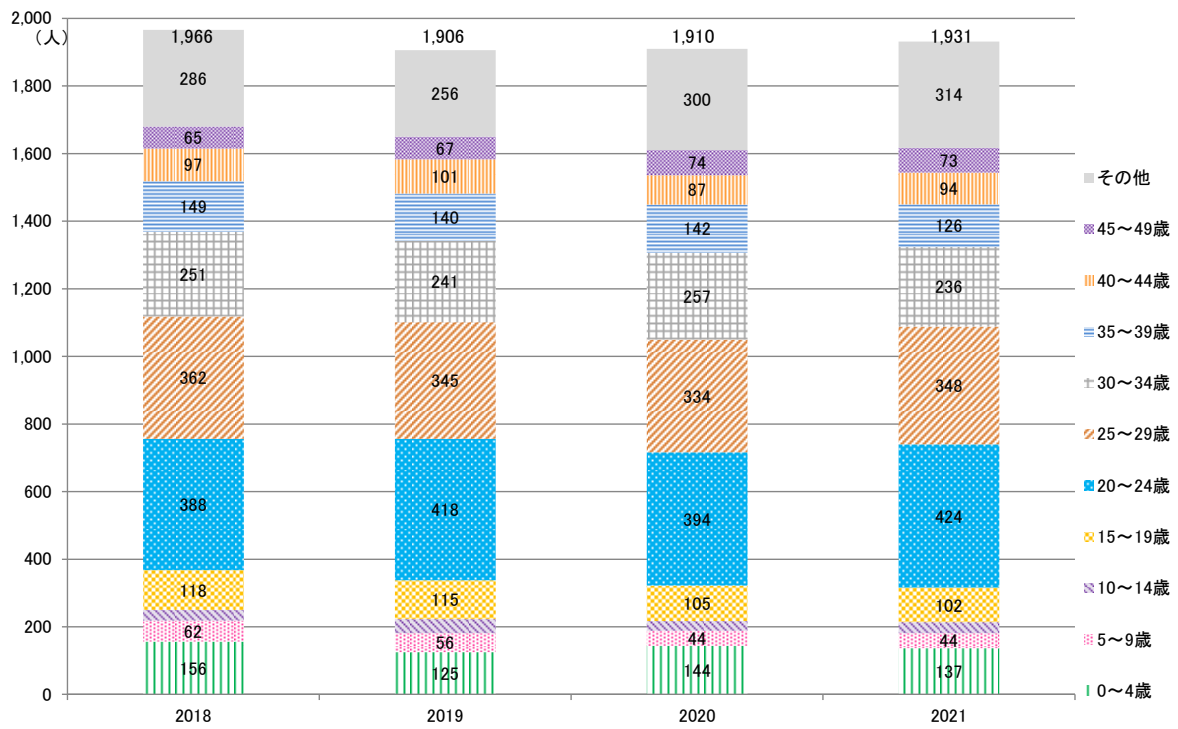
図表 III-118 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-119 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男性-外国人を含む>



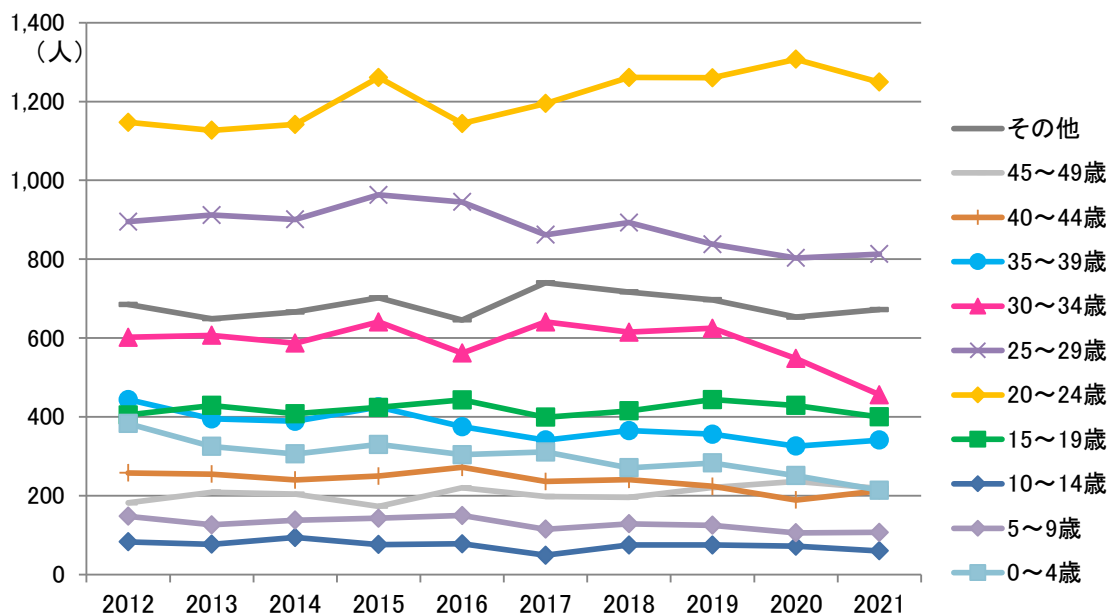
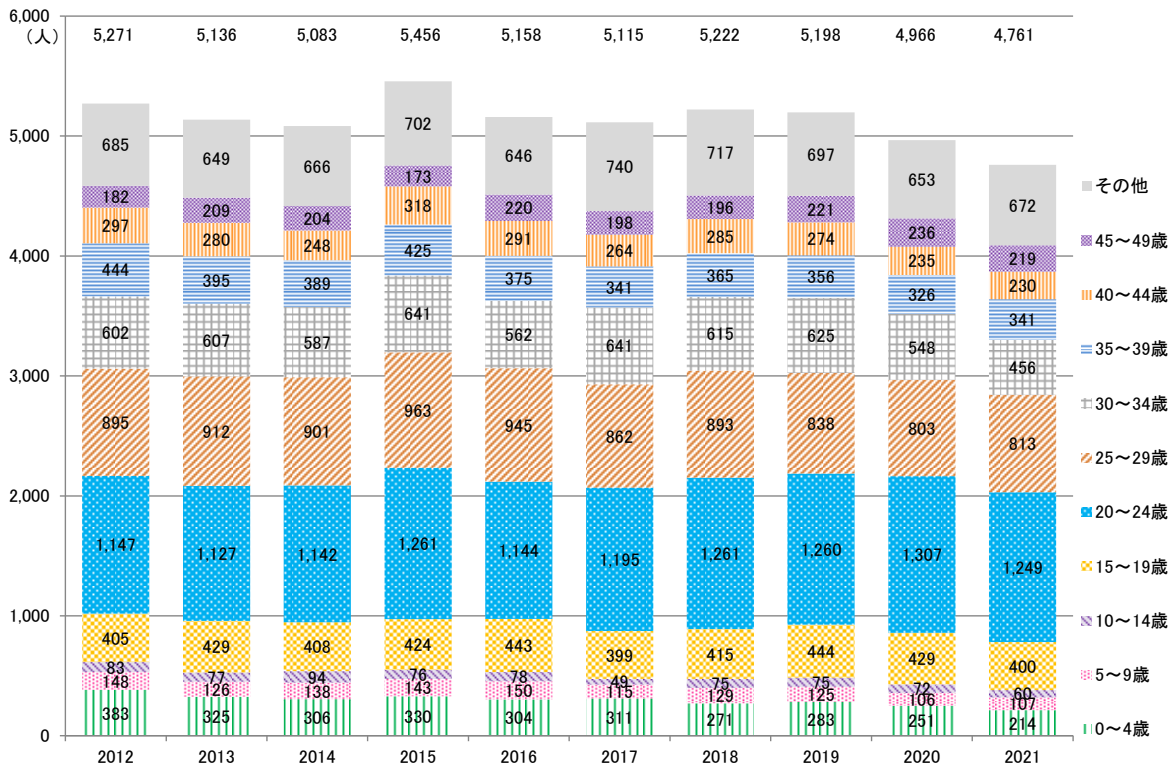
図表 III-120 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-女性-外国人を含む>



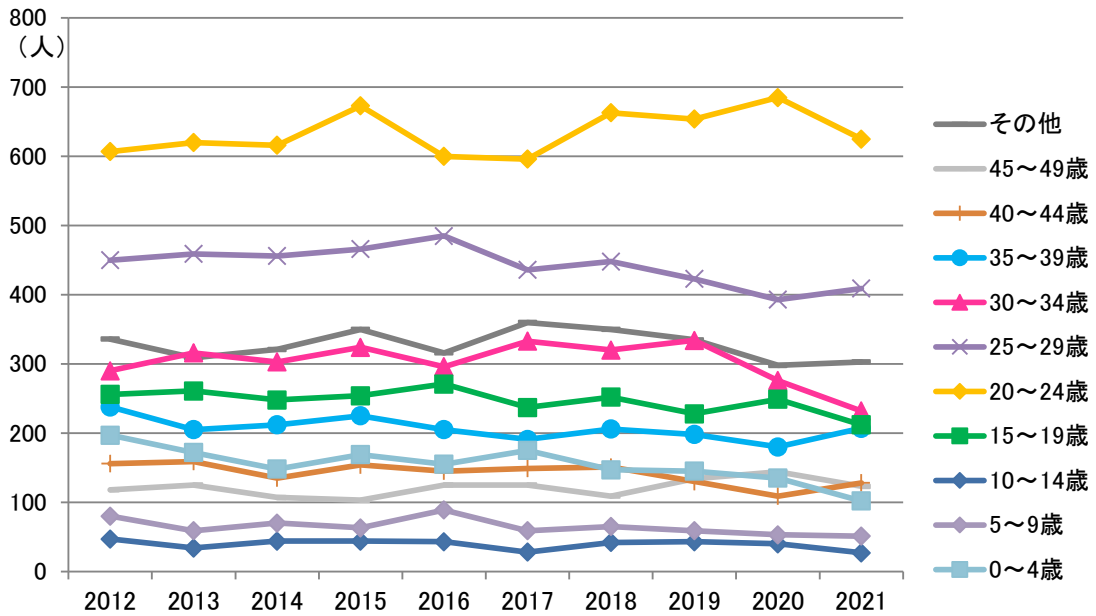
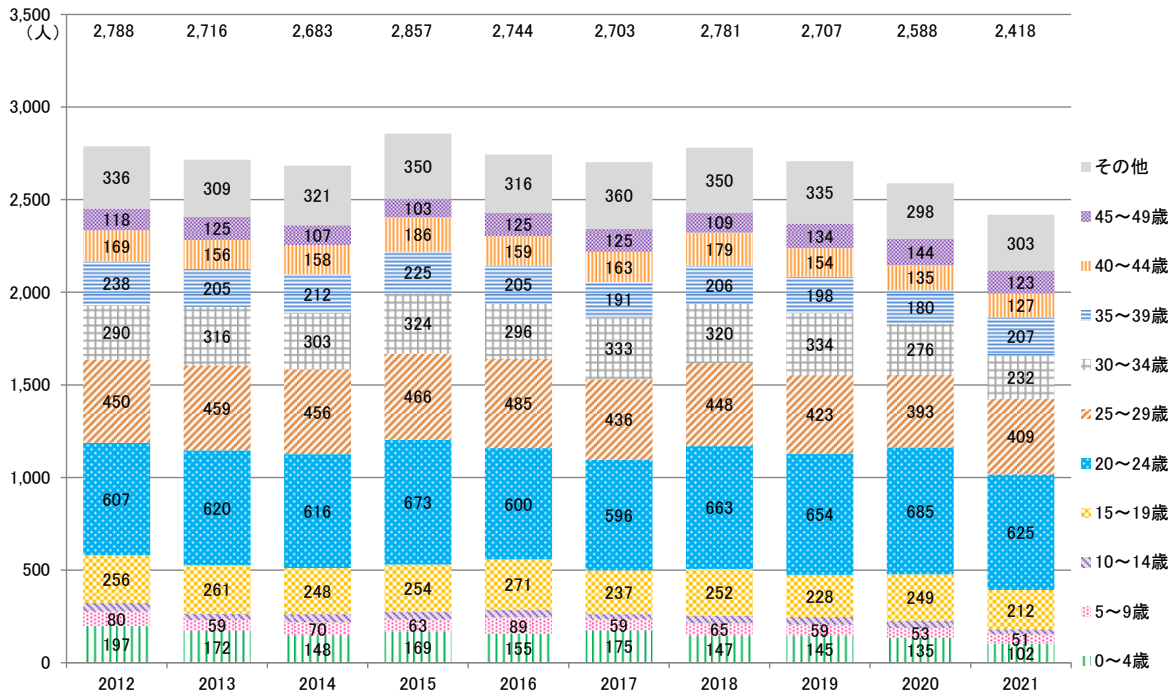
2) 転出

年齢5歳階級別にみると、20~24歳、25~29歳、30~34歳の転出者数が多くなっており、男女ともに概ね同様の傾向で推移している。また、2019年から2021年にかけて、20~24歳及び25~29歳は横ばいで推移しているのに対し、30~34歳は減少傾向で推移している。

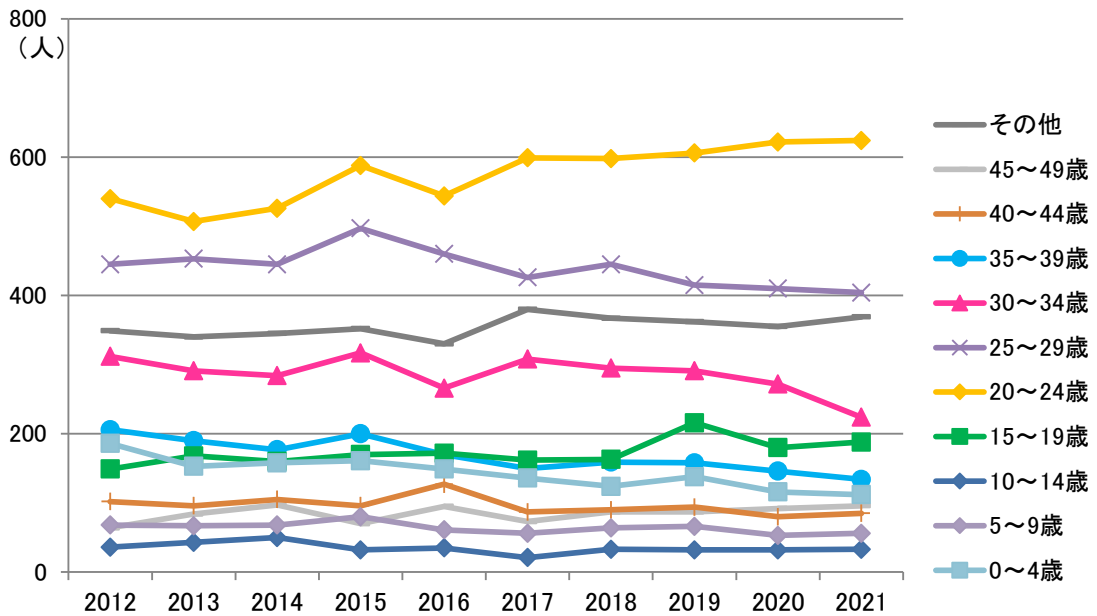
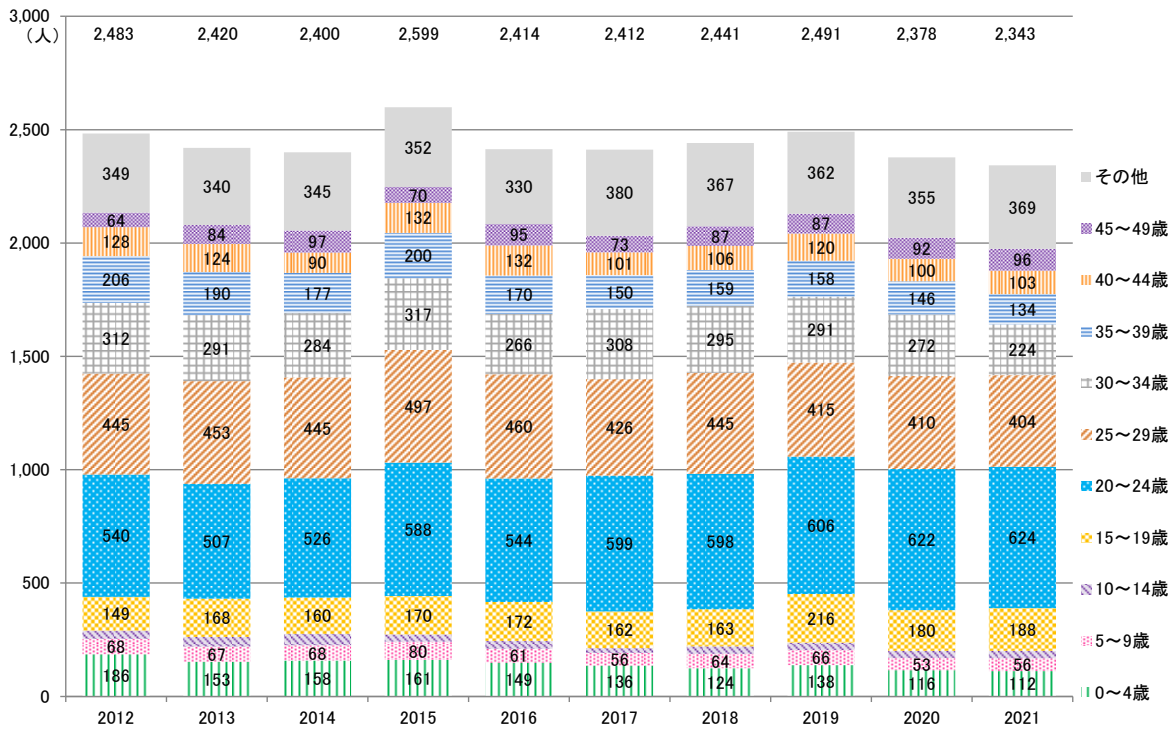
図表 III-121 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-122 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男性-日本人のみ>

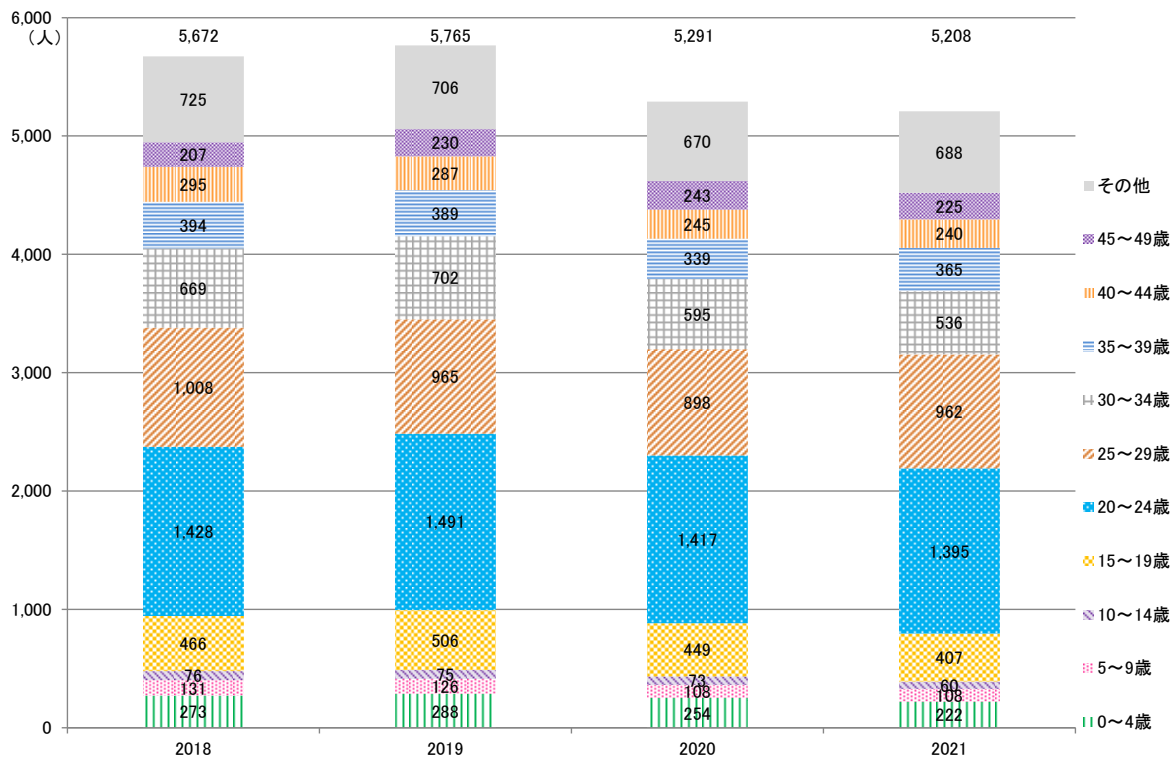


図表 III-123 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-女性-日本人のみ>

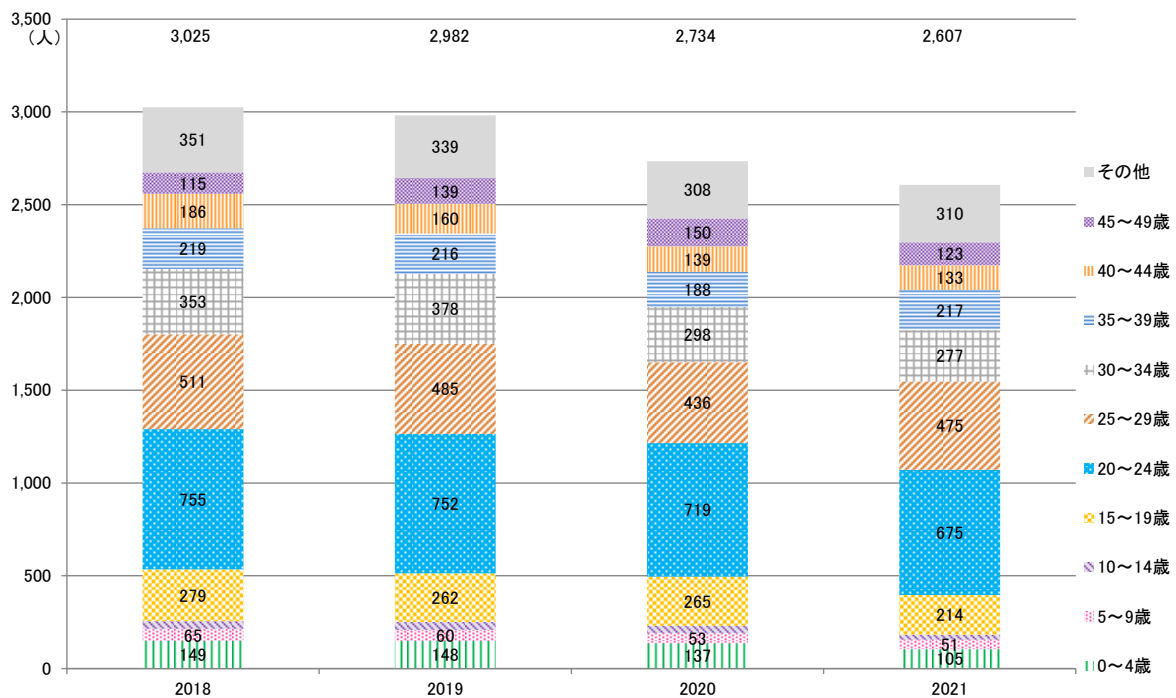


【参考】外国人を含む転出者数

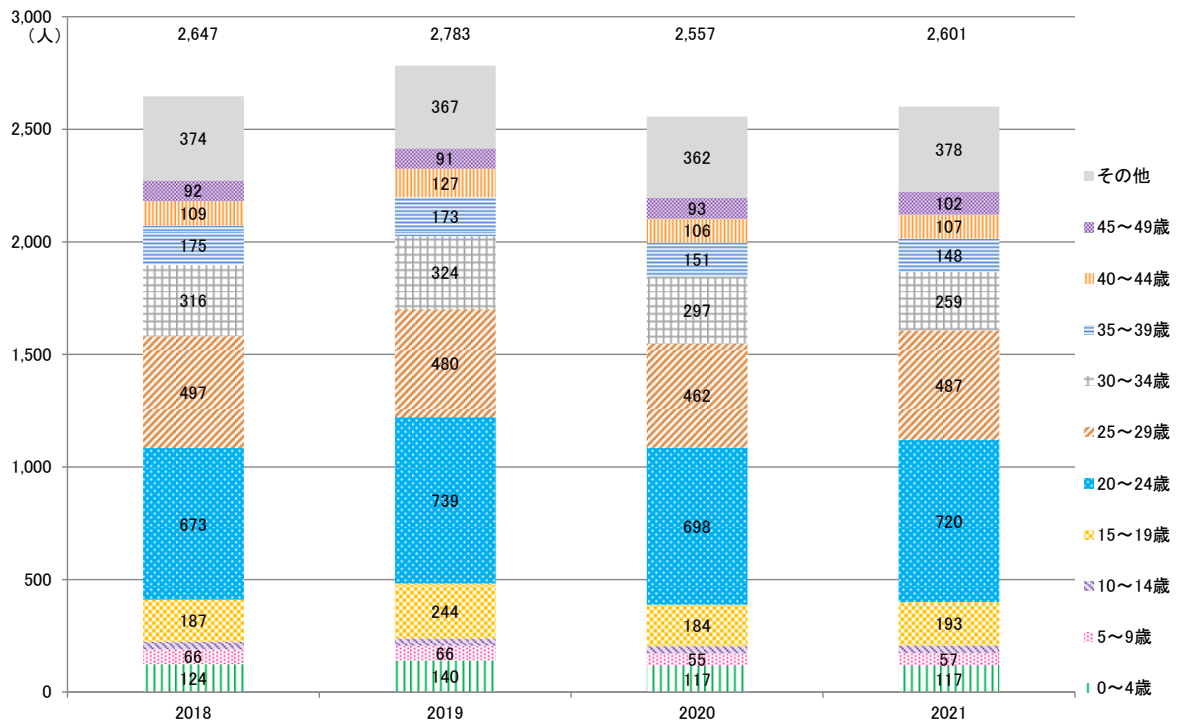
図表 III-124 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-125 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



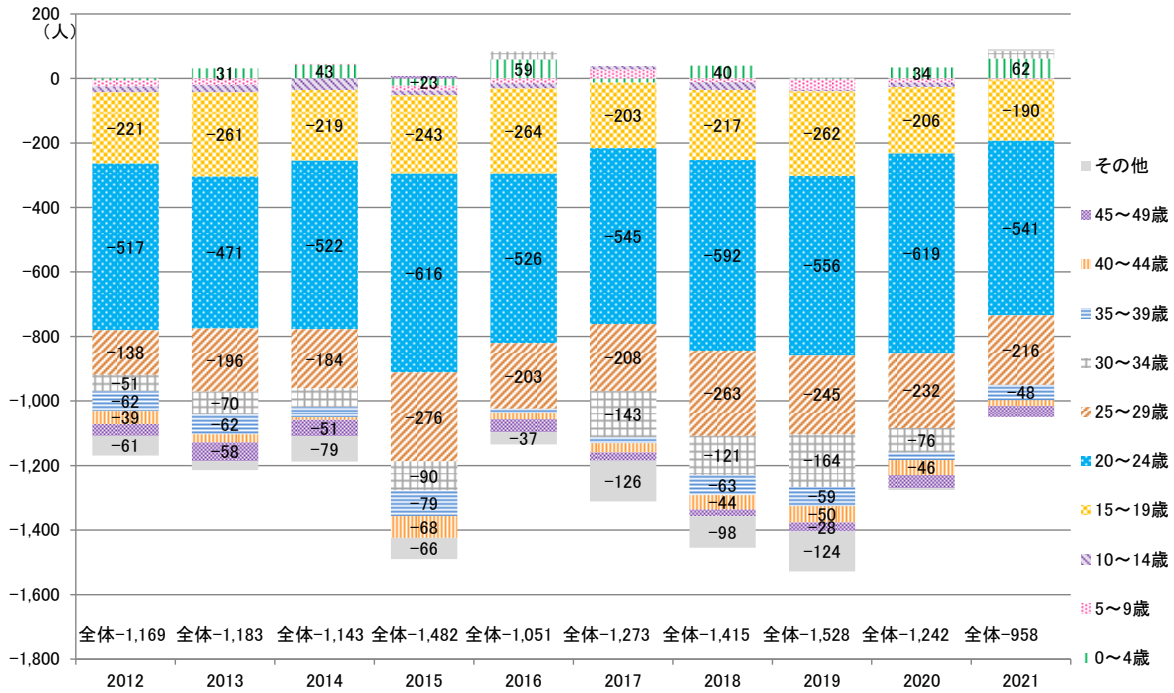
図表 III-126 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



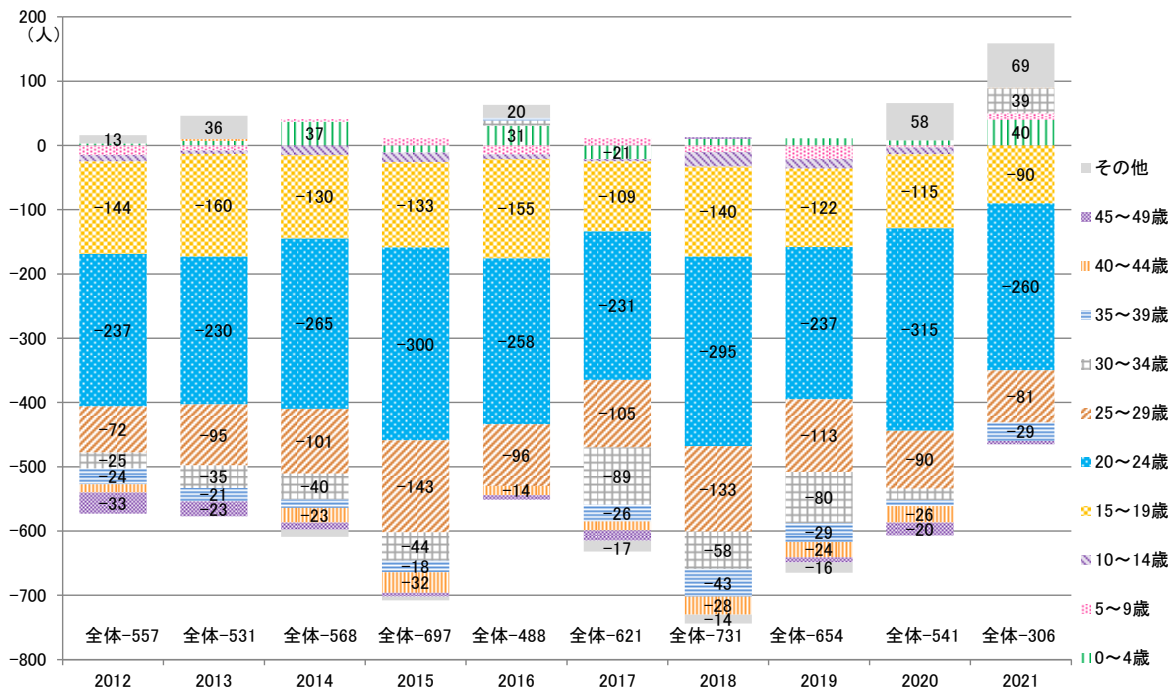
3) 転入超過

2012年以降、転出超過の状況が続いている。特に15～19歳、20～24歳、25～29歳の転出超過数が大きくなっており、男女とも同様の傾向がみられる。

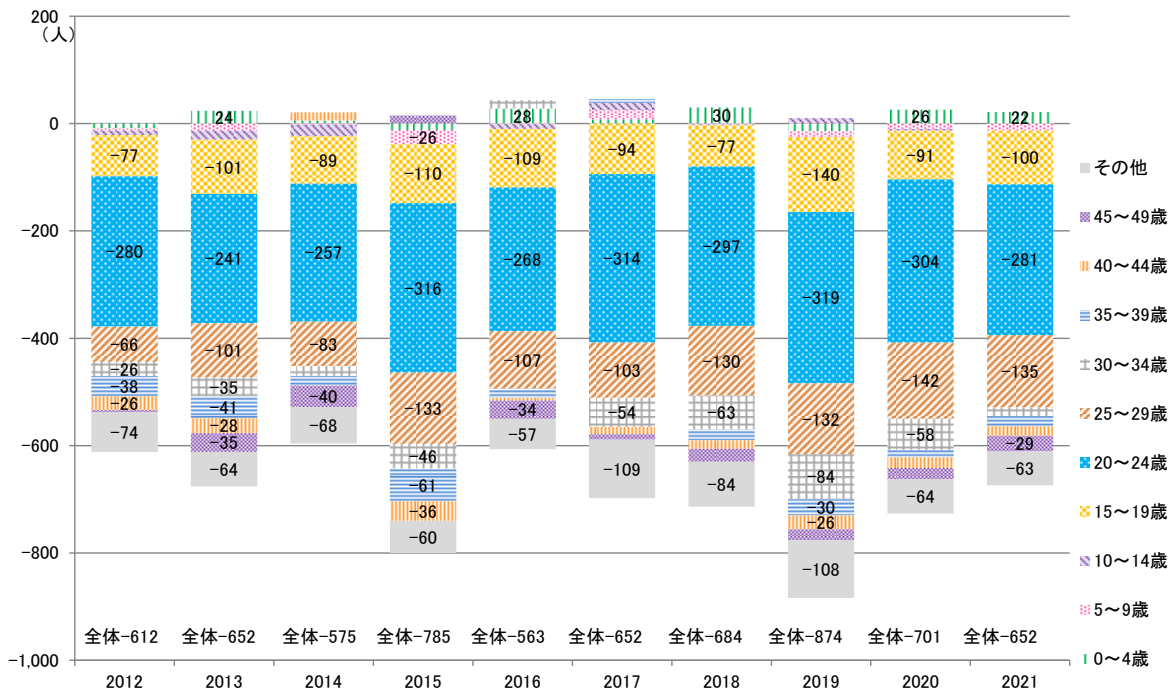
図表 III-127 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-128 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男性-日本人のみ>

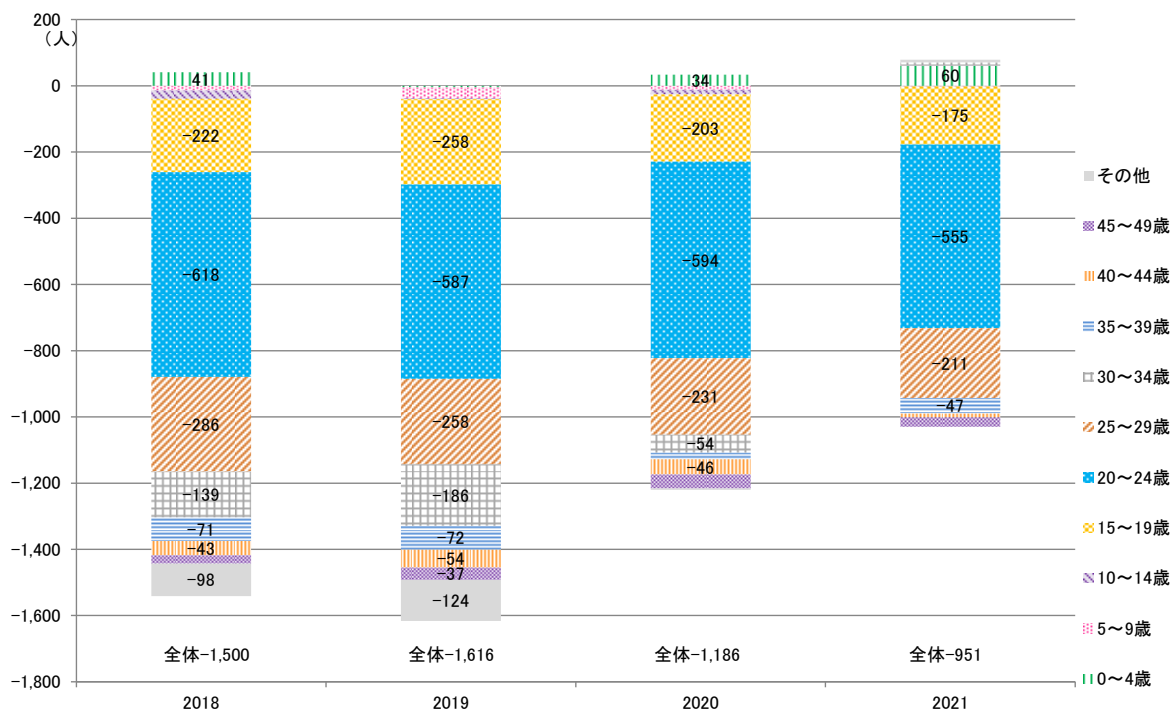


図表 III-129 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-女性-日本人のみ>

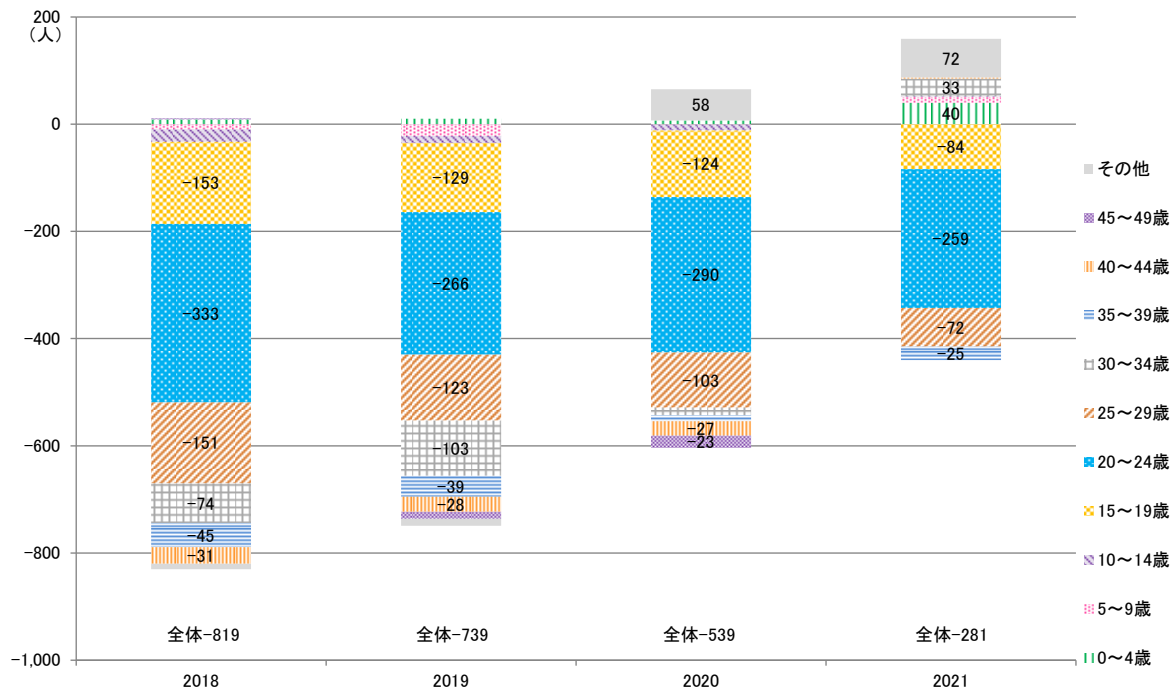


【参考】外国人を含む転入超過数

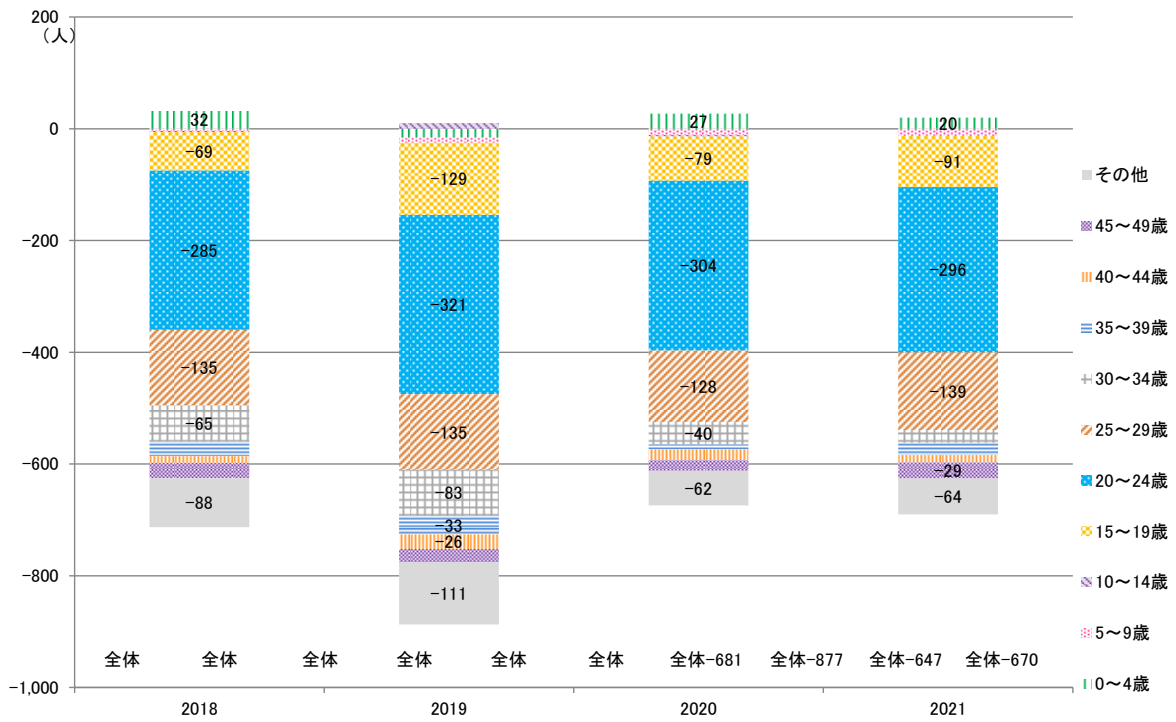
図表 III-130 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-131 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-132 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>

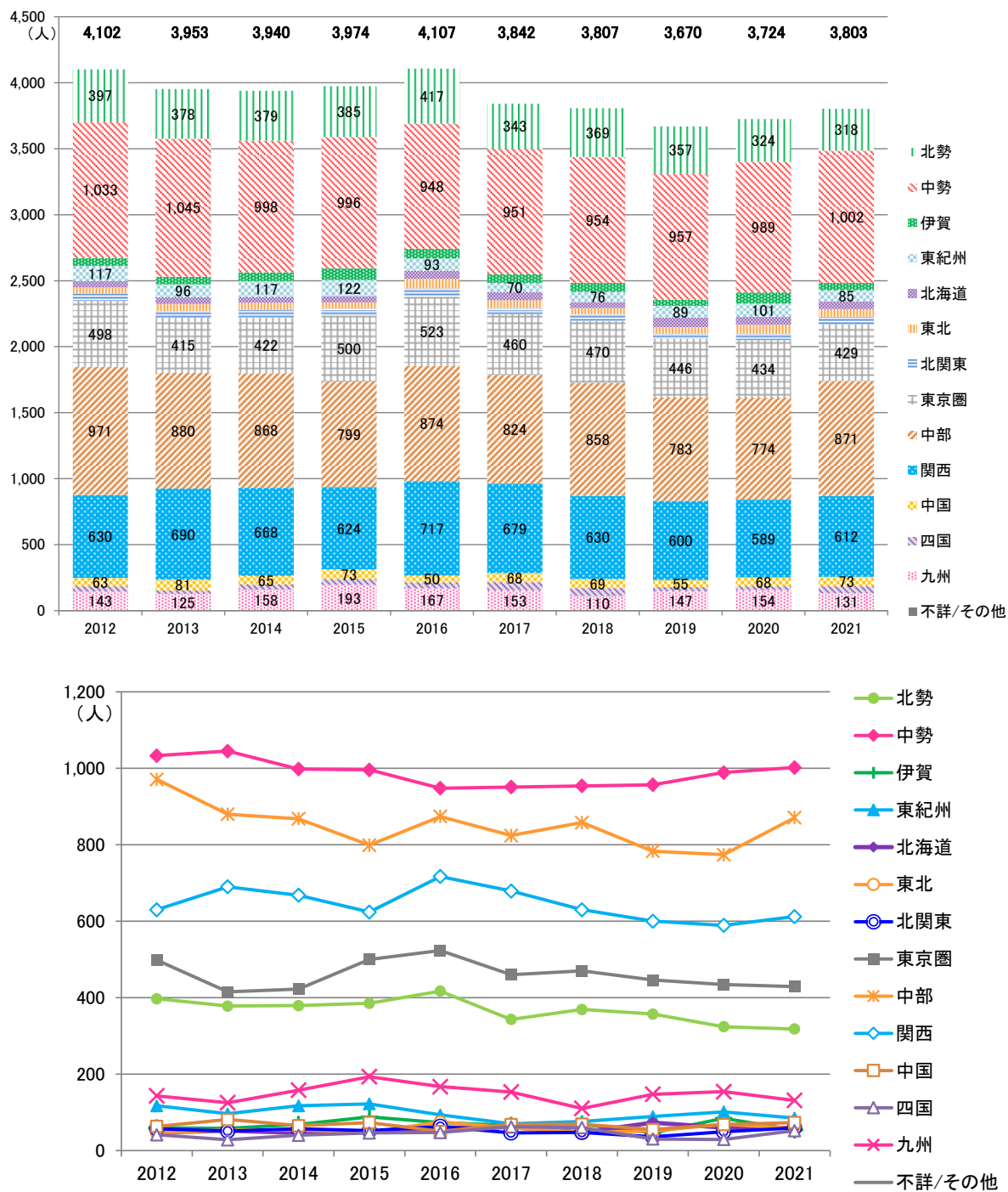


② 移動地域別

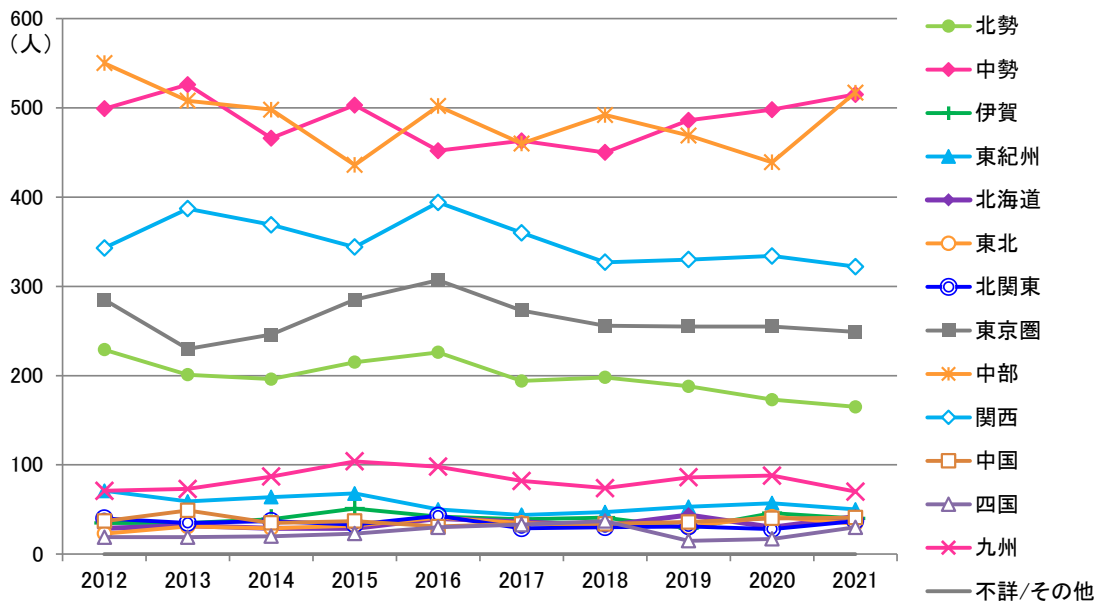
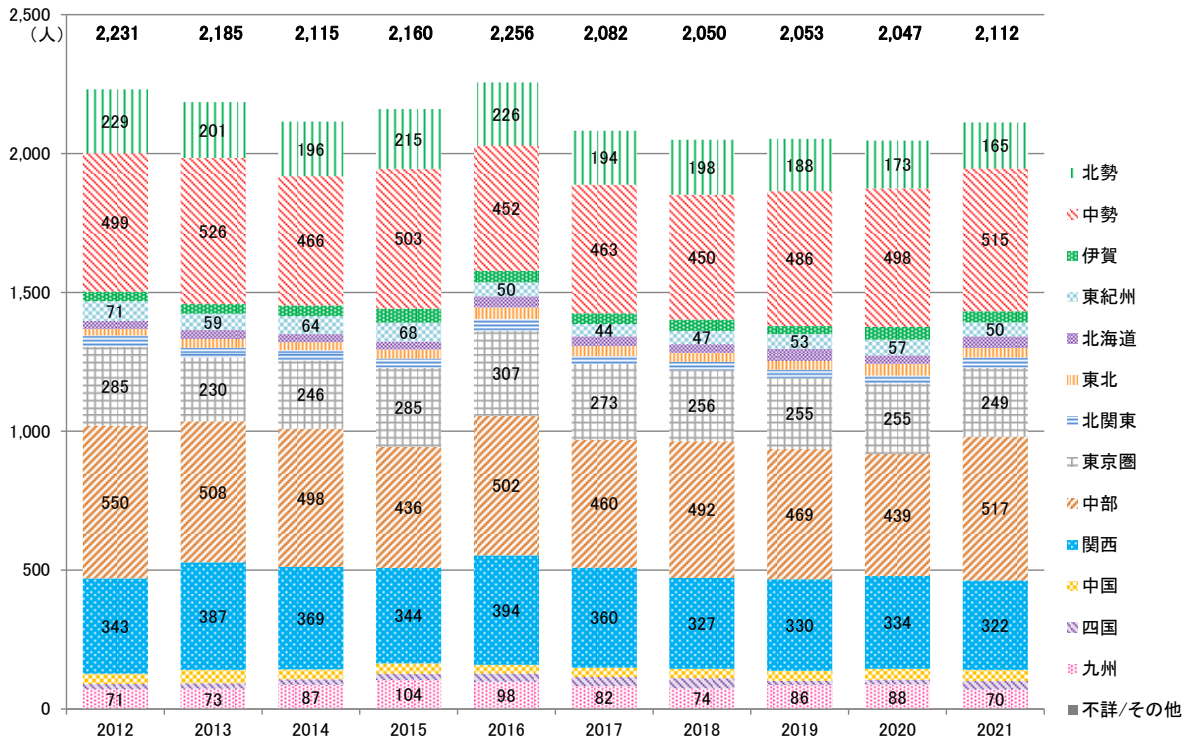
1) 転入

転入者数を男女別・移動地域別にみると、男性では中部・中勢地域の転入者数が概ね同水準で大きくなっているのに対し、女性では中勢地域の転入者数が中部を上回っている。

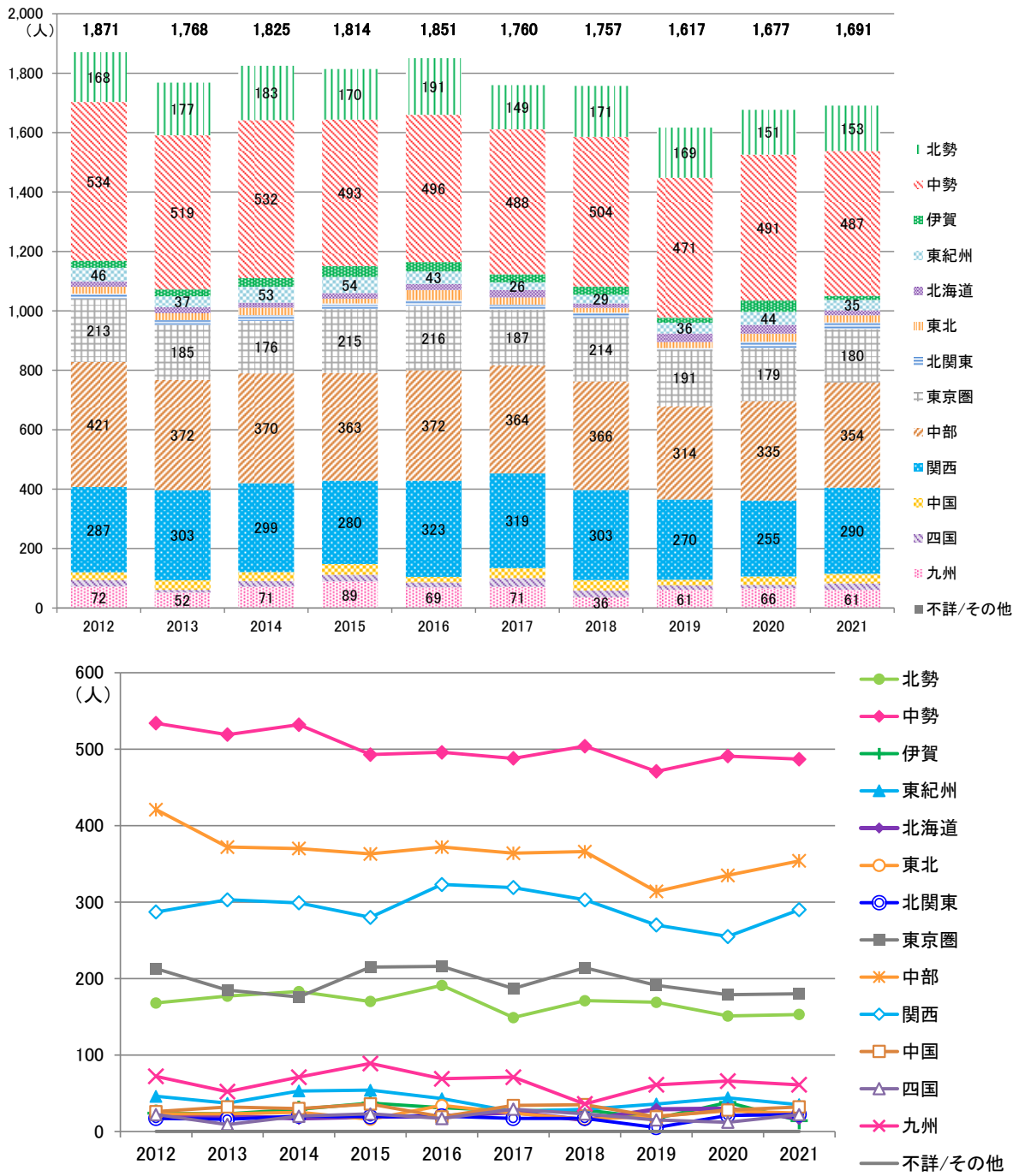
図表 III-133 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-134 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男性-日本人のみ>

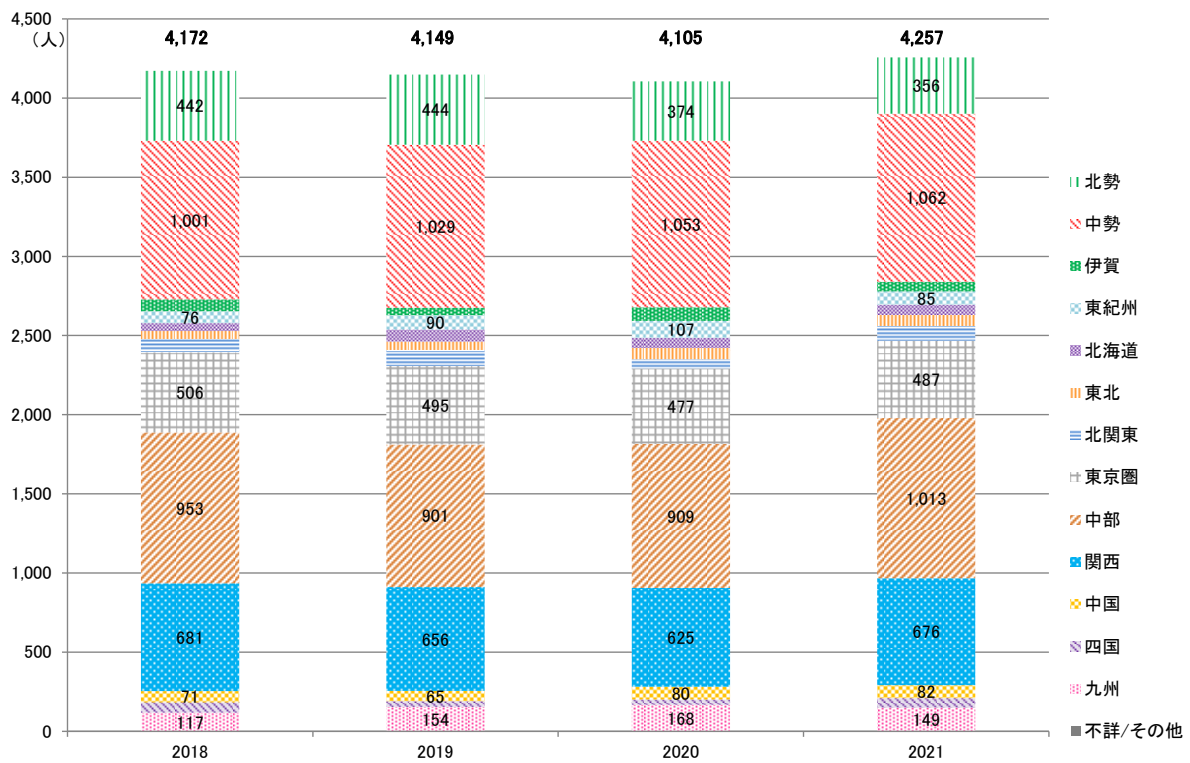


図表 III-135 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-女性-日本人のみ>

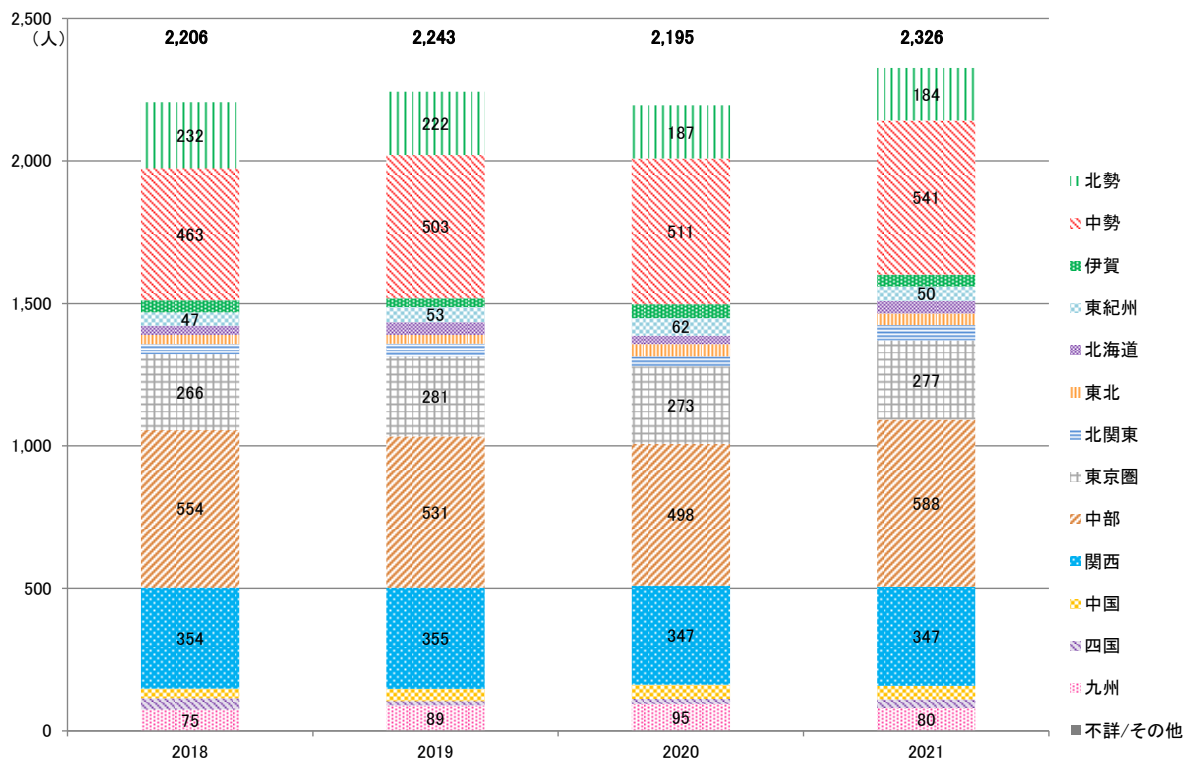


【参考】外国人を含む転入者数

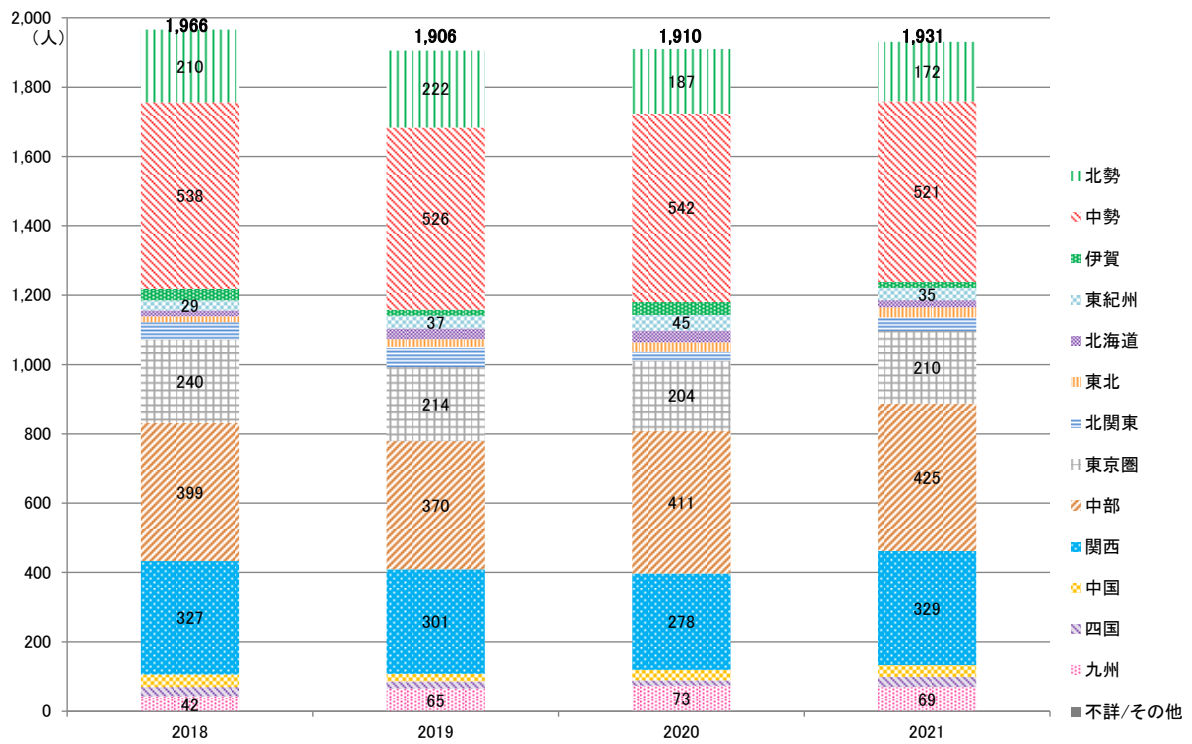
図表 III-136 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-137 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男性-外国人を含む>



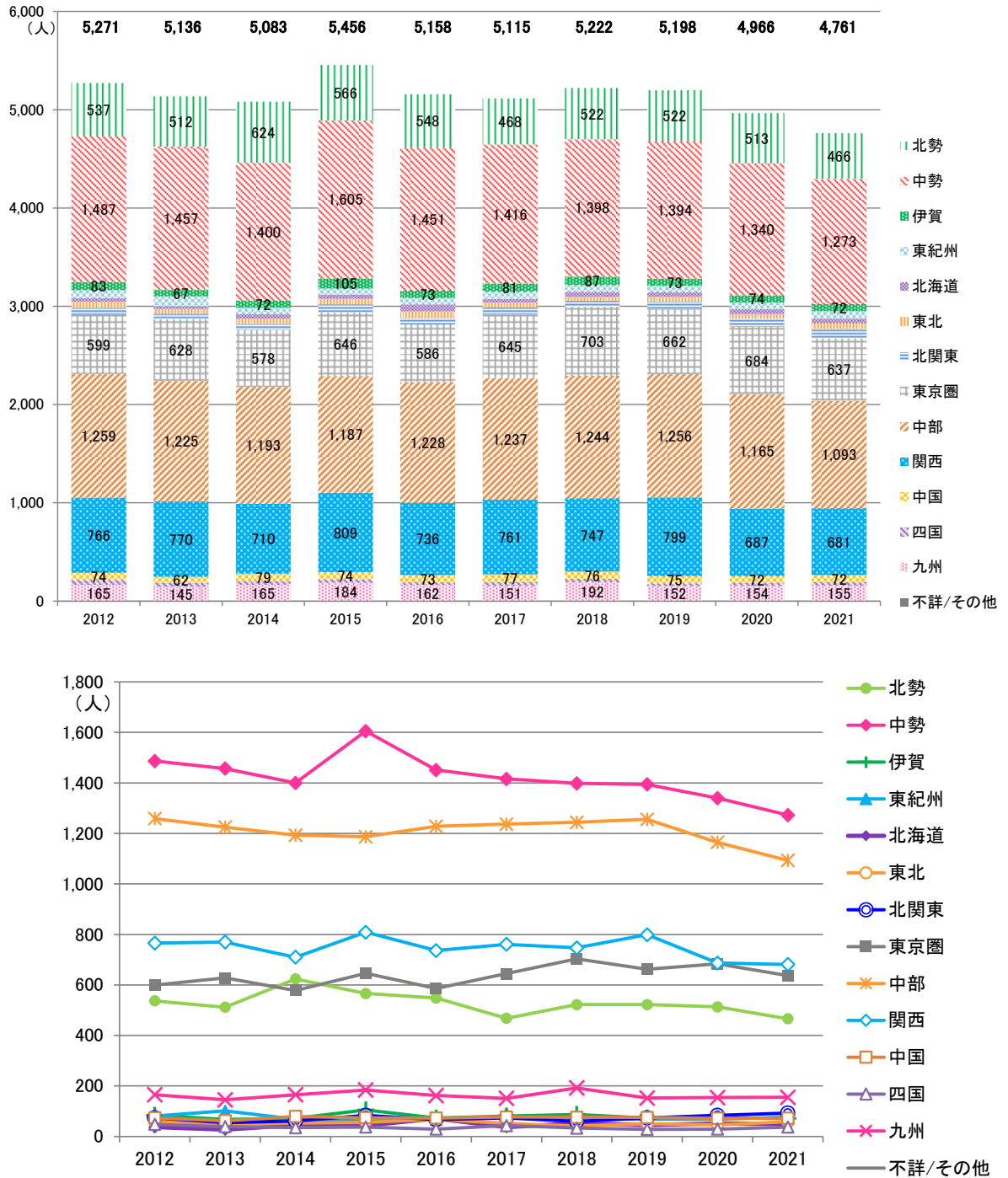
図表 III-138 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-女性-外国人を含む>



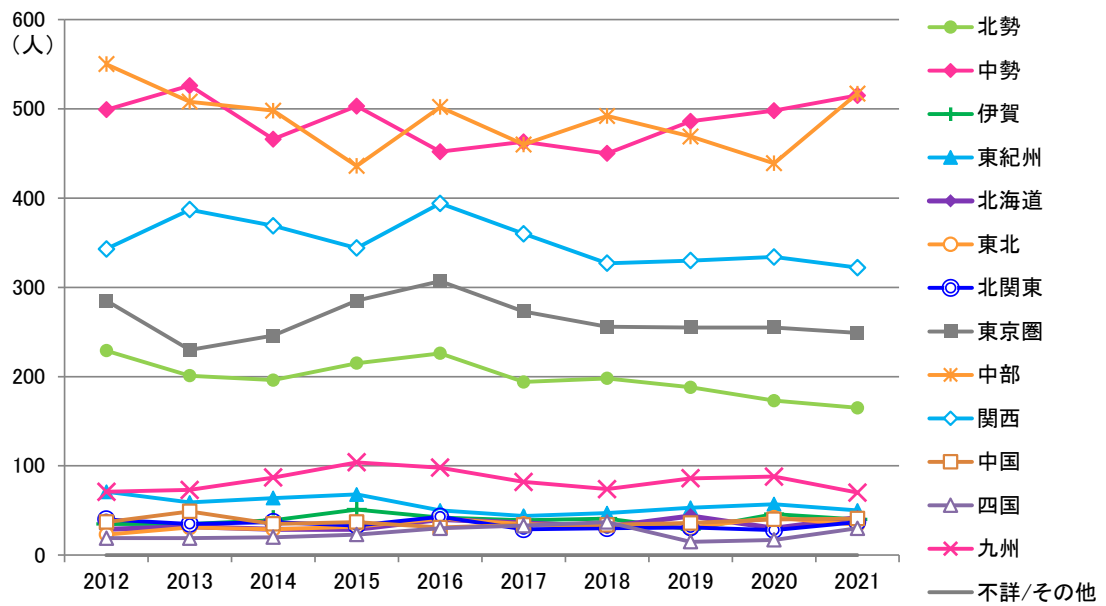
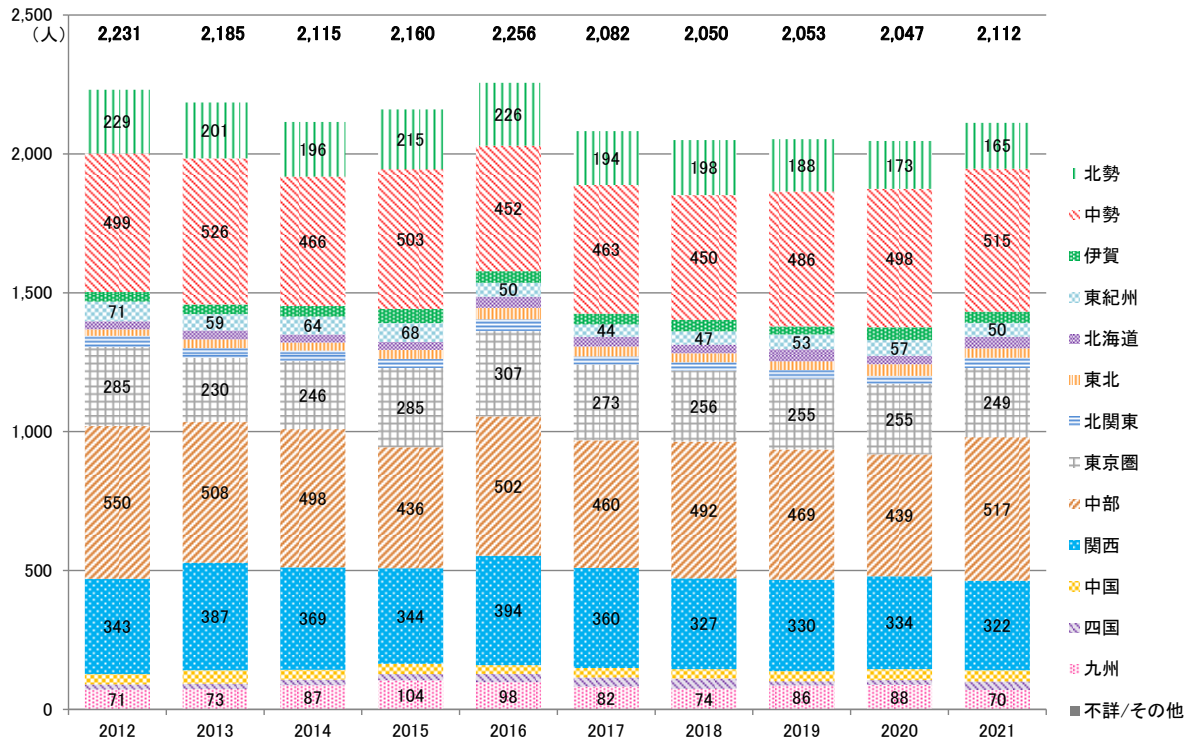
2) 転出

転出者数を男女別・移動地域別にみると、転入者数と同様に、男性では中部・中勢地域の転出者数が概ね同水準で大きくなっているのに対し、女性では中勢地域の転出者数が中部を上回っている。

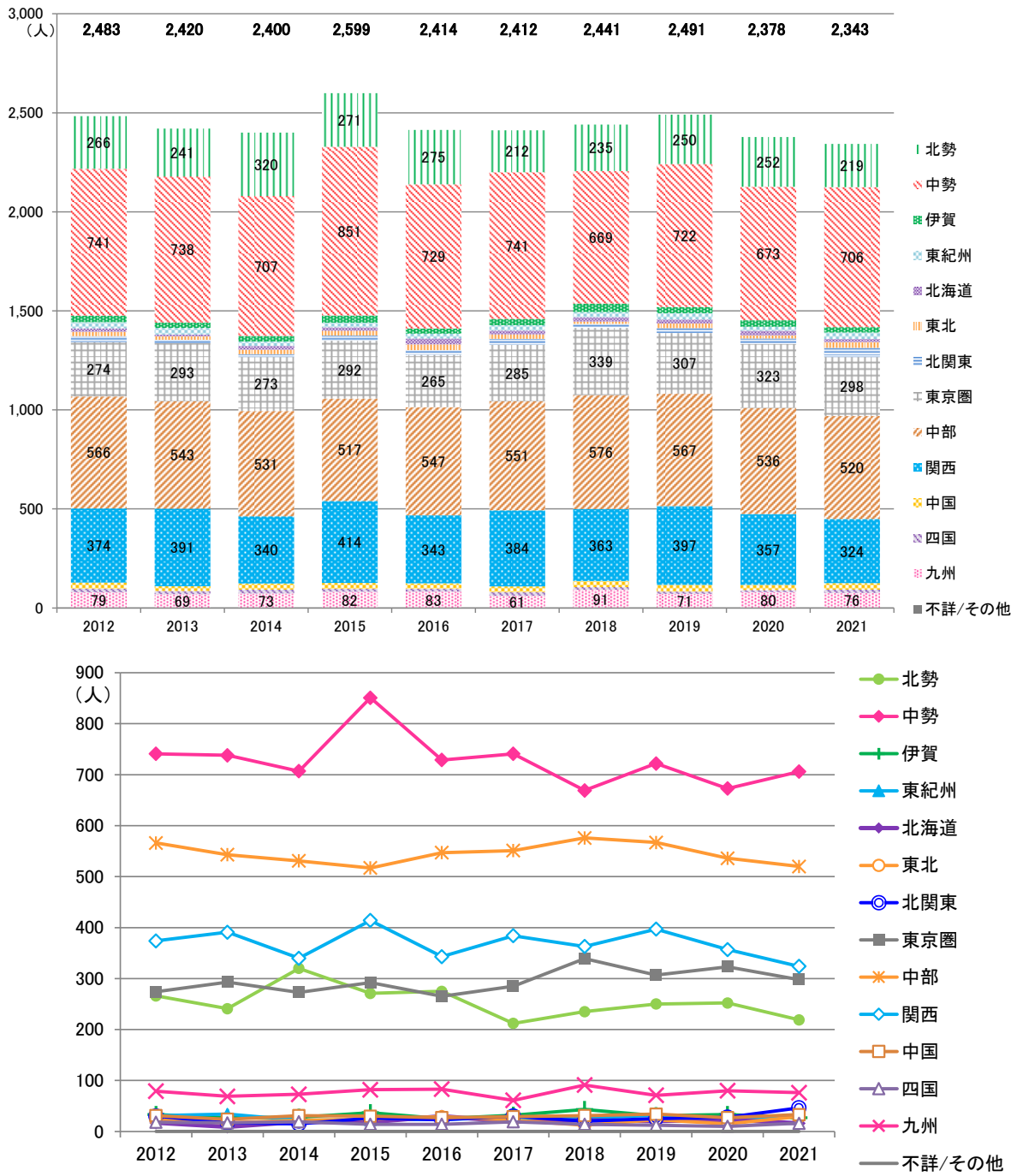
図表 III-139 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-140 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男性-日本人のみ>

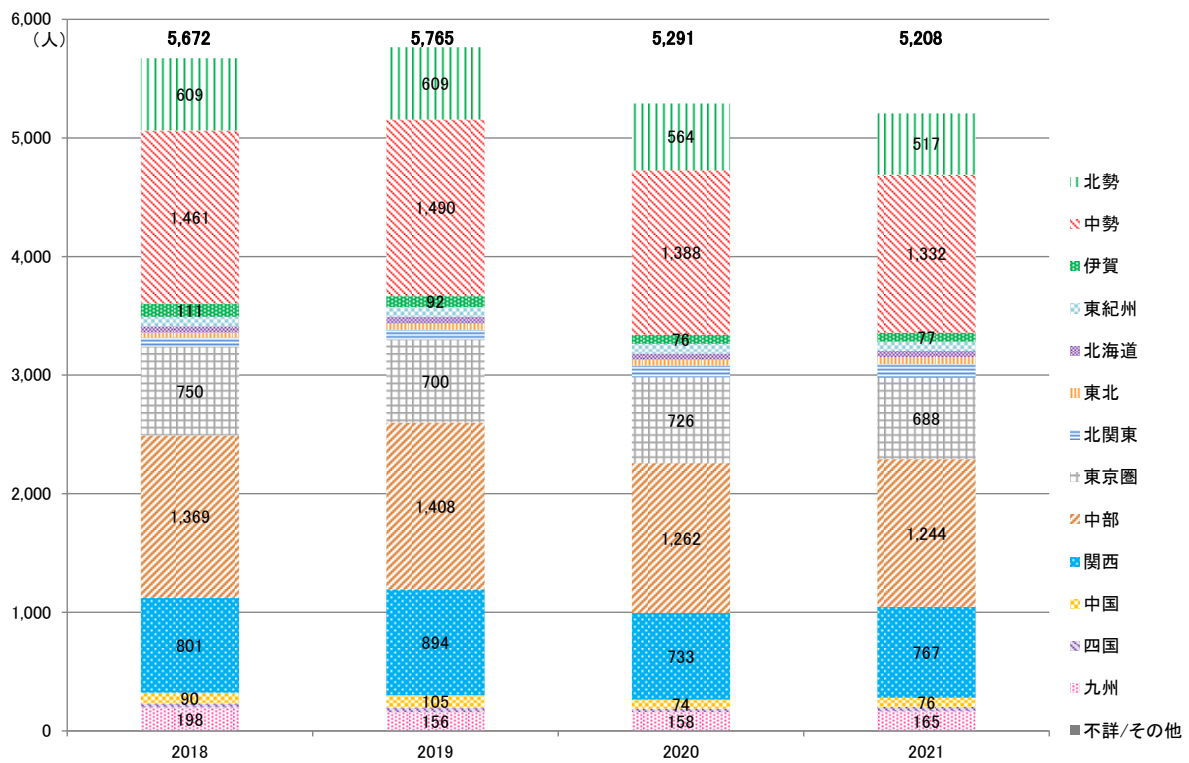


図表 III-141 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-女性>

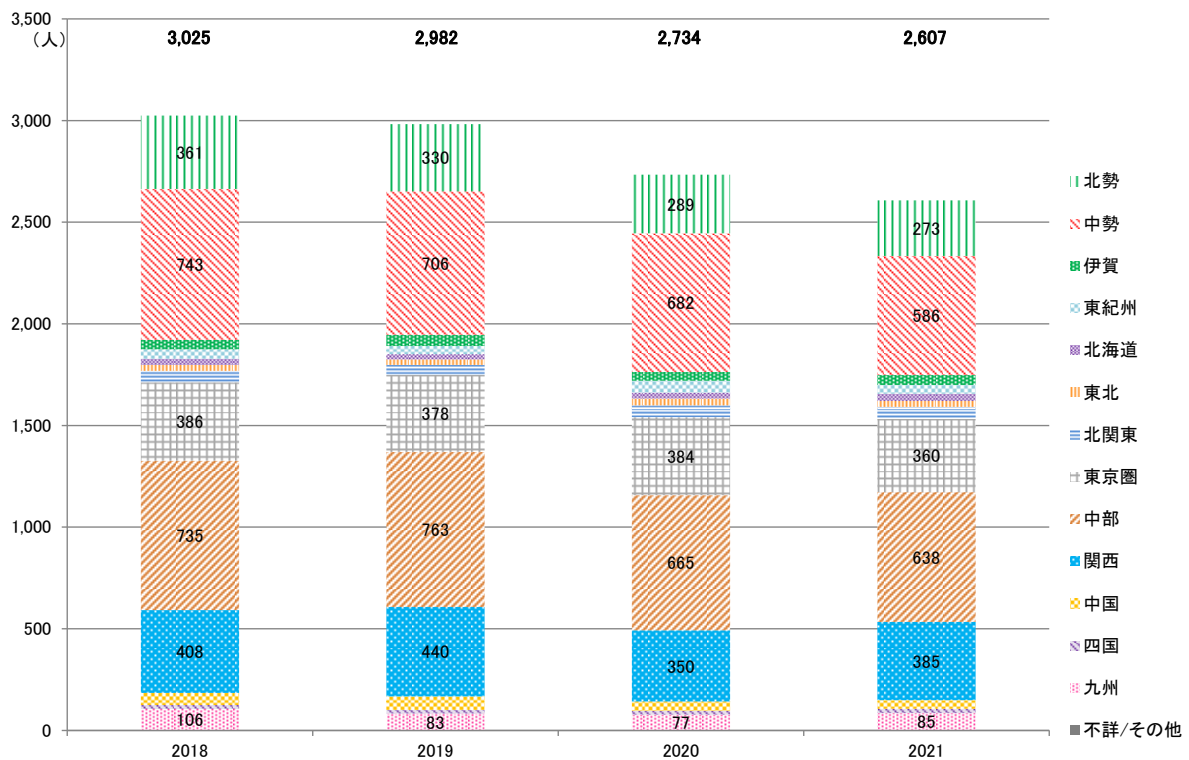


【参考】外国人を含む転出者数

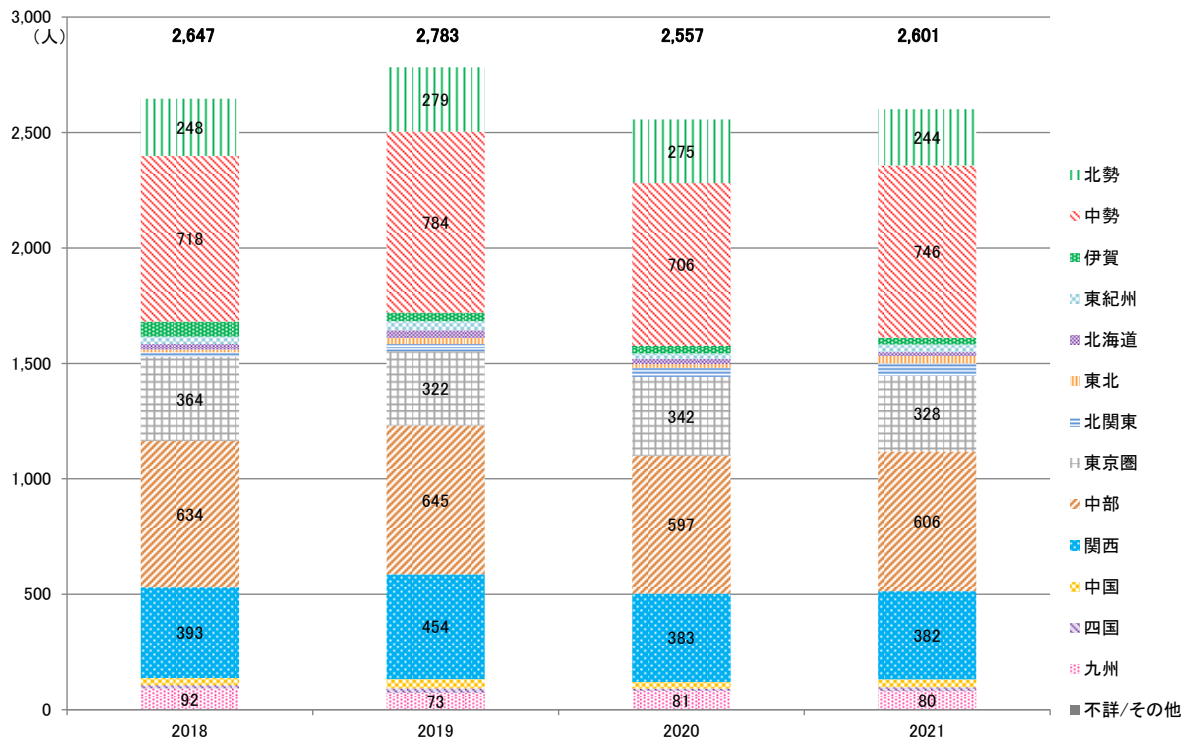
図表 III-142 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-143 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男性-外国人を含む>



図表 III-144 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-女性-外国人を含む>

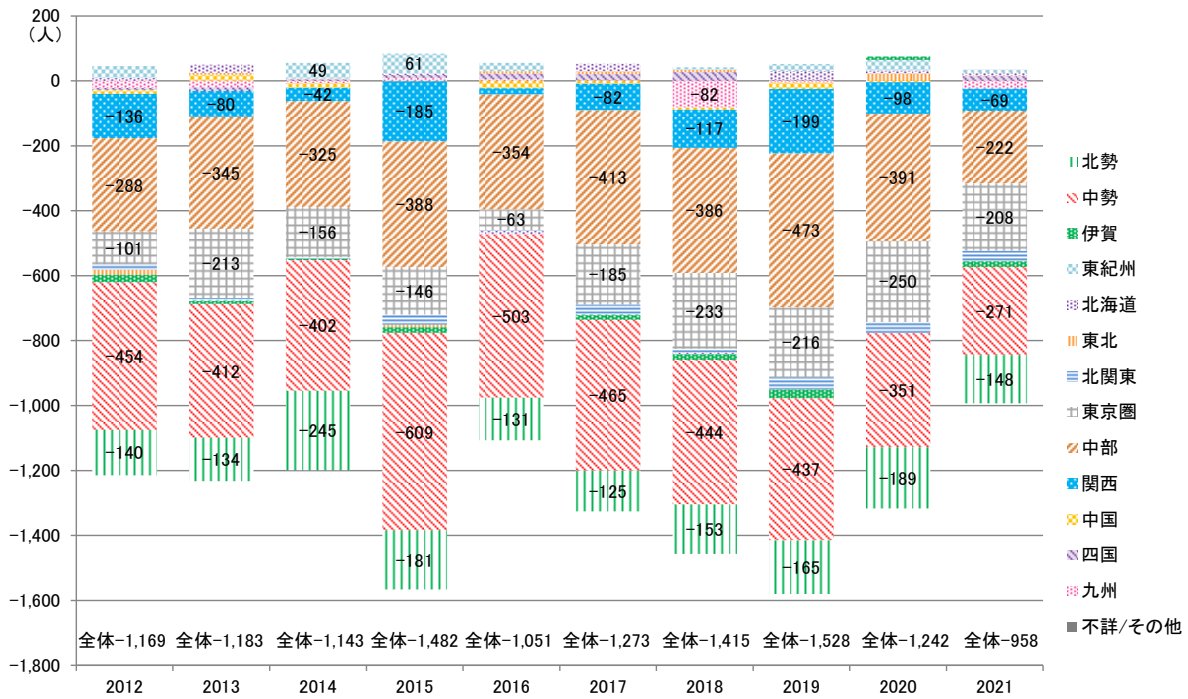


3) 転入超過

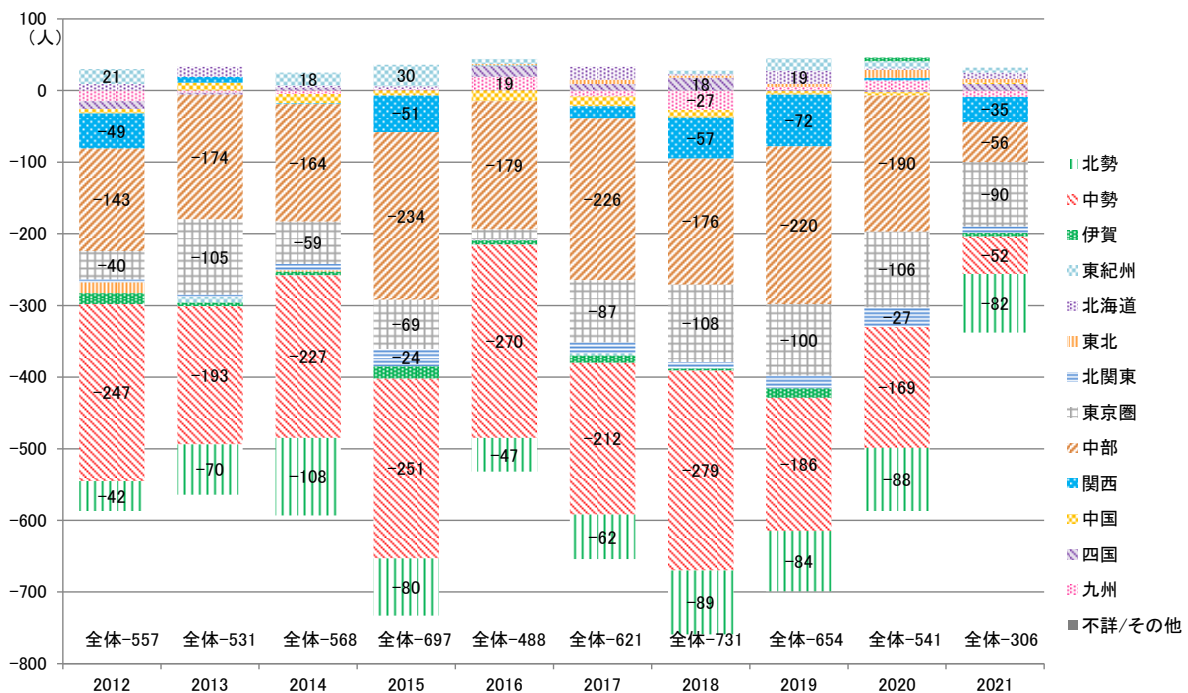
男女ともに、中部と中勢地域への転出超過が大きく、次いで東京圏への転出超過も比較的大きいが、女性では関西への転出超過も比較的大きい。

2021年には、男性で転出超過が大幅に減少した一方で、女性の転出超過は総数・地域別とも男性ほどの変化はみられない。

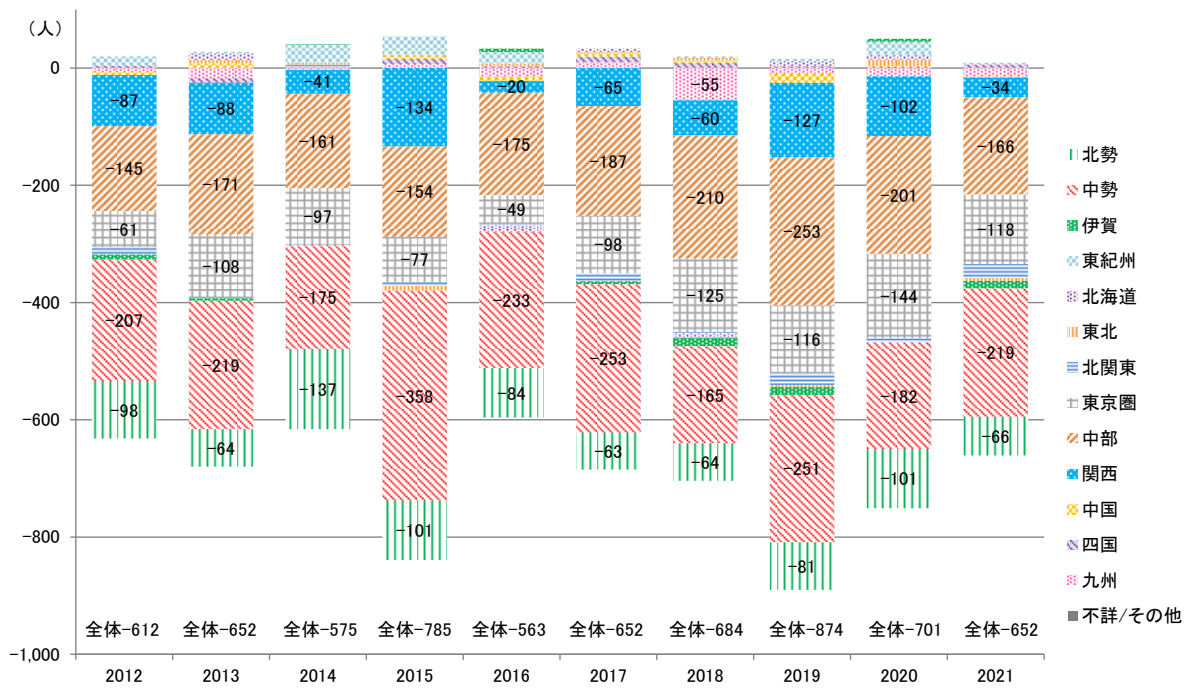
図表 III-145 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男女計-日本人のみ>



図表 III-146 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男性-日本人のみ>

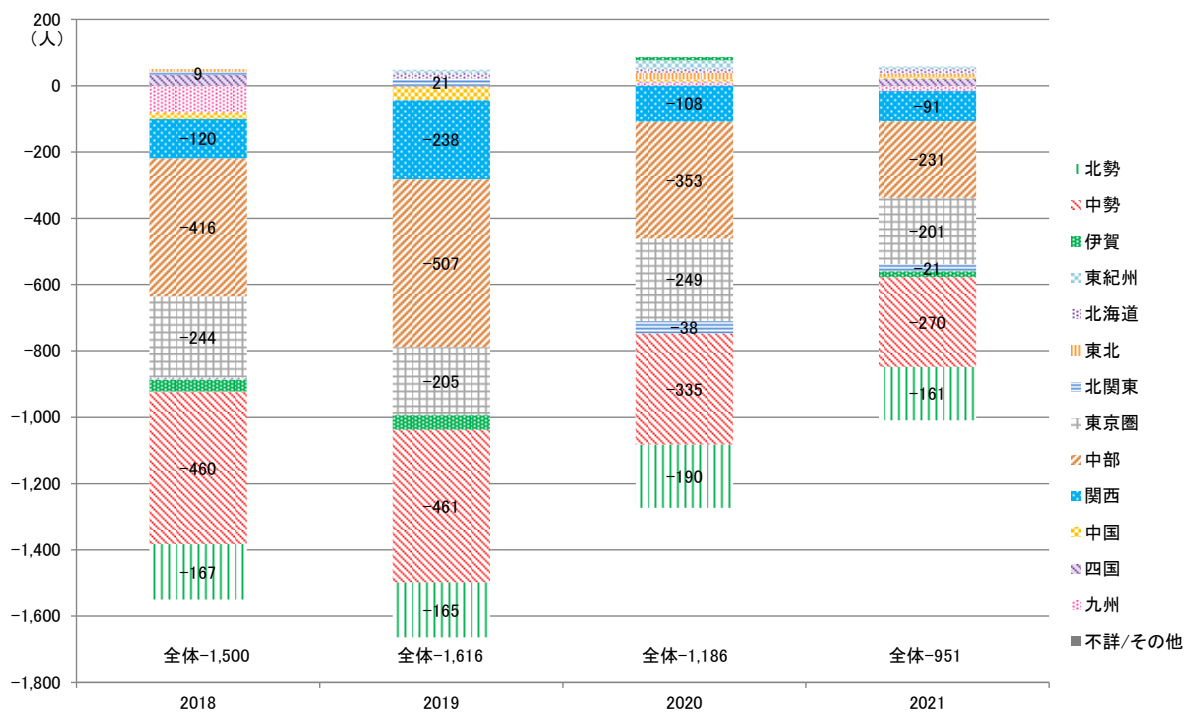


図表 III-147 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-女性-日本人のみ>

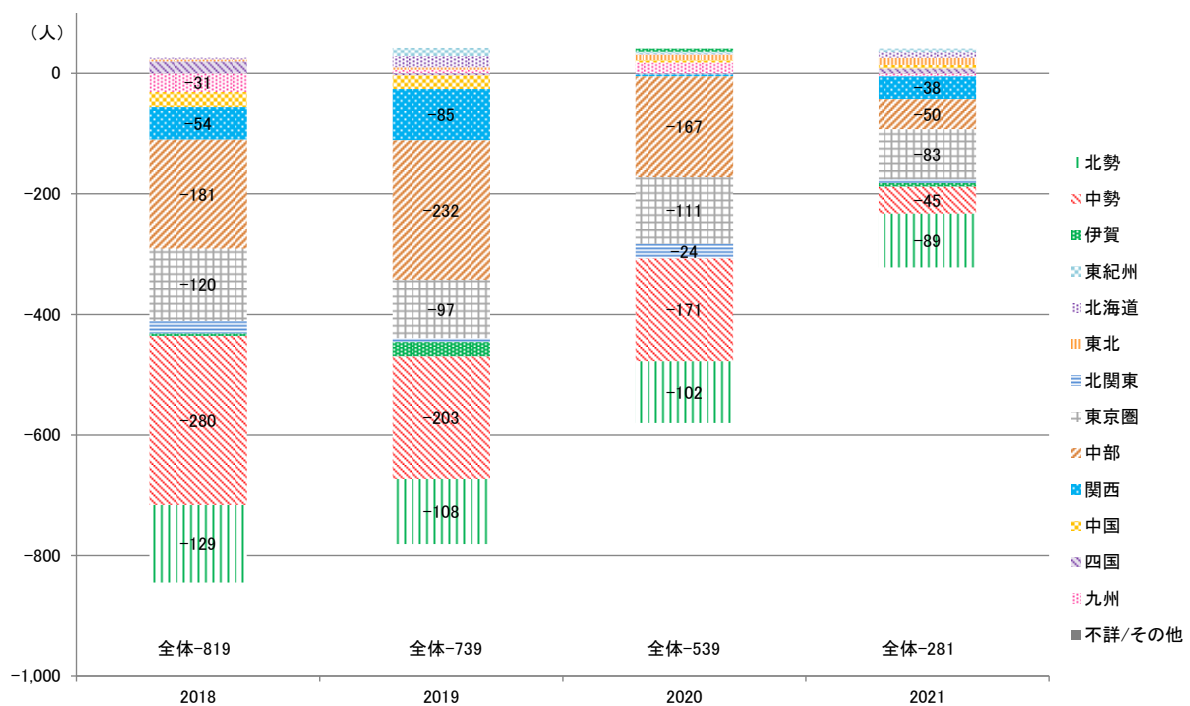


【参考】外国人を含む転入超過数

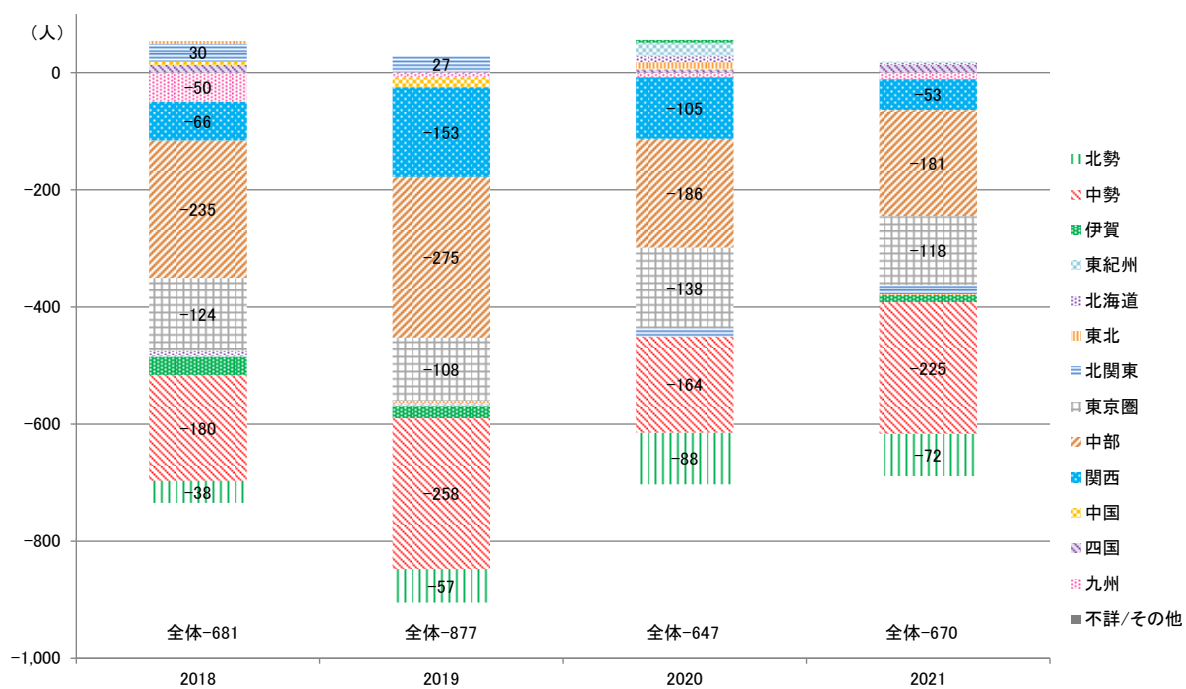
図表 III-148 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男女計-外国人を含む>



図表 III-149 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-男性-外国人を含む>



図表 III-150 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<南勢-女性-外国人を含む>



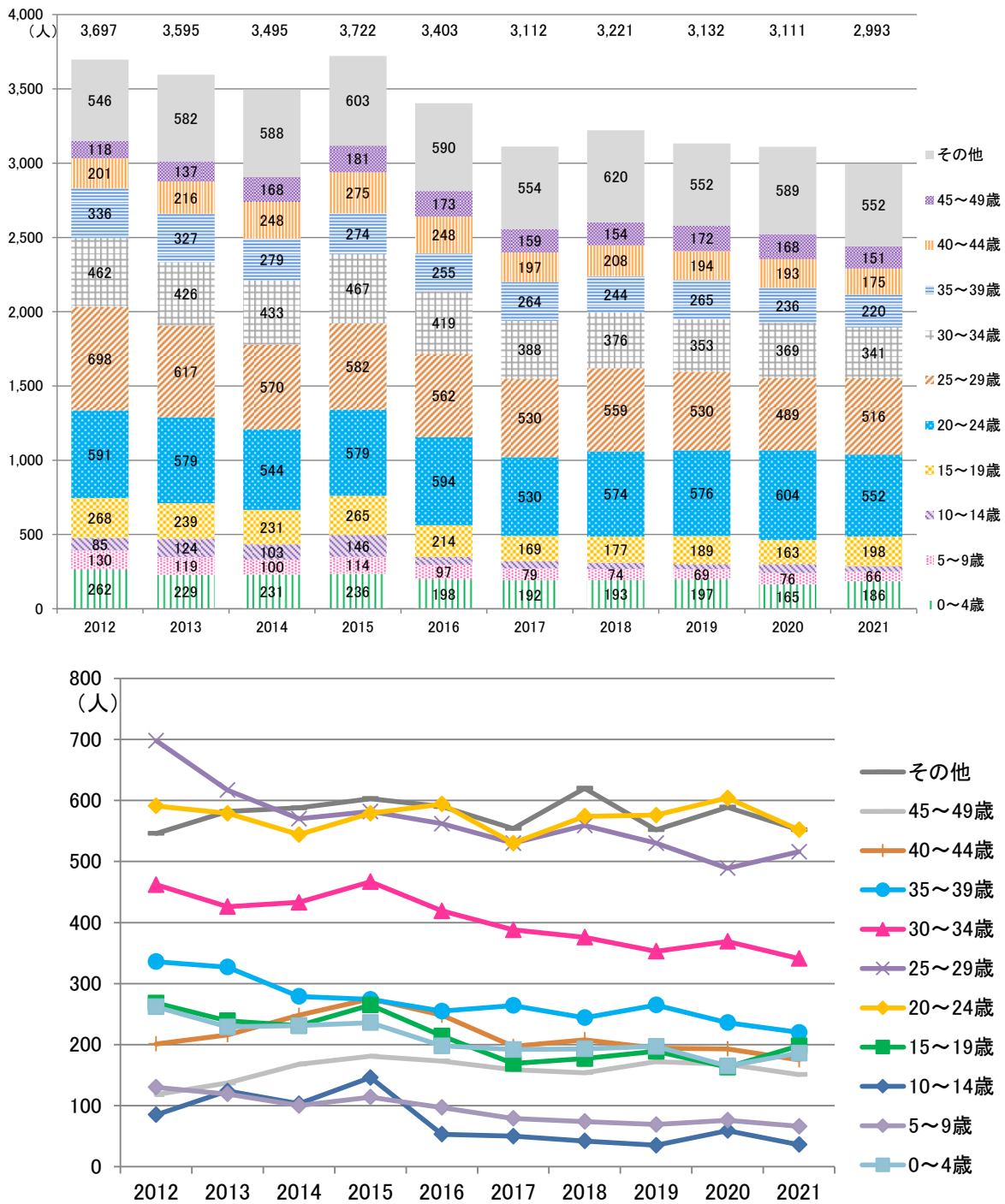
(4) 伊賀地域

① 年齢5歳階級別

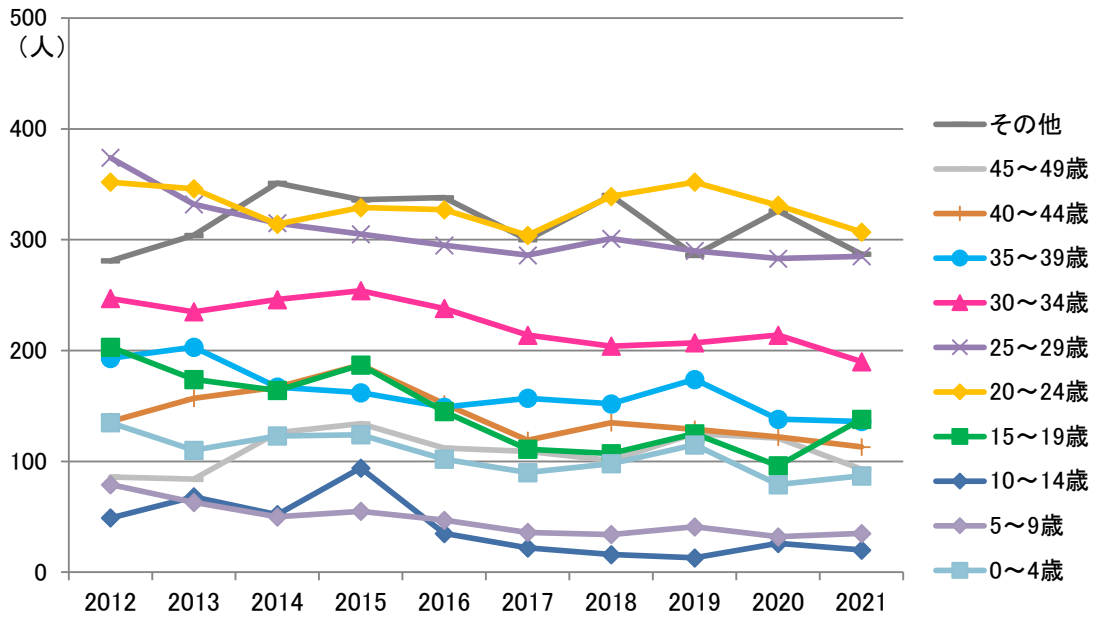
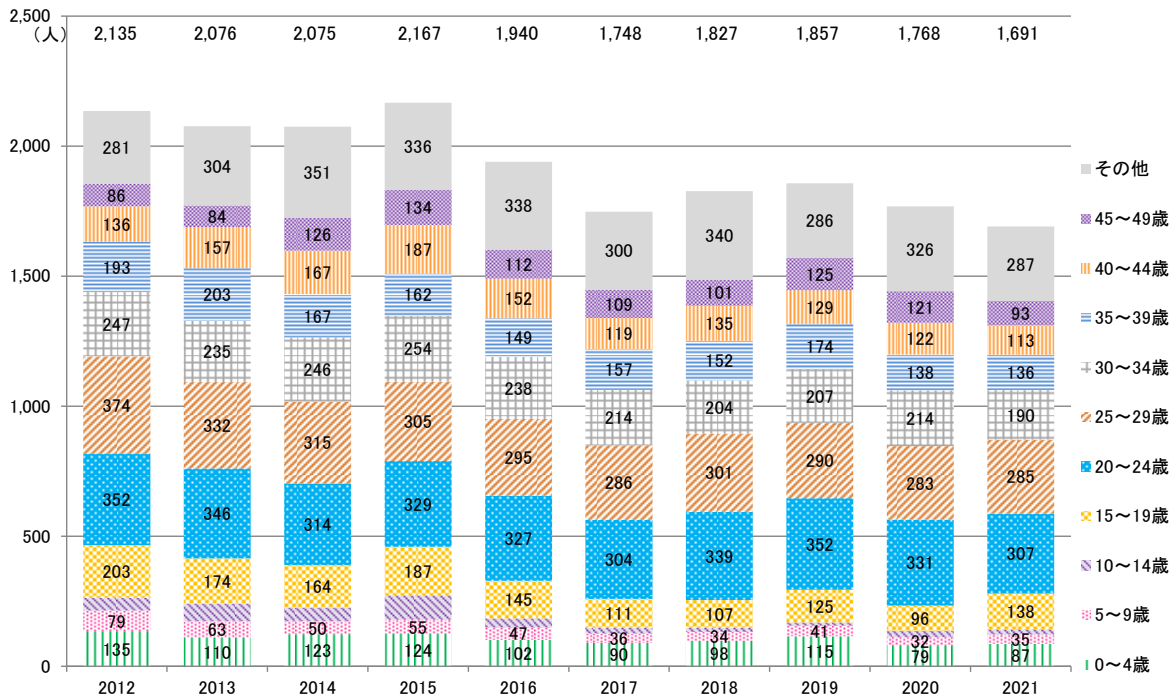
1) 転入

年齢5歳階級別にみると、20~24歳及び25~29歳の転入者数が大きくなっている。20~24歳については、男女ともに増減を繰り返しているが、25~29歳については、男性では漸減傾向、女性では減少傾向にある。

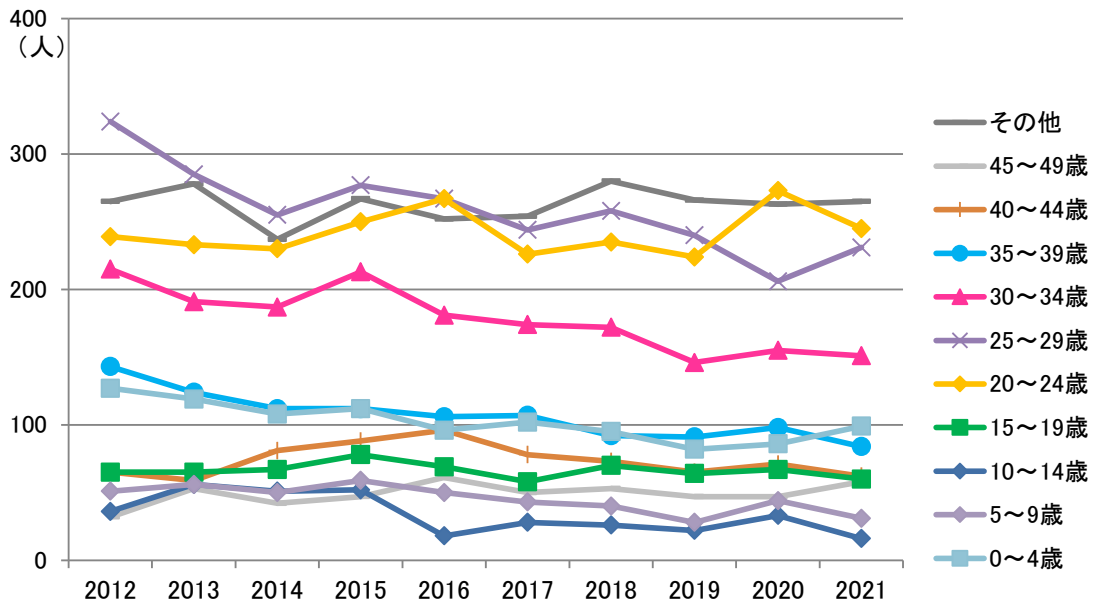
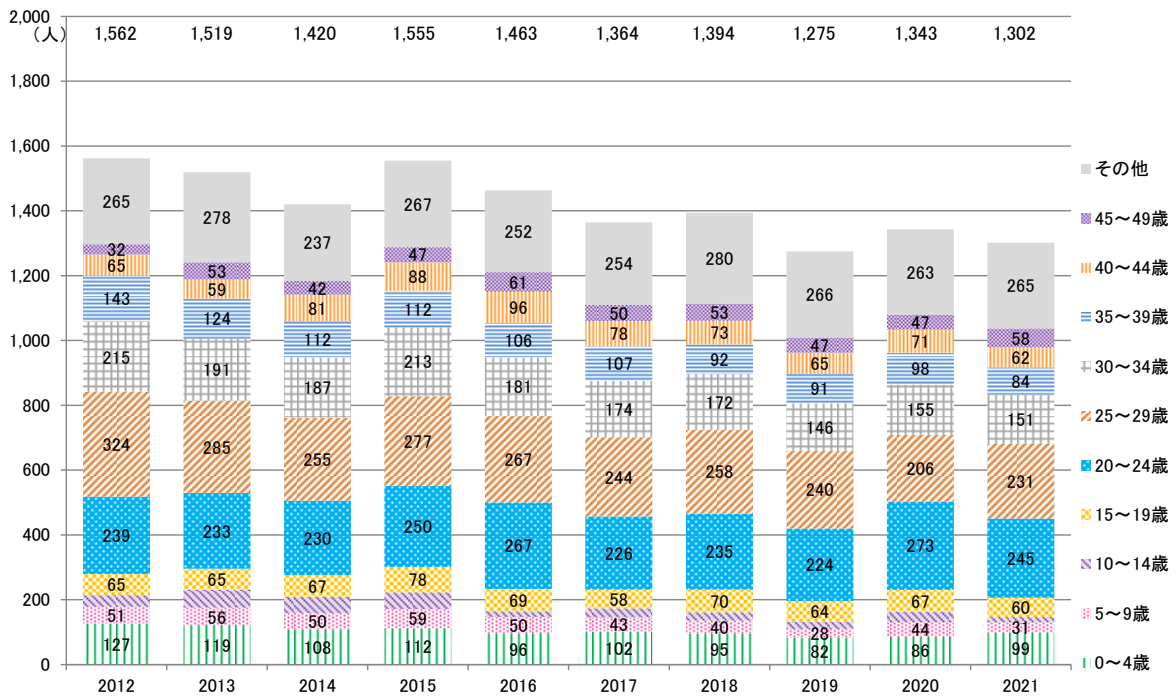
図表 III-151 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-日本人のみ>



図表 III-152 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男性-日本人のみ>

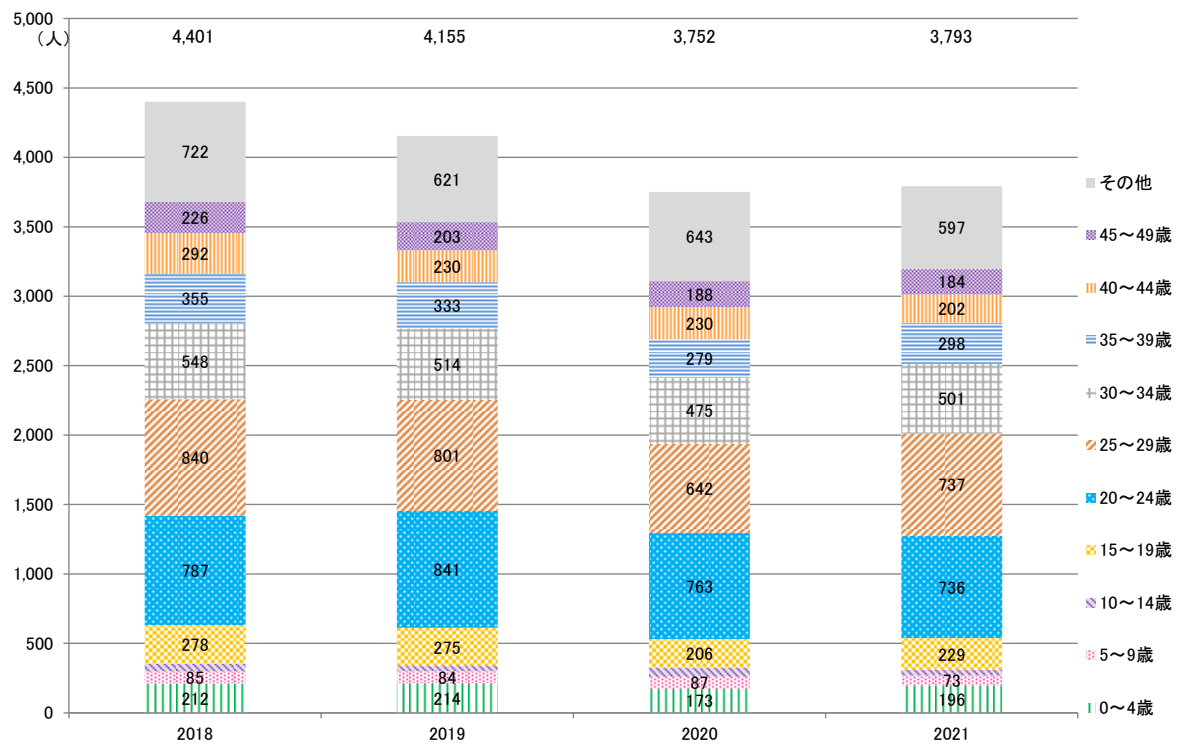


図表 III-153 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-女性-日本人のみ>

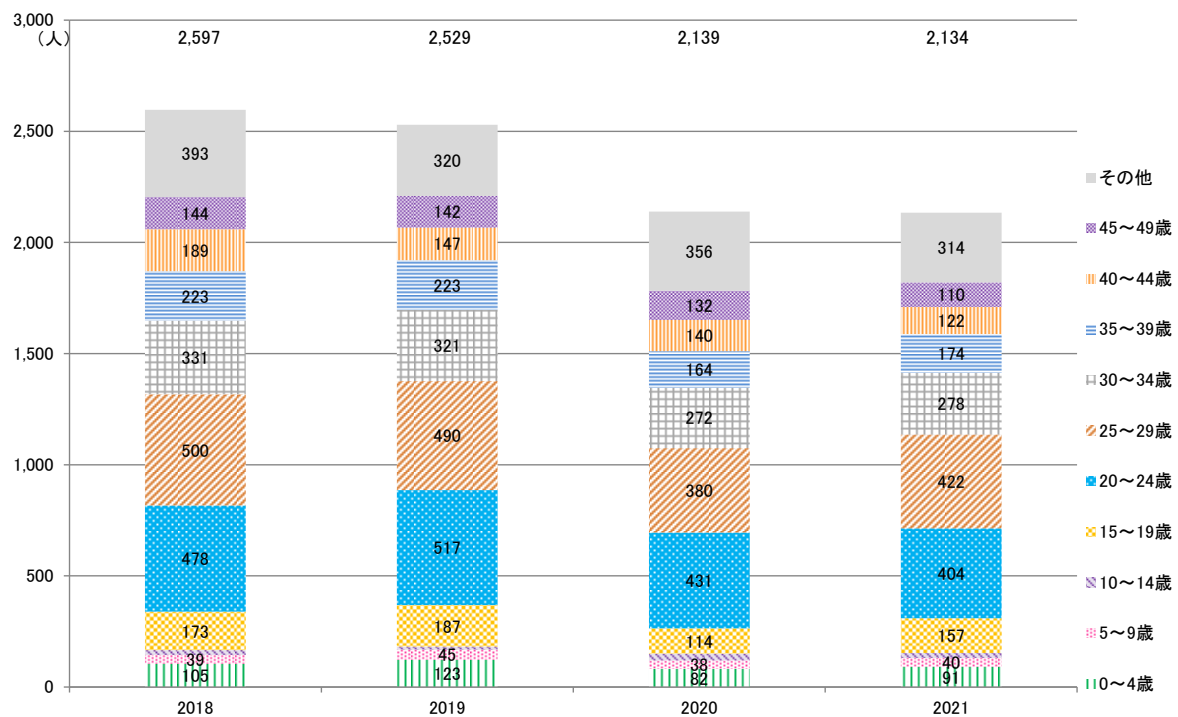


【参考】外国人を含む転入者数

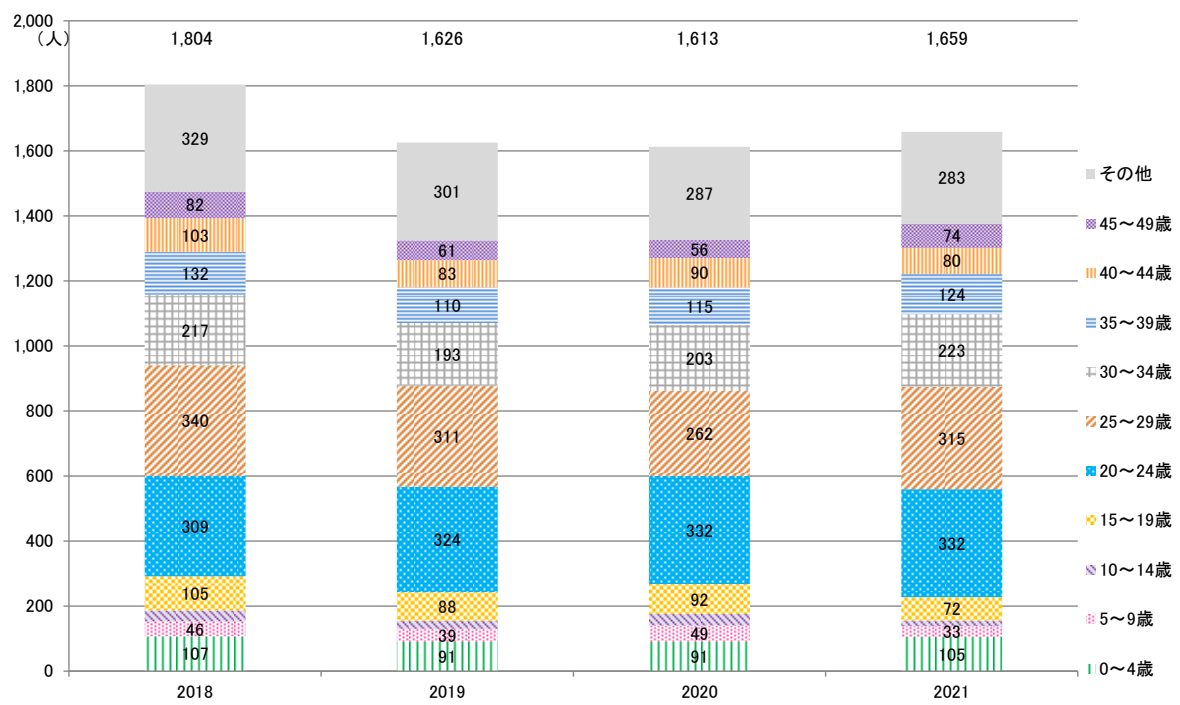
図表 III-154 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



図表 III-155 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男性-外国人を含む>



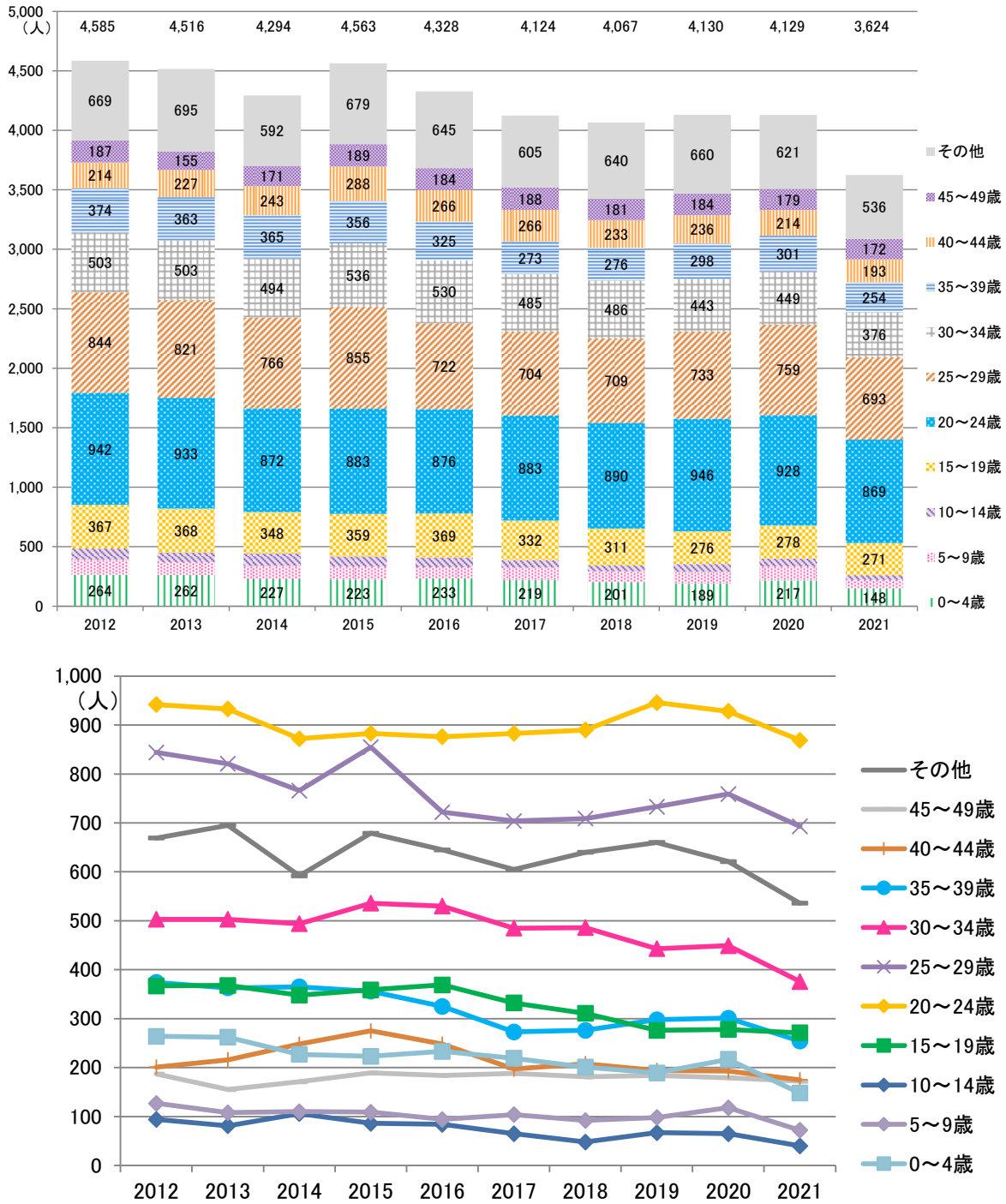
図表 III-156 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-女性-外国人を含む>



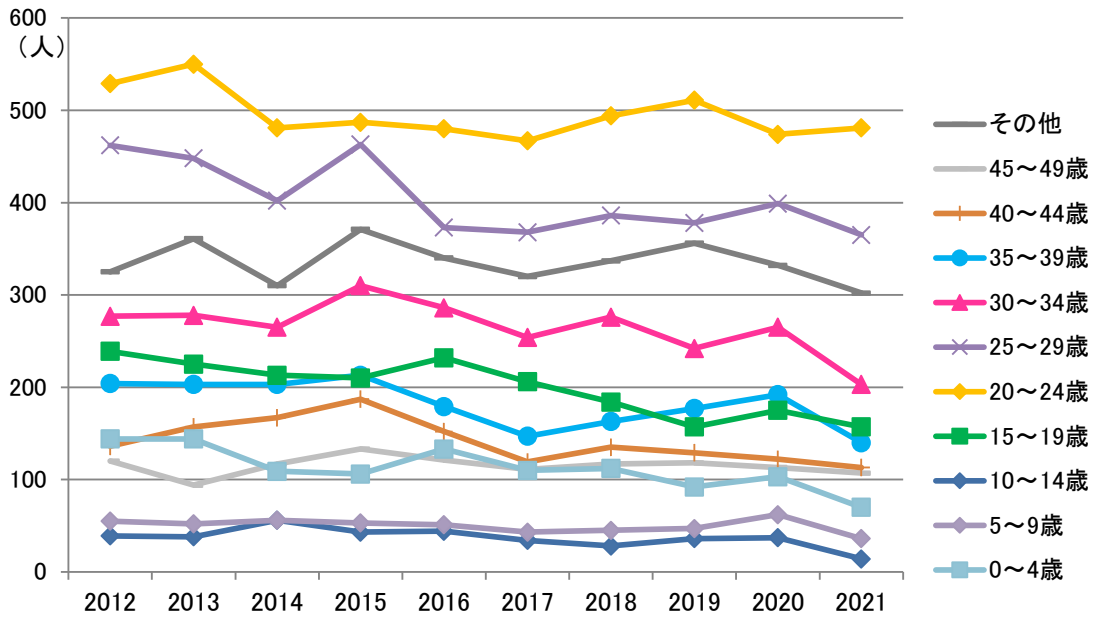
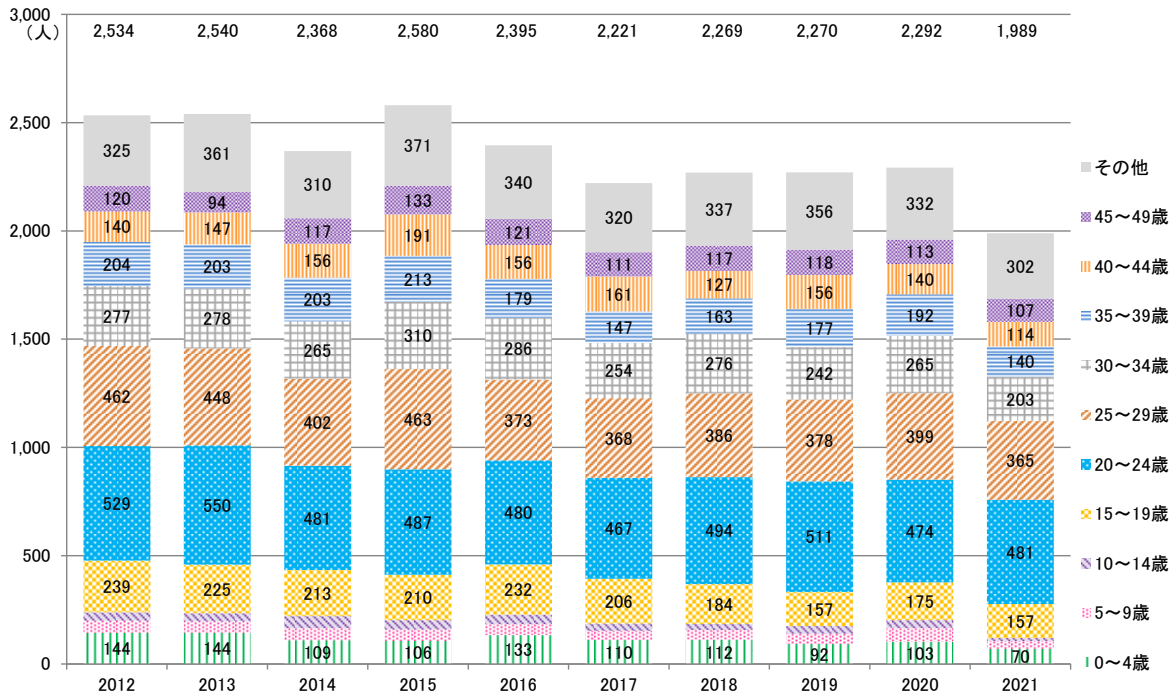
2) 転出

年齢5歳階級別にみると、20~24歳及び25~29歳の転入者数が大きくなっている。20~24歳については、男女ともに概ね横ばいで推移しているが、25~29歳については、男女ともにやや減少傾向にある。

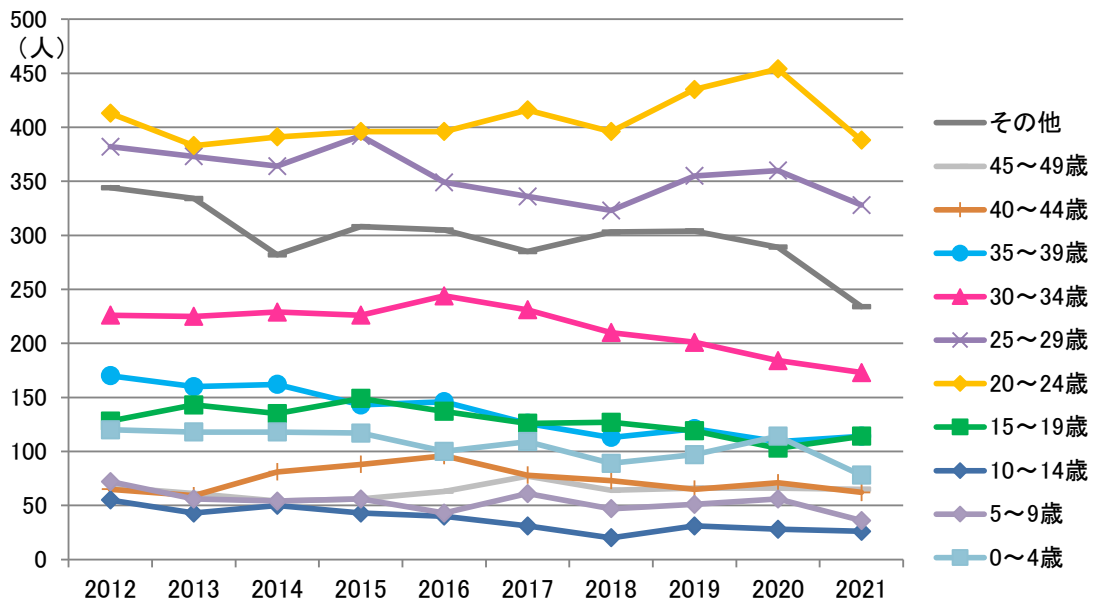
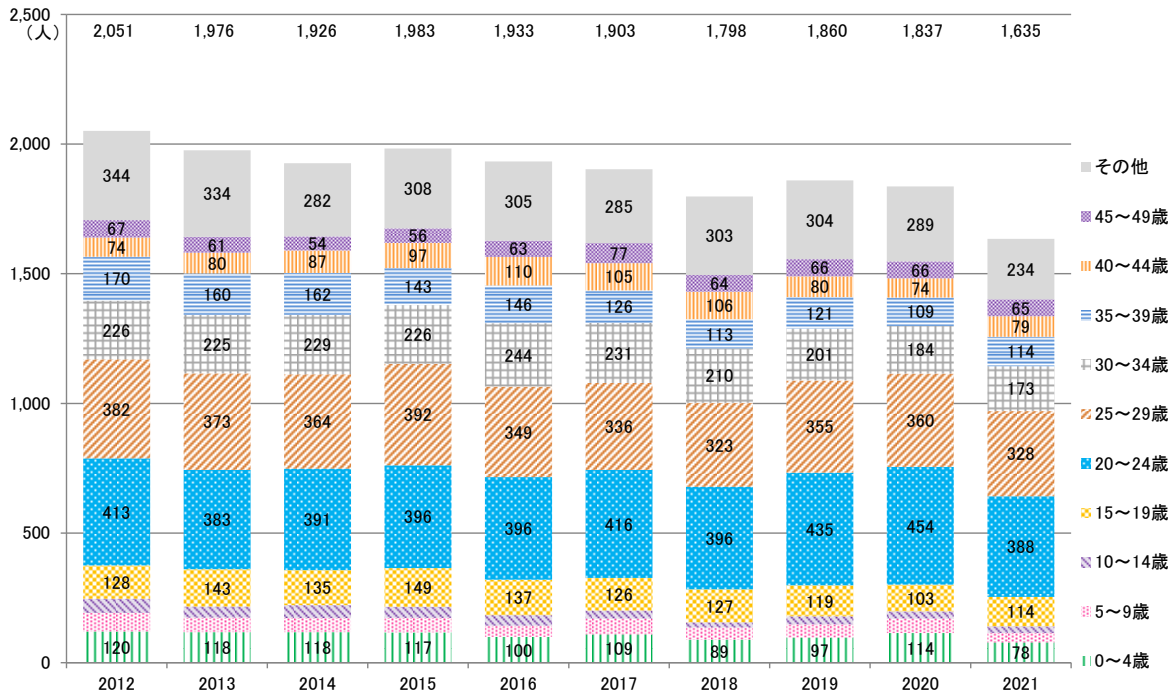
図表 III-157 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-日本人のみ>



図表 III-158 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男性-日本人のみ>

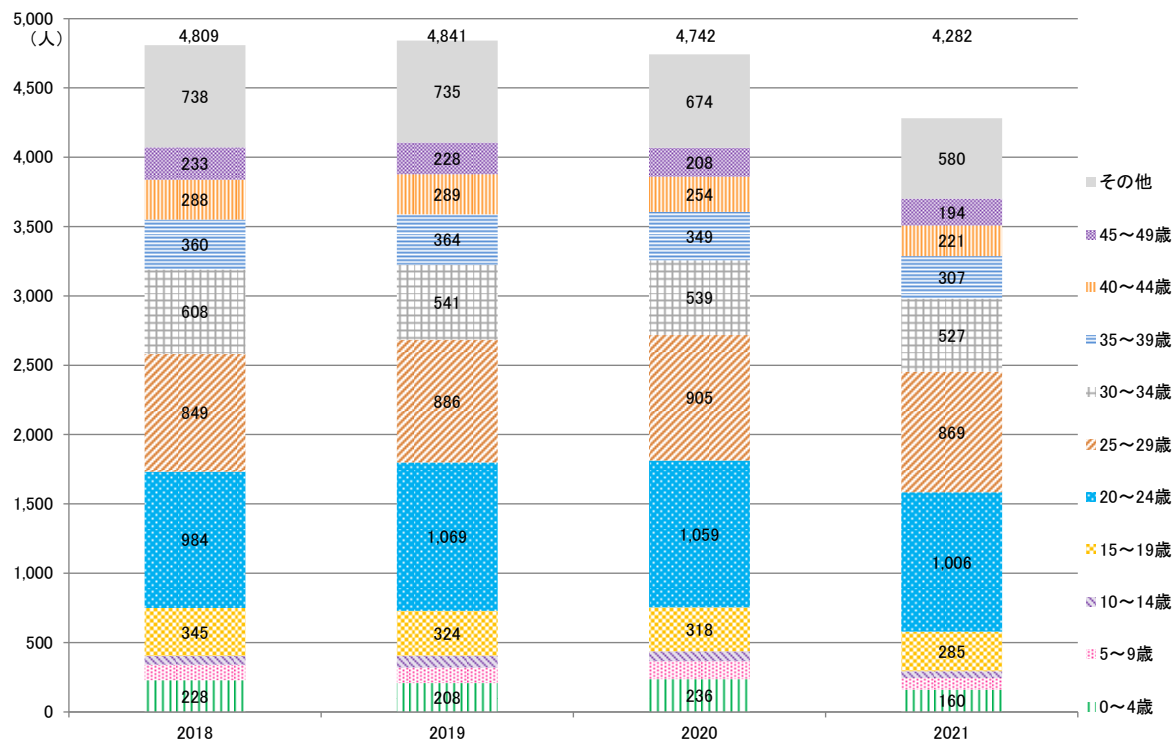


図表 III-159 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-女性-日本人のみ>

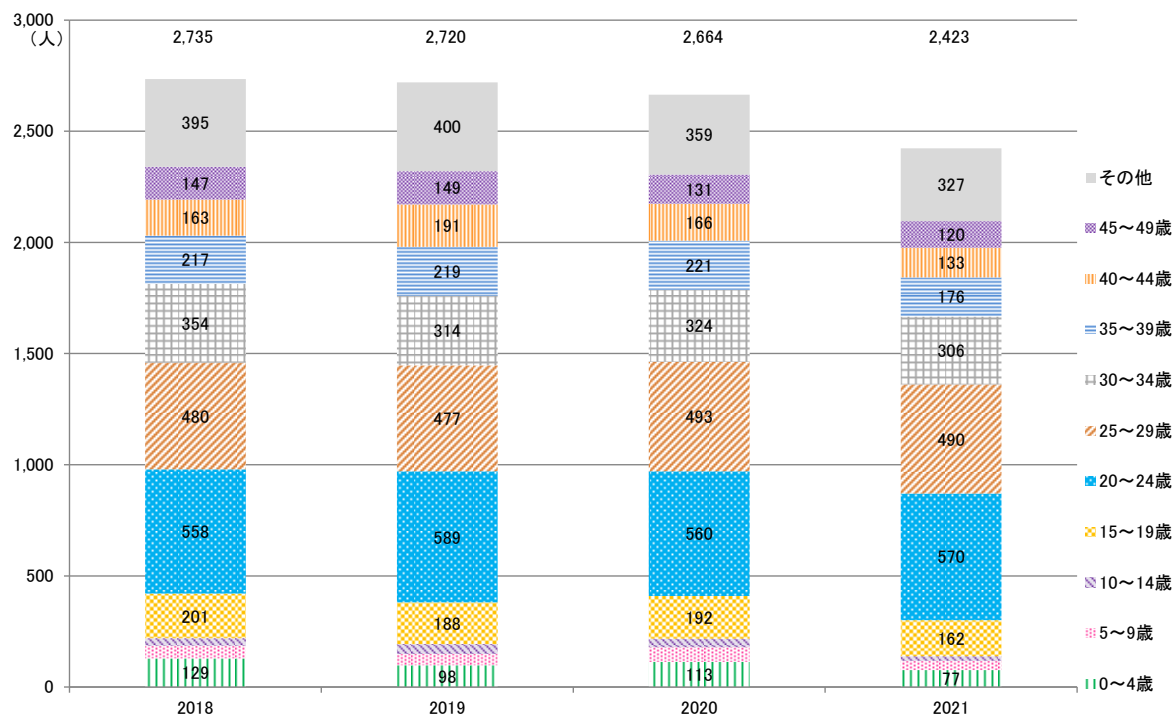


【参考】外国人を含む転出者数

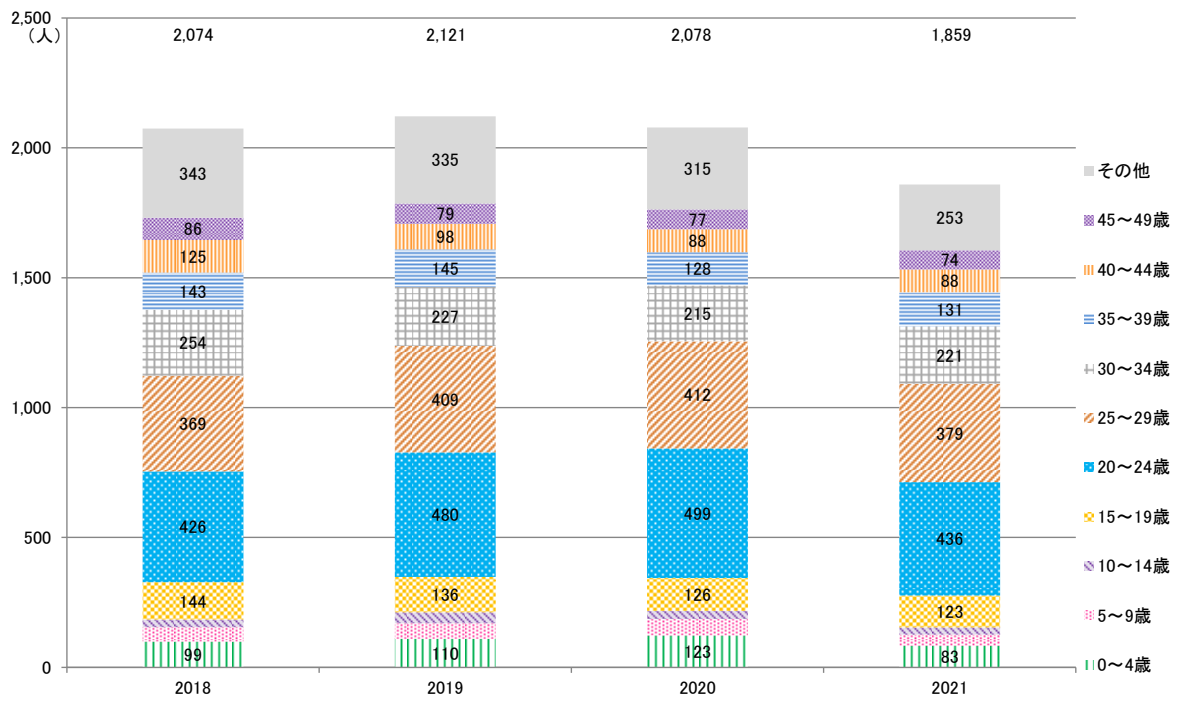
図表 III-160 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



図表 III-161 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男性-外国人を含む>



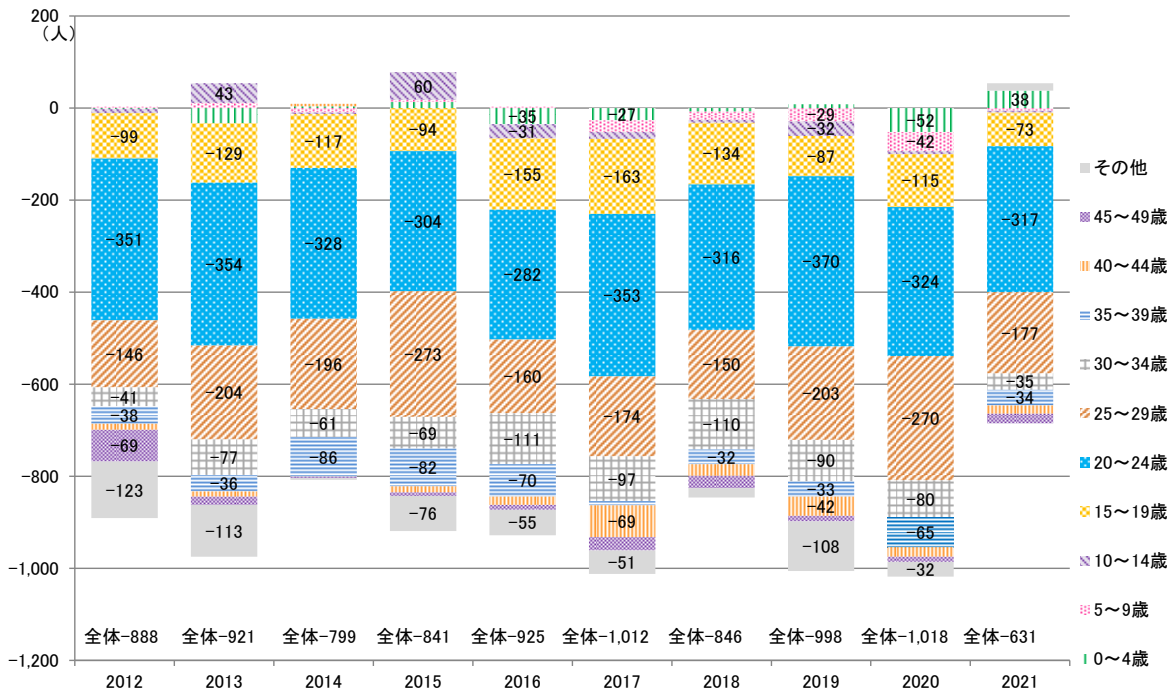
図表 III-162 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



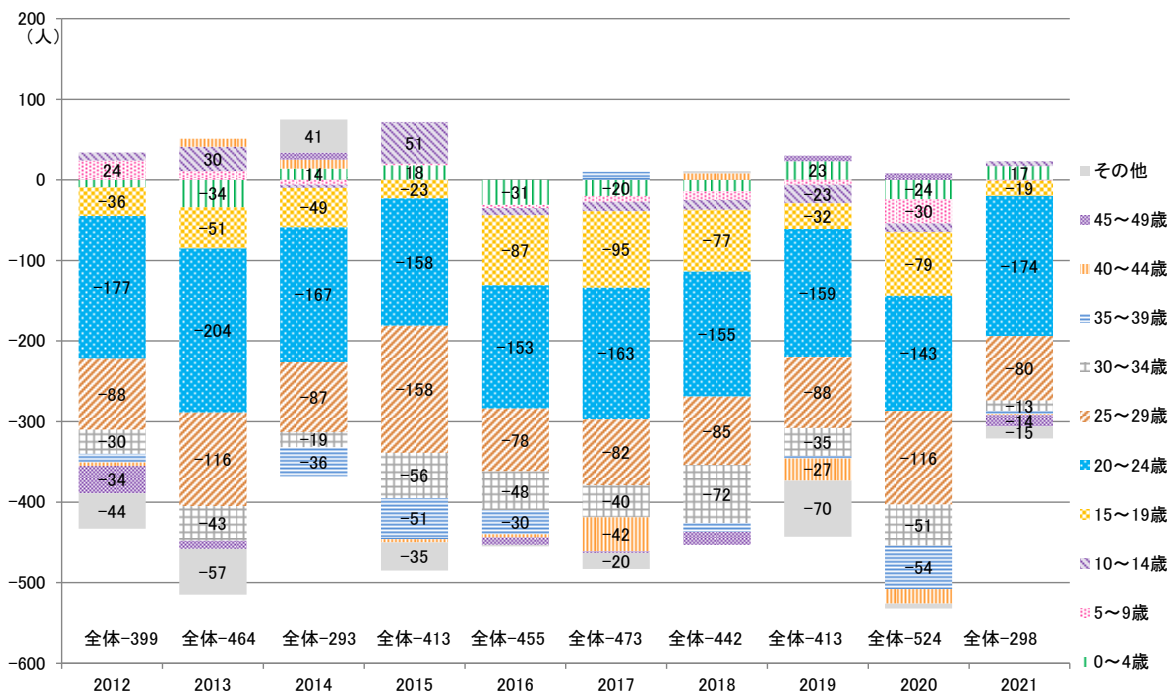
3) 転入超過

2012年以降、転出超過の状況が続いており、20~24歳及び25~29歳の転出超過数が大きくなっている。全体的な転出入状況は男女ともに同様の傾向となっているが、2020年については、男性の転出超過数が拡大しているのに対し、女性の転出超過数は縮小している。

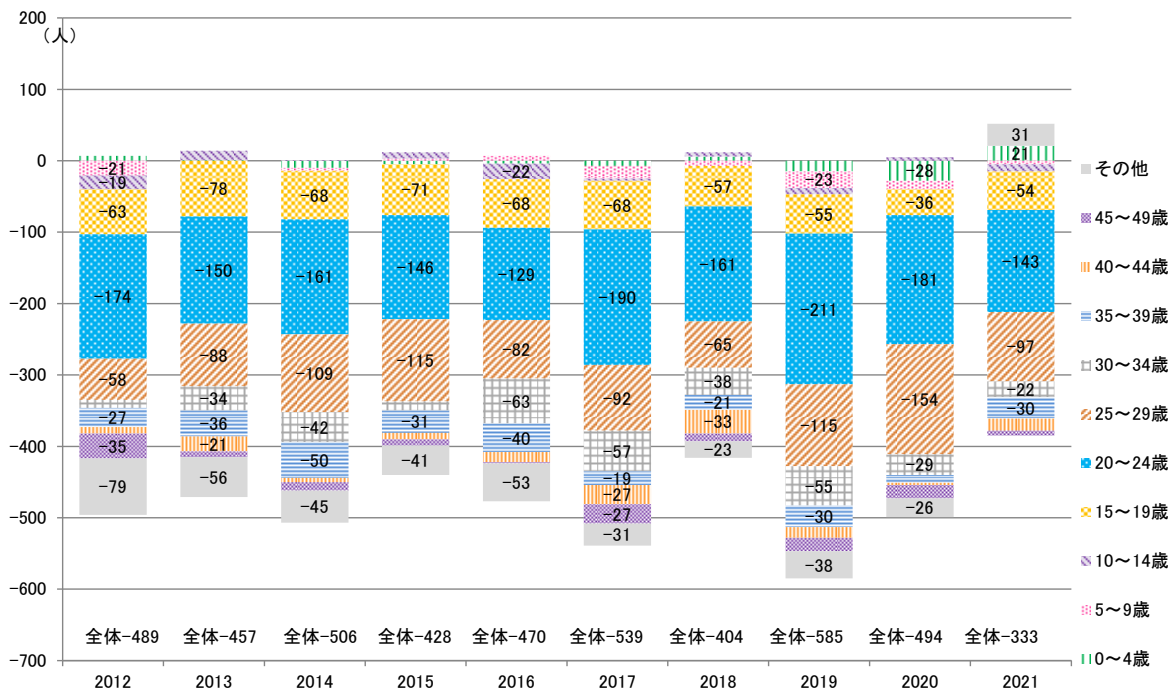
図表 III-163 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-日本人のみ>



図表 III-164 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男性>

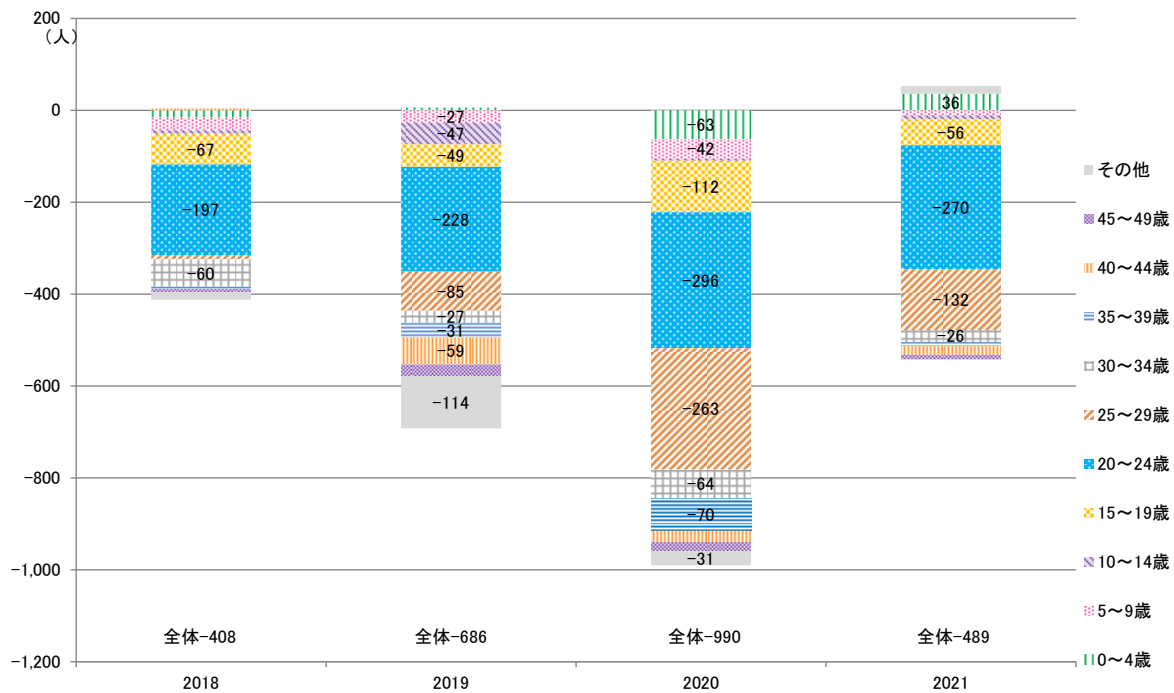


図表 III-165 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-女性-日本人のみ>

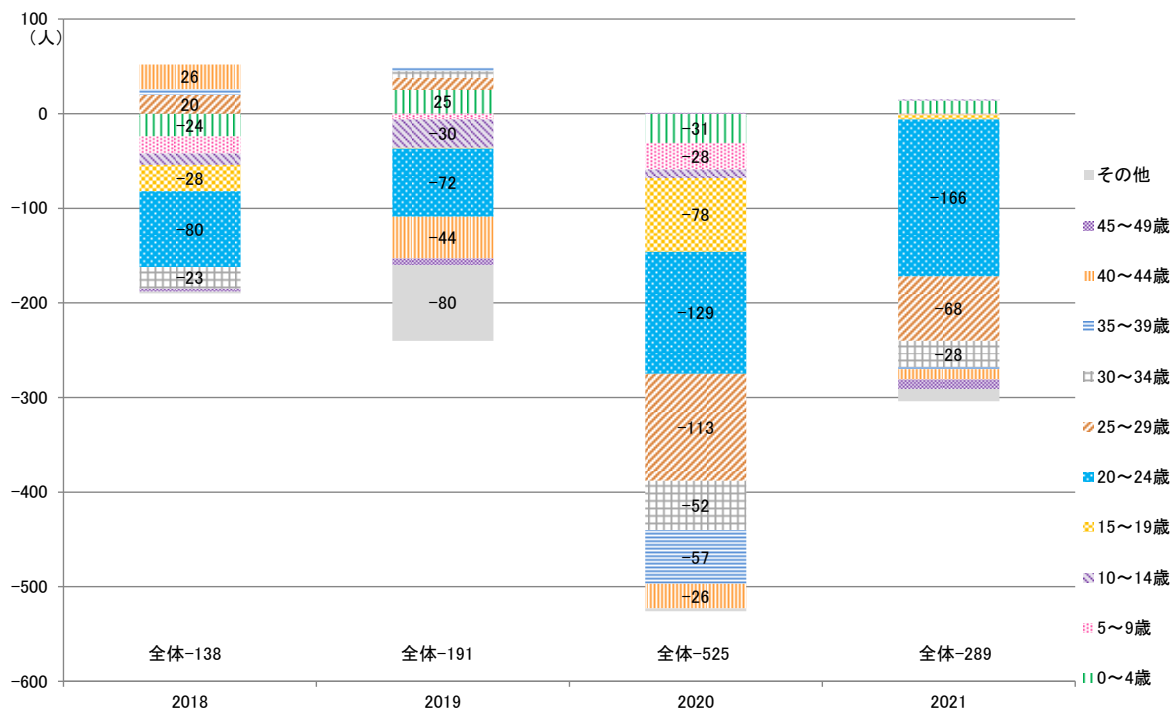


【参考】外国人を含む転入超過数

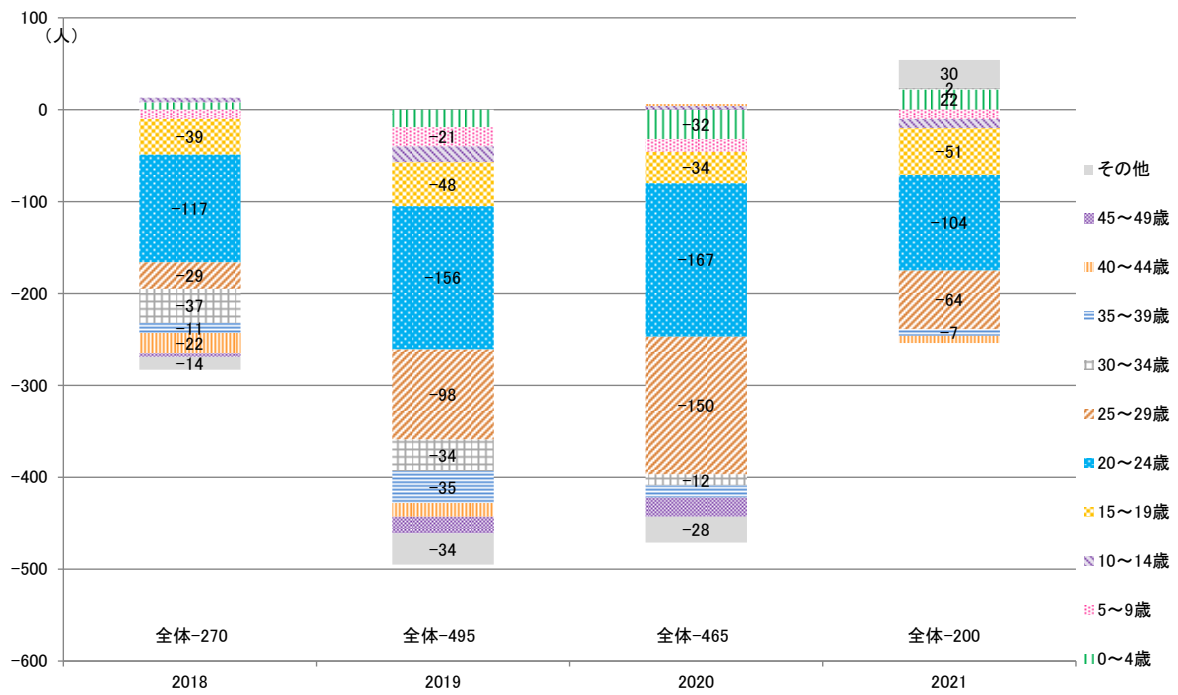
図表 III-166 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



図表 III-167 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-男性-外国人を含む>



図表 III-168 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<伊賀-女性-外国人を含む>

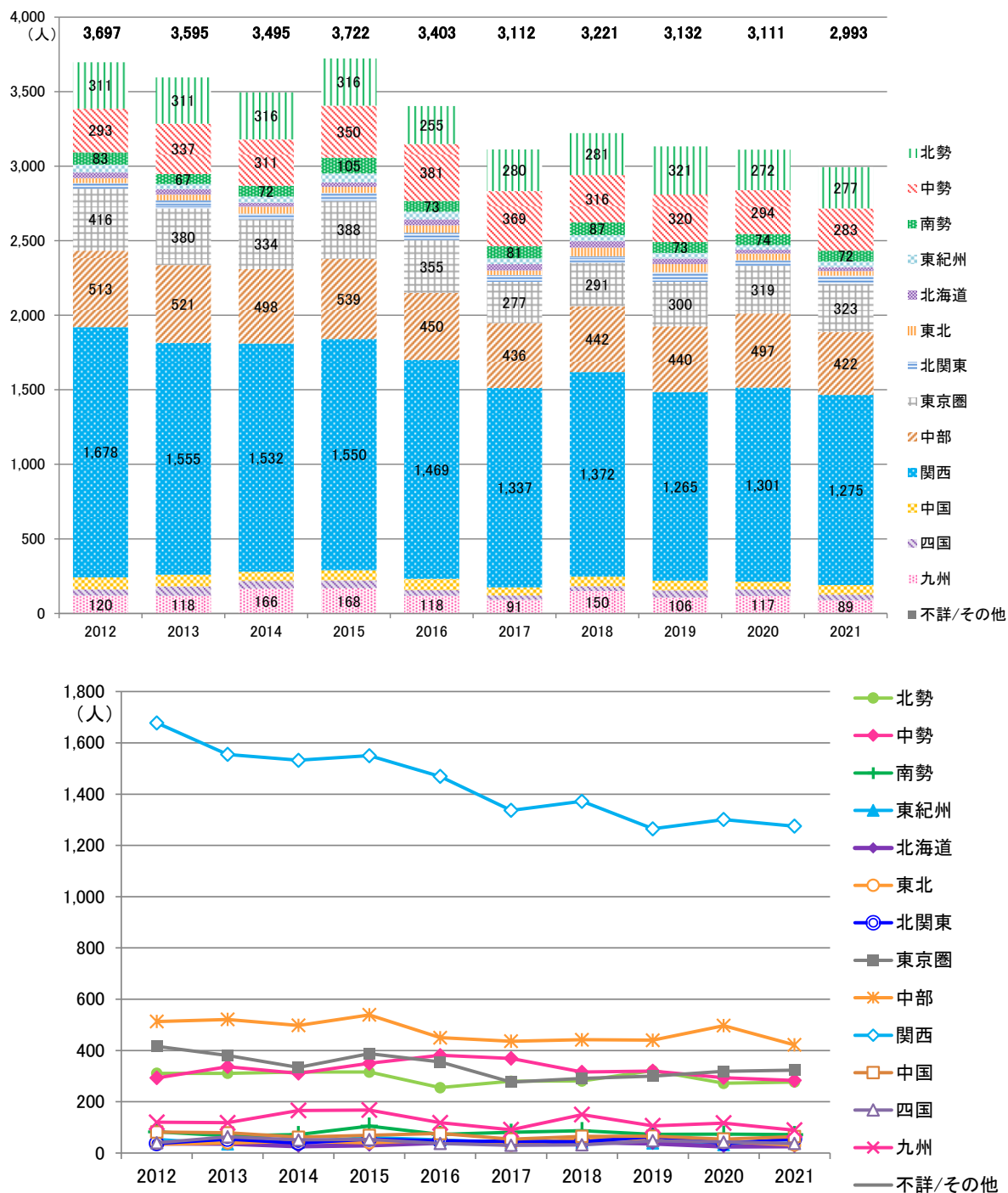


② 移動地域別

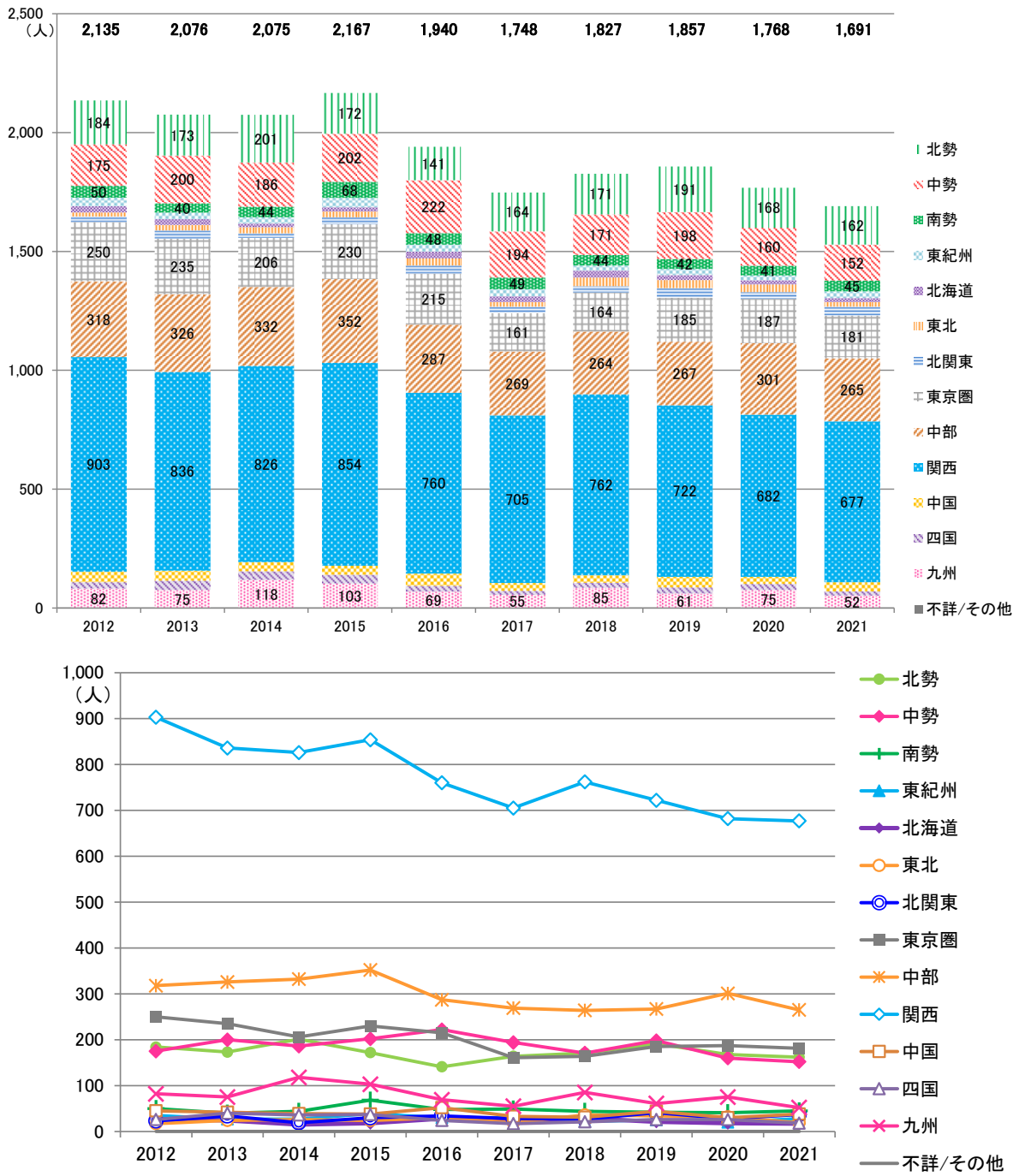
1) 転入

転入者数を男女別・移動地域別にみると、全体的な傾向は男女で同様となっているが、男性の方が関西以外の各地域にも転入者数が分散している。

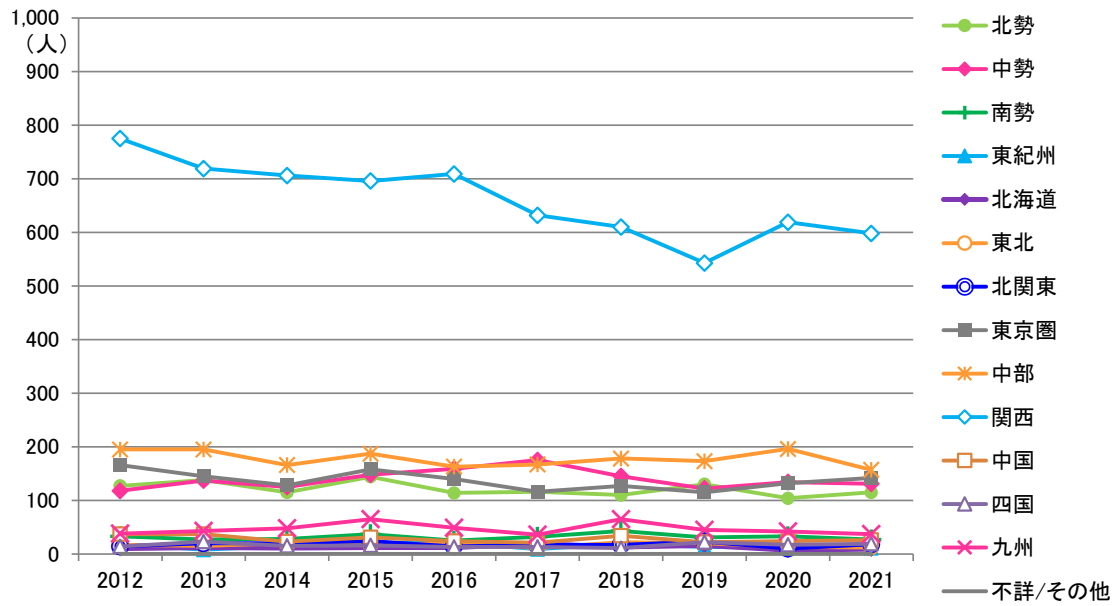
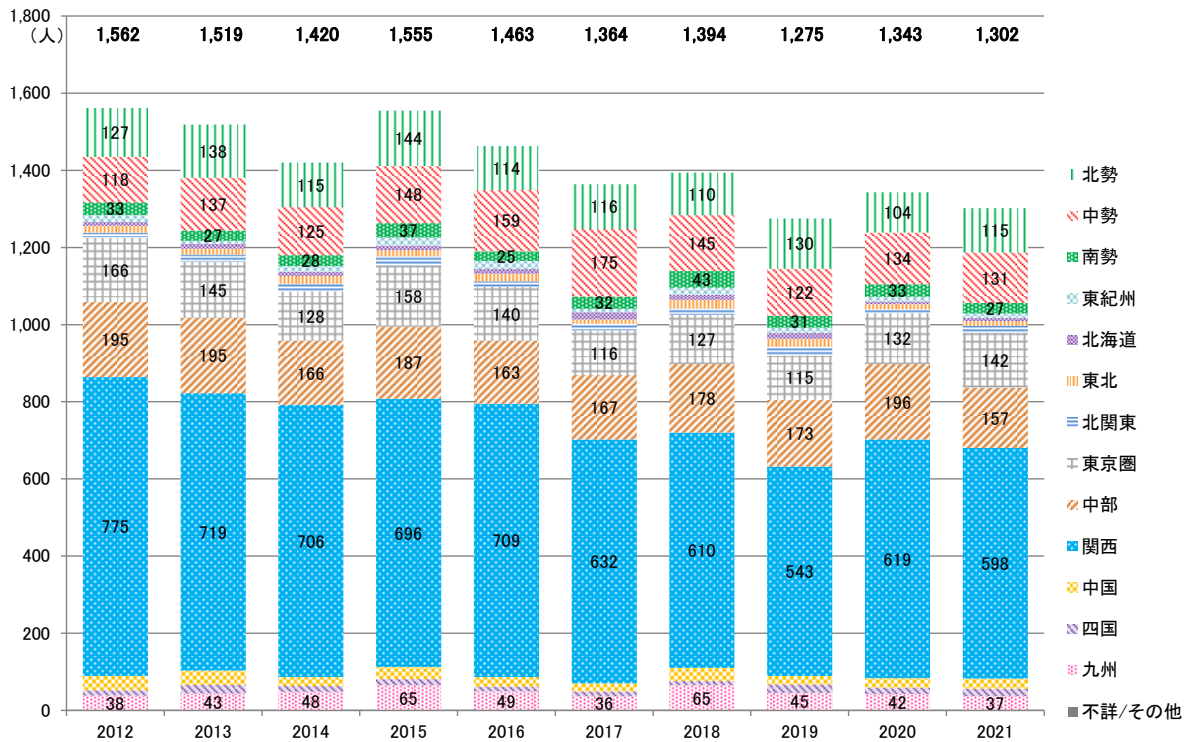
図表 III-169 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-日本人のみ>



図表 III-170 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男性-日本人のみ>

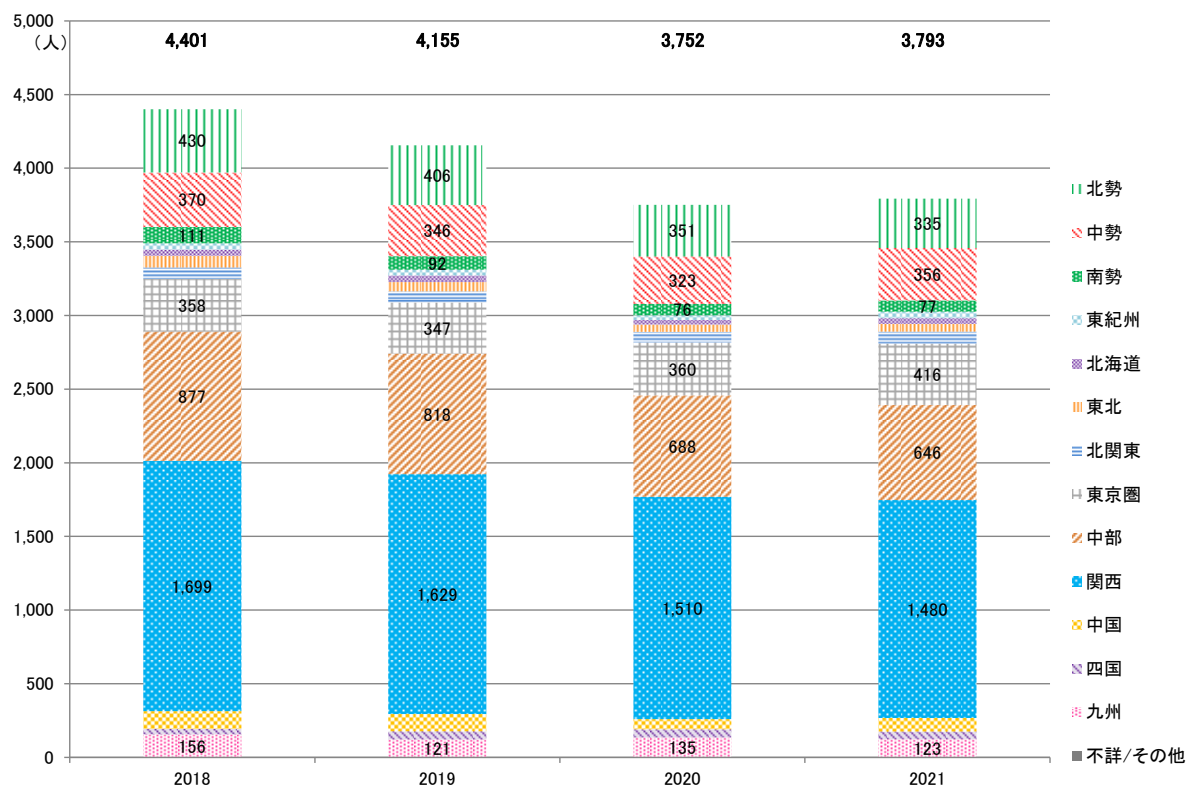


図表 III-171 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-女性-日本人のみ>

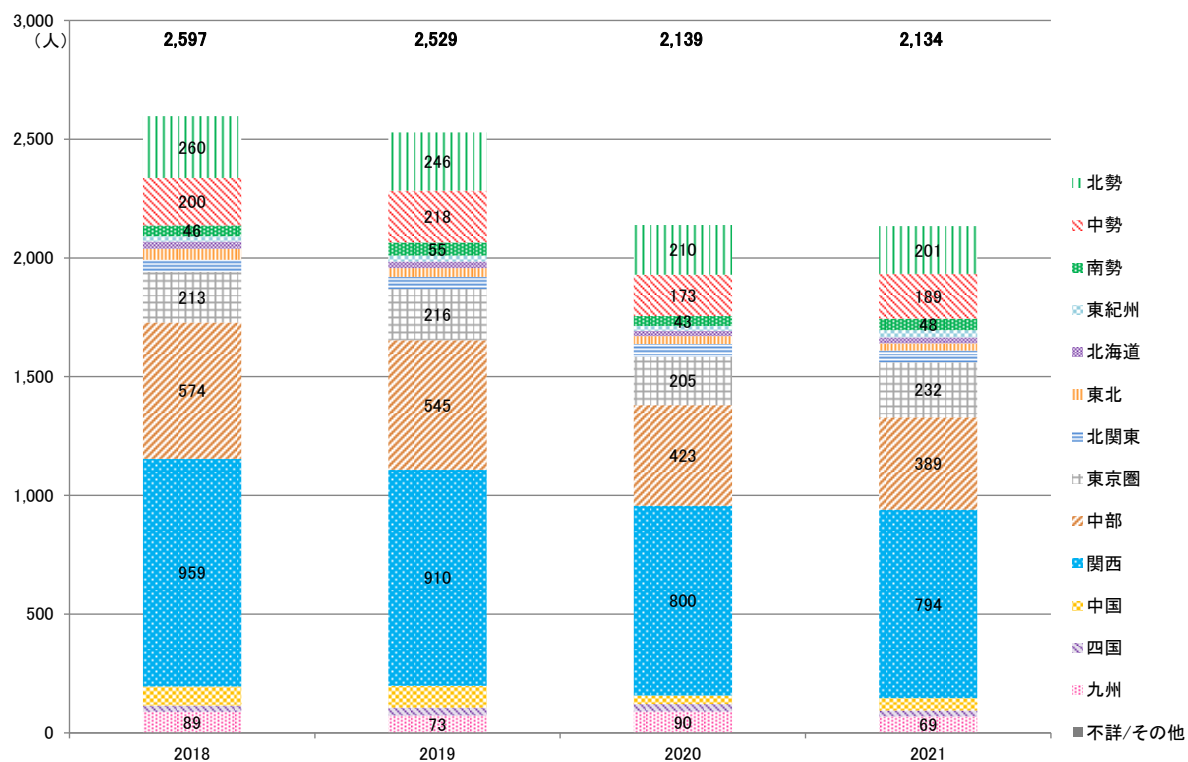


【参考】外国人を含む転入者数

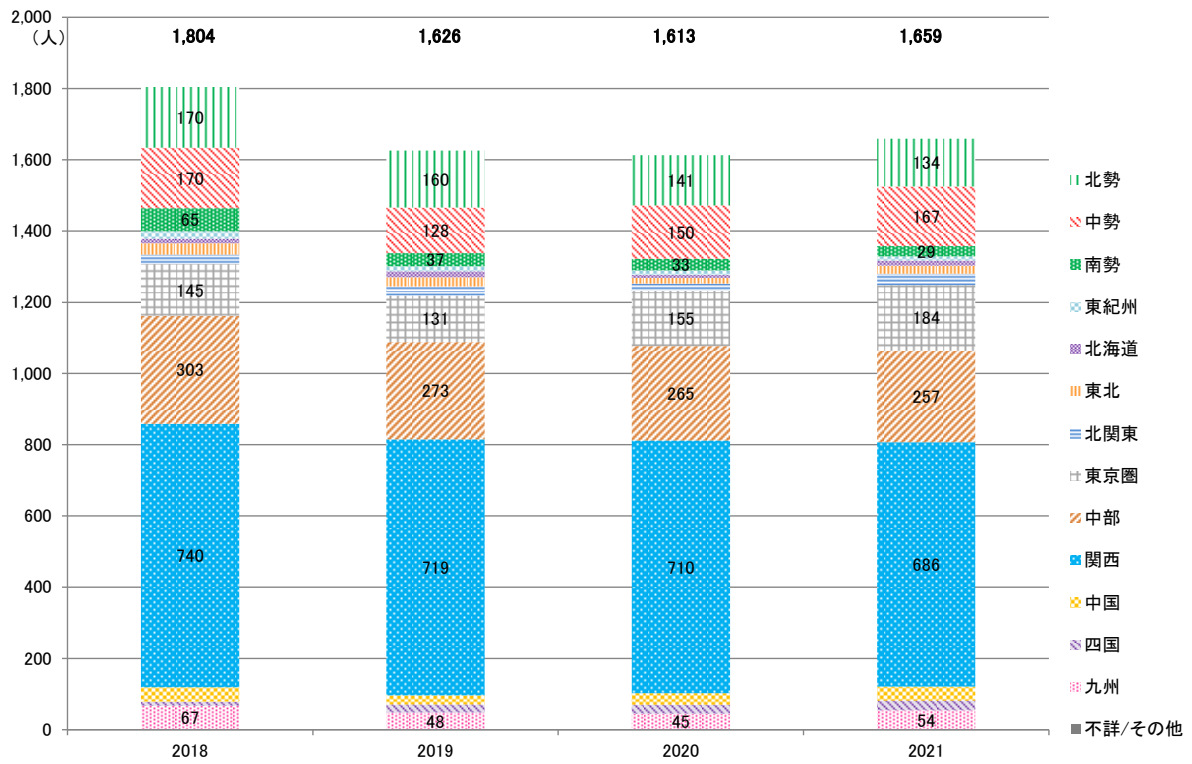
図表 III-172 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



図表 III-173 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男性-外国人を含む>



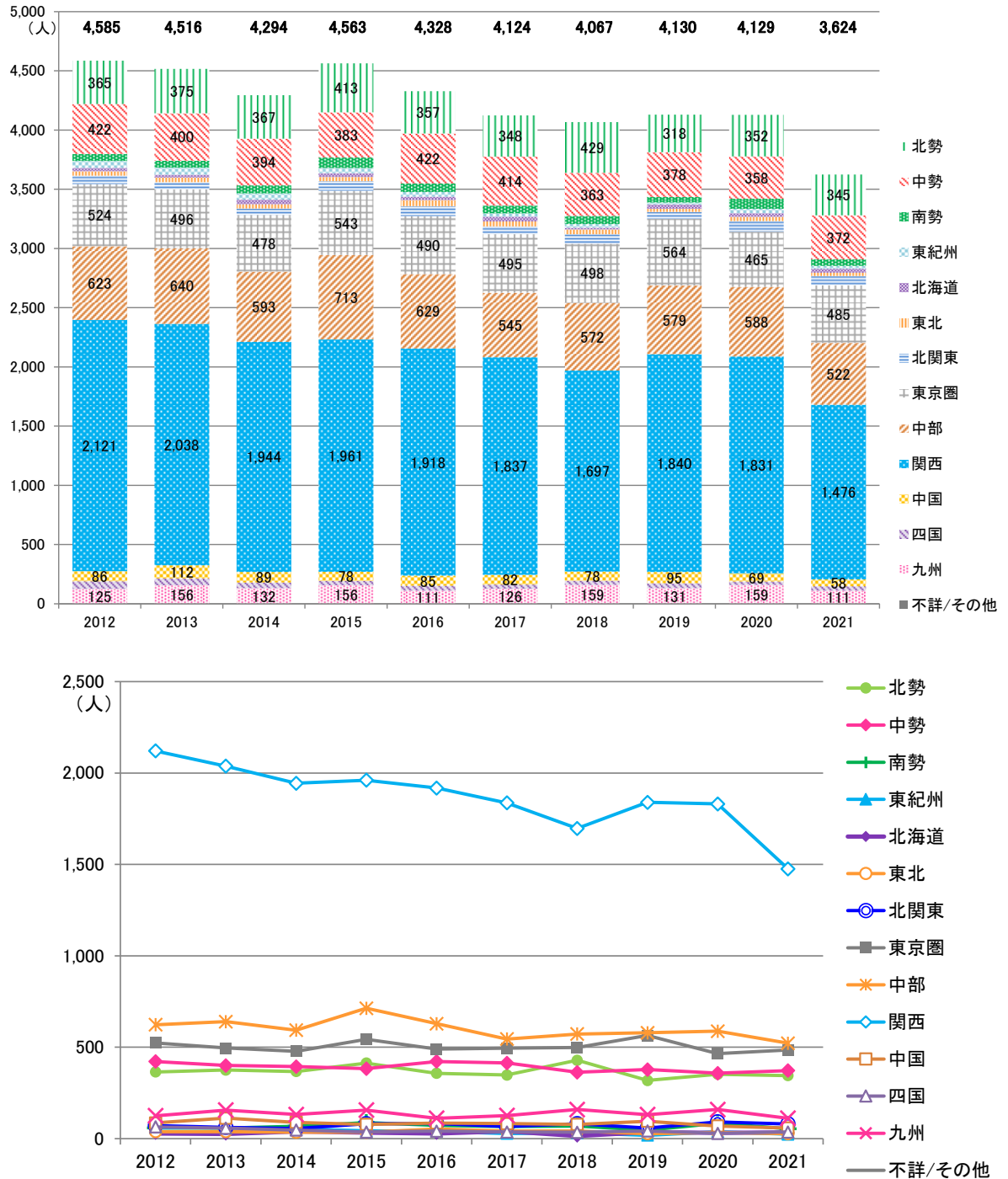
図表 III-174 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-女性-外国人を含む>



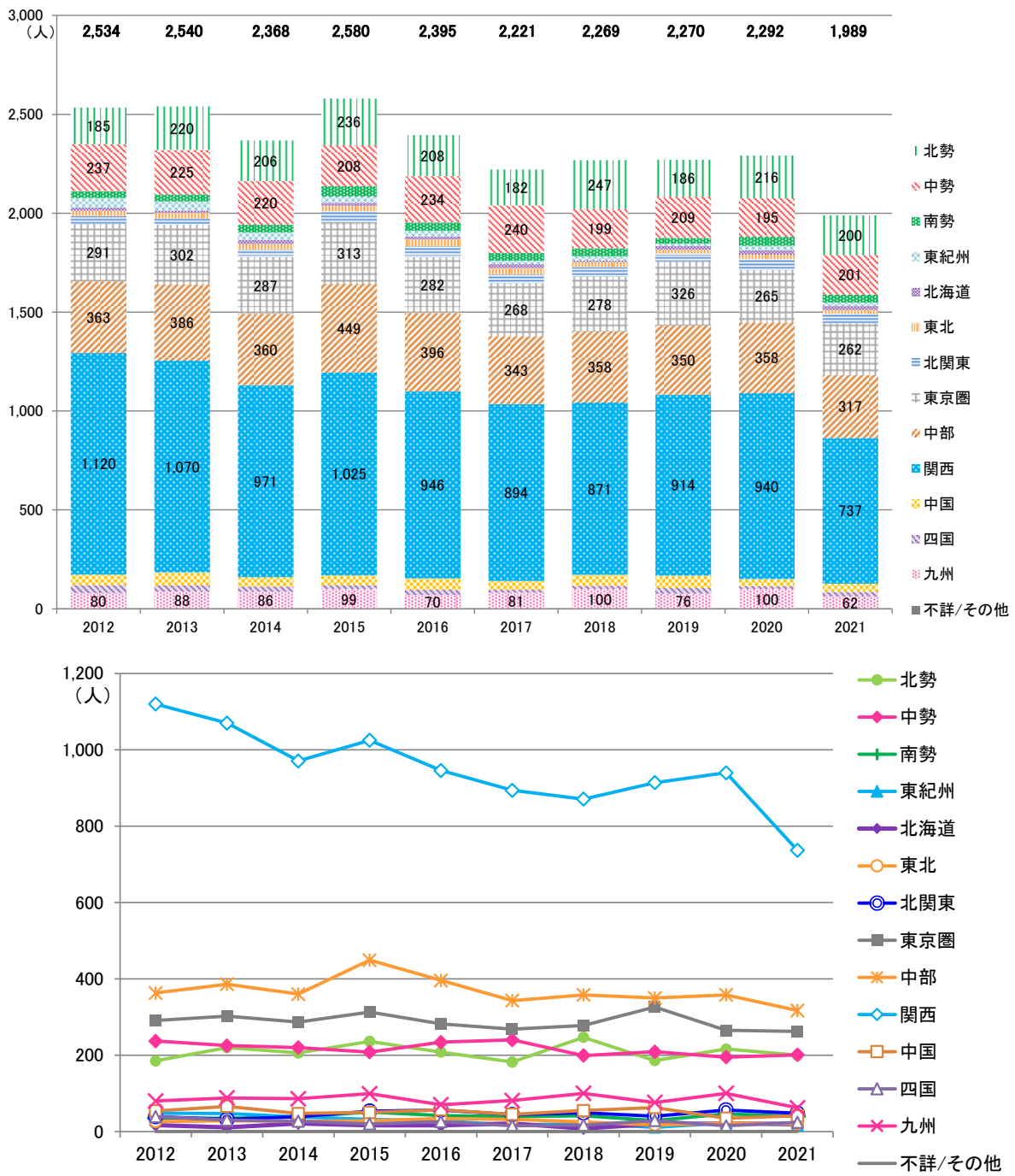
2) 転出

転出者数を男女別・移動地域別にみると、転入者数と同様に、全体的な傾向に大きな差異はみられないが、男性の方が関西以外の各地域にも転出者数が分散している。

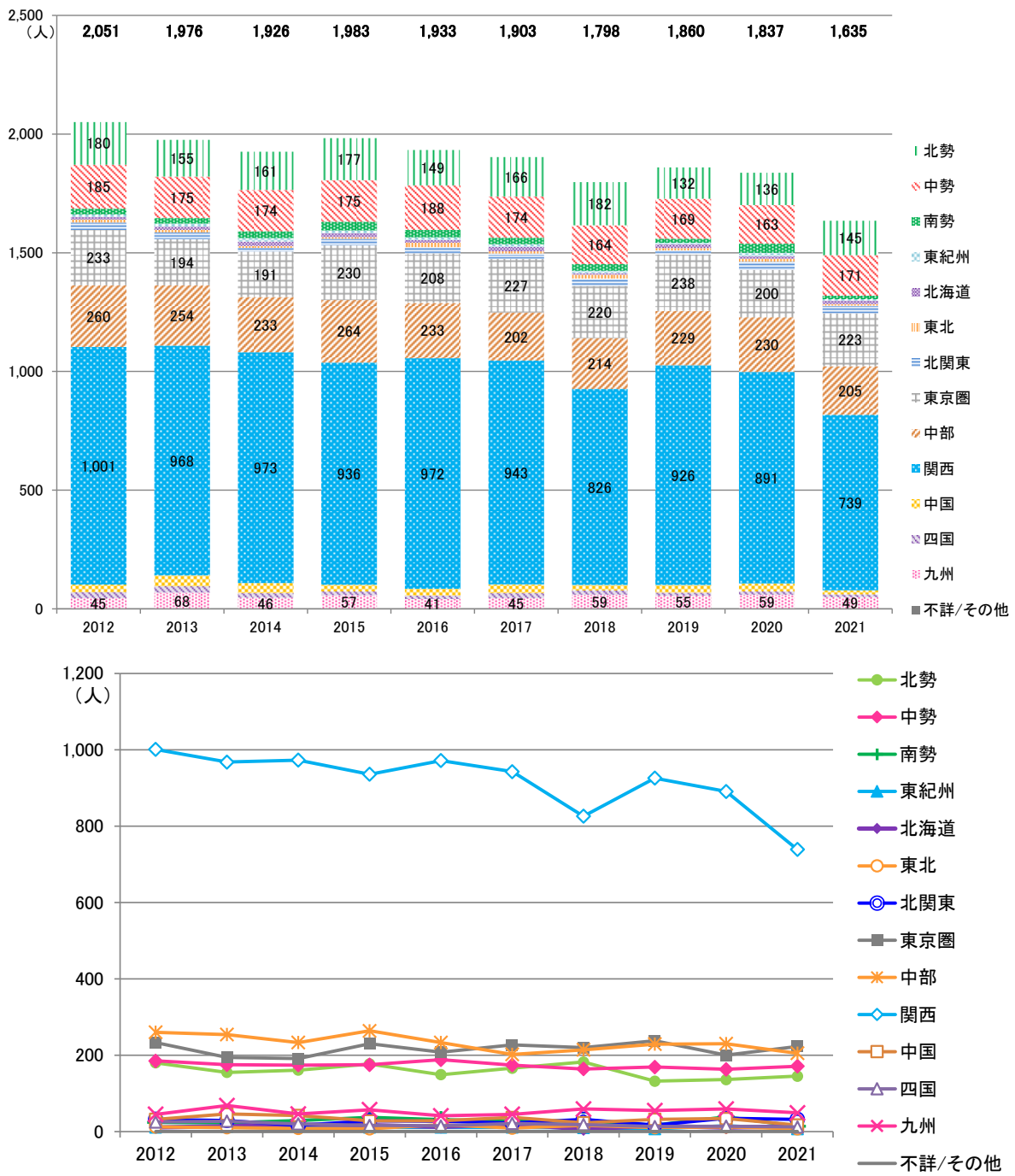
図表 III-175 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-日本人のみ>



図表 III-176 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男性-日本人のみ>

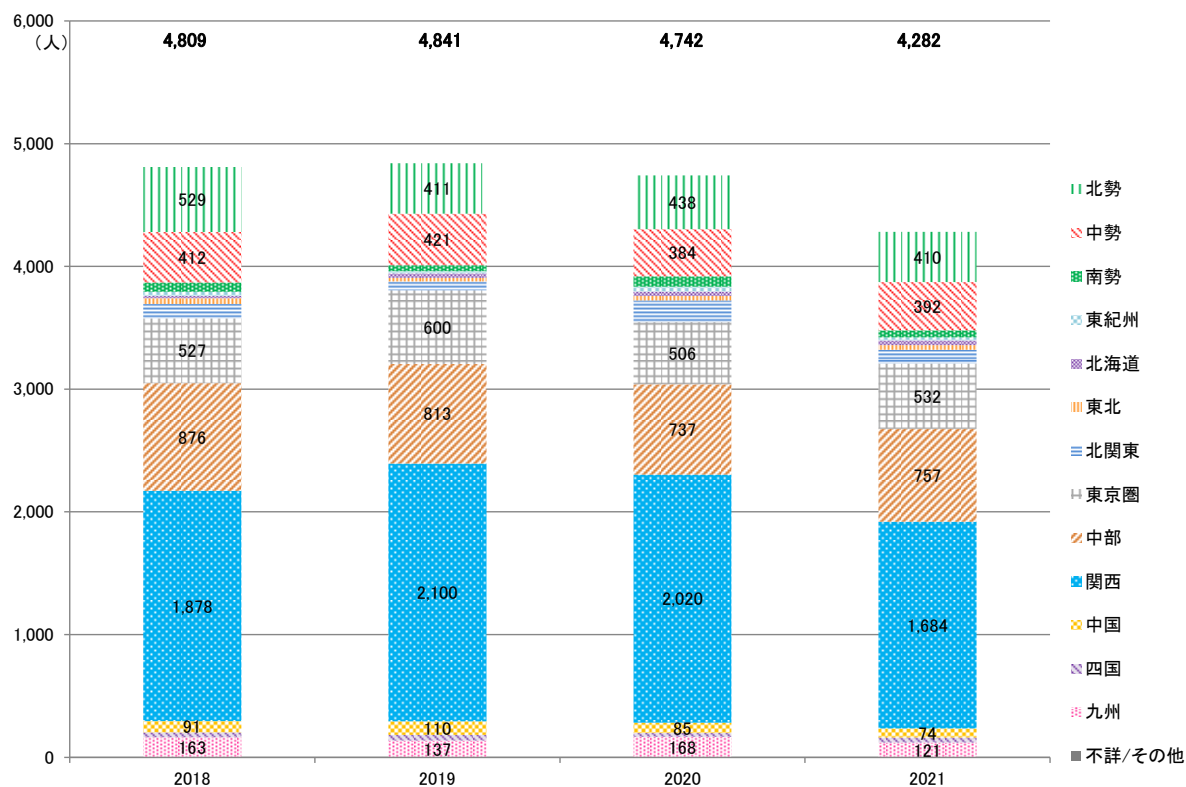


図表 III-177 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-女性-日本人のみ>

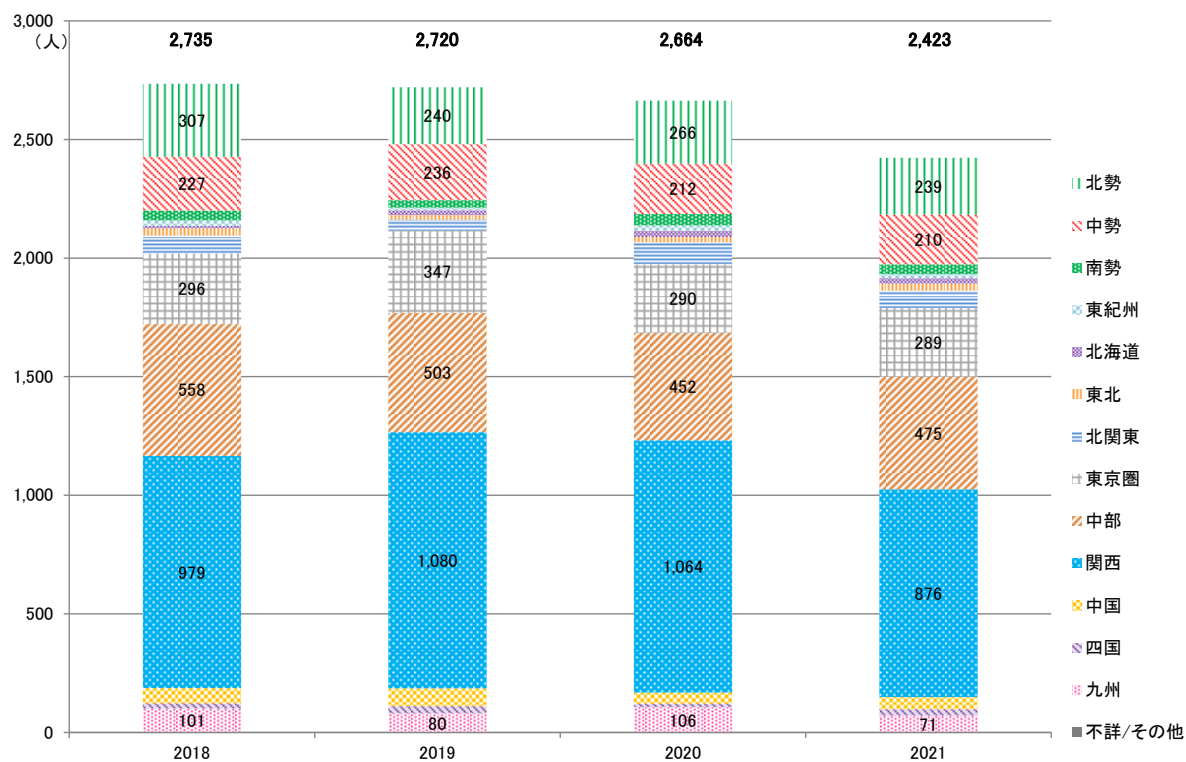


【参考】外国人を含む転出者数

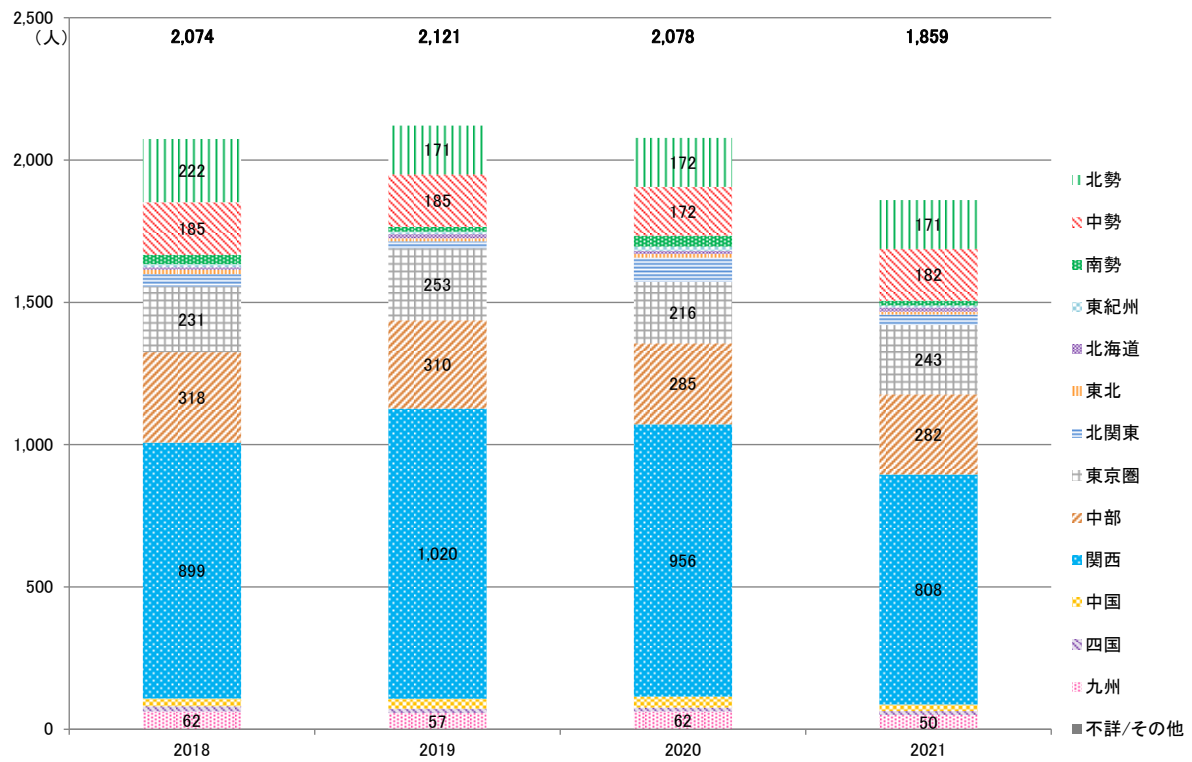
図表 III-178 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



図表 III-179 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男性-外国人を含む>



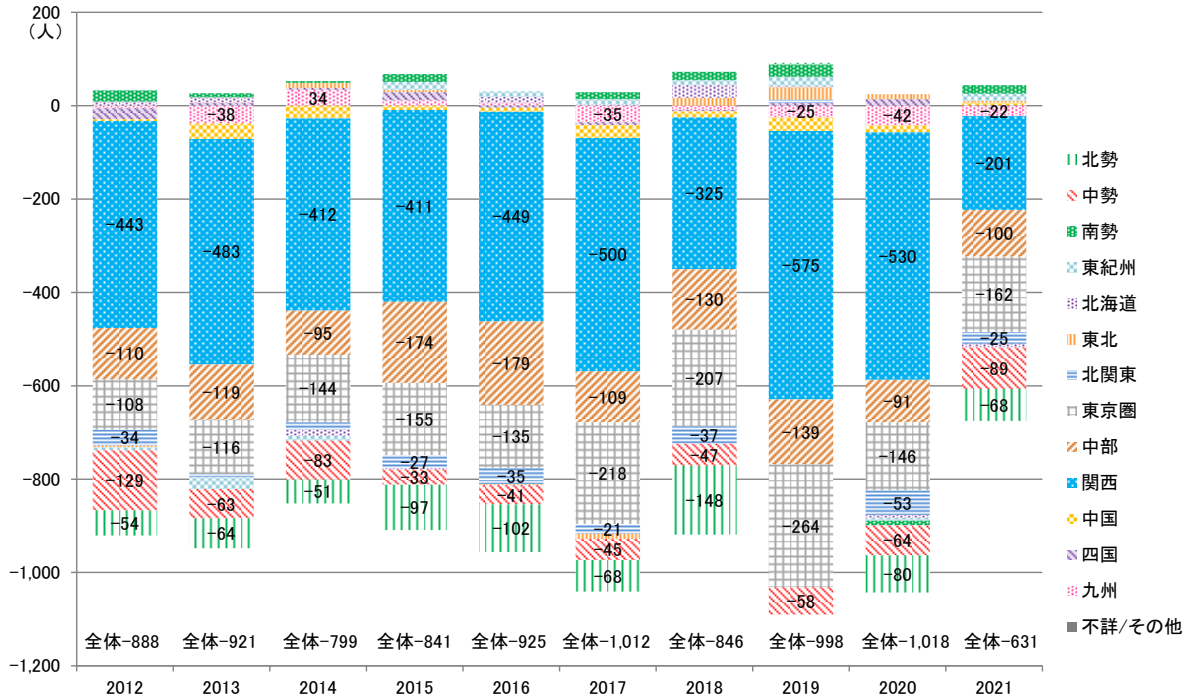
図表 III-180 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-女性-外国人を含む>



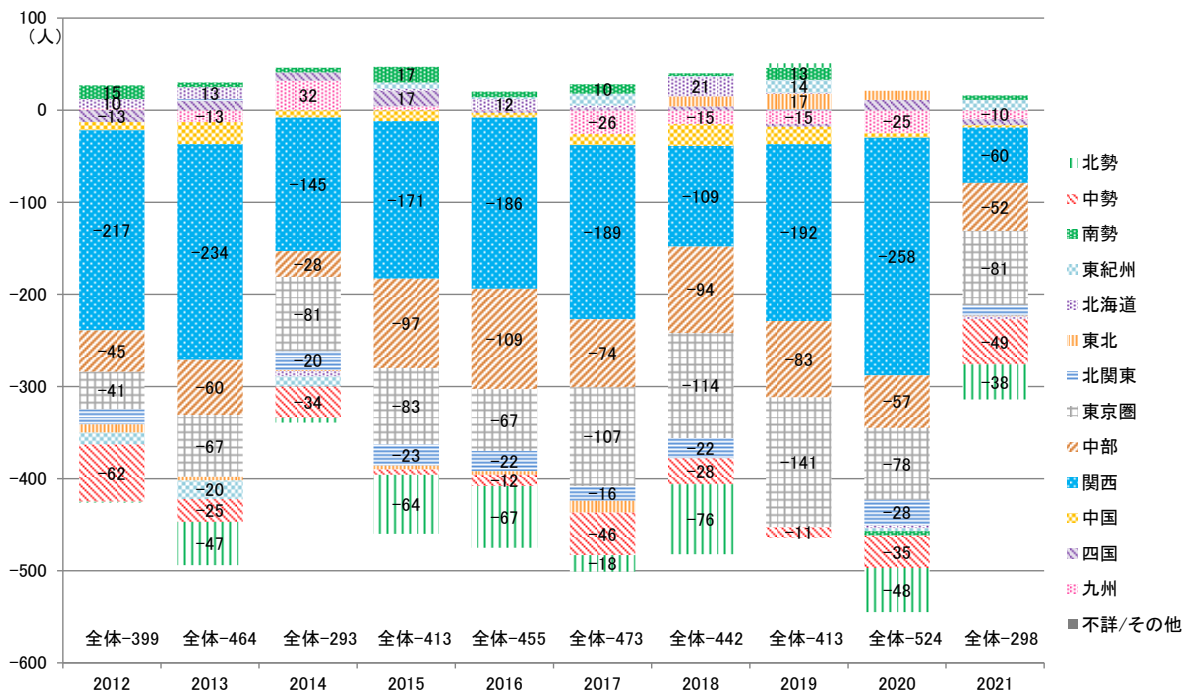
3) 転入超過

転入超過数を男女別・移動地域別にみると、関西地域への転出超過数は女性の方が大きく、中部への転出超過数は男性の方が多い傾向がみられる。

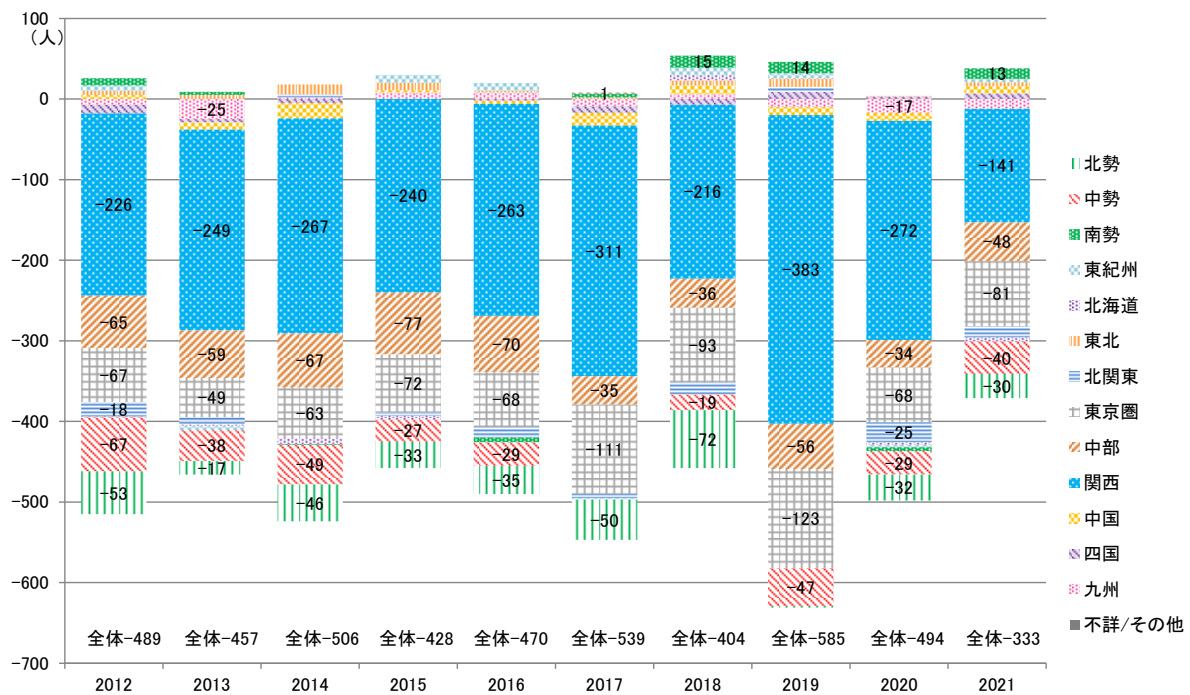
図表 III-181 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-日本人のみ>



図表 III-182 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男性-日本人のみ>

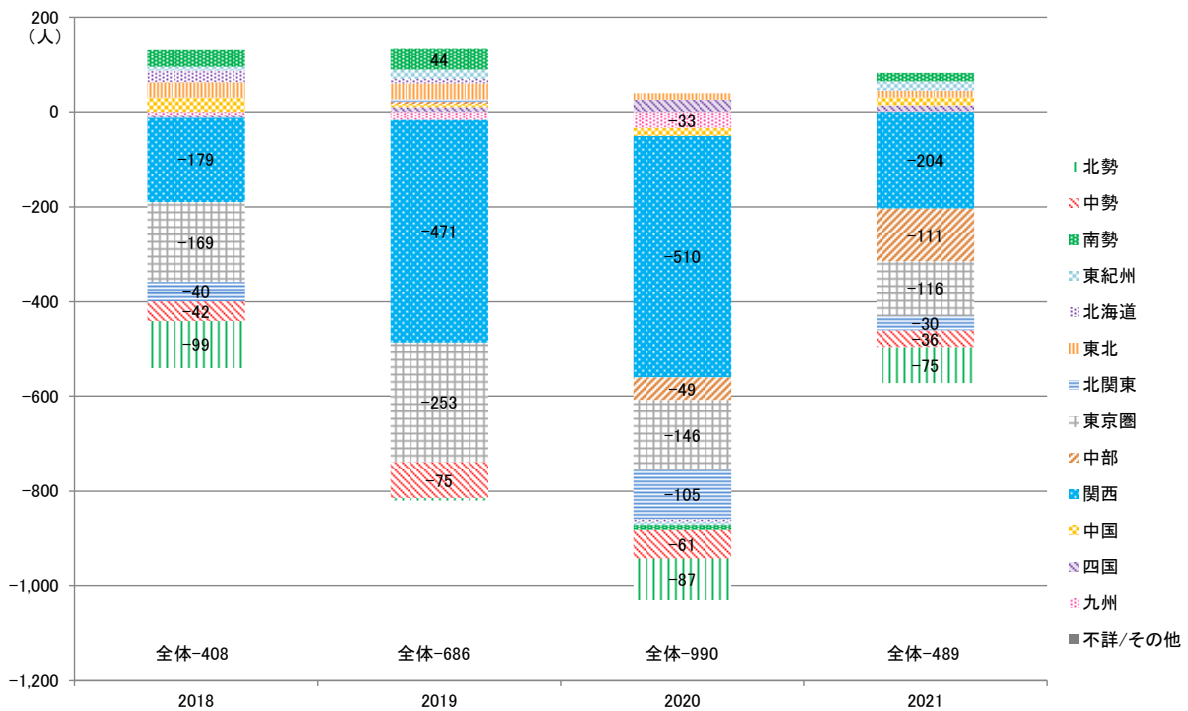


図表 III-183 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-女性-日本人のみ>

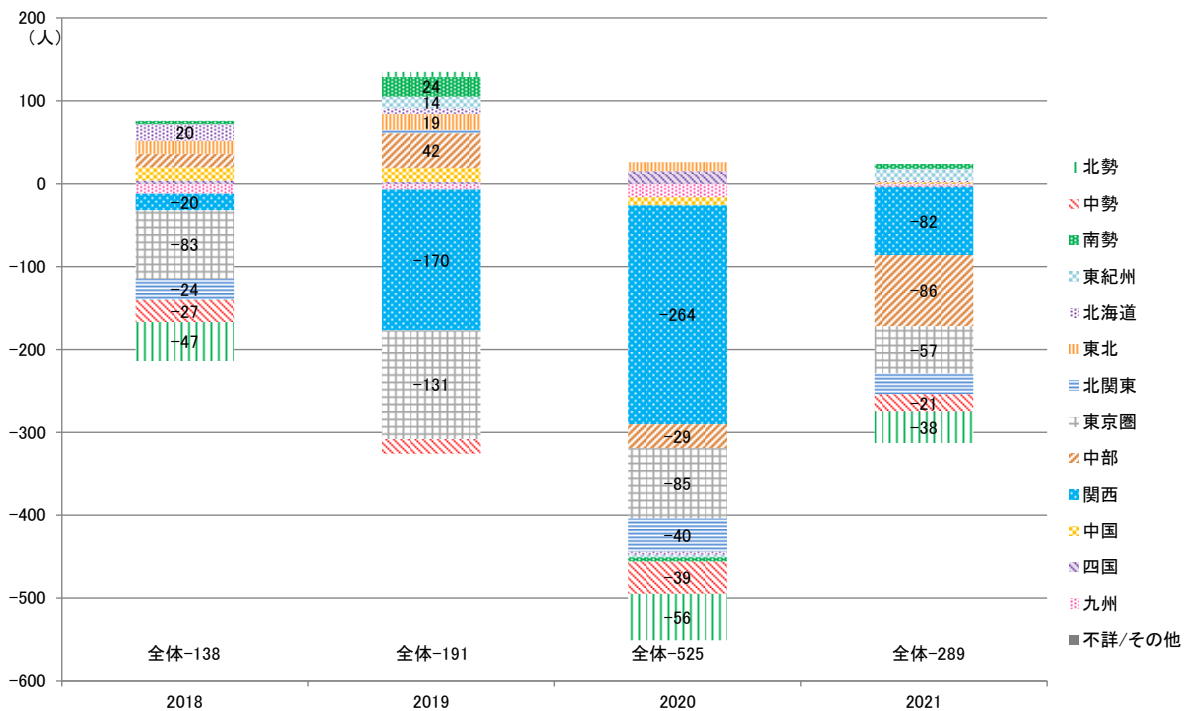


【参考】外国人を含む転入超過数

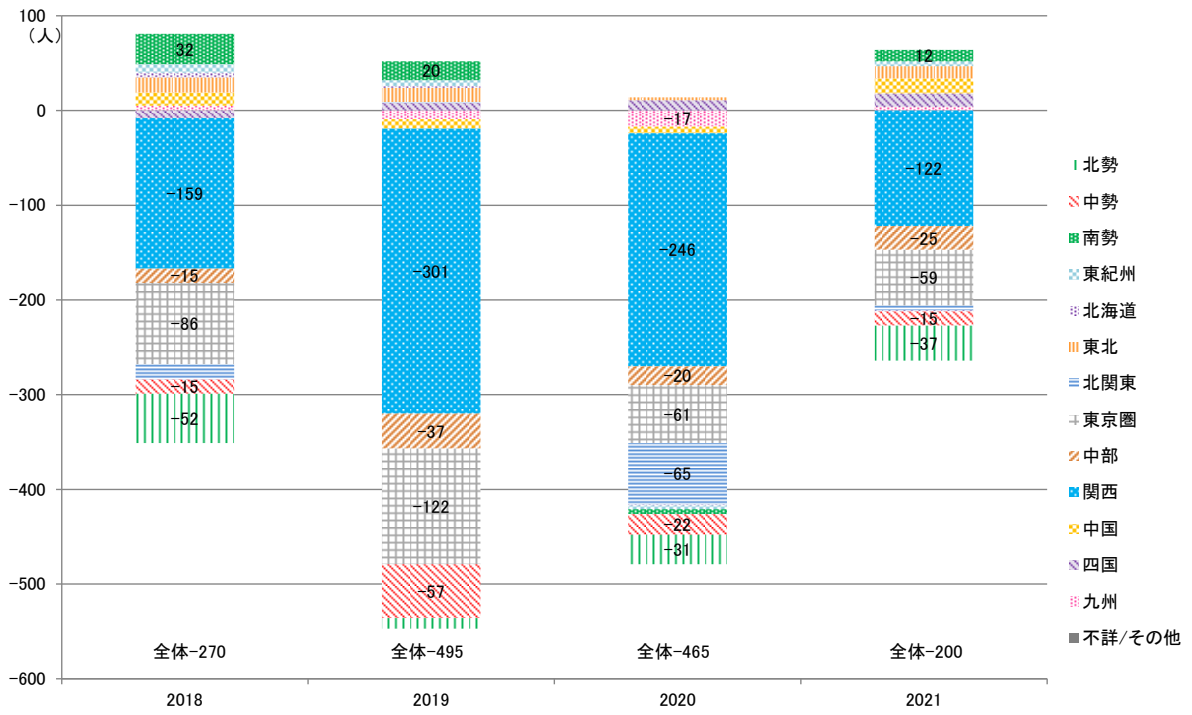
図表 III-184 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



図表 III-185 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男性-外国人を含む>



図表 III-186 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<伊賀-男女計-外国人を含む>



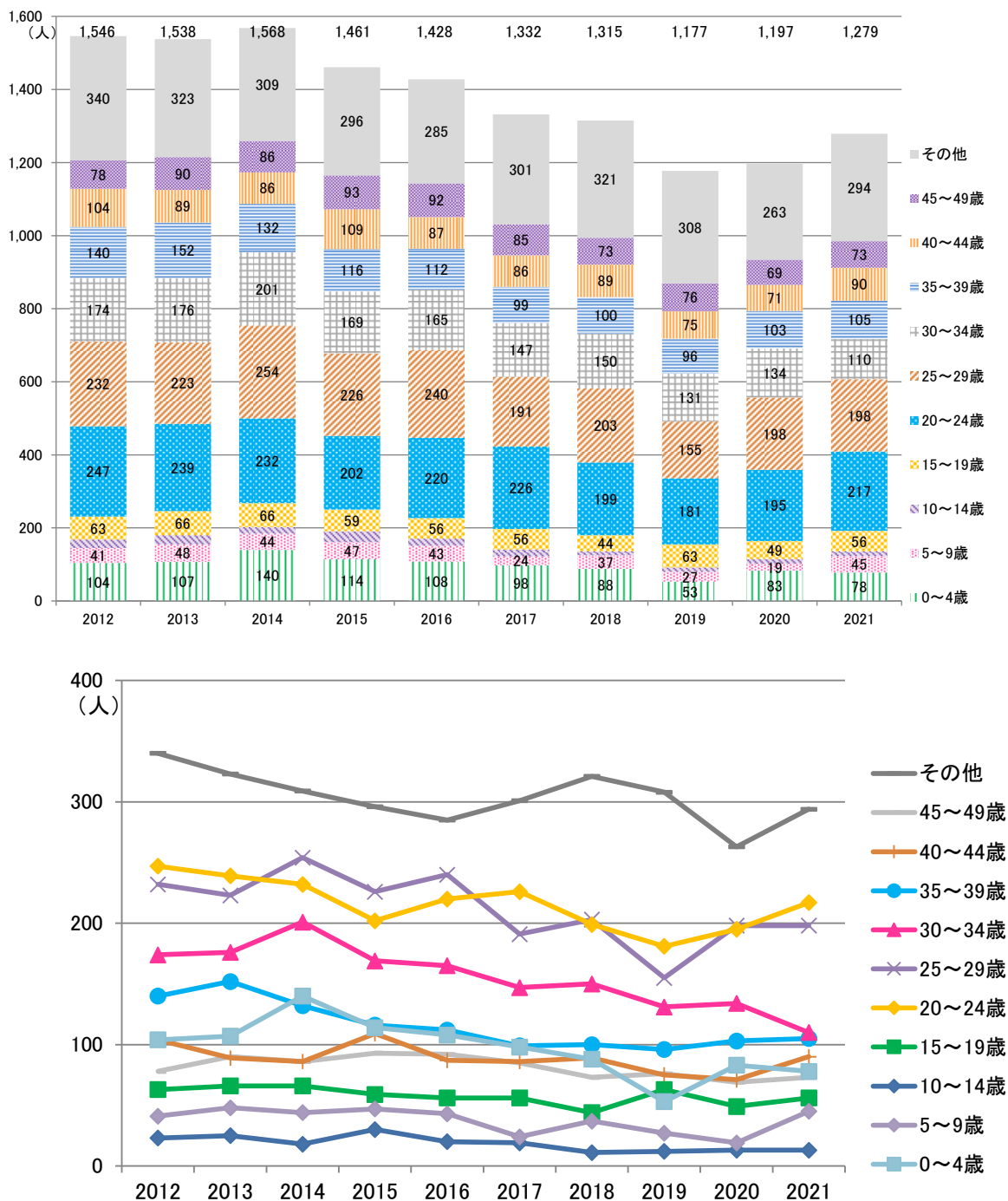
(5) 東紀州地域

① 年齢5歳階級別

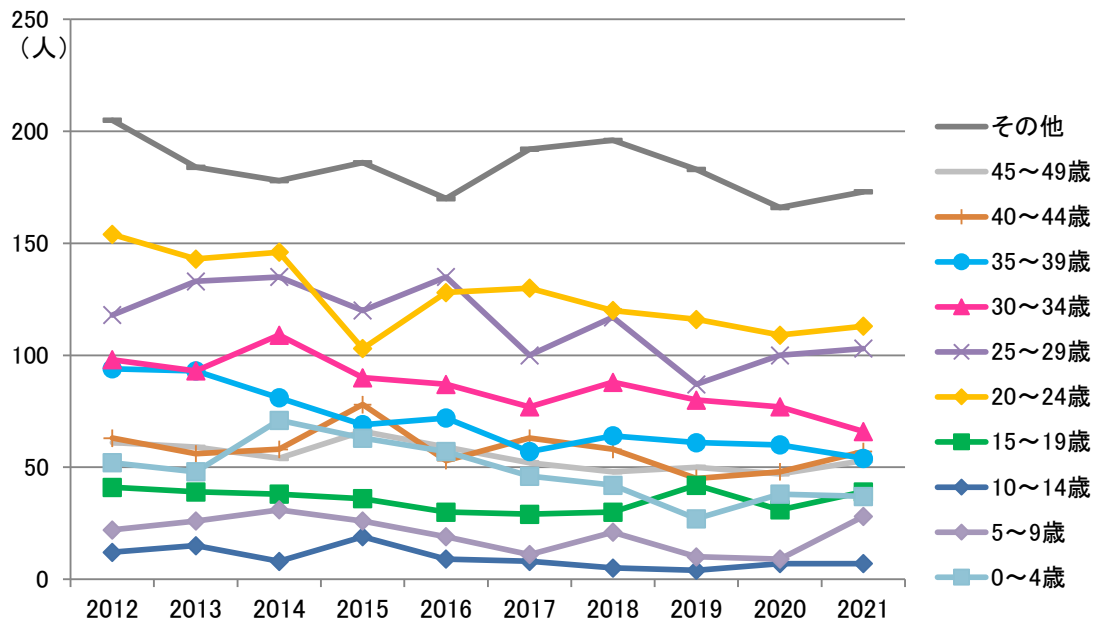
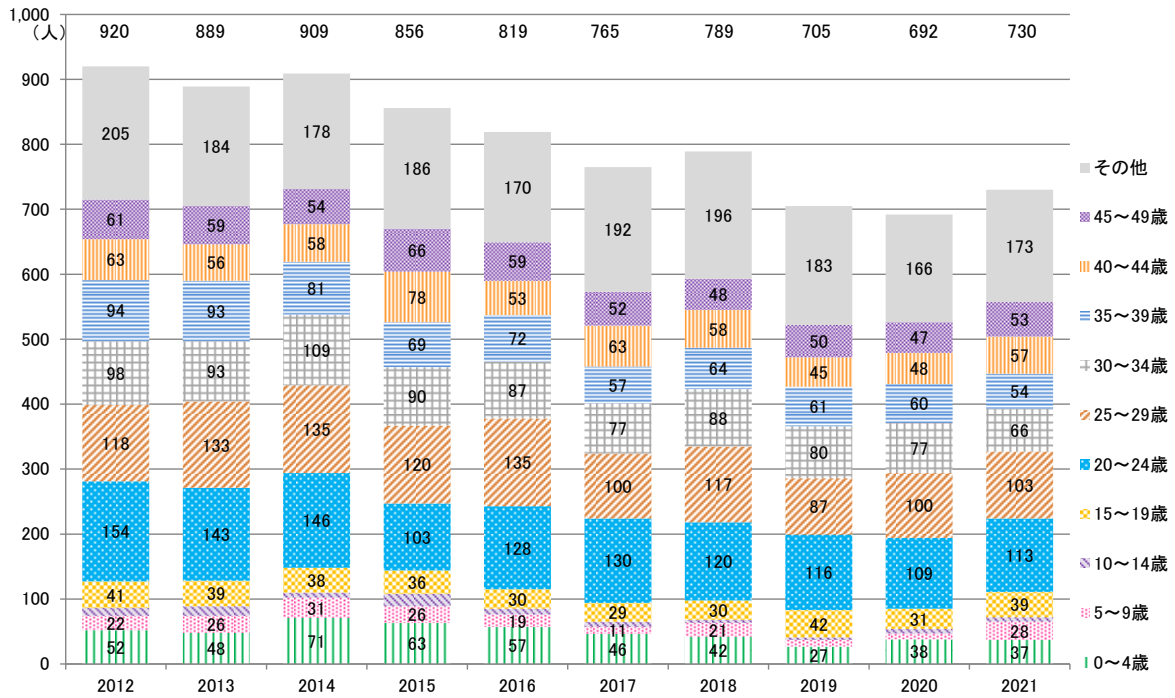
1) 転入

年齢5歳階級別にみると、50歳未満については、20~24歳、25~29歳、30~34歳の転入者数が大きくなっており、2020年以降は、女性の20~24歳及び25~29歳の転入者数が大きく増加している。また、県内他地域と比べて、男女ともにその他（50歳以上）の割合が高くなっている。

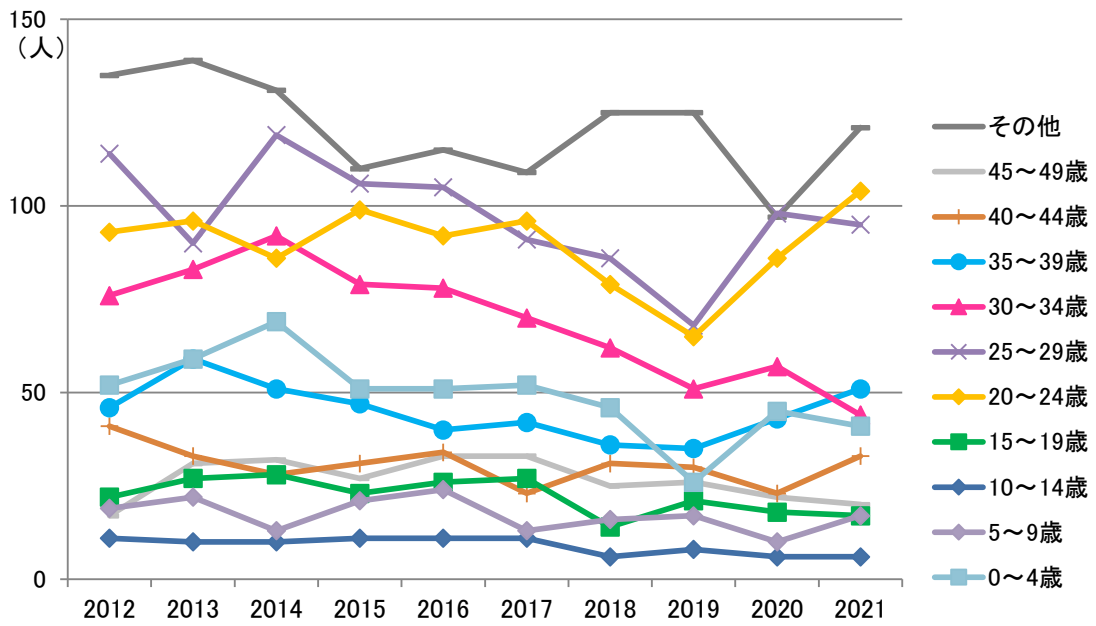
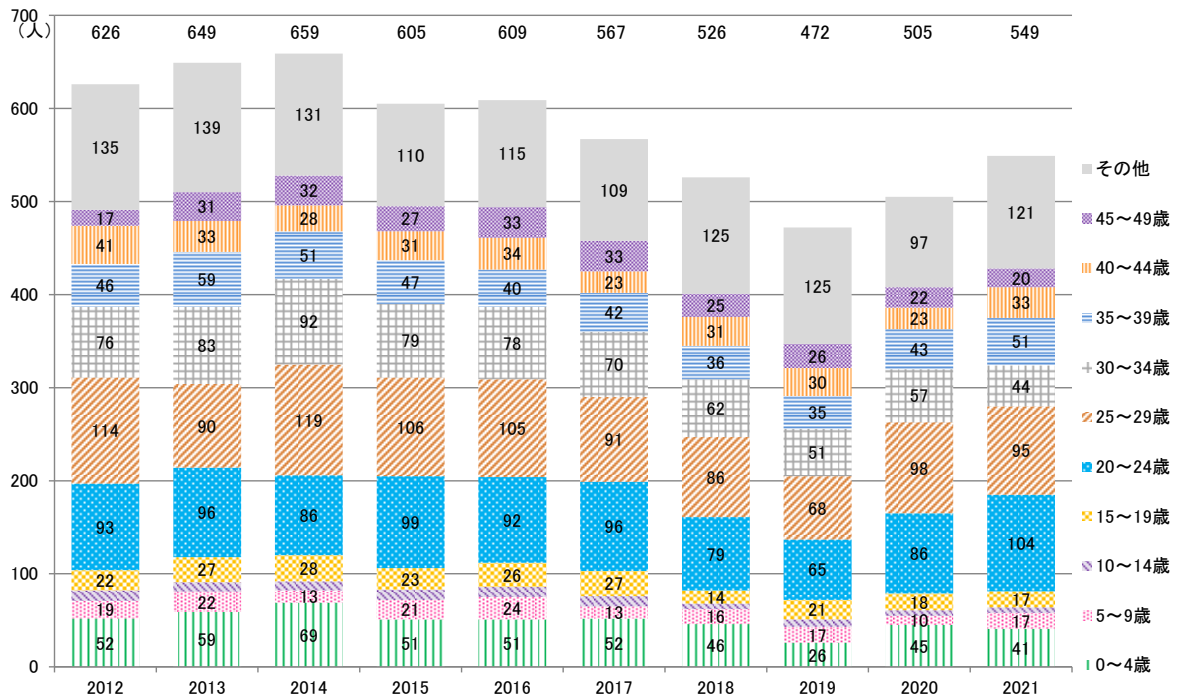
図表 III-187 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-日本人のみ>



図表 III-188 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男性-日本人のみ>

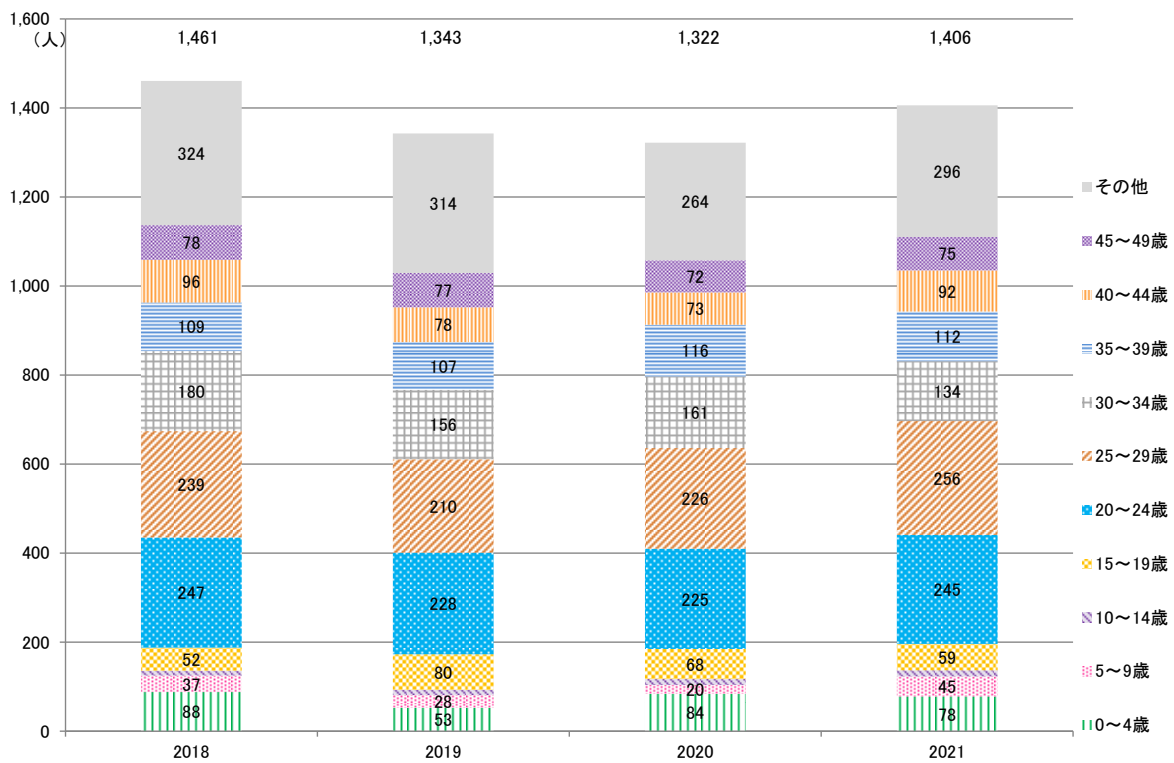


図表 III-189 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-女性-日本人のみ>

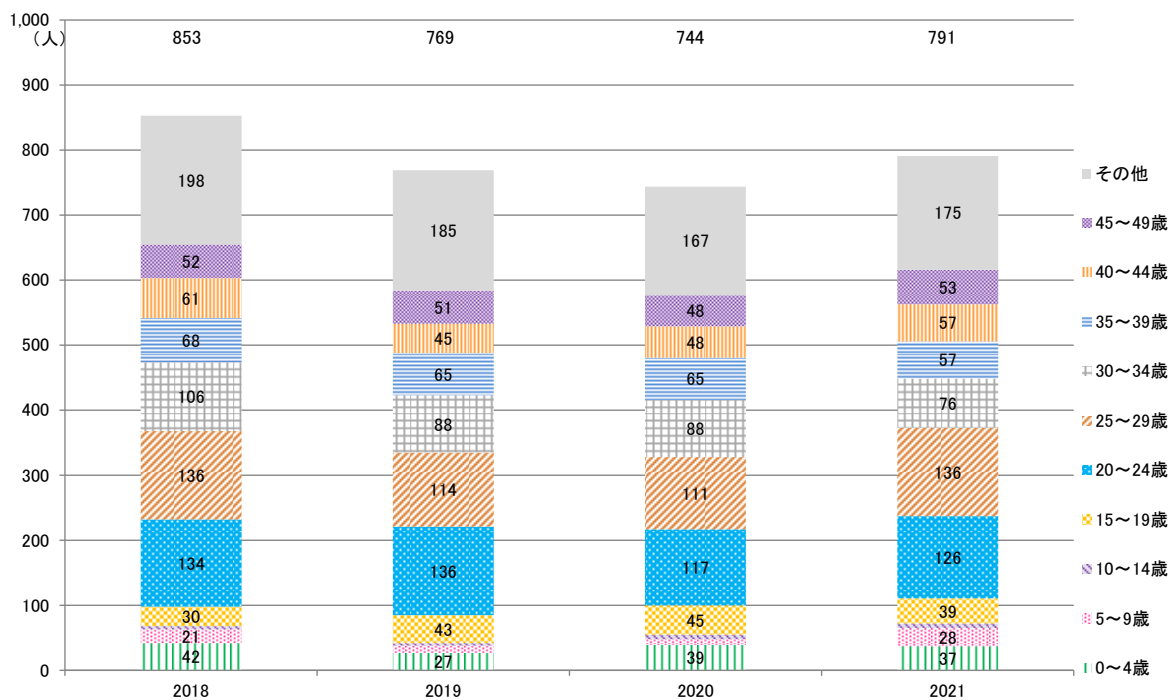


【参考】外国人を含む転入者数

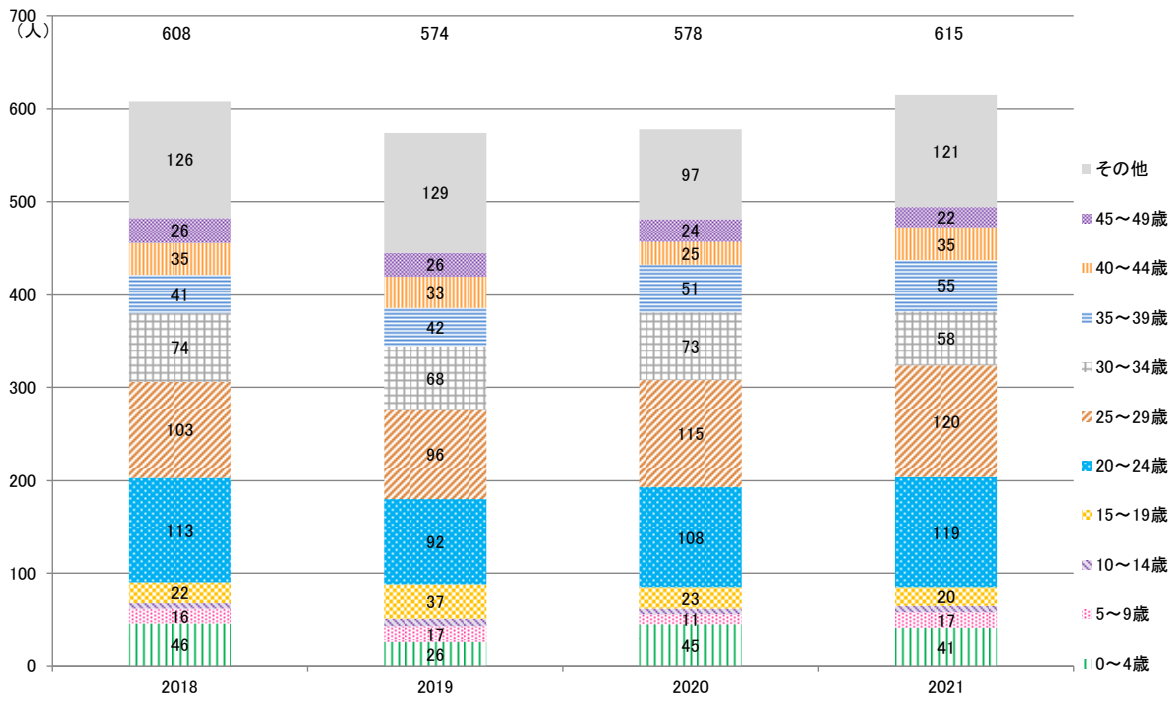
図表 III-190 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



図表 III-191 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男性-外国人を含む>



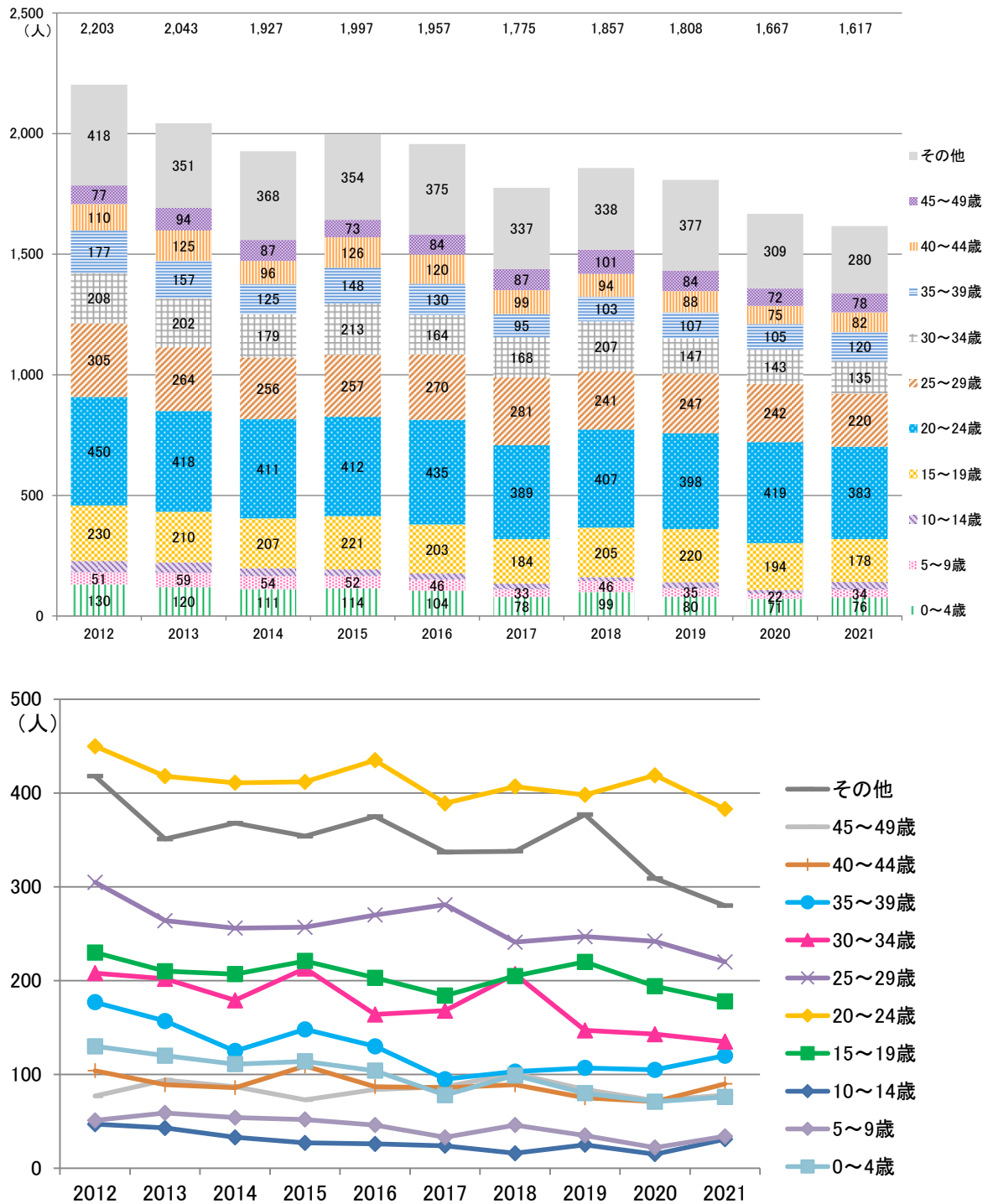
図表 III-192 転入者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



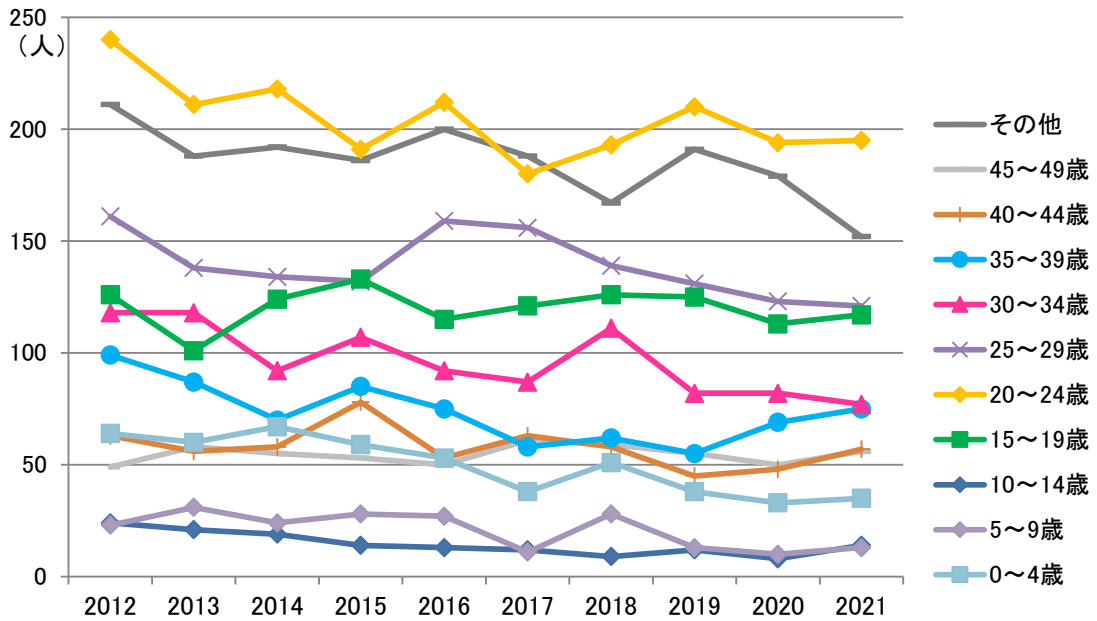
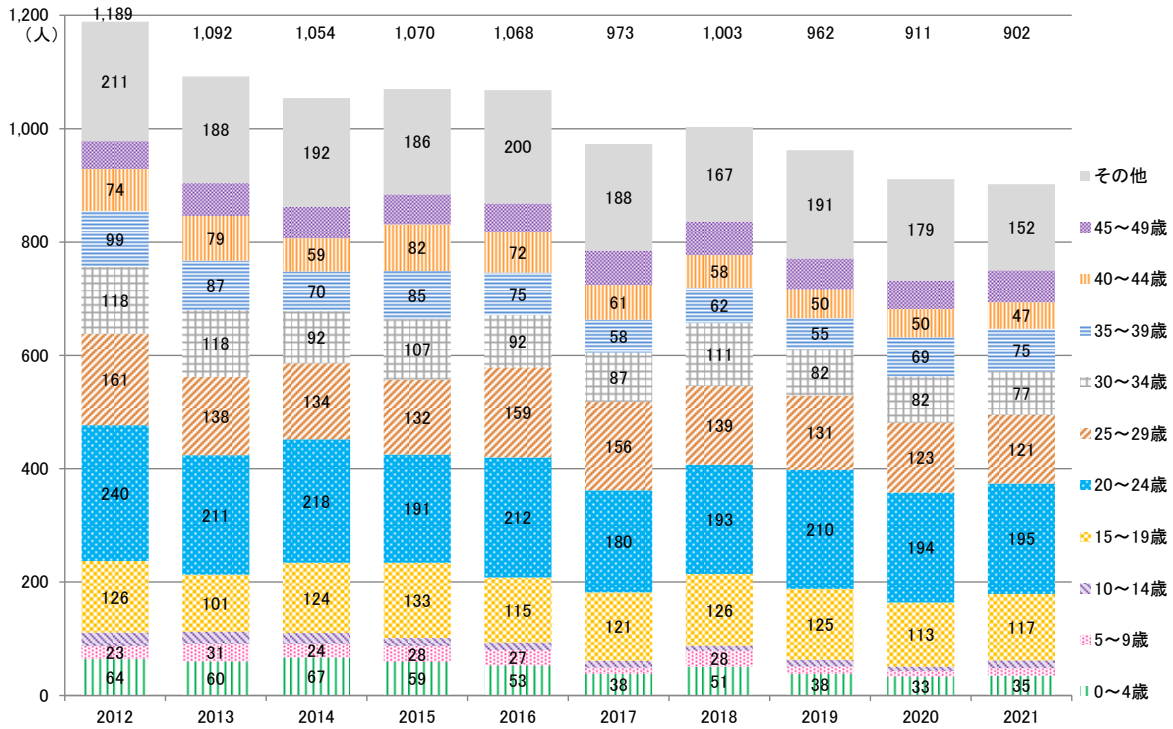
2) 転出

年齢5歳階級別にみると、20~24歳の転出者数が大きくなっているが、男性については漸減傾向にある。一方で、女性については、年次によって増減がみられるが、10年間の推移をみると横ばいで推移している。

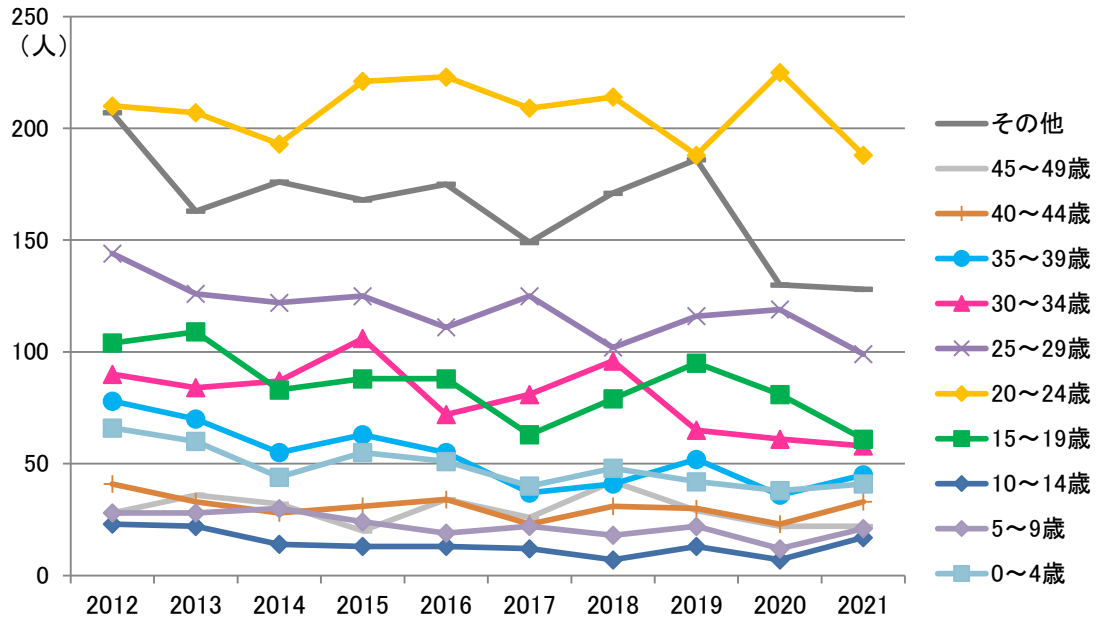
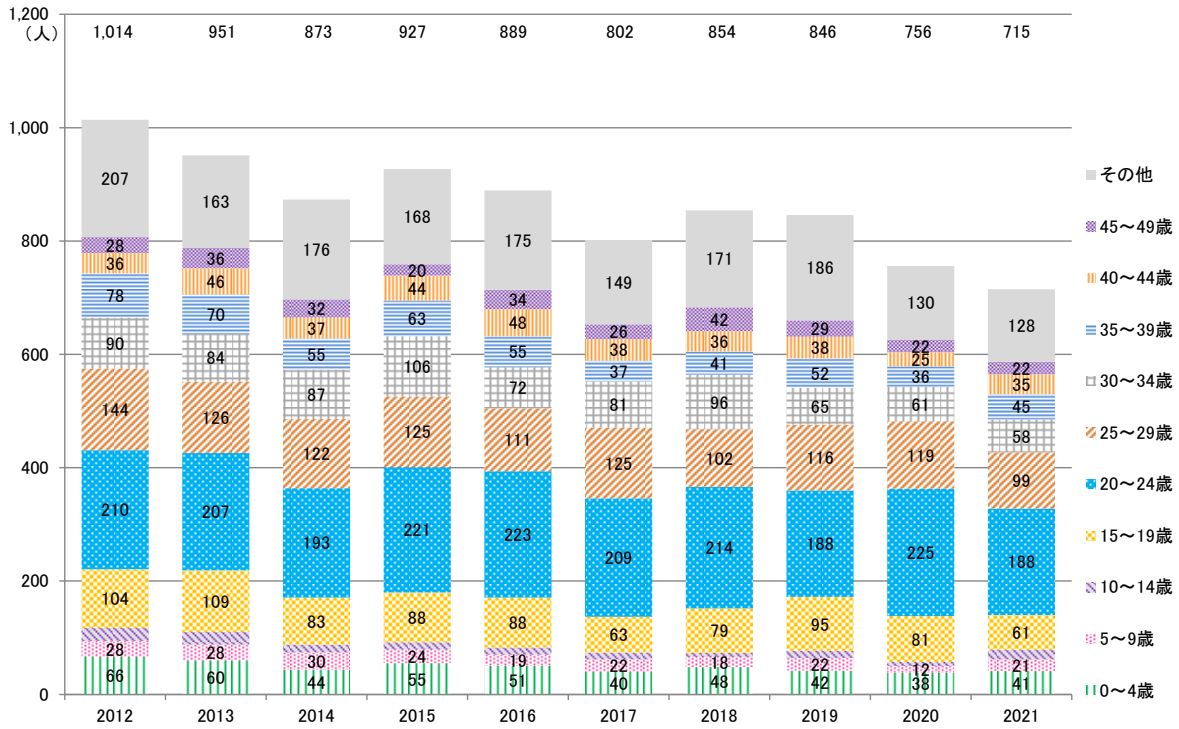
図表 III-193 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-日本人のみ>



図表 III-194 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男性-日本人のみ>

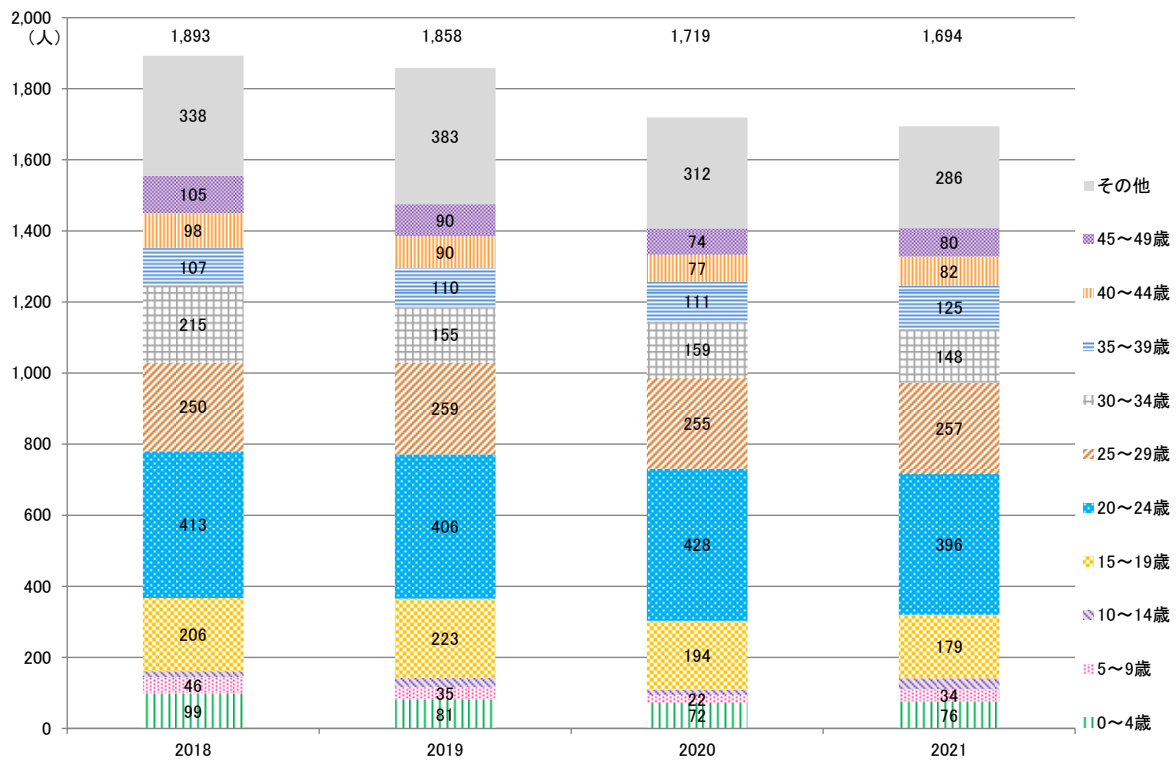


図表 III-195 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-女性-日本人のみ>

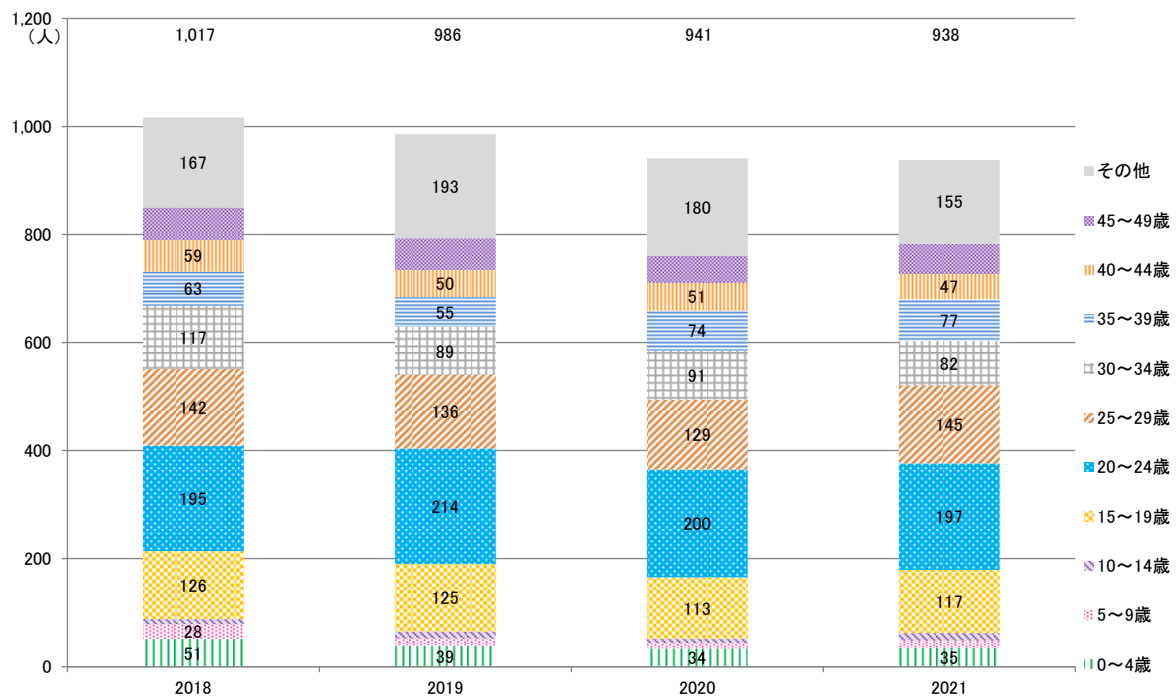


【参考】外国人を含む転出者数

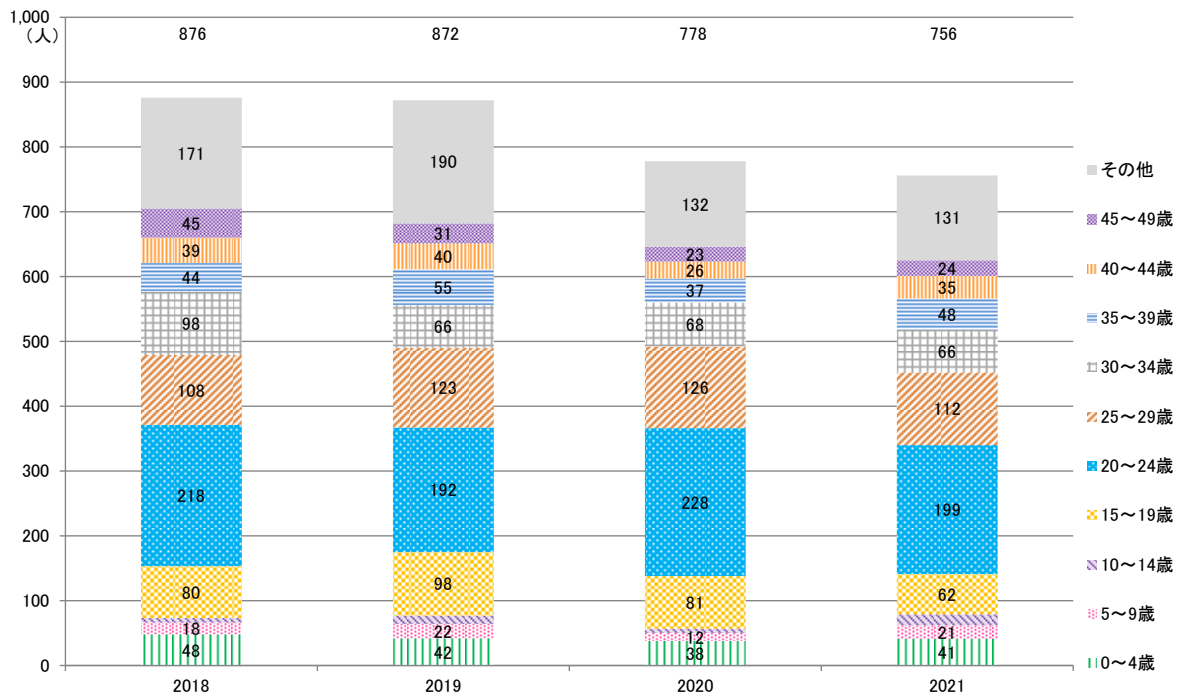
図表 III-196 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



図表 III-197 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男性-外国人を含む>



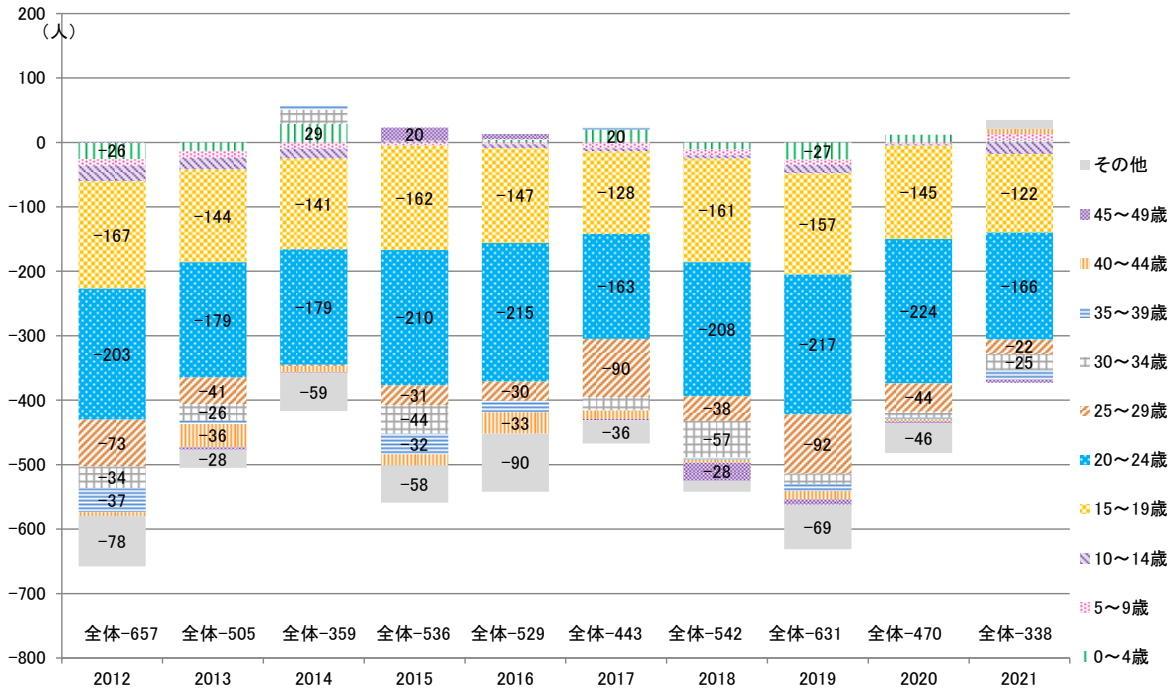
図表 III-198 転出者数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-女性-外国人を含む>



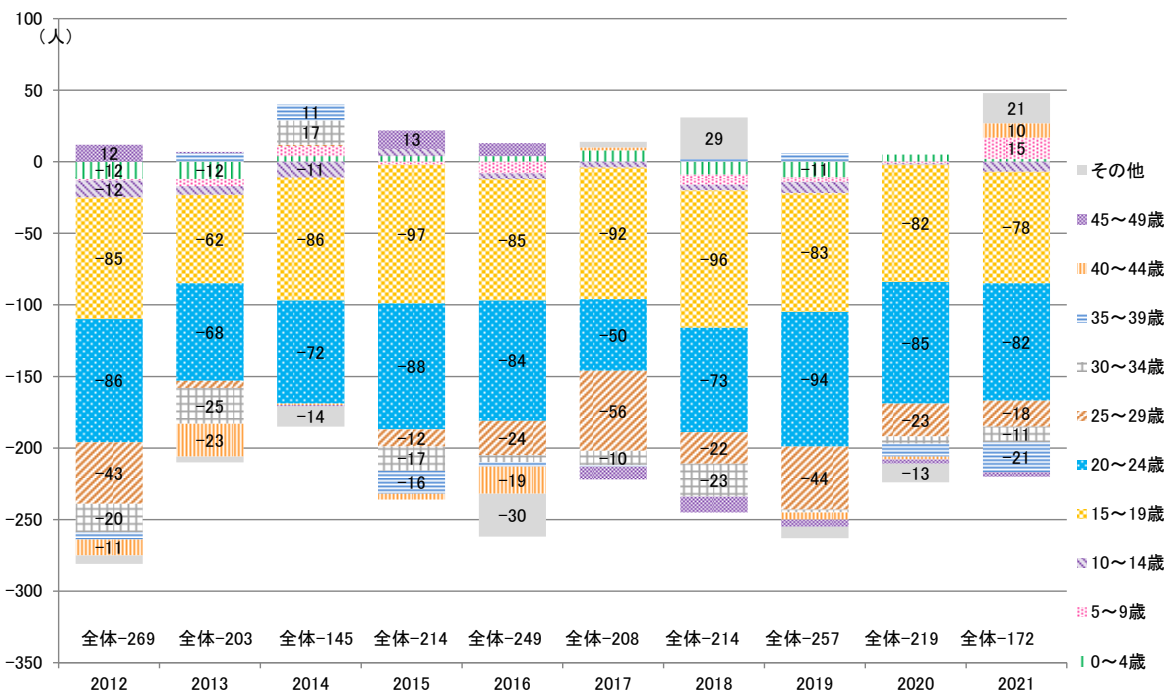
3) 転入超過

年齢5歳階級別にみると、全体的な傾向は男女ともに同様であるが、男性の15~19歳は女性よりも転出超過が大きく、女性の20~24歳は男性よりも転出超過が大きい傾向がみられる。

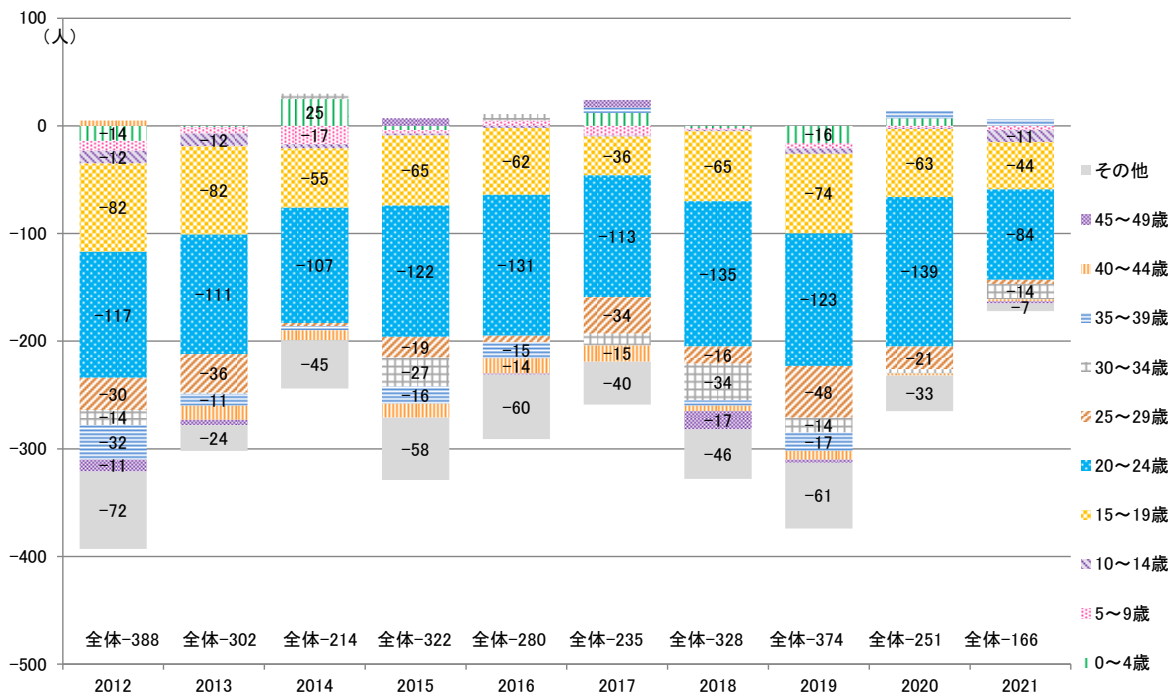
図表 III-199 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-日本人のみ>



図表 III-200 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男性-日本人のみ>

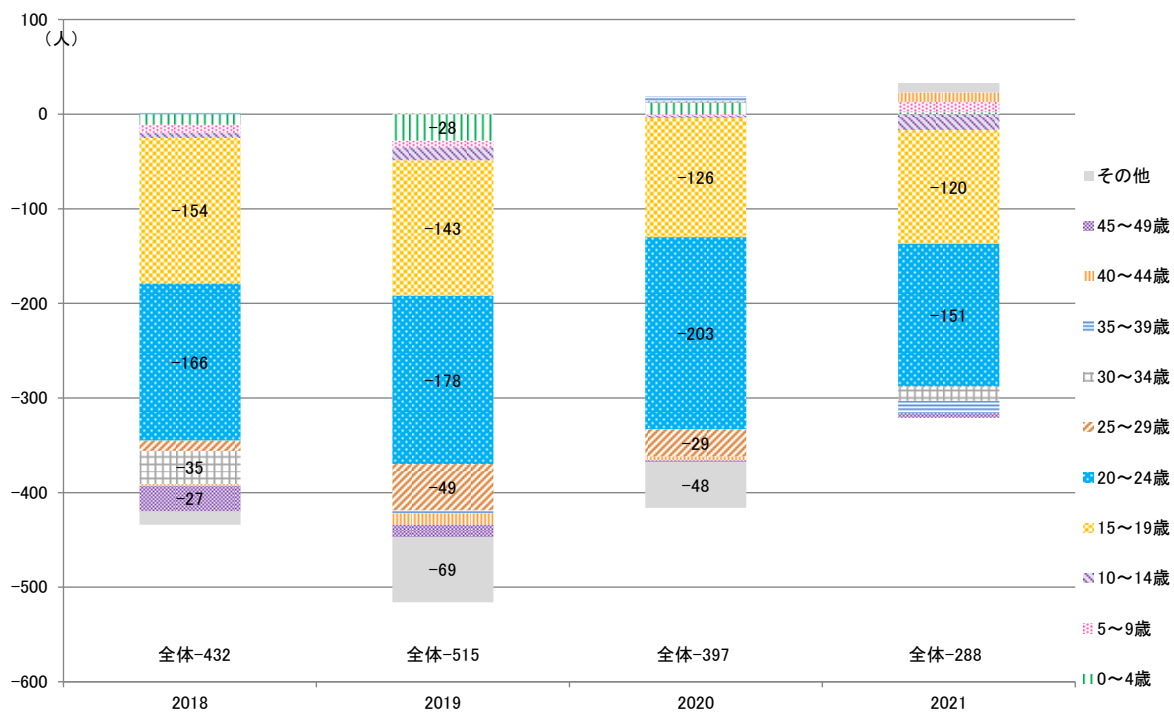


図表 III-201 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-女性-日本人のみ>

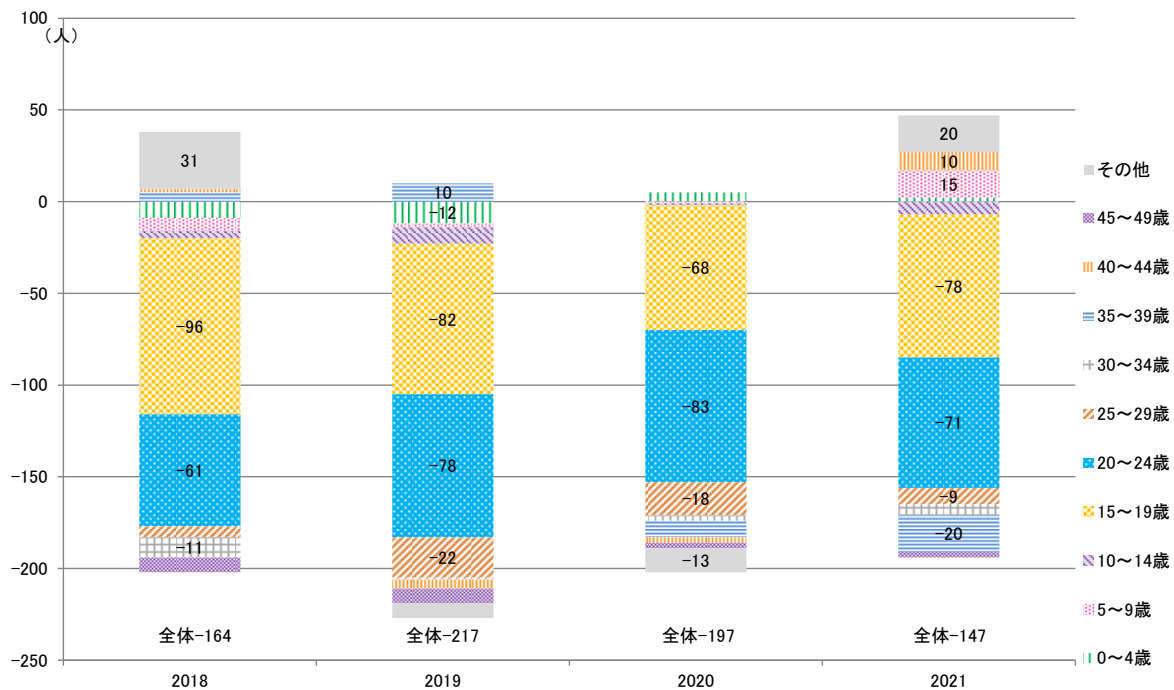


【参考】外国人を含む転入超過数

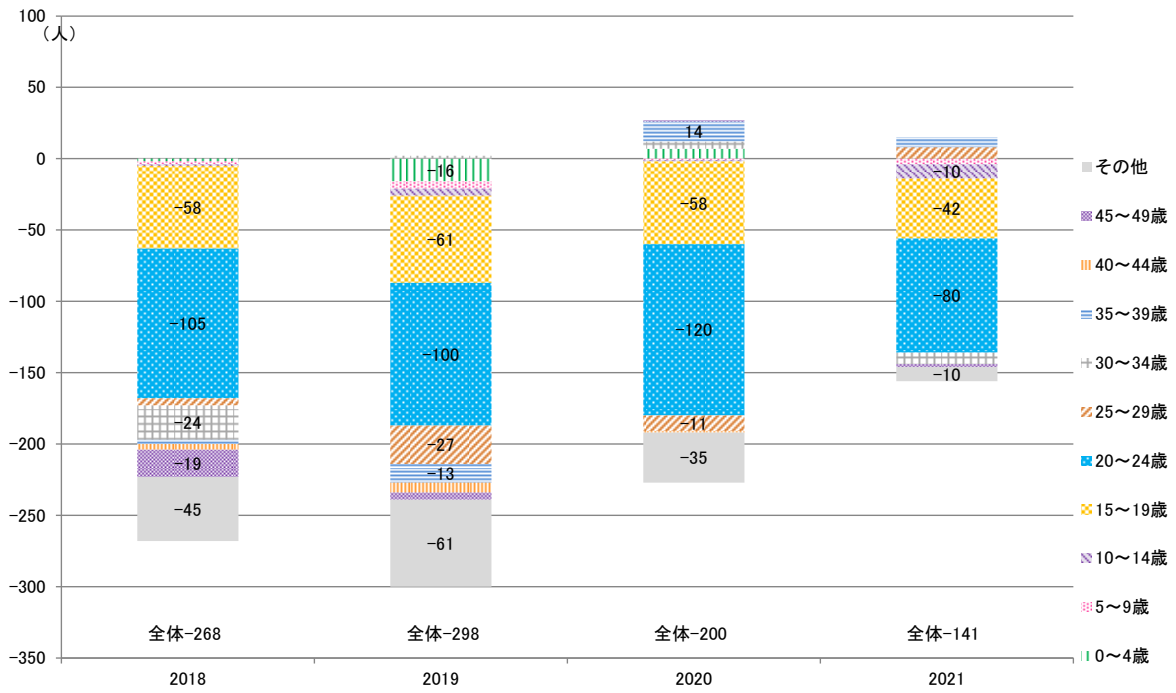
図表 III-202 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



図表 III-203 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-男性-外国人を含む>



図表 III-204 転入超過数(年齢5歳階級別)の推移<東紀州-女性-外国人を含む>

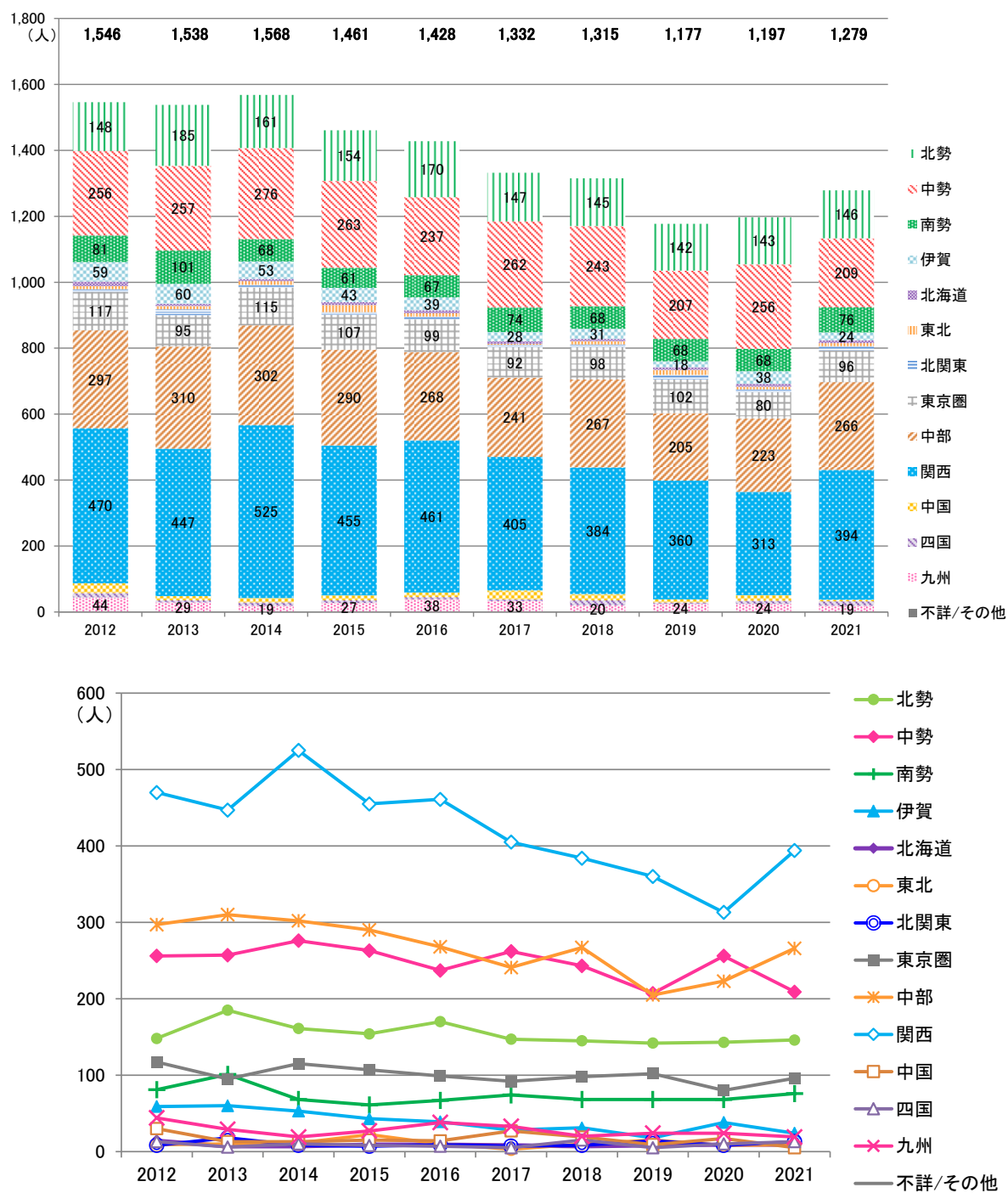


② 移動地域別

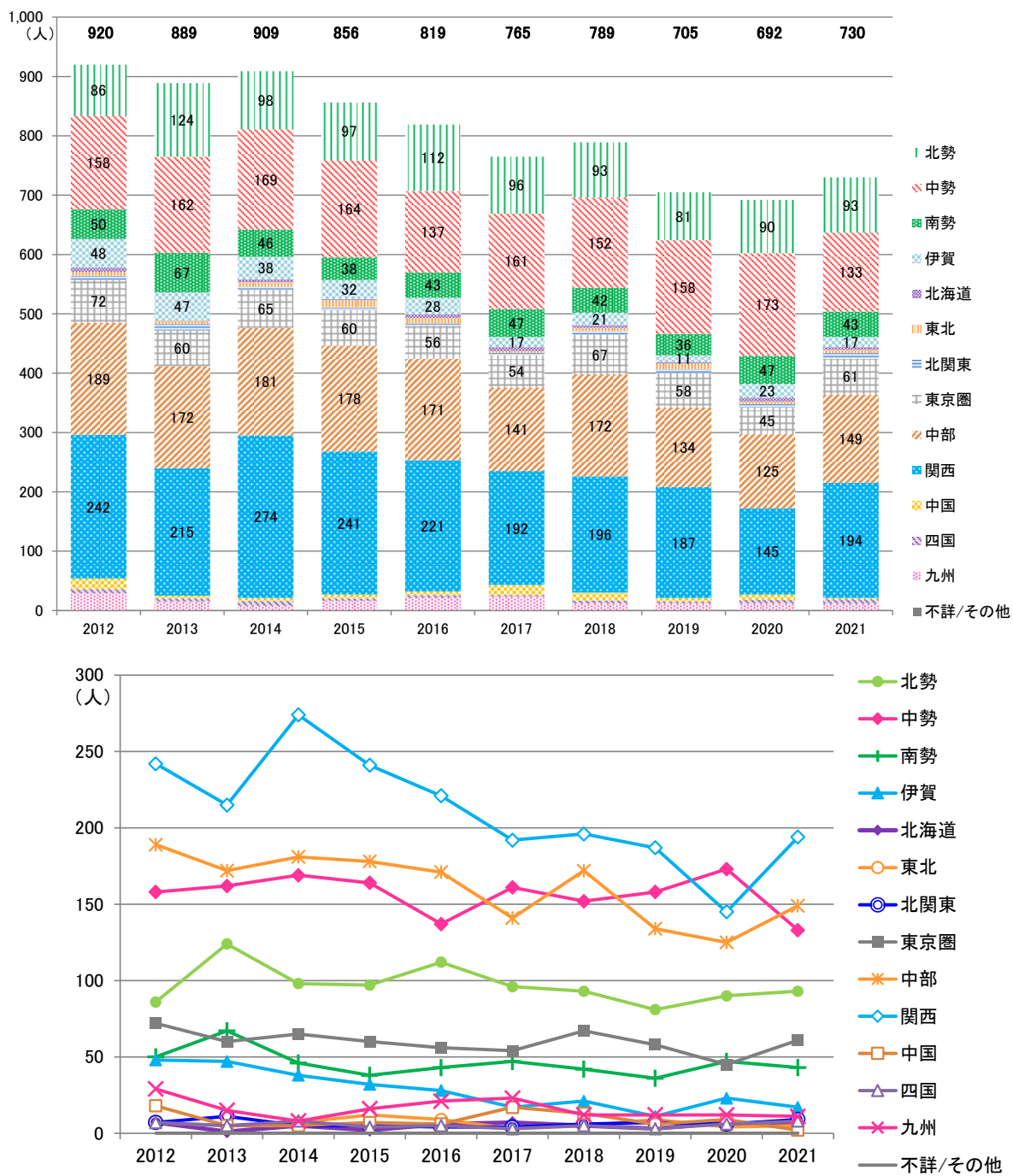
1) 転入

転入者数を男女別・移動地域別にみると、男性では関西以外の各地域にも転入者数が分散しているのに対し、女性では関西の転入者数が比較的大きくなっている。

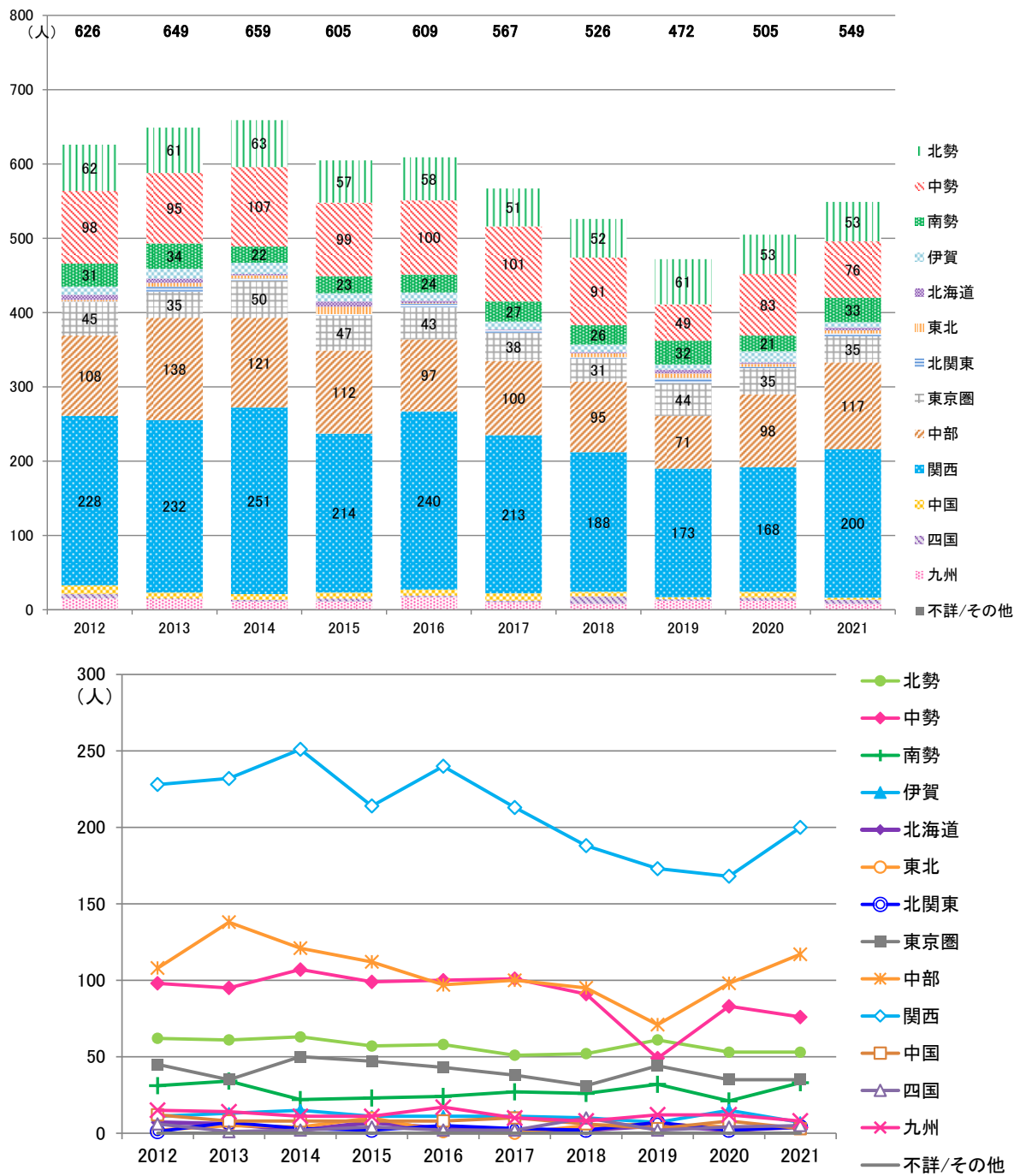
図表 III-205 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男女計-日本人のみ>



図表 III-206 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男性-日本人のみ>

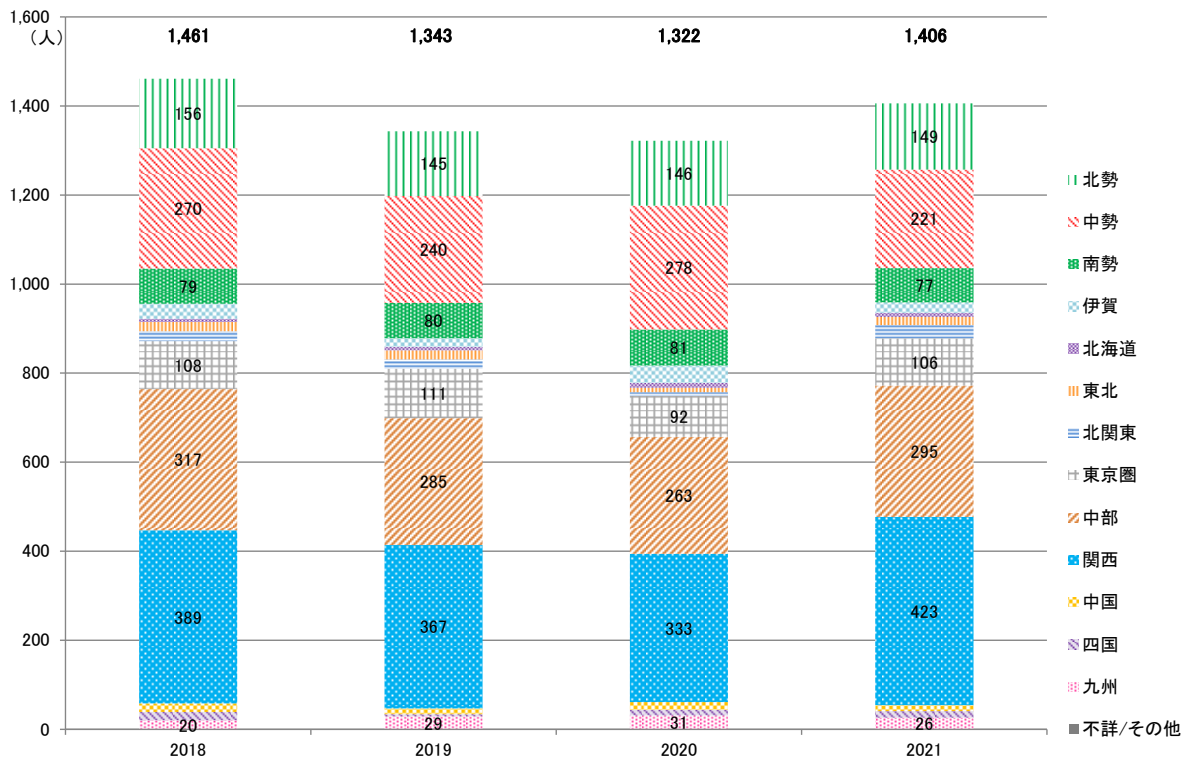


図表 III-207 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-女性-日本人のみ>

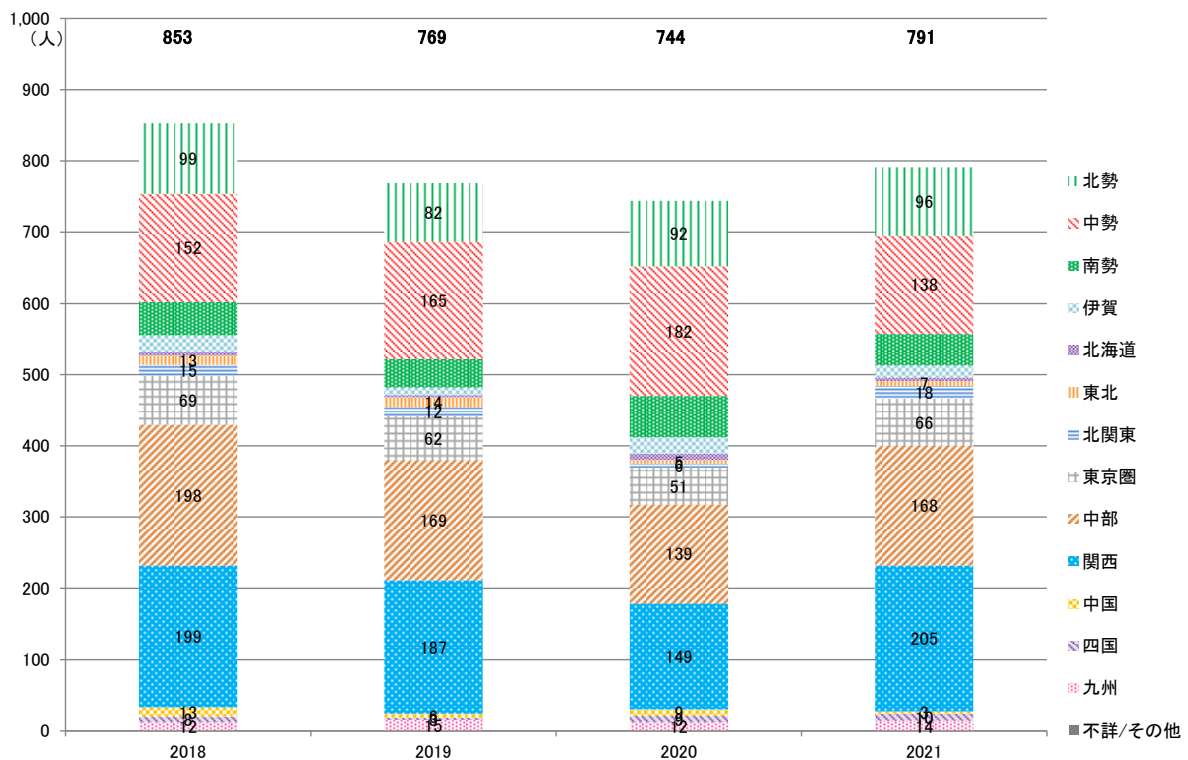


【参考】外国人を含む転入者数

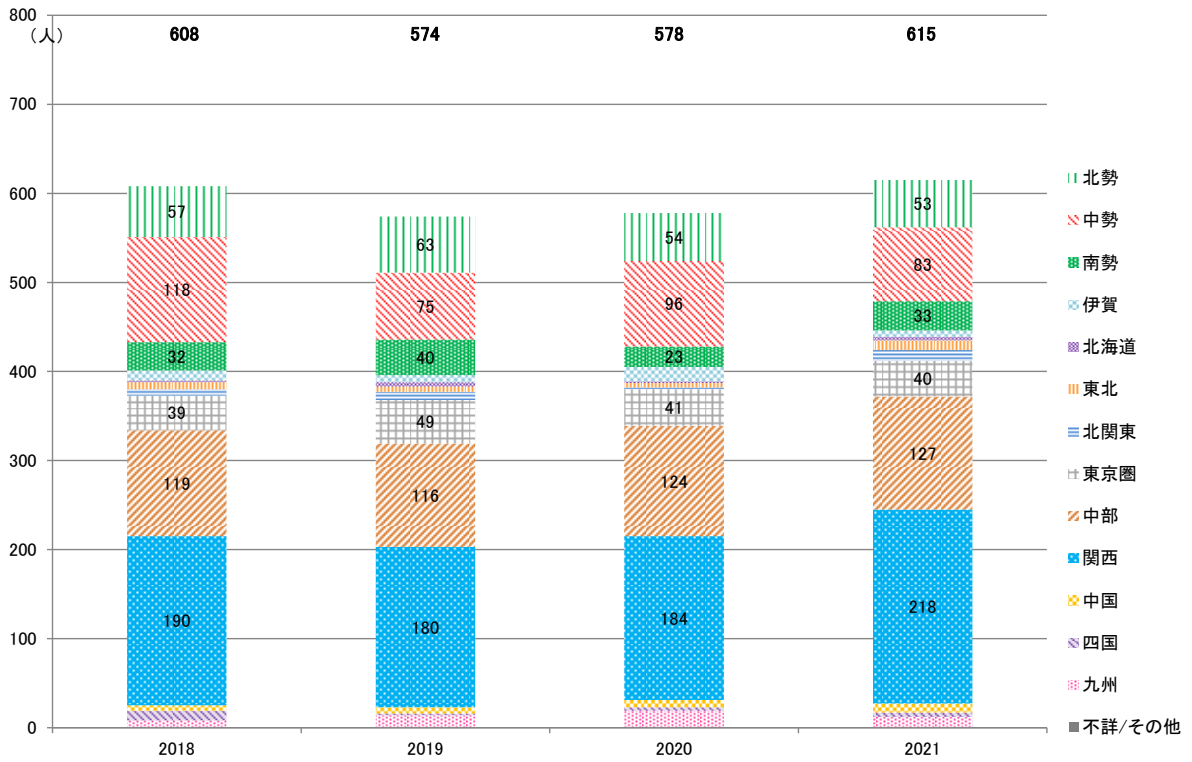
図表 III-208 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



図表 III-209 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男性-外国人を含む>



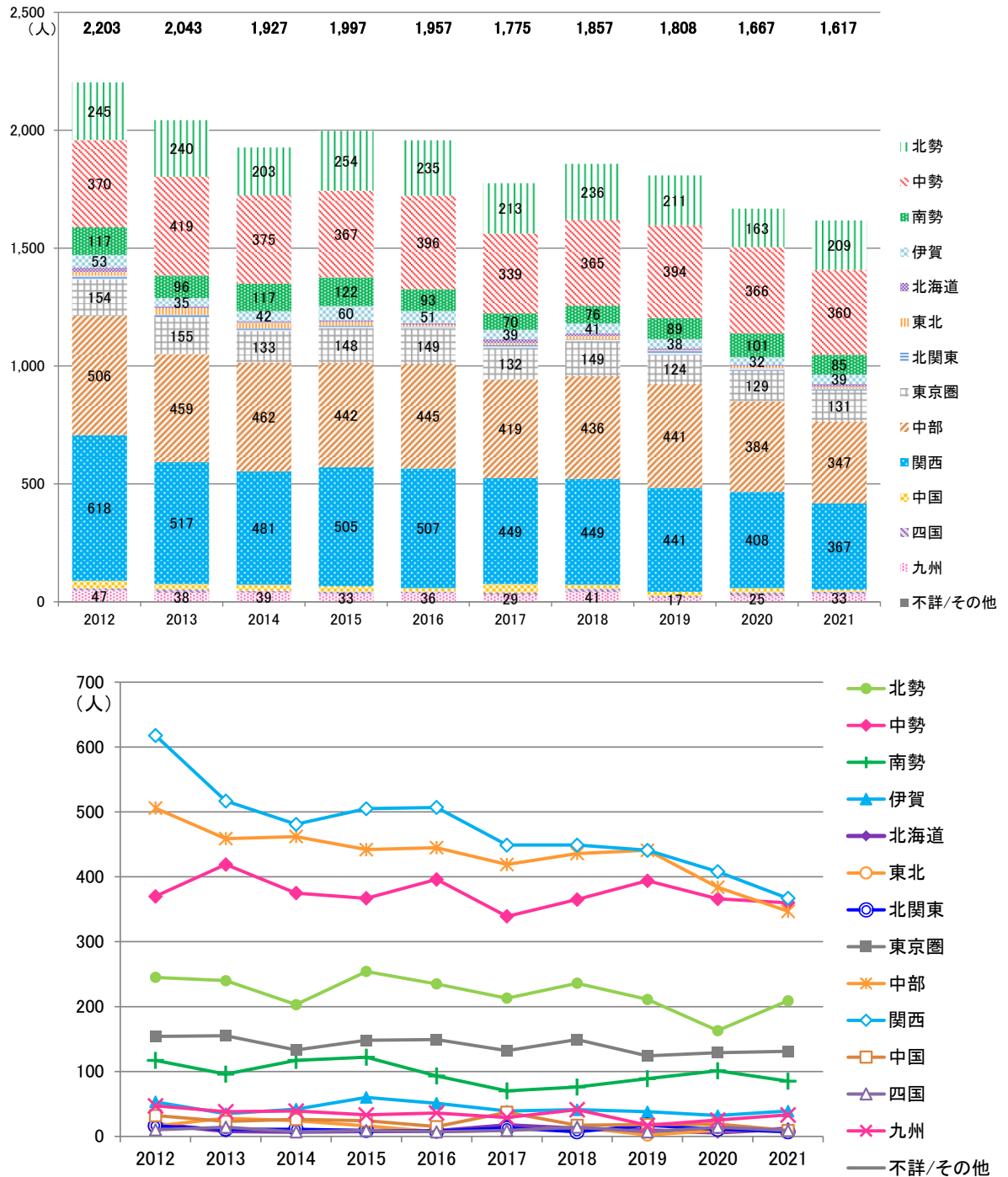
図表 III-210 転入者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-女性-外国人を含む>



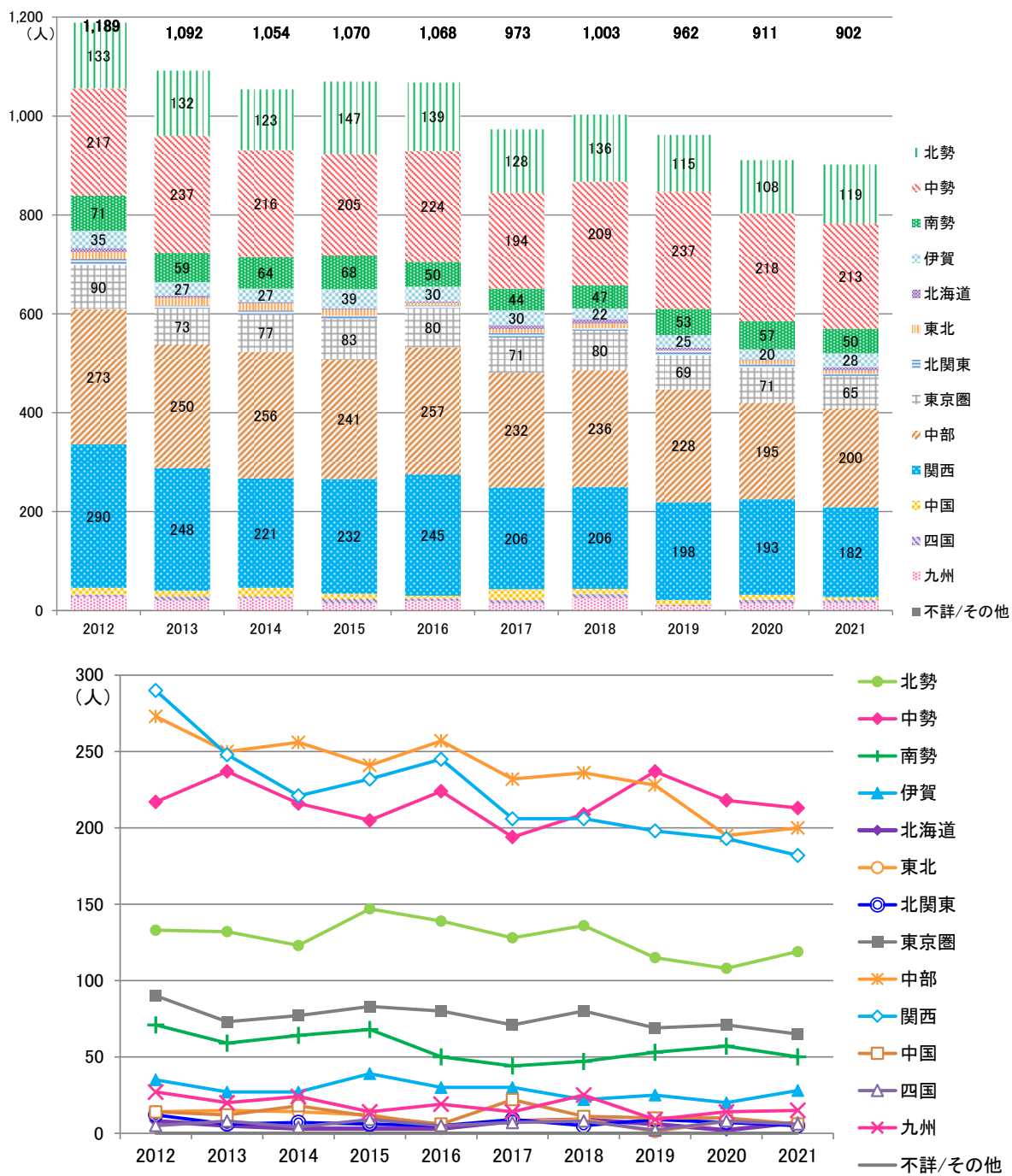
2) 転出

男女別・移動地域別にみると、男性では、中勢地域への転出者数が増加傾向にある。また、男性の中勢地域への転出者数をみると、2017年から2019年にかけて大きく増加して2019年には中部を上回り、以降も転出者数が最も大きい地域となっている。一方で、女性では、関西への転出者数が最も大きくなっている。

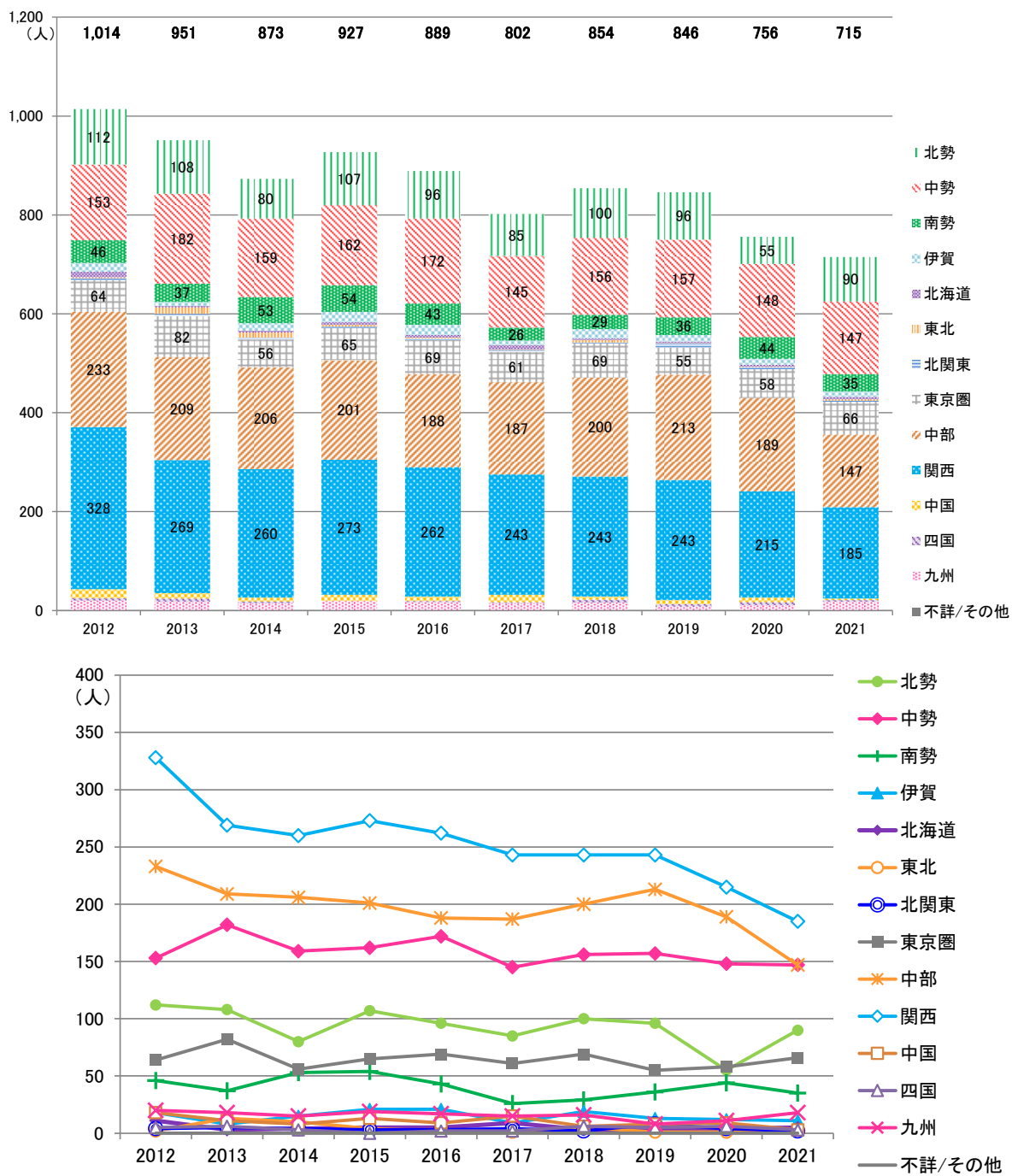
図表 III-211 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男女計-日本人のみ>



図表 III-212 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男性-日本人のみ>

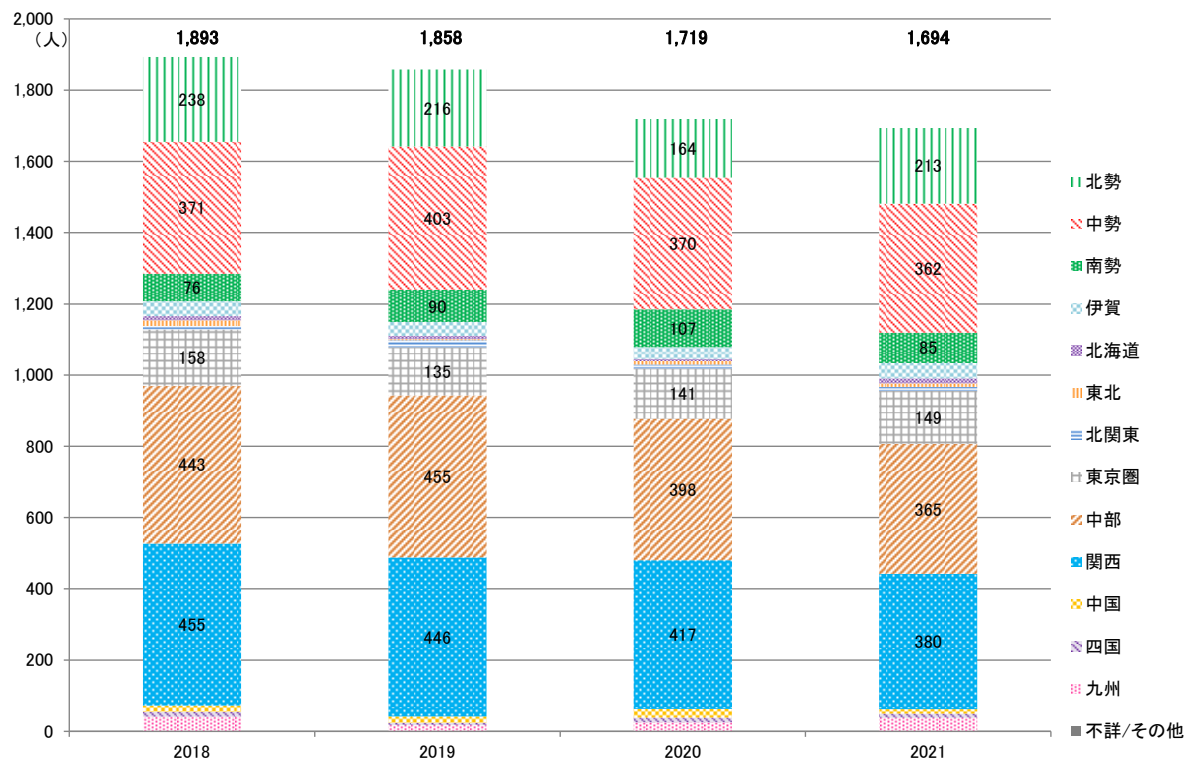


図表 III-213 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-女性-日本人のみ>

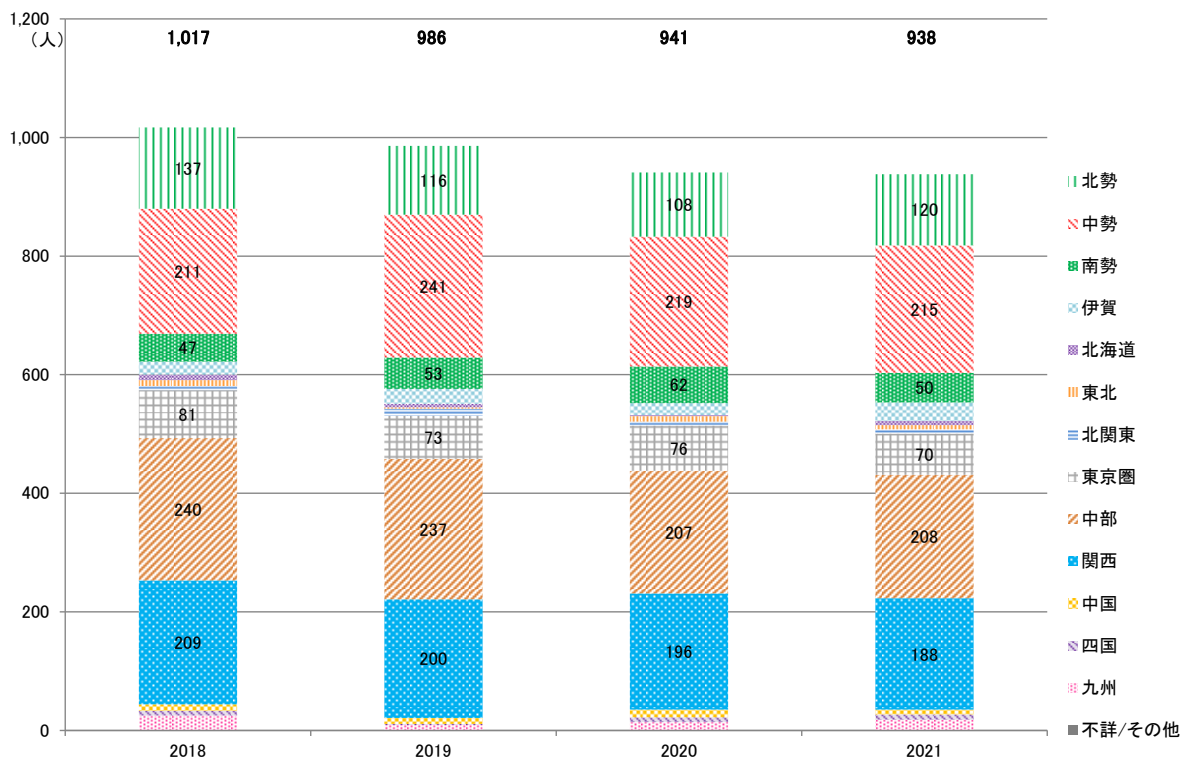


【参考】外国人を含む転出者数

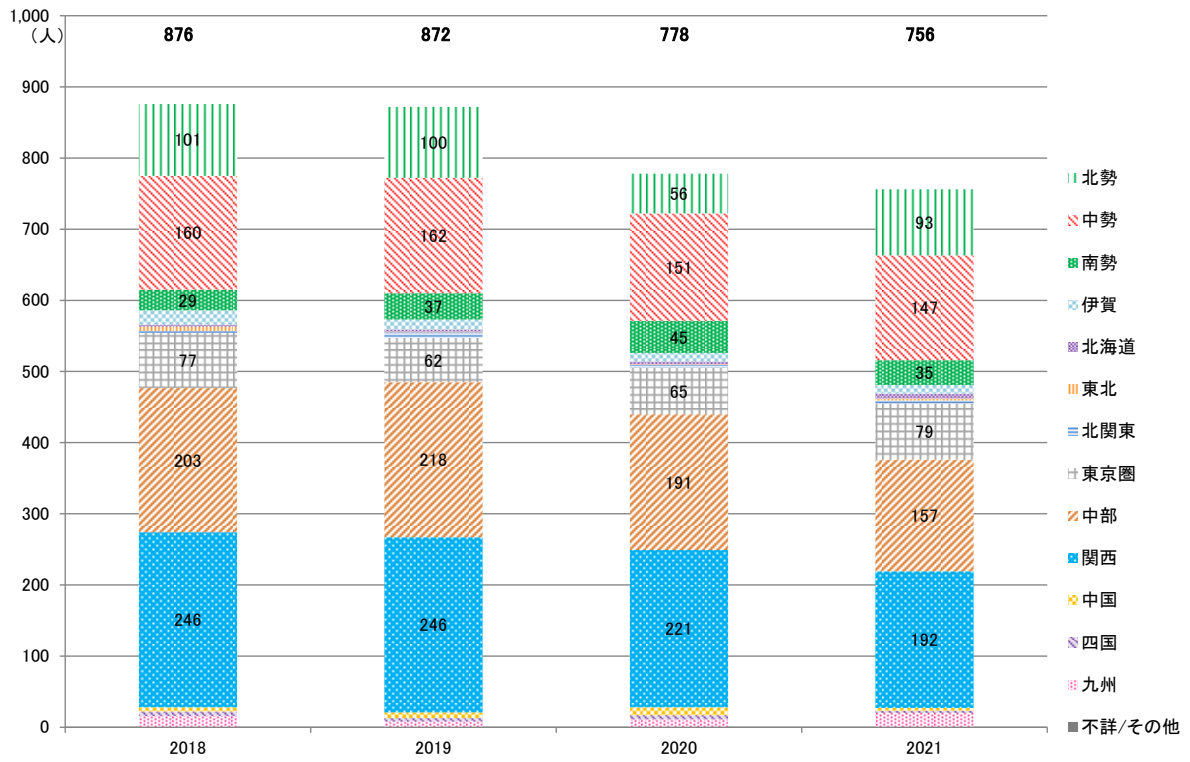
図表 III-214 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



図表 III-215 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男性-外国人を含む>



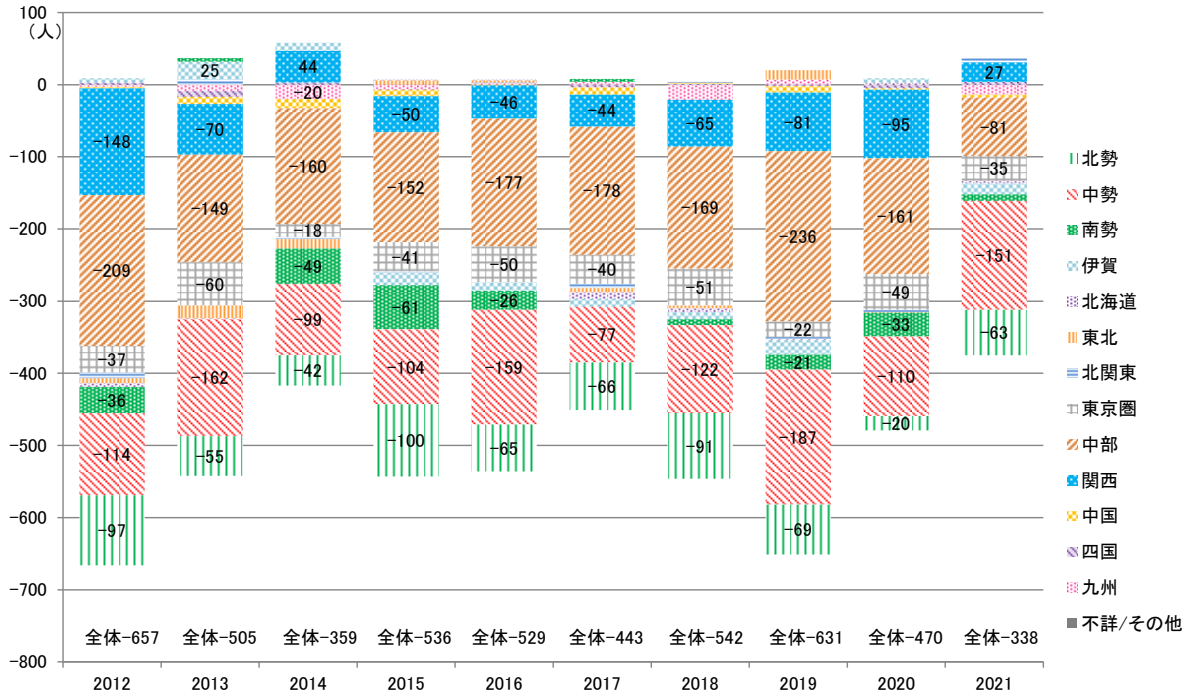
図表 III-216 転出者数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-女性-外国人を含む>



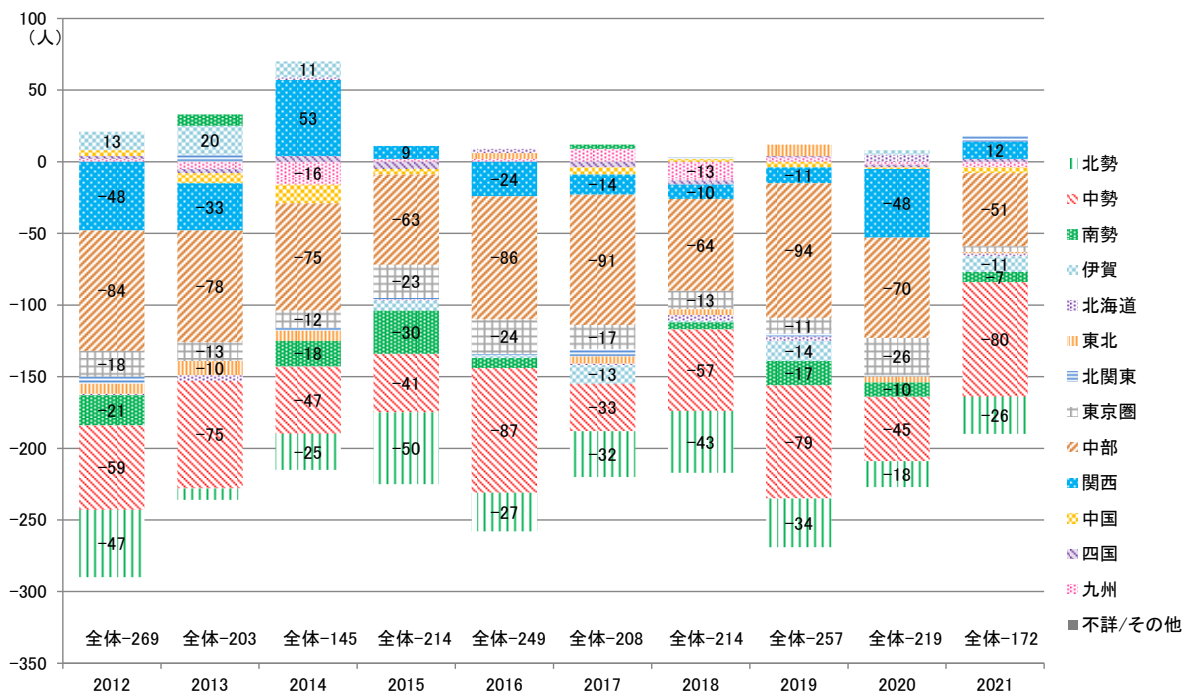
3) 転入超過

転入超過数を男女別・移動地域別にみると、2021年を除き、女性の転出超過数が男性を上回っており、特に、中部及び中勢の転入超過数が大きくなっている。

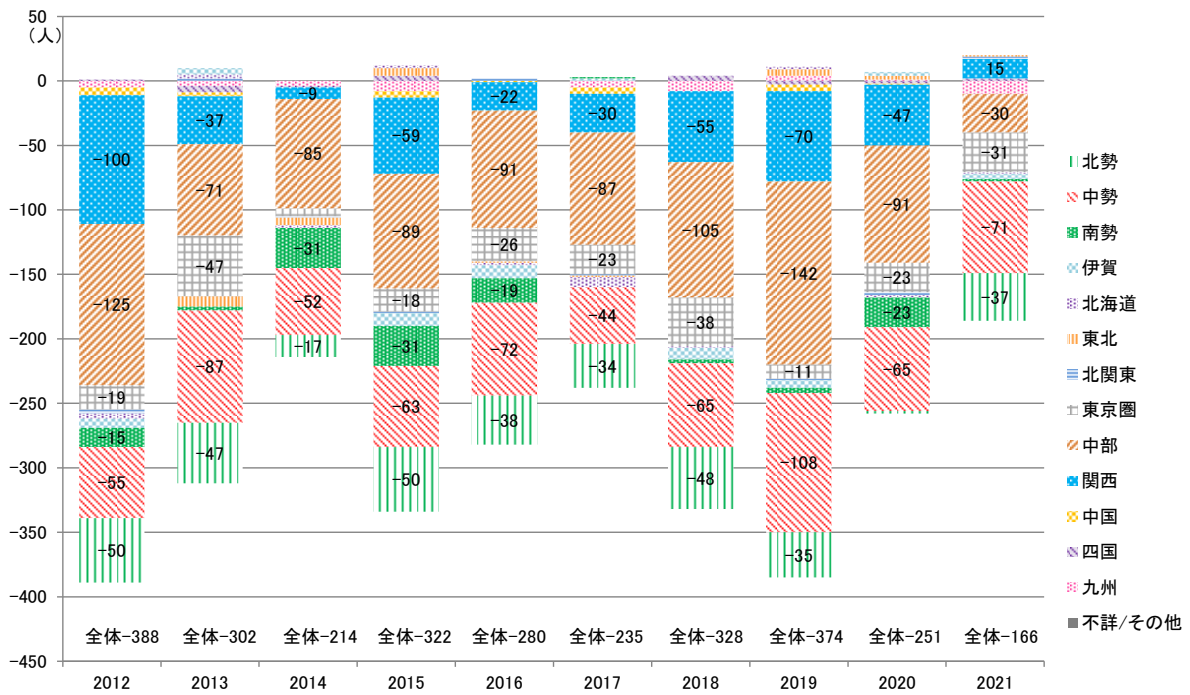
図表 III-217 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男女計-日本人のみ>



図表 III-218 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男性-日本人のみ>

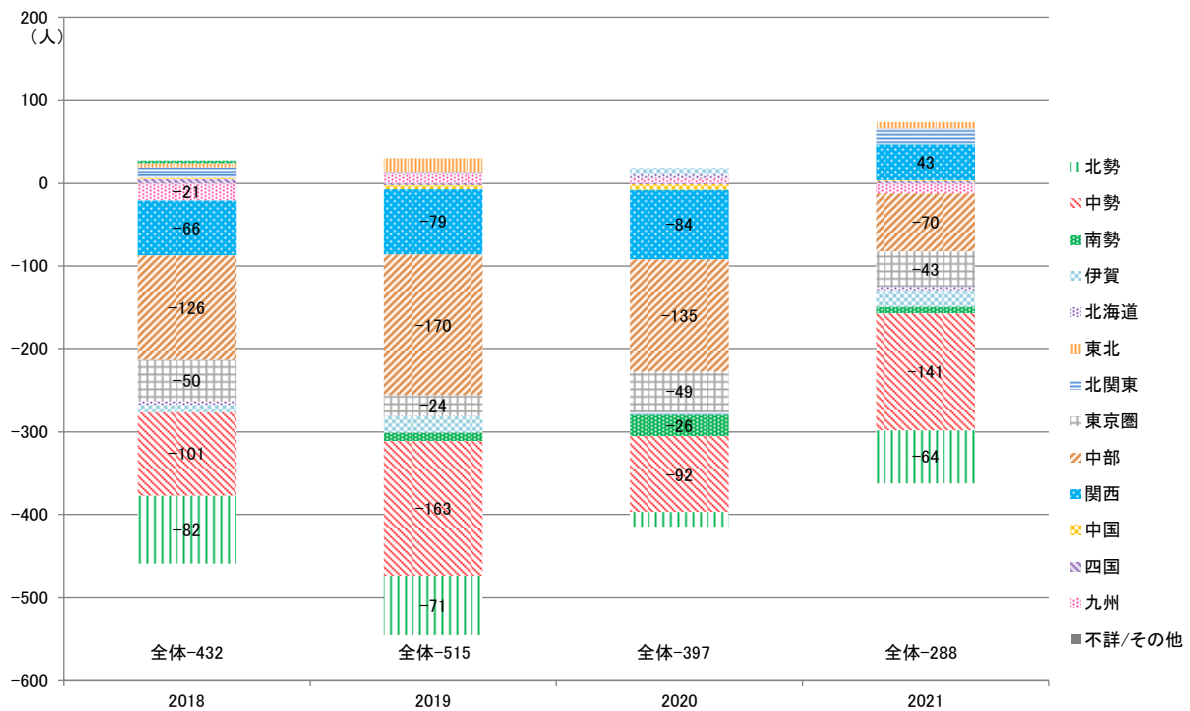


図表 III-219 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-女性>

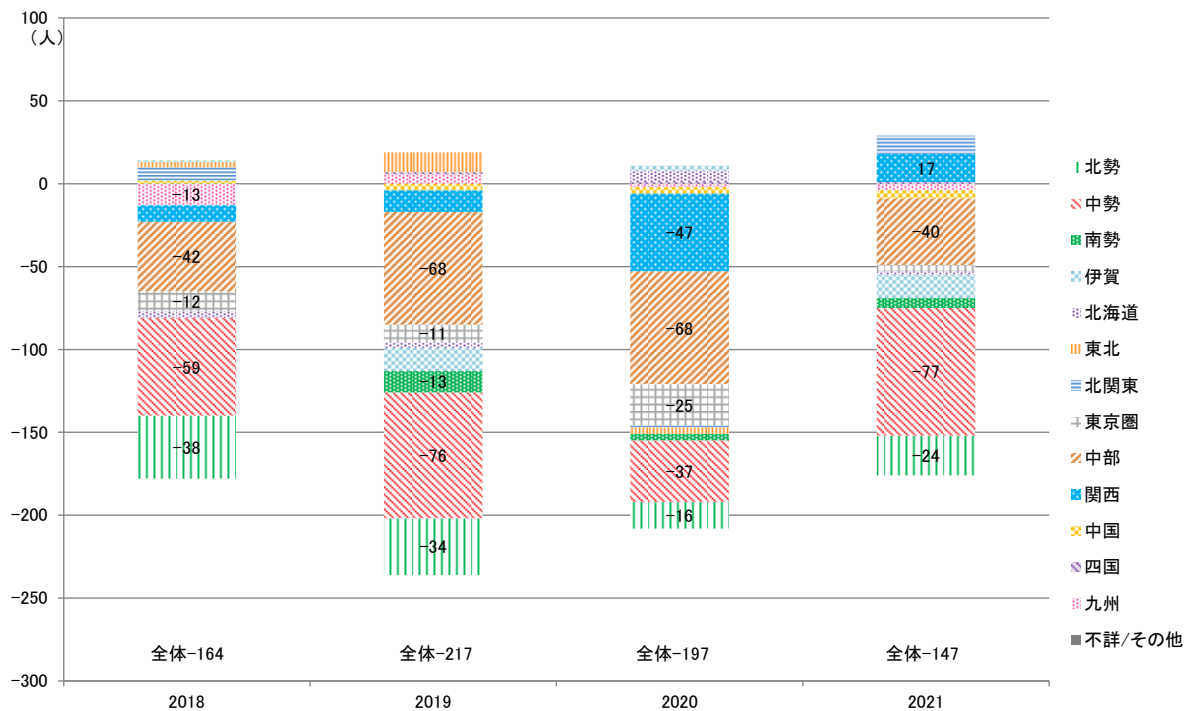


【参考】外国人を含む転入超過数

図表 III-220 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男女計-外国人を含む>



図表 III-221 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-男性-外国人を含む>



図表 III-222 転入超過数(地域ブロック・県内圏域別)の推移<東紀州-女性-外国人を含む>

